

本書の見かた

本書ではお車の各装置や装備の正しい取り扱いかたと、快適ドライブ情報やお手入れのしかた、万一のときの応急処置などを記載しています。

- ◎ お車を安全・快適にお使いいただくため、ご使用前に必ずお読みください。
- ◎ 「警告」「注意」は安全のために特に重要です。よく読んでお守りください。

- 本書の中で使用しているマークと意味は次のようになっています。

安全のために守っていただきたいこと。	
 警告	守らないと生命の危険または重大な傷害につながるおそれがあります。
 注意	守らないと傷害につながるおそれがあります。
お車のために守っていただきたいこと。	
 アドバイス	守らないと装備品や車両の破損につながるおそれがあります。
お車を使ううえで知っておいていただきたいこと。	
 知識	知っておくとお車の性能を十分にお使いいただけるとともに、いろいろな装備を上手に使うことができます。
	安全のためにしてはならない行為。 (イラスト内に表示されています)

- コントロールパネルのスイッチは<****>、操作画面に表示されるメニューや項目は [****] と表示しています。
- 参照して読んでいただきたいページなどを、➡マークで表示しています。
- 日産販売会社で取り付けられた装備（ディーラーオプション）については、その装備に付属の取扱説明書をお読みください。
- 点検・整備、保証については別冊のメンテナンスノートをお読みください。
- 別冊のナビゲーションシステム取扱説明書も合わせてお読みください。
- その他、ご不明な点はカーライフアドバイザー（営業部員）にお申しつけください。

- 交通ルールやマナーを守って運転しましょう。
- 自然環境保護に配慮してください。
- 本書と別冊のメンテナンスノートはお車の中に保管してください。
- お車をゆずられるときは次に所有される方のために、本書をお車に付けておいてください。
- 車両の仕様変更やソフトウェア更新により、本書の内容が実車と一致しない場合がありますのであらかじめご了承ください。

目次

■ 外観フロント.**2**
■ 運転席まわり.**8**

■ 外観リヤ.**4**
■ インストルメントパネル.**10**

■ 車室内.**6**

イラスト目次

P.2

■ 運転する前に.**14**
■ ポップアップエンジンフード.**27**

■ シートベルト.**18**
■ お子さまの安全のために.**30**

■ エアバッグ.**21**
■ 盗難防止機能.**36**

安全なドライブの
ために

P.13

■ 計器類.**38**

■ 警告灯・表示灯.**46**

■ アドバンスドドライブアシスト
ディスプレイ.**54**

メーターの見かた

P.37

■ メーターの明るさの調節.**81**

■ キー.**84**
■ ミラーの調節.**99**
■ エアコンの操作.**105**

■ ドアの施錠と解錠.**88**
■ 窓ガラスの開閉.**101**

■ シート・ハンドルの調節.**93**
■ 燃料補給口.**103**

各部の操作

P.83

■ 始動する.**112**
■ 運転支援機能.**135**

■ 運転する.**115**
■ 駐車支援システム.**182**

■ ランプをつける、ワイパーを使う.**128**

運転のしかた

P.111

■ 室内灯.**190**

■ 収納装備.**191**

■ その他の室内装備.**194**

室内装備

P.189

■ まずはじめに.**208**

■ 緊急時の対処法.**213**

トラブルがおきた
ときは

P.207

■ メンテナンスの前に.**252**
■ 清掃・お手入れ.**269**

■ 工具・ジャッキ.**253**
■ サービスデータ.**277**

■ 点検と整備.**256**

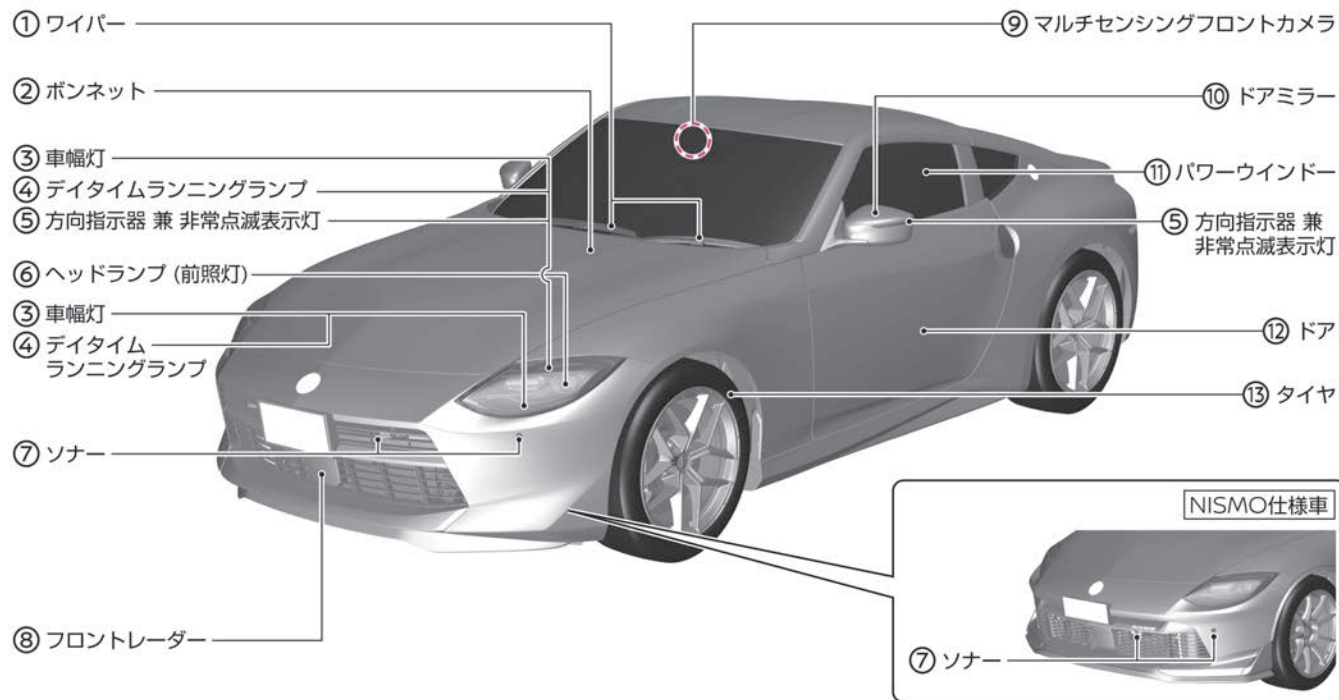
メンテナンス

P.251

索引

P.283

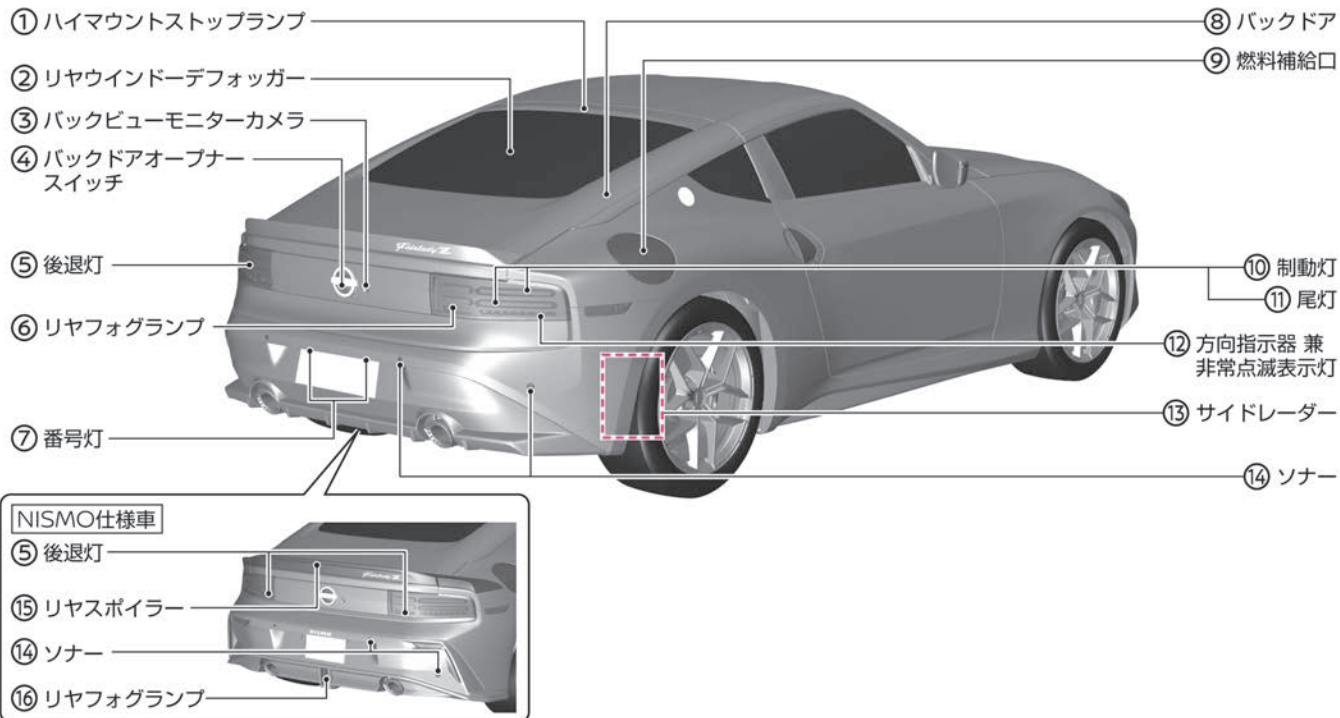
外観フロント



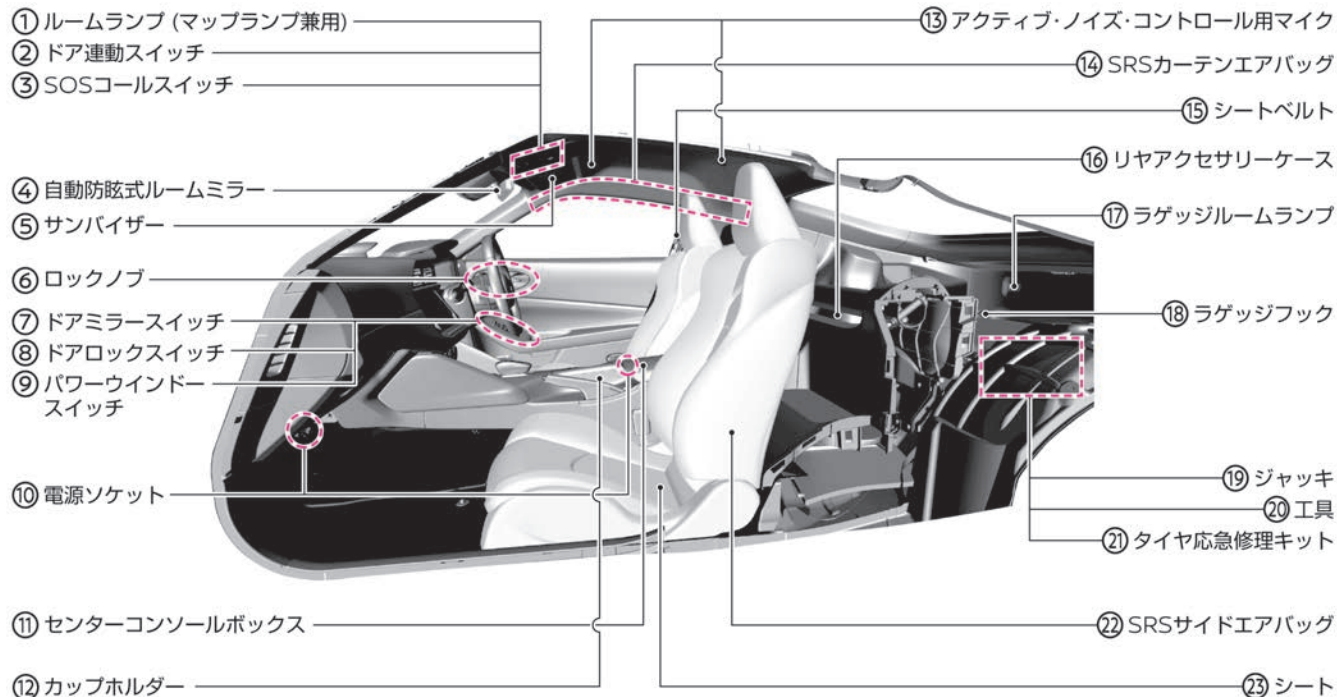
外観フロント

- ① ワイパー (➡ P.133)
- ② ボンネット (➡ P.256)
- ③ 車幅灯 (➡ P.128、➡ P.281)
- ④ デイタイムランニングランプ (➡ P.128、➡ P.281)
- ⑤ 方向指示器 兼 非常点滅表示灯 (➡ P.132、➡ P.281)
- ⑥ ヘッドランプ (前照灯) (➡ P.128、➡ P.281)
- ⑦ ソナー (➡ P.79、➡ P.274)
- ⑧ フロントレーダー (➡ P.272)
- ⑨ マルチセンシングフロントカメラ (➡ P.273)
- ⑩ ドアミラー (➡ P.99)
- ⑪ パワーウインドー (➡ P.101)
- ⑫ ドア (➡ P.88)
- ⑬ タイヤ (➡ P.259)

外観リヤ

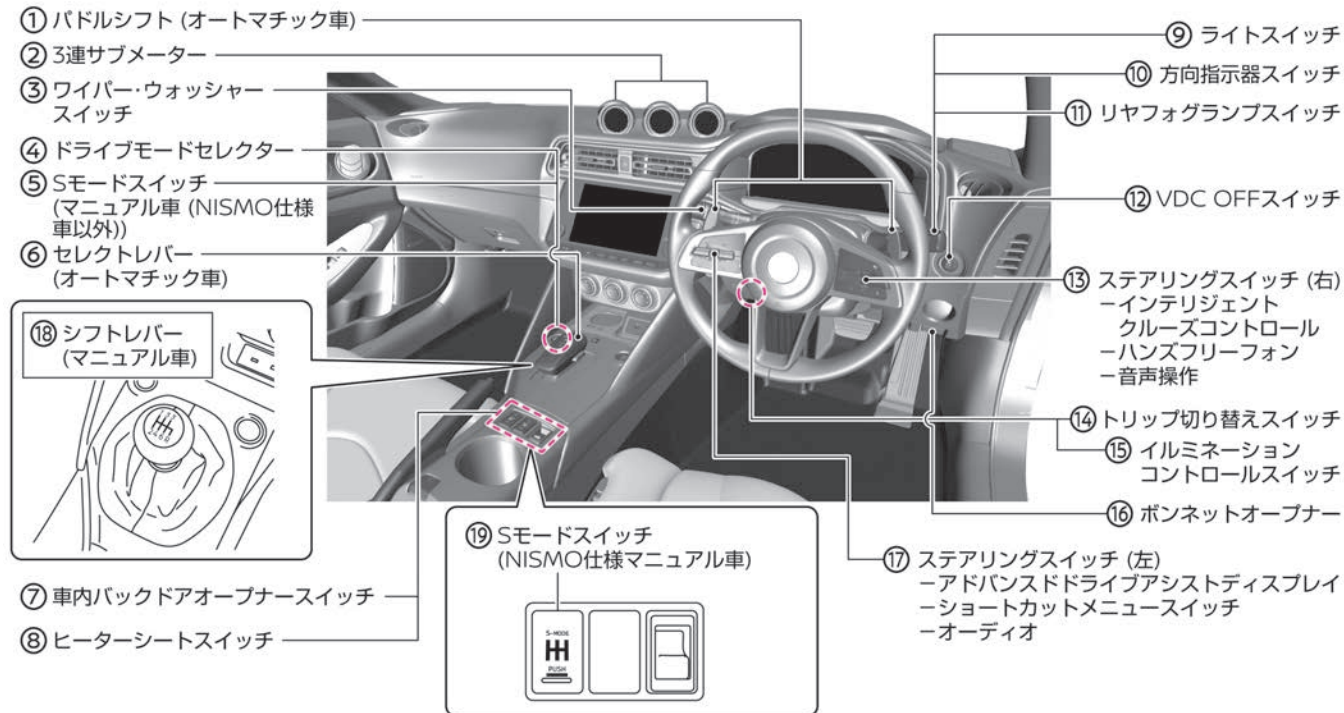


- ① ハイマウントストップランプ (➡P.281)
- ② リヤウインドーデフォッガー (➡P.245)
- ③ バックビューモニターカメラ (➡P.273)
- ④ バックドアオープナースイッチ (➡P.90)
- ⑤ 後退灯 (➡P.281)
- ⑥ リヤフォグランプ (➡P.133、➡P.281)
- ⑦ 番号灯 (➡P.128、➡P.281)
- ⑧ バックドア (➡P.90)
- ⑨ 燃料補給口 (➡P.103)
- ⑩ 制動灯 (➡P.128、➡P.281)
- ⑪ 尾灯 (➡P.128、➡P.281)
- ⑫ 方向指示器 兼 非常点滅表示灯 (➡P.132、➡P.281)
- ⑬ サイドレーダー (➡P.272)
- ⑭ ソナー (➡P.79、➡P.274)
- ⑮ リヤスボイラー★ (➡P.91、➡P.269)
- ⑯ リヤフォグランプ (➡P.133、➡P.281)



- ① ルームランプ（マップランプ兼用）（➡P.190）
- ② ドア連動スイッチ（➡P.190）
- ③ SOSコールスイッチ（➡P.194）
- ④ 自動防眩式ルームミラー（➡P.99）
- ⑤ サンバイザー（➡P.202）
- ⑥ ロックノブ（➡P.89）
- ⑦ ドアミラースイッチ（➡P.99）
- ⑧ ドアロックスイッチ（➡P.89）
- ⑨ パワーウインドースイッチ（➡P.101）
- ⑩ 電源ソケット（➡P.198）
- ⑪ センターコンソールボックス（➡P.191）
- ⑫ カップホルダー（➡P.192）
- ⑬ アクティブ・ノイズ・コントロール用マイク★（➡P.204）
- ⑭ SRSカーテンエアバッグ（➡P.25）
- ⑮ シートベルト（➡P.18）
- ⑯ リヤアクセサリケース（➡P.191）
- ⑰ ラゲッジルームランプ（➡P.190）
- ⑱ ラゲッジフック（➡P.203）
- ⑲ ジャッキ★（➡P.253）
- ⑳ 工具★（➡P.253）
- ㉑ タイヤ応急修理キット（➡P.213）
- ㉒ SRSサイドエアバッグ（➡P.25）
- ㉓ シート（➡P.93、➡P.95）

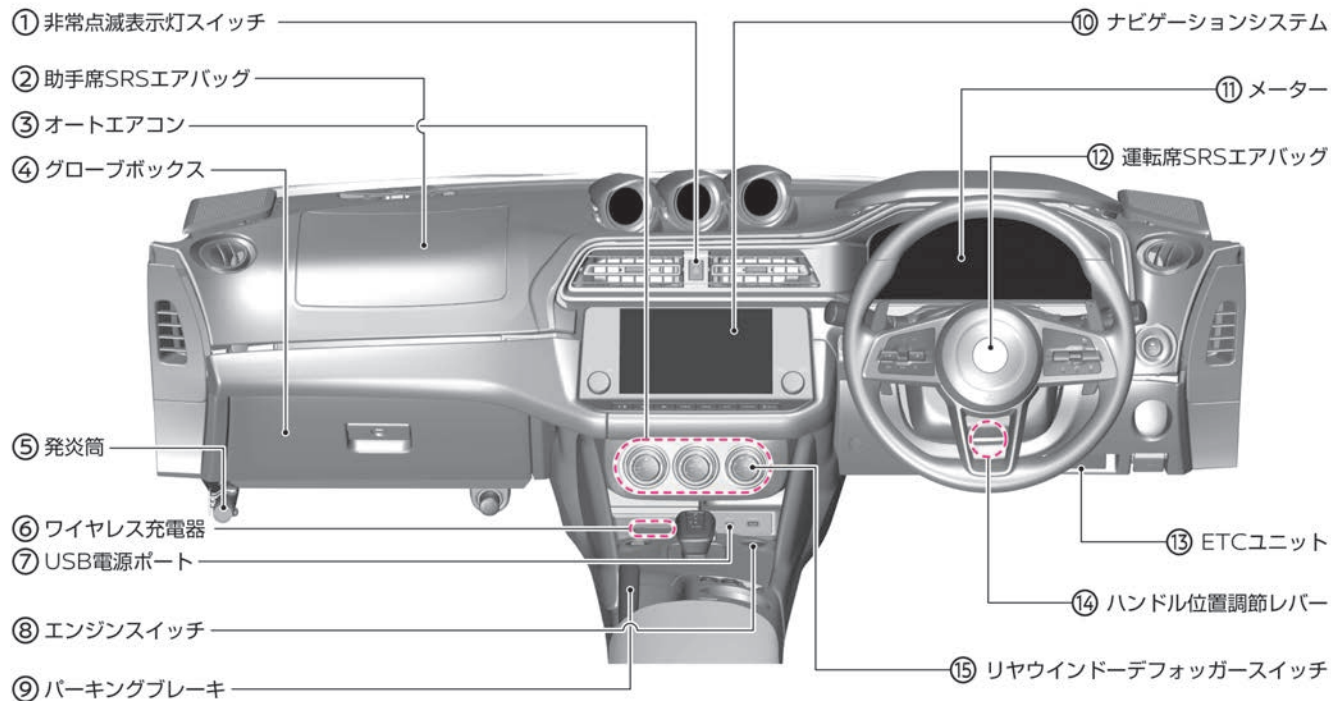
運転席まわり



- ① パドルシフト（オートマチック車）（➡ P.116）
- ② 3連サブメーター（➡ P.45）
- ③ ワイパー・ウォッシャースイッチ（➡ P.133）
- ④ ドライブモードセレクター★（➡ P.120）
- ⑤ Sモードスイッチ（マニュアル車（NISMO仕様車以外））（➡ P.121）
- ⑥ セレクトレバー（オートマチック車）（➡ P.115）
- ⑦ 車内バックドアオープナースイッチ（➡ P.90）
- ⑧ ヒーターシートスイッチ★（➡ P.197）
- ⑨ ライトスイッチ（➡ P.128）
- ⑩ 方向指示器スイッチ（➡ P.132）
- ⑪ リヤフォグランプスイッチ（➡ P.133）
- ⑫ VDC OFFスイッチ（➡ P.136）
- ⑬ ステアリングスイッチ（右）
 - インテリジェントクルーズコントロール（➡ P.147）
 - ハンズフリーフォン（➡ P.79、別冊※）
 - 音声操作（➡ P.80、別冊※）
- ⑭ トリップ切り替えスイッチ（➡ P.41）
- ⑮ イルミネーションコントロールスイッチ（➡ P.81）
- ⑯ ボンネットオープナー（➡ P.256）
- ⑰ ステアリングスイッチ（左）
 - アドバンスドドライブアシストディスプレイ（➡ P.54）
 - ショートカットメニュースイッチ（➡ P.63）
 - オーディオ（別冊※）
- ⑱ シフトレバー（マニュアル車）（➡ P.120）
- ⑲ Sモードスイッチ（NISMO仕様マニュアル車）（➡ P.121）

※：ナビゲーションシステム取扱説明書をお読みください。

インストルメントパネル



- ① 非常点滅表示灯スイッチ
 - ② 助手席SRSエアバッグ (➡P.23)
 - ③ オートエアコン (➡P.105)
 - ④ グローブボックス (➡P.191)
 - ⑤ 発炎筒 (➡P.209)
 - ⑥ ワイヤレス充電器 (➡P.200)
 - ⑦ USB電源ポート (➡P.199)
 - ⑧ エンジンスイッチ (➡P.112)
 - ⑨ パーキングブレーキ (➡P.124)
 - ⑩ ナビゲーションシステム (別冊※)
 - ⑪ メーター (➡P.38、➡P.39、➡P.40)
 - ⑫ 運転席SRSエアバッグ (➡P.23)
 - ⑬ ETCユニット (別冊※)
 - ⑭ ハンドル位置調節レバー (➡P.97)
 - ⑮ リヤウインドーデフォッガースイッチ (➡P.245)
- ※：ナビゲーションシステム取扱説明書をお読みください。

MEMO



イラスト目次

運転する前に

運転前の準備	P.14
運転するときに注意すること	P.15
心臓ペースメーカーなどをご使用の方の注意事項	P.17

シートベルト

3点式シートベルト	P.18
シートベルトの注意事項	P.19

エアバッグ

SRSエアバッグ	P.21
SRSエアバッグ（運転席／助手席）	P.23
SRSサイドエアバッグ	P.25
SRSカーテンエアバッグ	P.25

ポップアップエンジンフード

ポップアップエンジンフード	P.27
---------------	------

お子さまの安全のために

お子さまを乗せるときに注意すること	P.30
チャイルドシート	P.31

盗難防止機能

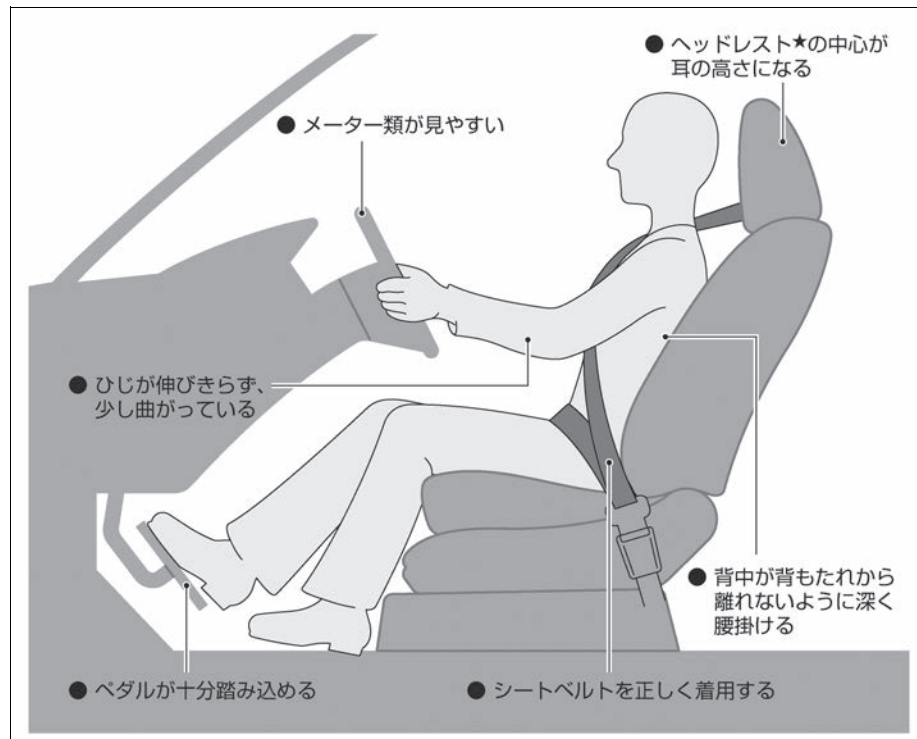
イモビライザー（盗難防止装置）	P.36
-----------------	------

運転する前に

運転前の準備

正しい運転姿勢をとれるよう、ハンドル（➡P.97）、シート（➡P.93、➡P.95）、ミラー（➡P.99）を調節し、シートベルトを着用してください。

正しい運転姿勢について



⚠ 警告

- **ハンドル、シート、ミラーの調節は、必ず走行前に行う。**

走行中に調節すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

- **ハンドルやシートを調節したあとは、確実に固定されていることを確認する。**

固定されていないと運転姿勢が突然変わり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

- **背もたれと背中の中にクッションなどを入れない。**

運転姿勢が不安定になり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

シートベルトの着用

- **必ず走行前にシートベルトを正しく着用してください。**

➡ シートベルト (P.18)

- **小さなお子さまを乗せるときは、適切なチャイルドシートをご使用ください。**

➡ チャイルドシート (P.31)

ミラーの調節

- **シートおよびハンドルの調節が完了したら、ミラーを調節します。確実に後方確認ができる位置に、ミラーを調節してください。**

➡ ドアミラー (P.99)

➡ 自動防眩式ルームミラー (P.99)

運転するときに注意すること

⚠ 警告

排気ガスには十分注意する

- 排気ガスには無色無臭で有害な一酸化炭素が含まれています。一酸化炭素を吸い込むと一酸化炭素中毒になり、重大な健康障害におよぶか、死亡につながるおそれがあります。
- 次の状況では、暖機運転をしたりエンジンをかけたままにしたりしない。

排気ガスが車両周辺に滞留したり、車室内に侵入したりするおそれがあります。

- 雪が積もった場所に駐車するとき
- 降雪時に駐車するとき
- 車庫や屋内、壁などに囲まれた換気が悪い場所に駐車するとき
- 仮眠や長時間の駐車をするとき
- 排気管が腐食または損傷しているおそれがあるとき
- 他車の排気口が近くにあるとき
- 走行する前に、バックドアが確実に閉まっていることを確認する。
走行中に排気ガスが侵入するおそれがあります。
- 車室内に排気ガスが侵入したと感じたときは、窓を開けて十分に換気をする。

- 排気管に穴や亀裂がある場合や排気音に異常があるときは、日産販売会社で点検を受ける。

排気ガスが車室内に侵入するおそれがあり危険です。

車室内に人やペットを残さない

- お子さま、介護を必要とされる方、ペットを車室内に残さない。
炎天下では車室内が高温になり、生命にかかわるおそれがあり危険です。

診断機接続用のコネクターにはご注意ください

- 診断機接続用のコネクターには、後付け用品を取り付けしないでください。バッテリーがあがったり、警告灯が点灯したりするなど、思わぬトラブルを招くおそれがあります。

燃料が入った容器やスプレー缶などを積まない

- ガソリンや可燃性ガスの入ったスプレー缶などは積まない。
引火や爆発するおそれがあり危険です。

火気には十分注意する

- 操作部が露出しているガスライターをグローブボックスなどの小物入れに入れない。また、床やシートのすき間に落とすままにしない。

荷物を押し込んだときやシートを動かしたときに、ライターの着火ボタンが押されてガスが噴出し、火災につながるおそれがあります。また、ライターを使用したあと、すぐに収納すると火災を起こすおそれがあります。

- 灰皿を使ったあとは、マッチやタバコの火が消えていることを確認し、必ずふたを閉める。

紙くすなど燃えやすいものは入れないでください。出火するおそれがあります。

故障や破損したまま走行しない

- 排気音が大きくなったときは、日産販売会社で点検を受ける。

排気管が腐食したり路面干渉などで損傷したりしているおそれがあります。また、排気管に穴が開いたまま走行を続けると、高温の排気ガスが漏れ、排気ガスが車室内に侵入し、火災につながるおそれがあります。

- 事故などでランプが破損したまま走行しない。

内部に水などが入ると、発煙し火災につながるおそれがあります。

⚠ 警告

空ぶかしをしたり、エンジンをかけたまま仮眠をしない

- 万一、シフトポジションがP以外（オートマチック車）またはシフトポジションがN以外（マニュアル車）に入っていると、急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、無意識にセレクトレバーまたはシフトレバーを操作したり、アクセルペダルを踏み込んだりして思わぬ事故やエンジン過熱による火災などにつながるおそれがあり危険です。

⚠ 注意

- ウィンドーにアクセサリを取り付けない。

視界の妨げになったり、吸盤がレンズの動きをしったりして火災を起こすおそれがあります。また、SRSエアバッグが作動したときアクセサリが飛んでケガをするなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

改造しない

- 市販の不適合品のマフラー取り付けや、日産純正部品以外の車両の性能や機能に適さない部品を使用しない。
正常な性能を発揮できないだけでなく、故障や火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。

- 電装品などを取り付けるときは、必ず日産販売会社にご相談ください。不適切な取り付けや誤った配線は、故障や火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ハンドルの取り外しや交換を適切に行うと、SRSエアバッグが正常に作動しなかったり、不意に作動したりして、思わぬ傷害を受けるおそれがあります。
- シフトノブの取り外しや交換はしない。

シフトノブは接着剤でシフトレバーに固定されているため交換できません。シフトノブを交換する場合はシフトレバーとセット交換になりますので、日産販売会社にご相談ください。

アドバイス

改造しない

- バッテリーの端子に電装品やアース線などを直接つながないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。
- 日産自動車为国土交通省に届け出をした部品以外を装着すると、違法改造になることがあります。

無線送信機の取り付けについて

- お車に無線送信機を取り付けると、電装システムに影響をおよぼす可能性があります。悪影響を防ぐための措置や取り付け方法については、必ず日産販売会社にご相談ください。お客さまのご要望により、無線送信機の取り付けに関する詳しい情報（周波数帯域・電力レベル・アンテナ位置・取り付け条件）を日産販売会社にてご提供します。

性能を十分に引き出すため、ならし運転を行う

- エンジン本体、駆動系などこの車両の持っている性能を十分に引き出すためには、ならし運転が必要です。
走行距離約2,000kmまでは適度な車速、エンジン回転数で運転してください。

フロントスポイラー★と路面との干渉について

- フロントスポイラー★下部は路面との間隔が狭いため、段差の大きい場所や縁石などには特に注意してください。路面と干渉して傷が付くおそれがあります。

NISMO専用エアロパーツについて (NISMO仕様車)

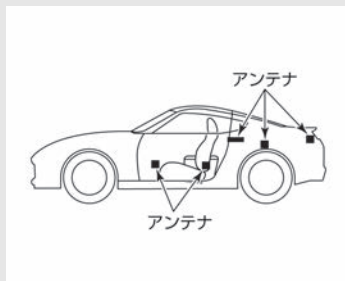
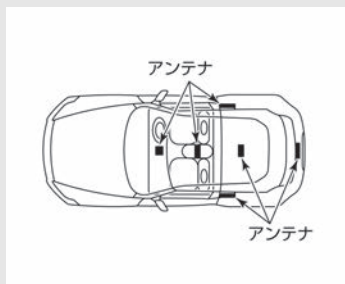
- フロントバンパーに足をかけたり、乗ったりしないでください。また、乗り降りの際にサイドシルプロテクターに乗らないでください。フロントバンパーおよびサイドシルプロテクターが破損するおそれがあります。

心臓ペースメーカーなどをご使用の方の注意事項

心臓ペースメーカーなどをご使用の方は、次のことにご注意ください。

⚠ 警告

インテリジェントキーについて



- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器（ICD）を使用されている方は、アンテナから約22cm以下の範囲に装着部位を近づけない。

ドアおよびバックドア開閉時、ドアハンドルのスイッチ操作時、エンジン始動時などにキーの電波が植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器（ICD）の作動に影響を与えるおそれがあります。

- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器（ICD）以外の医療電気機器を使用されている方は、医療電気機器製造業者などへ影響を確認してから使用する。

キーの電波が医療電気機器の動作に影響を与える場合があります。

SOSコールについて

- SOSコールは無線通信機能を利用しているため、心臓ペースメーカーやその他医療用電気機器を使用する場合は、当該の各医療用電気機器メーカー、もしくは販売業者に電波による影響について必ず確認する。

SOSコールの電波が医療用電気機器の動作に影響を与える場合があります。

➡ 先進事故自動通報システム
(P.194)

シートベルト

3点式シートベルト

シートベルトは、シートに身体を固定することで安全を確保するための安全装置です。走行するときは、必ずシートベルトを正しく着用してください。

⚠ 注意

- プリテンショナーシートベルトの部品や配線を修理しない。また、電気テスターを使ってプリテンショナーのシステムの回路診断をしない。
誤って作動したり、正常に作動しなくなったりするおそれがあります。

ELR（緊急固定）付シートベルトについて

- 身体の動きに合わせて伸縮し、衝突時など強い衝撃を受けると、ベルトがロックし身体を固定します。

ロードリミッター付プリテンショナーシートベルトについて

⚠ 警告

- SRSエアバッグ警告灯 [人] が点灯しているときは走行しない。
電源ポジションをONにしてから約7秒間はシステムチェックを行うため、プリテンショナーが作動しません。必ずSRSエアバッグ警告灯が消灯してから走行してください。

⚠ 注意

- 廃車にするときやプリテンショナーシートベルトを廃棄するときは、必ず日産販売会社に相談する。

🚗 アドバイス

- プリテンショナーが作動したとき作動音や白煙が出ますが、火災ではありません。
- プリテンショナーは、一度作動すると再使用できません。衝突を起こしたときは必ず日産販売会社で点検を受け、作動済みの場合は交換してください。

プリテンショナー機構



自動的に巻き取る

- 正面衝突などで車両前方から強い衝撃を受けたときに、装着したシートベルトを瞬時に巻き取るプリテンショナーと乗員に加わるシートベルトの拘束力を一定レベルに保つロードリミッターが付いています。

- 運転席・助手席SRSエアバッグシステムと同時に作動します。

➡ SRSエアバッグ (P.21)

シートベルトの着用のしかた

⚠ 警告

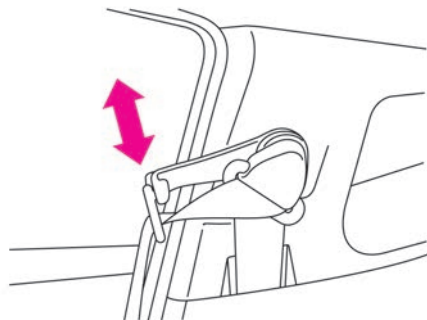
- ベルトアーム位置は、肩に確実に掛かるように調節する。
万一のときに肩からベルトが外れるなど、シートベルトが十分な効果を発揮せず、重大な傷害につながるおそれがあります。

1. 正しい姿勢でシートに座り、タングを持ってベルトをゆっくり引き出します。
ベルトを腰骨のできるだけ低い位置に掛け、たるみがないように密着させます。
2. ベルトがねじれないようにして、タングをバックルに“カチッ”と音がするまで確実に差し込みます。

シートベルト



3. ベルトアームを上下に動かし、ベルトが肩にきちんと掛かる位置に調節します。



4. 外すときは、バックルのボタンを押し、タングを持ってゆっくり戻します。

- ベルトがロックして引き出せないときは、一度ベルトを強く引いてからゆるめ、再度ゆっくり引き出してください。

テンションリデューサー機構

- 電源ポジションがONで、シートベルトを装着した状態から一旦シートベルトを30～50cm引き出すと、巻き取り力が弱くなり、圧迫感を軽減します。

シートベルトの注意事項

⚠ 警告

- 走行する前に全員がシートベルトを着用する。

着用しないと、万一の事故時や急ブレーキ時に、生命にかかわる重大な傷害につながるおそれがあります。

- シートベルトを着用するときは、次のことを必ず守る。

シートベルトを正しく着用しないと、万一のとき重大な傷害につながるおそれがあります。

- 運転者は正しい運転姿勢で、同乗者は正しい着座姿勢で着用してください。
- 2人以上で1本のベルトを使用しないでください。
- ベルトはねじれた状態で着用しないでください。ねじれがあるとベルトの幅が狭くなり、万一のとき衝撃力が分散できず、局部的に強い力を受けることがあります。
- 腰部ベルトは腰骨のできるだけ低い位置にぴったりと着用してください。ベルトが腰骨からずれると、腰部に強い圧迫を受けることがあります。

- 肩ベルトは脇の下を通さず、確実に肩に掛けてください。肩に十分に掛かっていないと、上半身が拘束できないことがあります。
- クリップなどで故意にベルトにたるみをつけ、身体から浮いた状態に調節しないでください。ベルトにたるみがあると、十分な効果が発揮できないことがあります。

- シートの背もたれを倒したまま走行しない。

シートベルトが効果を十分発揮せず、衝突時などに身体がシートベルトの下に入り込み、ベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。

- バックルや巻き取り装置の中に異物を入れない。

シートベルトが正常に機能を発揮せず、万一のとき重大な傷害につながるおそれがあります。

- 妊娠中や疾患のある方も、万一のときのためにシートベルトを着用する。

ただし、局部的に強い圧迫を受けるおそれがあるため医師に相談し、注意事項を確認してください。妊娠中の方は、腰ベルトを腹部から避け腰部のできるだけ低い位置にぴったりと着用してください。肩ベルトは確実に肩を通し、腹部を避けて胸部に掛かるように着用してください。

- お子さまにも必ずシートベルトを着用させる。

シートベルト

⚠ 警告

お子さまをひざの上に抱いていると、衝突時などにお子さまを支えることができず、お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

- シートベルトが首や顔に当たるなど、適正な着用ができない小さなお子さまには、チャイルドシートを使用する。

➡ チャイルドシート (P.31)

- 事故などで衝撃を受けたり傷がついたりしたシートベルトは、日産販売会社に点検を依頼する。

一度強い衝撃を受けたシートベルトやベルト部分に傷がついたり破れたりしているシートベルトは、機能を十分に発揮しないことがあります。

⚠ 注意

- シートベルトの清掃にベンジンやガソリンなどの有機溶剤は絶対に使用しない。

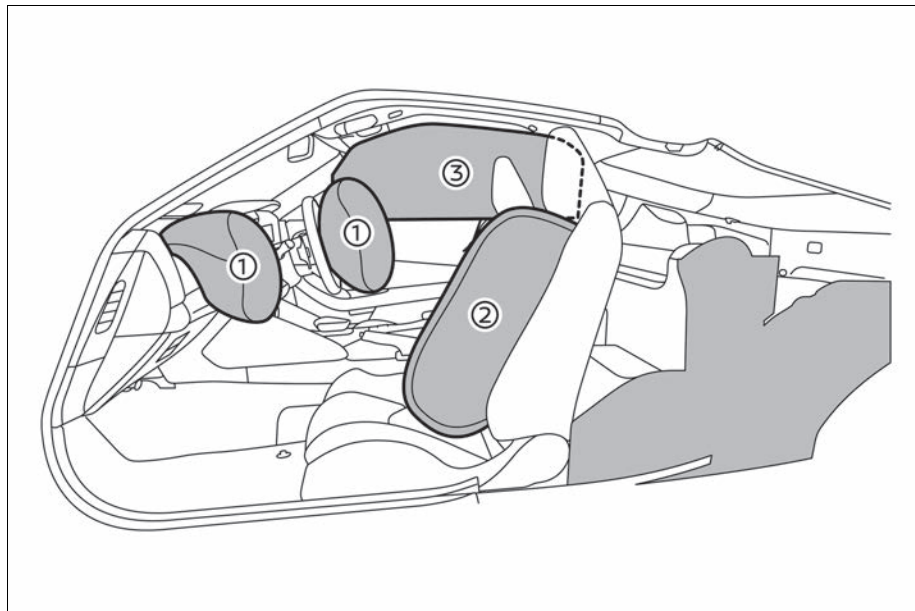
ベルトの性能が落ち、シートベルトが機能を十分に発揮できないことがあります。シートベルトの清掃は中性洗剤かぬるま湯で行い、乾かしてからお使いください。

SRSエアバッグ

SRSエアバッグは乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を受けたときにふくらみ、乗員への衝撃を緩和します。

シートベルトと併用することで安全性を高めるため、シートベルトは必ず着用してください。

SRSエアバッグの種類

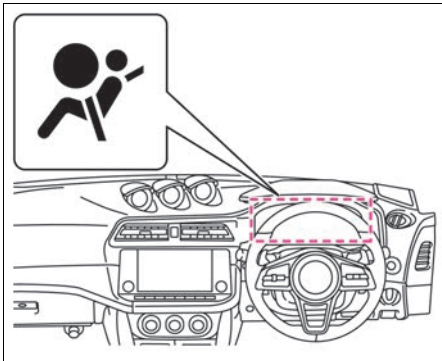


①SRSエアバッグ／②SRSサイドエアバッグ／③SRSカーテンエアバッグ

🚗 アドバイス

- 廃車にするときやSRSエアバッグを廃棄するときは必ず日産販売会社にご相談ください。
- SRSエアバッグは、一度ふくらむと再使用できません。日産販売会社で交換してください。
- SRSエアバッグは高温のガスにより高速でふくらむため、事故の状態によっては、擦過傷、打撲、やけどなどを負うことがあります。
- SRSエアバッグがふくらむとき、作動音や白煙が出ますが火災ではありません。また、発生するガスによりむせることがあります。また、発生するガスによりむせることがあります。また、発生するガスによりむせることがあります。
- SRSとは、「Supplemental Restraint System」の略でシートベルトの補助拘束装置の意味です。

SRSエアバッグの作動



SRSエアバッグは、電源ポジションがONのときに作動可能です。

電源ポジションをONにしたあと、約7秒間はメーター内のSRSエアバッグ警告灯が点灯します。このとき、システムチェックを行うため、SRSエアバッグは作動しません。警告灯が消灯してから走行してください。

SRSエアバッグは、正面衝突や側面衝突で衝撃を受けたときに作動します。ただし、衝撃が車体で吸収または分散され、車両の損傷は大きくても乗員への衝撃が強くないときは、作動しないことがあります。

- 助手席SRSエアバッグ、助手席側のSRSサイドエアバッグおよびSRSカーテンエアバッグは、乗員がいなくても作動します。

SRSエアバッグの注意事項



⚠ 警告

- **SRSエアバッグ警告灯が次の状態のときは走行しない。**

- 電源ポジションをONにした直後、SRSエアバッグ警告灯が約7秒間点灯しないとき（消灯したままのとき）
- SRSエアバッグ警告灯が点灯し続けるとき

SRSエアバッグが正常に作動せず、重大な事故につながるおそれがあります。日産販売会社にご相談ください。

- **正しい姿勢でシートベルトを正しく着用する。**

SRSエアバッグはシートベルトを補助する装置です。SRSエアバッグだけでは、身体の飛び出しなどを防止することはできません。また、SRSエアバッグの効果が発揮されないおそれがあります。

- **助手席には、チャイルドシートを後ろ向きに取り付けない。**

SRSエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。やむをえず助手席に取り付けるときは、シートをできるだけ後ろに下げ、必ず前向きに取り付けてください。

➡ チャイルドシート (P.31)

- **必ず次のことを守る。**

SRSエアバッグが誤って作動したり正常に作動しなくなったりし、重大な傷害につながるおそれがあります。

- SRSエアバッグ格納部を修理するときは、日産販売会社にご相談ください。また、SRSエアバッグ格納部に傷がついているとき、およびひび割れがあるときは、そのまま使用せず日産販売会社で交換してください。運転席・助手席のSRSエアバッグの格納場所は（➡ P.23）をお読みください。SRSサイドエアバッグの格納場所は（➡ P.25）をお読みください。SRSカーテンエアバッグの格納場所は（➡ P.26）をお読みください。

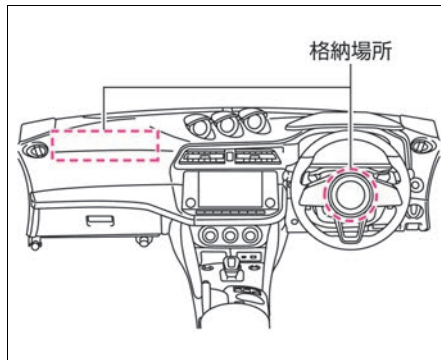
警告

- SRSエアバッグ格納部に過度の衝撃を与えないでください。
 - 電気テスターを使用したSRSエアバッグの回路診断、または回路を変更しないでください。
 - エアロパーツなどの取り付けや、サスペンションを改造するときは、日産販売会社にご相談ください。不適正な改造をすると衝撃を正しく検知できません。
- **SRSエアバッグが作動したときは、30分経過するまでエアバッグに触らない。**
高温になるため、やけどをするおそれがあります。
 - **SRSエアバッグ作動時の残留物（カス）などが目や皮膚に付着したときは、できるだけ早く水で洗い流す。**
皮膚の弱い方などは、まれに皮膚に刺激を感じることがあります。

SRSエアバッグ（運転席／助手席）

車両前方から強い衝撃を受けたときSRSエアバッグが瞬時にふくらみ、乗員の頭部にかかる衝撃を緩和します。

格納場所



運転席SRSエアバッグは、ハンドル部に格納されています。
助手席SRSエアバッグは、助手席側インストルメントパネル部に格納されています。

SRSエアバッグが作動するとき

- 次のような衝撃が強いときに作動します。
 - 25km/h以上の速度で厚いコンクリートのような壁に正面衝突したとき
 - 車両前方左右、約30°以内の方向から強い衝撃（上記と同等）を受けたとき
- 次のような車両下部に強い衝撃を受けたときも作動することがあります。（車両の損傷は少なくとも乗員への衝撃は強いとき）
 - 高速で縁石などに衝突したとき
 - 深い穴や溝に落ち込んだとき
 - ジャンプして地面にぶつかったとき

- 助手席SRSエアバッグが作動した衝撃でフロントガラスが割れることがあります。
- 運転席、助手席SRSエアバッグはふくらんだあとすぐにしぼむので、視界の妨げになることはありません。

知識

- エアバッグが作動したときは、自動で先進事故自動通報システム（**⑤** P.194）が作動します。

SRSエアバッグが作動しにくいとき

次のような衝撃が弱いときは作動しないことがあります。

- 停車している同クラスの車に約50km/h以下の速度で衝突したとき
- 衝突時に折れない電柱などに約30km/h以下の速度で正面衝突したとき
- トラックなどの荷台の下にもぐり込んだようなとき
- 斜め前方からガードレールなどに衝突したとき

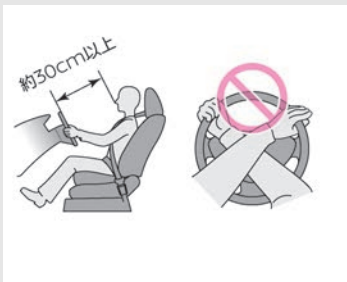
SRSエアバッグが作動しないとき

一度、SRSエアバッグが作動したあとに衝突しても作動しません。また、次のようなときは作動しません。

- 横方向や後ろから衝突されたとき
- 横転、転覆したとき

SRSエアバッグの注意事項

⚠ 警告



- **SRSエアバッグ格納部に身体を近づけない。また、内がけでのハンドル操作はしない。**

ハンドルから顔をできるだけ（約30cm以上）離し、ハンドルにもたれかかるなど、手や顔、胸などを不必要に近づけないでください。SRSエアバッグ作動時に強い衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。

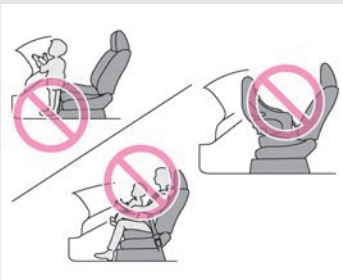


- **不適正なハンドルに交換したり、SRSエアバッグ格納部にステッカーなどを貼ったりしない。**

SRSエアバッグ作動時に正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

- **フロントガラスにアクセサリなどを付けけない。**

SRSエアバッグ作動時に重大な傷害につながるおそれがあります。



- **SRSエアバッグ格納部に身体を近づけない。また、お子さまを近づかせない。**

SRSエアバッグ作動時に強い衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。

SRSエアバッグ格納部に手や足を置いたり、顔や胸などを不必要に近づけたりしないでください。また、お子さまをSRSエアバッグ格納部の前に立たせたり、ひざの上に抱いたりせず、チャイルドシートに乗せてください。

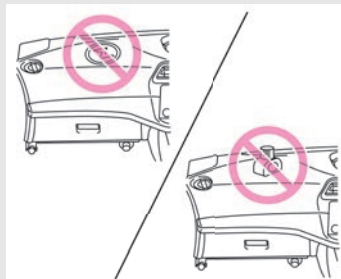
- **チャイルドシートは前向きに取り付ける。**

SRSエアバッグ作動時に重大な傷害につながるおそれがあります。

やむをえず助手席シートに取り付けるときは、シートをできるだけ後ろに下げ、必ず前向きに取り付けてください。

- **チャイルドシートは走行する前に確実に固定されていることを確認する。**

固定方法および取り扱いかたは、チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってください。



⚠ 警告

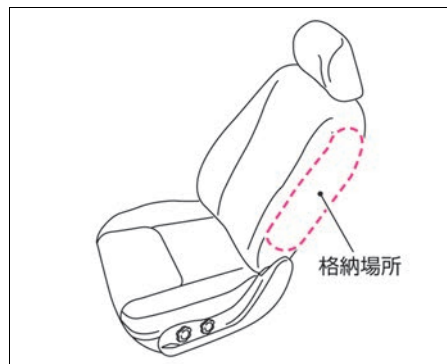
- **SRSエアバッグ格納部およびその周辺にステッカーなどを貼ったり、アクセサリーや芳香剤などを置いたりしない。**

SRSエアバッグ作動時に重大な傷害につながるおそれがあります。

SRSサイドエアバッグ

車両側面から強い衝撃を受けたとき、衝撃を受けた側のSRSサイドエアバッグが瞬時にふくらみ、乗員の主に胸部にかかる衝撃を緩和します。

格納場所



SRSサイドエアバッグは、運転席、助手席ともにシート背もたれ側面（外側）に格納されています。

SRSサイドエアバッグが作動するとき

次のような衝撃が強いときに作動します。

- 一般的な乗用車に25km/h以上の速度で側面に真横から衝突されたとき

📖 知識

- エアバッグが作動したときは、自動で先進事故自動通報システム（**⑤P.194**）が作動します。

SRSサイドエアバッグが作動しにくいとき

次のような衝撃が弱いときは作動しないことがあります。

- 側面に斜め方向から衝突されたとき
- 側面にバイクが真横から衝突したとき
- エンジンルーム（ラゲッジルーム）に衝突されたとき
- 横転、転覆したとき
- 斜め前方から衝突したとき
- 電柱などに衝突したとき

SRSサイドエアバッグが作動しないとき

一度、SRSエアバッグが作動したあとに衝突しても作動しません。また、次のようなときは作動しません。

- 停車中や走行中の車に正面衝突したとき
- 後ろから衝突されたとき

SRSサイドエアバッグの注意事項

⚠ 警告

- **SRSサイドエアバッグの格納部に近づかない。**

ドアにもたれるなど、シートの背もたれ側面（外側）に近づかないでください。特にお子さまが窓から腕を出したり、シートの背もたれを抱えたりしないように注意してください。万一のとき重大な傷害を受けるおそれがあります。

- **SRSサイドエアバッグ格納部付近に傘やカバンなどを置かない。**
- **シートカバーは、フロントシート背もたれ側面を覆わないものを使用する。**

SRSサイドエアバッグが正しく作動しないおそれがあります。

⚠ 注意

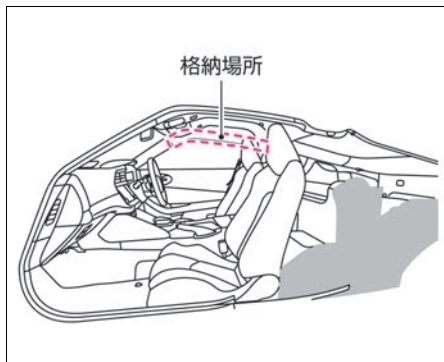
- **ドアをガラスが割れるほど強く閉めない。**

SRSサイドエアバッグが誤作動するおそれがあります。

SRSカーテンエアバッグ

車両側面から強い衝撃を受けたとき、衝撃を受けた側のSRSカーテンエアバッグが瞬時にふくらみ、乗員の主に頭部にかかる衝撃を緩和します。

格納場所



SRSカーテンエアバッグは、運転席側、助手席側ともに窓側の天井部に格納されています。

SRSカーテンエアバッグが作動するとき

次のような衝撃が強いときに作動します。

- 一般的な乗用車に25km/h以上の速度で側面に真横から衝突されたとき

知識

- エアバッグが作動したときは、自動で先進事故自動通報システム（☎P.194）が作動します。

SRSカーテンエアバッグが作動しないとき

次のような衝撃が弱いときは作動しないことがあります。

- 側面に斜め方向から衝突されたとき
- 側面にバイクが真横から衝突したとき
- エンジンルーム（ラゲッジルーム）に衝突されたとき
- 横転、転覆したとき
- 斜め前方から衝突したとき
- 電柱などに衝突したとき

SRSカーテンエアバッグが作動しないとき

一度、SRSエアバッグが作動したあとに衝突しても作動しません。また、次のようなときは作動しません。

- 停車中や走行中の車に正面衝突したとき
- 後ろから衝突されたとき

SRSカーテンエアバッグの注意事項

警告

- SRSカーテンエアバッグの格納部に近づかない。
万一のとき重大な傷害を受けるおそれがあります。
- センターピラー（ロックピラー）まわり、ルーフサイド部などのSRSカーテンエアバッグ格納部付近に、アクセサリーやハンガーなどを取り付けない。

SRSカーテンエアバッグが作動したときに重大な傷害を受けるおそれがあります。

注意

- ドアをガラスが割れるほど強く閉めない。
SRSカーテンエアバッグが誤作動するおそれがあります。

ポップアップエンジンフード

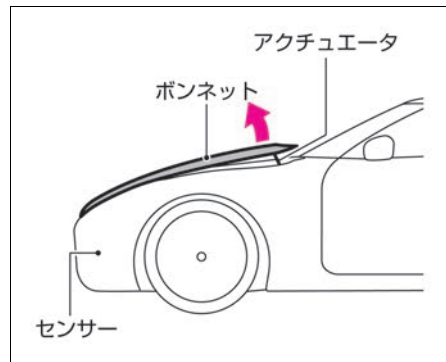
ポップアップエンジンフード

歩行者と衝突したときにボンネットの後端を瞬時に持ち上げ、ボンネット下の部品との空間を広く保つことで、歩行者の頭部がボンネットへ衝突したときの衝撃を緩和します。

ポップアップエンジンフードについて

⚠ 注意

- ポップアップエンジンフードが作動した直後は、アクチュエータが高温になるため触れない。
やけどをするおそれがあります。



- 衝突によりセンサーがある一定以上の衝撃を感知すると、システムが作動し、アクチュエータによりボンネットの後端を瞬時に持ち上げります。
- 電源ポジションがONのとき作動します。

☆／★：車両型式、オプションなどで異なる装備

ポップアップエンジンフードが作動するとき

⚠ 警告

- ポップアップエンジンフードが作動したときは、ボンネットオープナーを引かない。

ボンネットオープナーを引くと、さらにボンネットが上がり視界の妨げとなるため危険です。また、ボンネットを無理に押し戻さないでください。作動したボンネットは手動で下げることができないため、ボンネットが変形したり、思わぬケガをするおそれがあります。ポップアップエンジンフードが作動したときは、必ず日産販売会社にご相談ください。

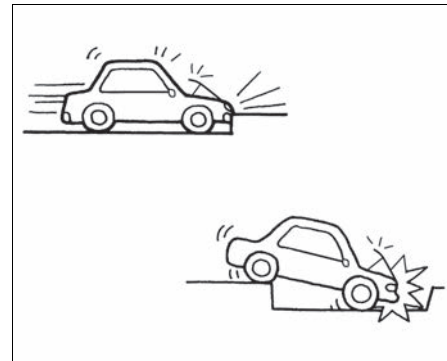
🚗 アドバイス

- ポップアップエンジンフードは、一度作動すると再使用できません。日産販売会社で交換してください。

次のような衝撃を受けたときに作動します。

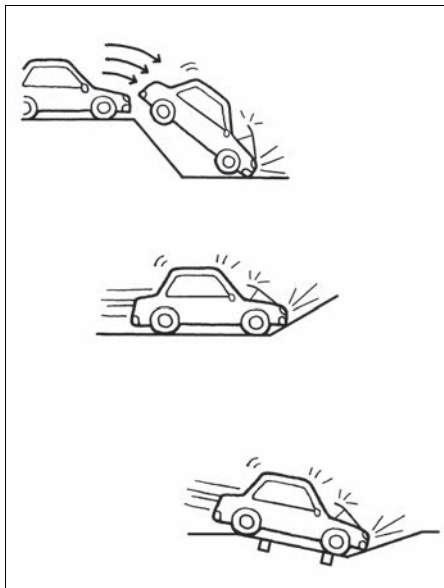
- 約20～60km/hの間で走行中、フロントバンパーに歩行者と同等、もしくはそれ以上の衝撃を受けたとき
(衝突したときにフロントバンパーに痕跡が残らないような場合でも、ある一定のレベルを超えた衝撃が加われば作動します。また、軽い物・小動物・雪のかたまりや他の小さな物体でも、衝突の状況、速度によっては作動することがあります。)

次のような車両下部やバンパー下部に衝撃を受けたときも作動することがありますので、車両下部やバンパー下部に衝撃を受けそうな路面を走行するときは速度を落とし注意して走行してください。



- 縁石に衝突したとき
- 深い溝や穴に落ち込んだとき

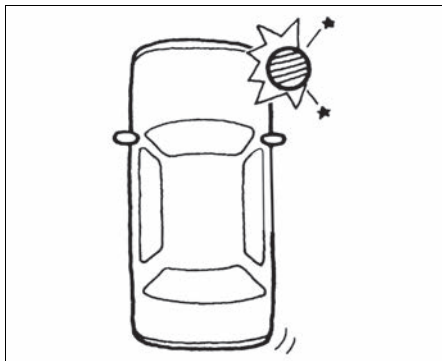
ポップアップエンジンフード



- ジャンプして地面にぶつかったとき
- 駐車場のスロープや落下物などにフロントバンパーをぶつけたとき
- 踏み切りなどのうねりのある路面にフロントバンパーをぶつけたとき

ポップアップエンジンフードが作動しにくいとき

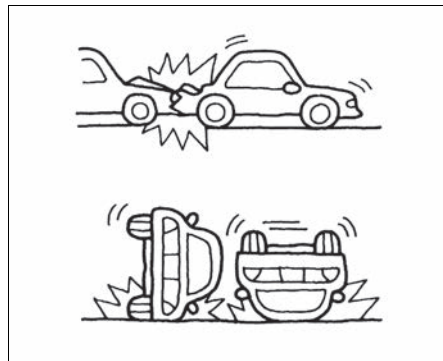
次のような場所に衝突したときは衝撃を感知しにくいいため、作動しないことがあります。



- 走行中、フロントバンパーの左右の角や側面に歩行者がぶつかったとき
- 車両が横滑りするなどして、車速が正しく検知できないとき

ポップアップエンジンフードが作動しないとき

一度、ポップアップエンジンフードが作動したあとに衝突しても作動しません。また、次のようなときにも作動しません。



- ポップアップエンジンフードが作動する速度の範囲外で走行中フロントバンパーに衝撃を受けたとき
- 横方向や後ろから衝撃を受けたとき
- 横転、転覆したとき

ポップアップエンジンフードの注意事項

⚠ 警告

- フロントバンパーに衝撃が加わったときは、必ず日産販売会社に相談する。
ポップアップエンジンフードが作動しなくてもセンサーが故障している可能性があるため、必ず日産販売会社にご相談ください。
- 警告灯が消灯してから走行する。

ポップアップエンジンフード

⚠ 警告

電源ポジションをON後、約7秒間はメーター内のポップアップエンジンフード警告灯〔〕が点灯します。その間はシステムチェックを行うため、ポップアップエンジンフードは作動しません。

⚠ 注意

- ポップアップエンジンフードの部品や配線を修理したり、電気テスターを使ってシステムの回路診断をしない。

誤って作動したり、正常に作動しなくなるおそれがあります。

- フロントバンパーの交換やエアロパーツの取り付けなどを行うときは、日産販売会社に相談する。

不適正な改造をすると衝撃を正しく検知できません。

- 不適正なボンネットに交換しない。

正常に作動しなくなるおそれがあります。

- 廃車にするときやポップアップエンジンフードのアクチュエータを破棄するときは、必ず日産販売会社に相談する。

アクチュエータの作動により、思わぬ傷害を受けるおそれがあります。

お子さまの安全のために

お子さまを乗せるときに注意すること

お子さまを乗せるときは、次のことに注意してください。

⚠ 警告

お子さまにもシートベルトを着用する

- お子さまにも必ずシートベルトを着用させる。

お子さまをひざの上に抱いていると、衝突時などにお子さまを支えることができず、お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

➡ 3点式シートベルト (P.18)

小さなお子さまにはチャイルドシートを使用する

- シートベルトが首や顔に当たるなど、適正な着用ができない小さなお子さまには、チャイルドシートを使用する。

➡ チャイルドシート (P.31)

チャイルドシートは前向きに取り付ける

- チャイルドシートは走行する前に確実に固定されていることを確認する。

固定方法および取り扱いかたは、チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってください。



- 助手席には、チャイルドシートを後ろ向きに取り付けない。

SRSエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。やむをえず助手席に取り付けるときは、シートをできるだけ後ろに下げ、必ず前向きに取り付けてください。

- チャイルドシートは使用していないときでもシートにしっかりと固定するか、ラゲッジルーム（荷室）などに収納する。

車室内に放置したままにすると、急ブレーキ時などに思わぬ事故につながるおそれがあります。

ドア、ウィンドーなどは大人が操作する

- ドアやウィンドーなどの開閉は、お子さまには操作させない。

開閉時に手、首、足などを挟んだりして、重大な傷害につながるおそれがあります。

- <パワーウィンドーロックスイッチ> (➡ P.101) を使用し、お子さまが操作できないようにしてください。

窓から手や顔を出さない

- お子さまが腕や顔を出さないように注意する。

急ブレーキ時に窓枠などにぶつかったり、車外の障害物に当たったりして、重大な傷害につながるおそれがあります。

車室内にお子さまだけを残さない

- 車から離れるときは、必ずお子さまと一緒に降ろす。

炎天下では車室内が高温になり、生命にかかわるおそれがあり危険です。

- お子さまのいたすらで車の発進、火災など、思わぬ事故につながるおそれがあります。

お子さまの安全のために

チャイルドシート

お子さまの年齢や体格にあわせたチャイルドシートを選択し、車両に適切に取り付けてください。

警告



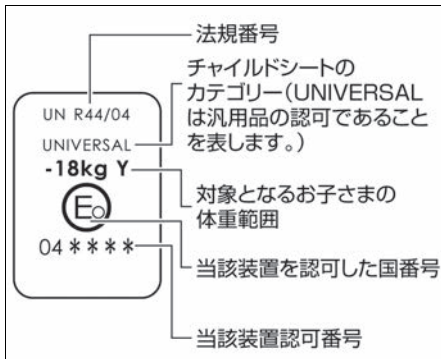
① エアバッグ警告ラベル



- 助手席には、チャイルドシートを後ろ向きに取り付けない。

SRSエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。やむをえず助手席に取り付けるときは、シートをできるだけ後ろに下げ、必ず前向きに取り付けてください。

チャイルドシートについて



チャイルドシートのカテゴリー (universalは汎用品の認可であることを表します。)



- 乳児用チャイルドシート、チャイルドシート、ジュニアチャイルドシートを総称してチャイルドシートと呼んでいます。
- UN R44またはR129はチャイルドシートに関する国際法です。UN R44またはR129の基準に適合した汎用 (ユニバー

サル) チャイルドシートには、認可マークが貼られています。

- チャイルドシートの固定方法および取り扱いかたは、チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってください。
- この車はUN R44またはR129の基準に適合した、日産純正チャイルドシートを取り付けることができます。

チャイルドシートの選びかた

この車両には、シートベルトで取り付けるチャイルドシートと、ISO FIX対応チャイルドシート (シートベルト固定装着のみ) を取り付けることができます。

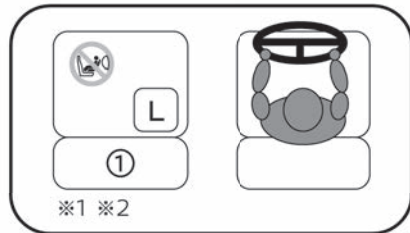
■ シートベルト固定タイプのチャイルドシート

シートベルトを使ってチャイルドシートを固定します。

- ➡ シートベルト固定タイプのチャイルドシートの取り付けかた (P.35)

使用できるチャイルドシートについて

選択の目安



凡例

マーク	説明
	後ろ向きのチャイルドシート取り付け禁止
	添付リストに記載されたチャイルドシートに適している

※1：ヘッドレストとチャイルドシートが干渉してチャイルドシートが正しく取り付けられない場合、ヘッドレストを取り外してください。取り外しができない場合は、ヘッドレストを一番上の位置まで上げてください。（NISMO仕様車以外）

※2：チャイルドシートを装着する際は、シートを最も後方へスライドさせてください。

幼児拘束装置メーカーに関する詳細情報

シート位置番号	助手席	
	①	
	NISMO仕様車以外	NISMO仕様車
汎用ベルト式に適する着席位置 (○/×)	×	×
ISO FIX着席位置 (○/×)	×	×
横向き固定具に適する着席位置 (L1/L2)	-	-
適する最大の後ろ向き固定具 (R1/R2/R2X/R3)	-	-
適する最大の前向き固定具 (F2/F2X/F3)	-	-
適する最大のブースタ固定具 (B2/B3)	-	-

お子さまの安全のために

■ 推奨チャイルドシート

日産自動車が推奨するチャイルドシートです。詳しくは日産販売会社にご相談ください。

年齢 (目安)	体重 (目安)	身長 (目安)	推奨チャイルドシート	座席位置	
				①	
				NISMO仕様車以外	NISMO仕様車
0-18か月	<13kg	<100cm	日産i-Sizeチャイルドシート (後向き)	×	×
9か月-4歳	9-18kg	76-100cm	日産i-Sizeチャイルドシート (後向き)	×	×
4-6歳	15-25kg	100-125cm	日産ジュニアシートevo (前向き)	○ (ベルト取付のみ)	○ (ベルト取付のみ)
6-12歳	22-36kg	125-150cm	日産ジュニアシートevo (前向き)	○ (ベルト取付のみ)	○ (ベルト取付のみ)

チャイルドシートがヘッドレストに干渉し安定して取り付けられない場合は、一番上に調整してください。上げても安定しない場合には取り外してください。

シートベルト固定タイプのチャイルドシートの取り付けかた

⚠ 警告

- チャイルドシートが確実に固定されていることを確認する。

確実に固定されていないと、急ブレーキや衝突などでチャイルドシートが飛び出し、重大な傷害を受けるおそれがあります。必ずチャイルドシートに付属の取扱説明書に従って取り付けてください。

1. ヘッドレスト★を外し（ヘッドレストとチャイルドシートが干渉してチャイルドシートを正しく取り付けられない場合）、チャイルドシートを座席に置きます。
シートベルトをチャイルドシートに通し、タングをバックルに“カチッ”と音がするまで確実に差し込みます。
➡ ヘッドレストの調節のしかた★
(P.97)



2. チャイルドシートに付属の取扱説明書に従って固定します。
チャイルドシートを前後左右にゆすり、しっかり固定されていることを確認します。



イモビライザー（盗難防止装置）

イモビライザー（盗難防止装置）について

車両の盗難に対する防御性能を高めるために、あらかじめ登録されているインテリジェントキー以外での始動を禁止するシステムです。

- イモビライザーが働いているときは、セキュリティインジケータ [] (P.52) が点滅します。
- 電源ポジションをONにしたときにセキュリティインジケータが点灯し続ける場合は、システムの異常が考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。
- キーに登録された信号は、キーごとに異なります。
- エンジンが始動できない場合は、一度電源ポジションをOFFにして、5秒以上経過してから再始動してください。
- 上記の操作を行ってもエンジンが始動できない場合は、日産販売会社で点検を受けてください。

計器類

各部名称（ノーマル表示）	P.38
各部名称（エンハンス表示）	P.39
各部名称（スポーツ表示）	P.40
メーター	P.41
3連サブメーター	P.45

警告灯・表示灯

警告灯の表示位置（ノーマル表示）	P.46
警告灯の表示位置（エンハンス表示）	P.47
警告灯の表示位置（スポーツ表示）	P.48
表示灯の表示位置（ノーマル表示）	P.49
表示灯の表示位置（エンハンス表示）	P.50
表示灯の表示位置（スポーツ表示）	P.51
表示灯がついたときは	P.52

アドバンスドドライブアシストディスプレイ

アドバンスドドライブアシストディスプレイとは （メインメニュー）	P.54
車両情報画面	P.55
アドバンスドドライブアシストディスプレイとは （ショートカットメニュー）	P.63
各種設定画面	P.71
その他の表示機能	P.79

メーターの明るさの調節

イルミネーションコントロール	P.81
----------------	------

各部名称（ノーマル表示）

電源ポジションをONにすると、計器類が表示されます。電源ポジションがONのとき、ステアリングスイッチの<  > スイッチで「メーター画面モード変更」を選択し、<OK>スイッチを押すと表示画面が切り替わります。なおメーター表示は、ノーマル表示、エンジン表示、スポーツ表示の3種類あります。

パーソナルディスプレイ

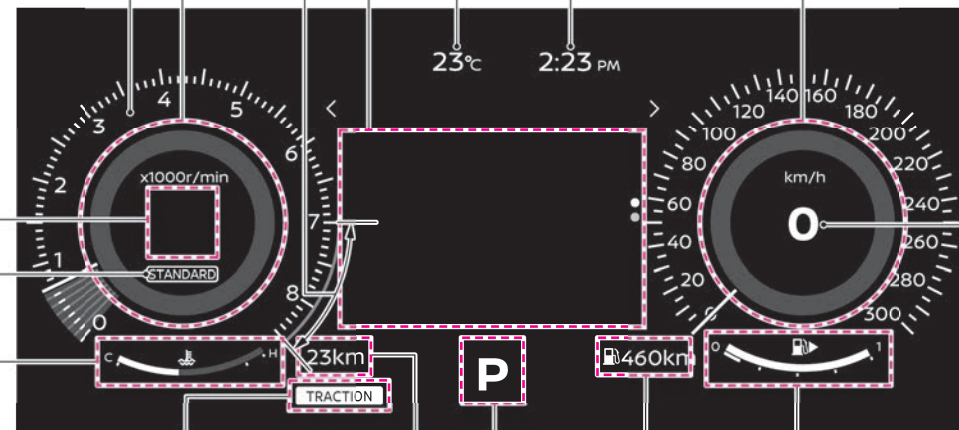
アドバンスドドライブアシストディスプレイ

スピードメーター
(速度計)タコメーター
(エンジン回転計)

レッドゾーン

外気温度表示

時計



水温計

トラクションモードインジケータ
(NISMO仕様車)

P

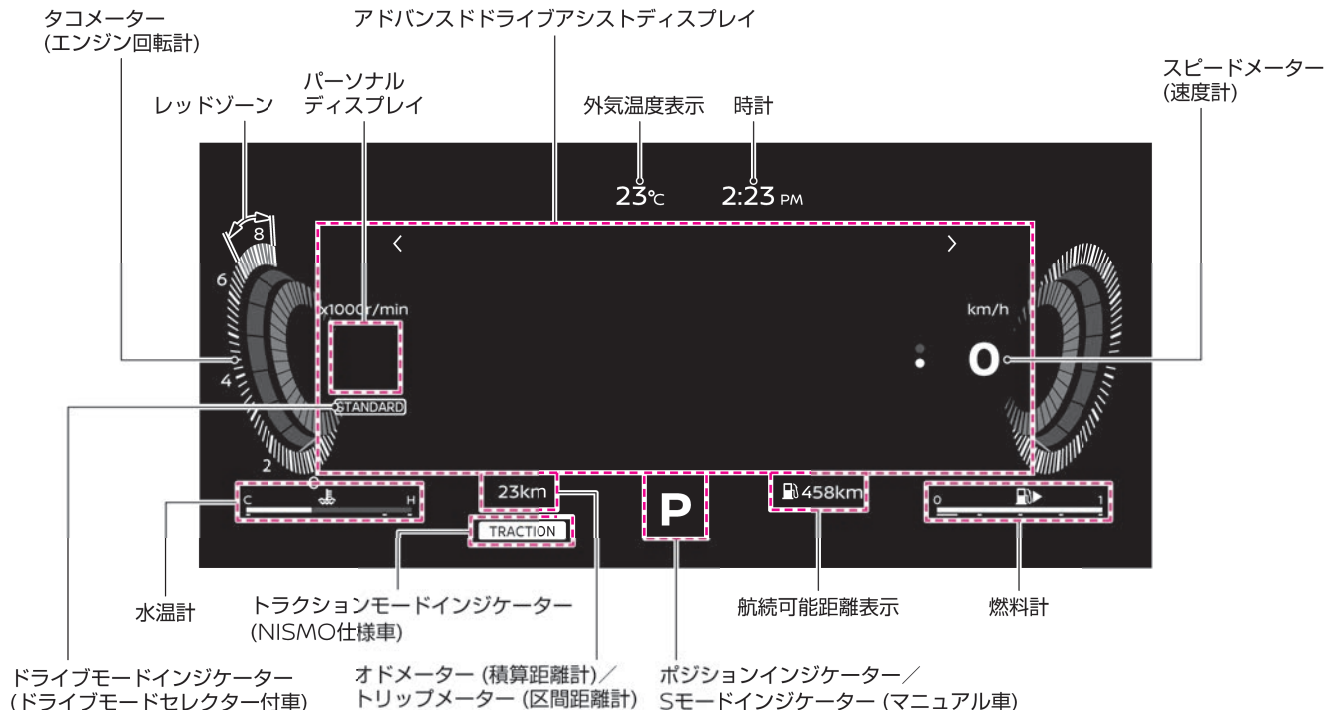
航続可能距離表示

燃料計

ドライブモードインジケータ
(ドライブモードセレクト付車)オドメーター (積算距離計) /
トリップメーター (区間距離計)ポジションインジケータ /
Sモードインジケータ (マニュアル車)

各部名称（エンハンス表示）

電源ポジションをONにすると、計器類が表示されます。電源ポジションがONのとき、ステアリングスイッチの<  > スwitchで「メーター画面モード変更」を選択し、<OK>スイッチを押すと表示画面が切り替わります。なおメーター表示は、ノーマル表示、エンハンス表示、スポーツ表示の3種類あります。



各部名称 (スポーツ表示)

電源ポジションをONにすると、計器類が表示されます。電源ポジションがONのとき、ステアリングスイッチの<  >スイッチで「メーター画面モード変更」を選択し、<OK>スイッチを押すと表示画面が切り替わります。なおメーター表示は、ノーマル表示、エンハンス表示、スポーツ表示の3種類あります。

アドバンスドドライブ
アシストディスプレイ

タコメーター
(エンジン回転計)

スピードメーター
(速度計)

デファレンシャル油温計/
トランスミッション油温計/
アクセル開度

ポジションインジケータ／
Sモードインジケータ (マニュアル車)

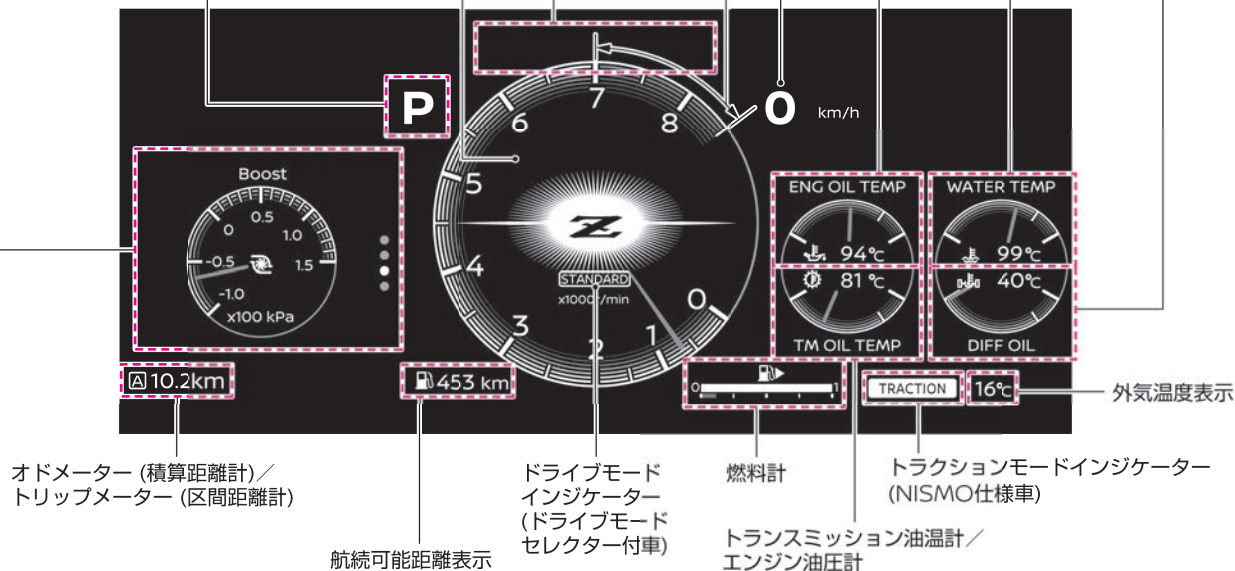
シフトアップ
インジケータ

レッド
ゾーン

エンジン油温計

エンジン水温計

メーターの見た



計器類

メーター

メーターには、スピードメーター（速度計）、燃料計、ポジションインジケーターなどがあります。電源ポジションをONにすると表示します。

スピードメーター（速度計）

- 走行速度を表示します。

タコメーター（エンジン回転計）

1分間あたりのエンジン回転数を表示します。

🚗 アドバイス

- レッドゾーン（赤色表示部）ではエンジンが過回転となり故障の原因になります。レッドゾーンに入らないように運転してください。

水温計

エンジン冷却水の温度を表示します。

⚠ 警告

- オーバーヒートを示したときは、ただちに安全な場所に車を停めて処置をする。

そのまま走行を続けると、エンジン故障の原因となり、火災につながるおそれがあります。

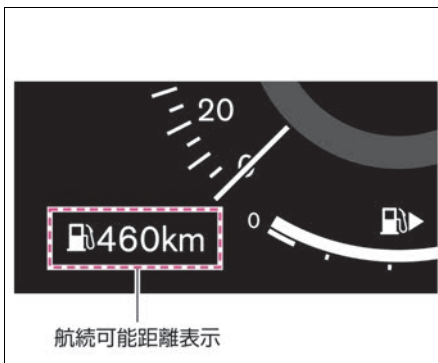
詳しくは、オーバーヒートしたときは（➡ P.245）をお読みください。

燃料計

燃料の残量を表示します。

- 燃料タンクの容量は約62ℓです。
- 🛢の矢印は燃料補給口が運転席側にあることを示しています。
- 坂道やカーブなどでは、タンク内の燃料が移動するため、正しく表示されない場合があります。燃料が少なくなってきたら、早めの給油を心がけてください。
- 燃料残量表示が赤線付近の位置になると、燃料残量警告灯 [🛢] が白色から黄色になります。

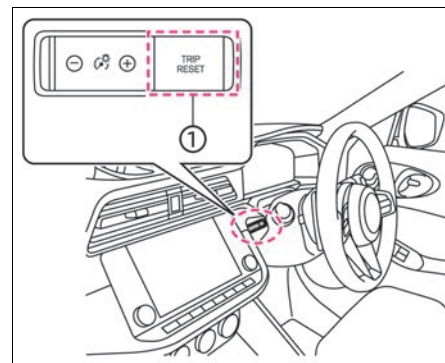
航続可能距離表示



- 残っている燃料で航続可能な距離を表示しています。
- 燃料残量警告が表示されたあとも燃料を補給しないと [----] と表示します。

- 外気温が極端に低いときや、長い上り坂を走行した直後は、表示される距離が大幅に減少することがあります。

オドメーター（積算距離計）／トリップメーター（区間距離計）



- <トリップ切り替えスイッチ>①を押すごとに、オドメーター⇒トリップメーター [A] ⇒トリップメーター [B] ⇒オドメーターの順に切り替わります。

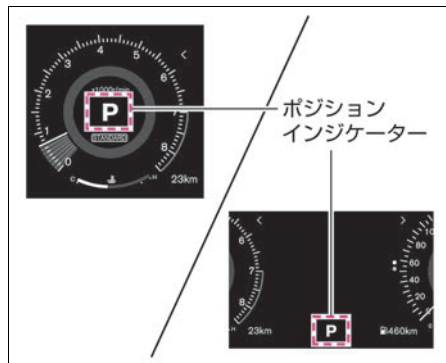
オドメーター（積算距離計）

- 総走行距離をkmで表示します。

トリップメーター（区間距離計）

- リセットしてからの走行距離をkmで表示します。[A] と [B] でそれぞれ使い分けることができます。
- リセットするときは0にしたいほうを表示させ、<トリップ切り替えスイッチ>を1秒以上押します。
- バッテリーを外したときは、トリップメーターの [A] と [B] の記憶が消去され0に戻ります。

ポジションインジケーター



- シフトポジションを表示します。

➡ セレクトレバーの操作 (P.115)

ー 適正な位置からずれていると、ポジションインジケーターが点滅します。

- パーソナルディスプレイでシフトポジションを選択しているときは、パーソナルディスプレイ側にポジションインジケーターが表示されます。

🚗 アドバイス

- バッテリー電圧低下、およびバッテリーあがりにより電気部品への電源供給が停止されると、ポジションインジケーターが消灯する場合があります。その場合は<P>スイッチを押してシフトポジションをPにしてください。

Sモードインジケーター（マニュアル車）

- <Sモードスイッチ>をONにすると、Sモードを示すSと設定したシフトポジションの位置を表示します。
シンクロレブコントロール (➡ P.121)

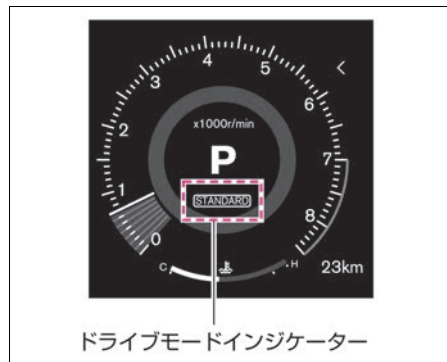
トラクションモードインジケーター（NISMO仕様車）



- トラクションモードをONにすると表示します。

➡ VDCの切り替えかた (P.136)

ドライブモードインジケーター (ドライブモードセレクター付車)



- 現在選択されているドライブモードが表示されます。ドライブモードは次のモードがあります。

- [SPORT+] (NISMO仕様オートマチック車)
- [SPORT]
- [STANDARD]

➡ **ドライブモードセレクター★**
(P.119)

シフトアップインジケーター (スポーツ表示)

- 設定したエンジン回転数に近づくと、シフトアップインジケーターが緑⇒黄⇒赤の順番で点灯、または点滅します。

- 設定したエンジン回転数になるとシフトアップインジケーターが点灯します。
- ➡ シフトアップインジケーターについて (P.122)

パーソナルディスプレイ



- パーソナルディスプレイで設定した項目を表示します。(スポーツ表示を除く) パーソナルディスプレイ (➡ P.71)

時計

- 時刻を表示します。
- ナビゲーションシステムの時計と連動しており、時刻は自動的に調整されます。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定 [⚙] ⇒ [時計] ⇒ [時計設定モード] を選択すると、時刻の設定を手動に切り替えることができます。

設定の詳細については時計をお読みください。

➡ アドバンスドドライブアシストディスプレイとは (メインメニュー) (P.54)

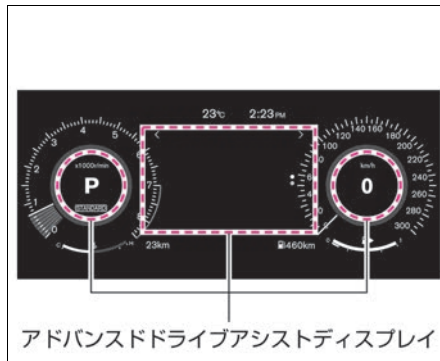
➡ 設定 (各種設定画面) (P.71)

- 時計はバッテリーを接続後しばらく走行すると、自動的に調整されます。
- 時刻の表示は、12時間表示または24時間表示を選択できます。

外気温度表示

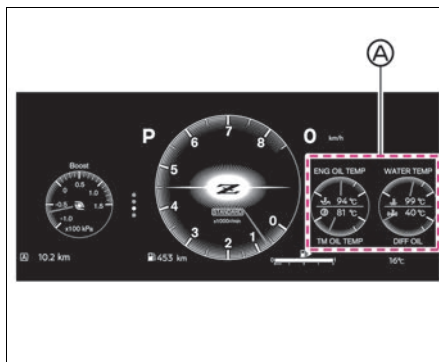
- 外気温を表示します。
- 外気温センサー取り付け部の温度を表示するため、実際の外気温とは異なることがあります。

アドバンスドドライブアシストディスプレイ



- アドバンスドドライブアシストディスプレイで、様々な機能の作動状態を表示したり、設定したりすることができます。アドバンスドドライブアシストディスプレイについては、(➡P.54)をお読みください。

スポーツアシストディスプレイ (スポーツ表示)



- スポーツアシストディスプレイ(A)には、スポーツ走行時に必要な次の情報を表示します。

オートマチック車 (NISMO仕様車以外)

表示①★

エンジン油温計	エンジン水温計
エンジン油圧計	トランスミッション油温計

表示②★

エンジン油温計	エンジン水温計
トランスミッション油温計	デファレンシャル油温計

オートマチック車 (NISMO仕様車)

エンジン油温計	エンジン水温計
トランスミッション油温計	デファレンシャル油温計

マニュアル車 (NISMO仕様車以外)

表示①★

エンジン油温計	エンジン水温計
エンジン油圧計	アクセル開度

表示②★

エンジン油温計	エンジン水温計
エンジン油圧計	デファレンシャル油温計

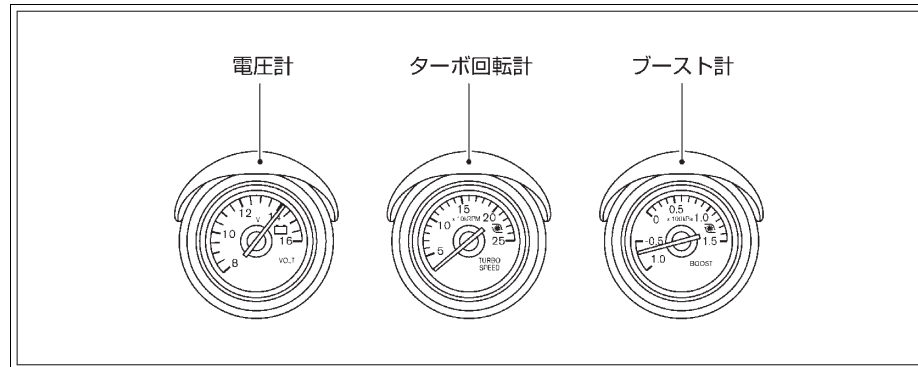
マニュアル車 (NISMO仕様車)

エンジン油温計	エンジン水温計
エンジン油圧計	デファレンシャル油温計

詳しくは、メーター画面モード変更 (➡P.64) をお読みください。

3連サブメーター

3連サブメーターには、電圧計、ターボ回転計、ブースト計があります。電源ポジションをONにすると表示します。



電圧計

⚠ 注意

- 11～15Vを表示しないときは、充電系統の異常が考えられますので、日産販売会社で点検を受けてください。
- バッテリーの電圧を表示します。
- 通常は、11～15Vを表示します。
- エンジン始動時は、11V以下になることがあります。

ターボ回転計

⚠ 注意

- 走行中、メーターの表示が240,000rpmを超える場合、エンジン制御に異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。
- 走行中のターボチャージャーの回転数を表示します。

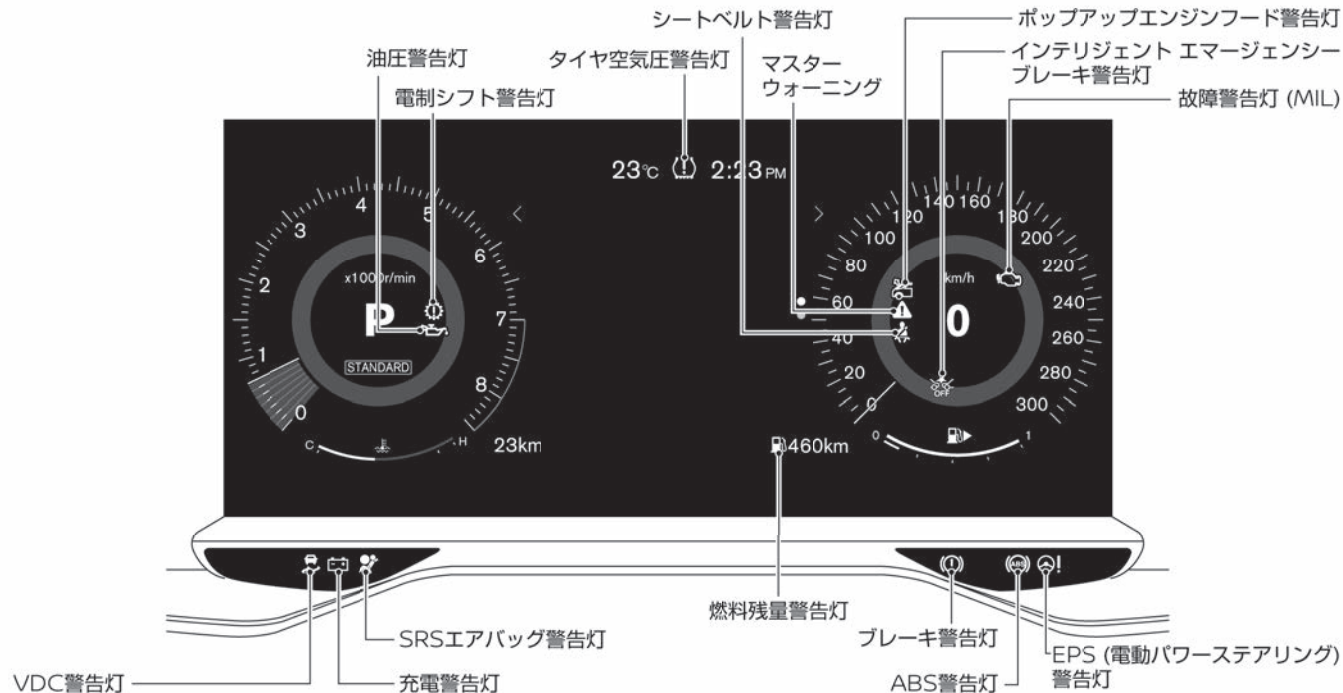
ブースト計

⚠ 注意

- 走行中、メーターの表示が120kPaを超える場合、エンジン制御に異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。
- エンジンの過給圧を表示します。

警告灯の表示位置（ノーマル表示）

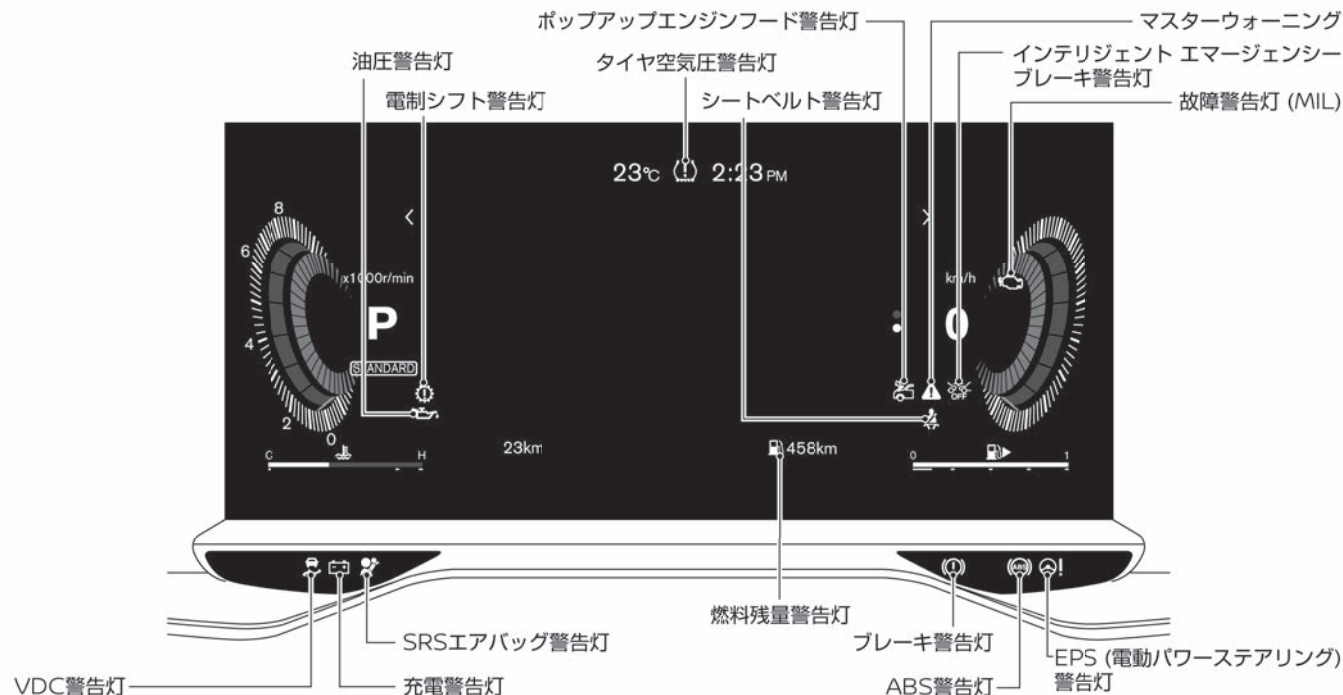
次のイラストは、説明のためすべての警告灯を表示しています。通常は警告すべき事象がおこったときに該当の警告灯のみ点灯または点滅します。



各警告灯については、（➡P.222）をお読みください。

警告灯の表示位置（エンハンス表示）

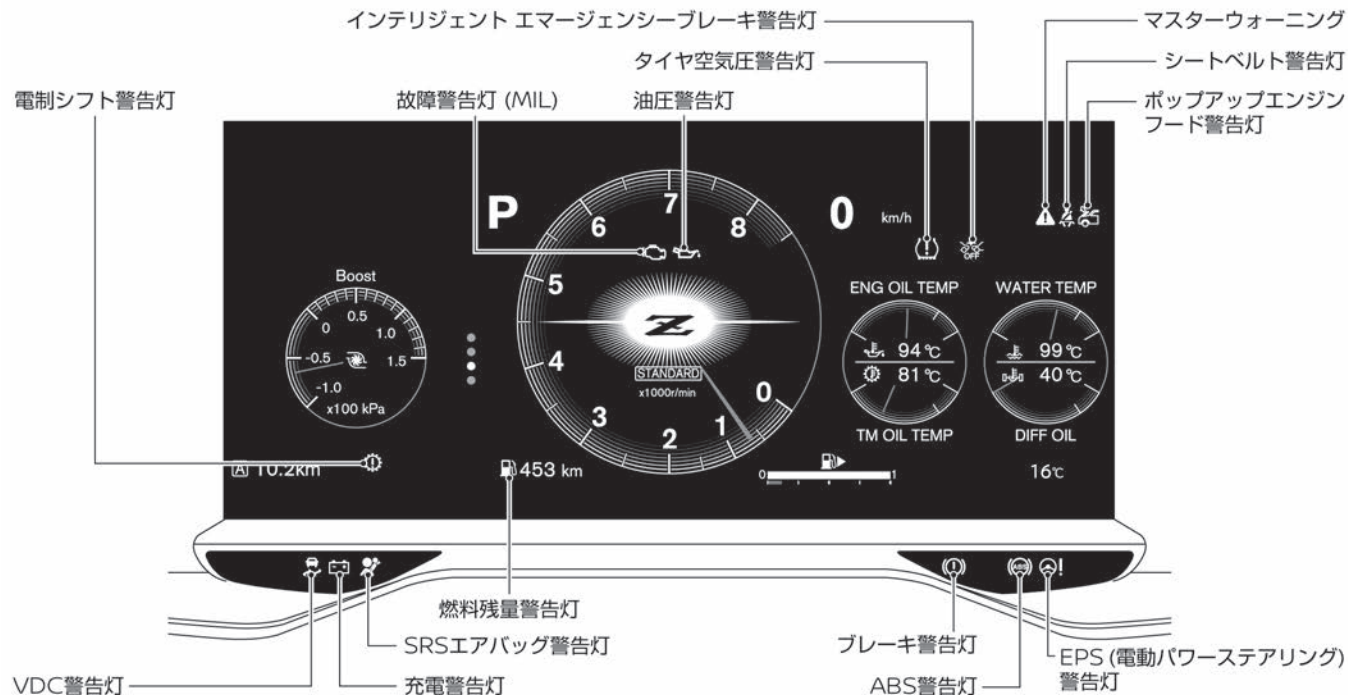
次のイラストは、説明のためすべての警告灯を表示しています。通常は警告すべき事象がおこったときに該当の警告灯のみ点灯または点滅します。



各警告灯については、（➡P.222）をお読みください。

警告灯の表示位置（スポーツ表示）

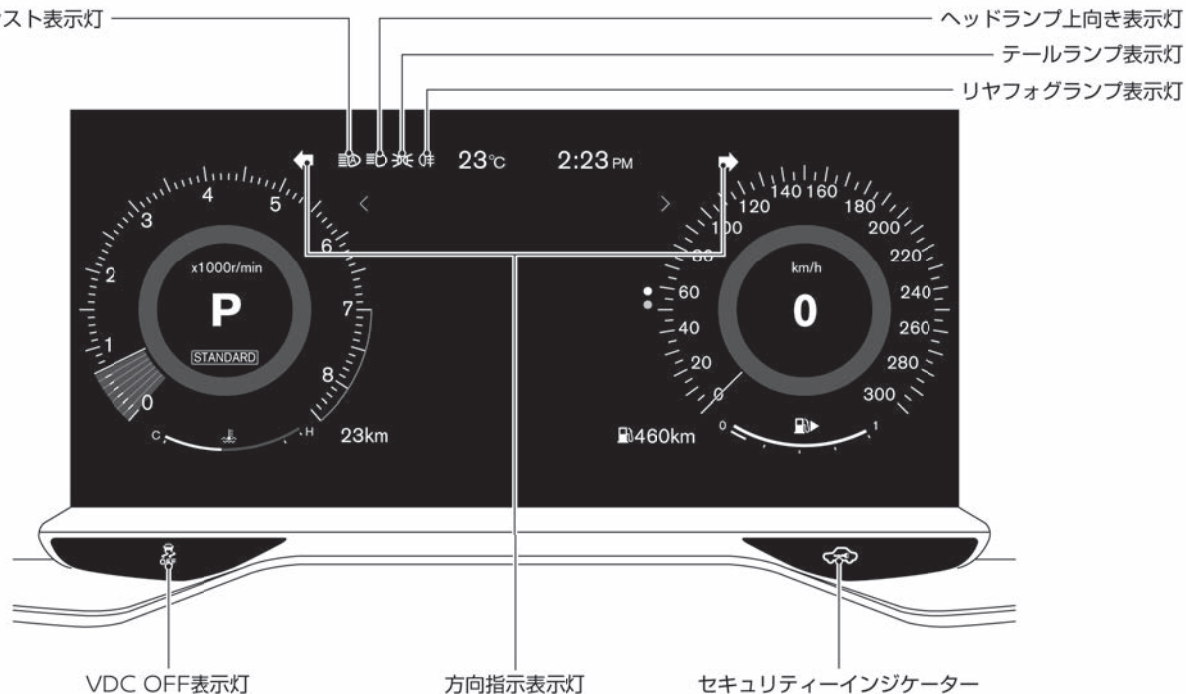
次のイラストは、説明のためすべての警告灯を表示しています。通常は警告すべき事象がおこったときに該当の警告灯のみ点灯または点滅します。



各警告灯については、（➡P.222）をお読みください。

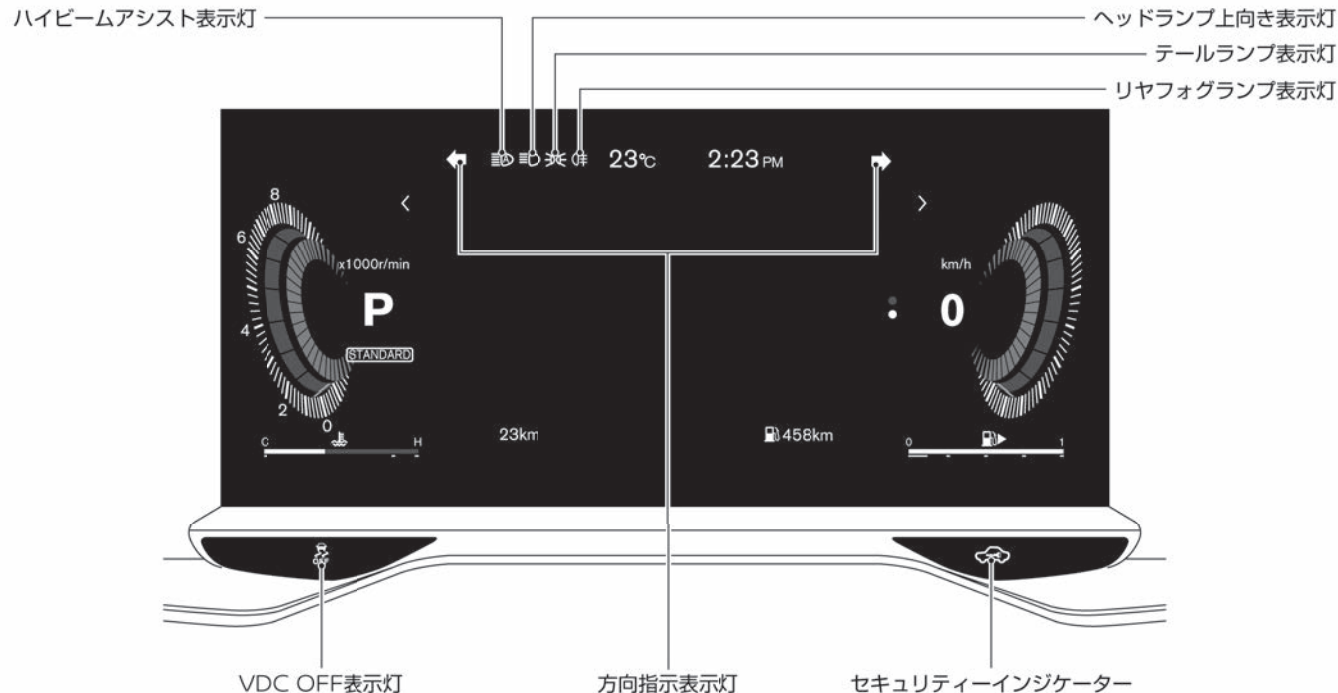
表示灯の表示位置（ノーマル表示）

次のイラストは、説明のためすべての表示灯を表示しています。通常は事象がおこったときに該当の表示灯のみ点灯します。



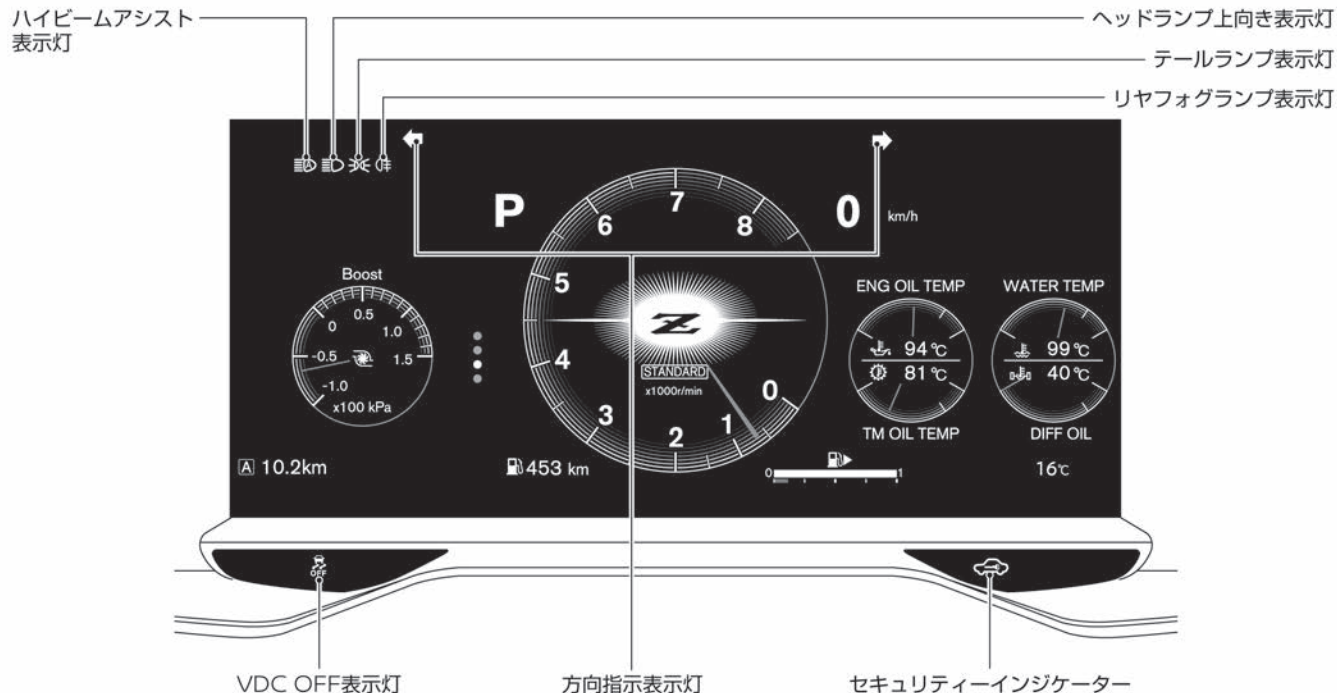
表示灯の表示位置（エンハンス表示）

次のイラストは、説明のためすべての表示灯を表示しています。通常は事象がおこったときに該当の表示灯のみ点灯します。



表示灯の表示位置（スポーツ表示）

次のイラストは、説明のためすべての表示灯を表示しています。通常は事象がおこったときに該当の表示灯のみ点灯します。



表示灯がついたときは

表示灯は、何らかのシステムが作動していることなどをお知らせするものです。点灯している理由は、次の説明をお読みください。メーター内の警告や表示は、グレード、オプションなどにより異なります。

表示灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	方向指示表示灯	● <非常点滅表示灯スイッチ>を押すと左右同時に点滅します。 ● 電源ポジションがONのとき、方向指示器を作動させると、作動させた側のみに点滅します。	● 点滅が速くなった場合は、日産販売会社で点検を受けてください。 ➡ <u>方向指示器の使いかた (P.132)</u>
	ヘッドランプ上向き表示灯	● ヘッドランプのハイビーム（上向き）を点灯させると点灯します。	➡ <u>ハイビーム（上向き）への切り替えかた (P.132)</u>
	テールランプ表示灯	● 車幅灯、尾灯、番号灯を点灯させると点灯します。	➡ <u>ライトスイッチの使いかた (P.128)</u>
	リヤフォグランプ表示灯	● リヤフォグランプを点灯させると点灯します。	➡ <u>リヤフォグランプの使いかた (P.133)</u>
	セキュリティインジケータ	● 電源ポジションがON以外のときに点滅します。 ➡ <u>イモビライザー（盗難防止装置） (P.36)</u>	● 電源ポジションをONにしたあとも点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。
	VDC OFF表示灯	● 電源ポジションをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。 ● 電源ポジションがONのとき、VDCをOFFまたはトラクションモード（NISMO仕様車）をONにしていると点灯します。	➡ <u>VDC（ビークルダイナミクスコントローラ） (P.135)</u>

警告灯・表示灯

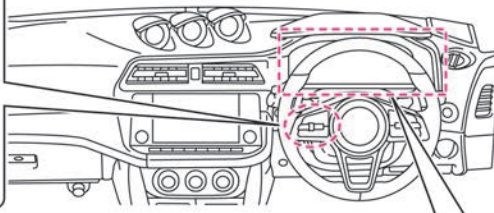
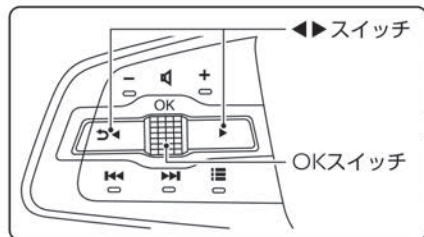
表示灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	ハイビームアシスト 表示灯	● ハイビームアシストをONにすると点灯 します。	➡ <u>ハイビームアシスト (P.130)</u>

アドバンスドライバアシストディスプレイ

アドバンスドライバアシストディスプレイとは（メインメニュー）

アドバンスドライバアシストディスプレイで、様々な機能の作動状態を表示したり、設定したりすることができます。電源ポジションがONのとき、ハンドル左側にある<◀▶>スイッチを押すと、ホーム、エコグループ、車両情報、ナビゲーション情報、オーディオ情報、走行支援グループ、警告、設定の順で表示項目が切り替わります。

車種またはソフトウェア自動更新などにより表示できる項目が異なる場合があります。



・メーター表示はノーマル表示、エンハンス表示、スポーツ表示の3種類あります。イラストはノーマル表示となります。

ホーム ※1※2	エコグループ ※1※2	車両情報 ※1	ナビゲーション 情報※1※2	オーディオ 情報※1	走行支援 グループ※1※2	警告	設定 ※2
 - ホーム - 表示なし	 - ドライブコンピュータ - 燃費情報	 タイヤ空気圧	 - ナビゲーション - マップ表示 - コンパス表示	 オーディオ	 - 運転支援 - クルーズ (CRUISE)	 警告が発生している場合表示されます。	 - 運転支援 - パーソナルディスプレイ - TPMS設定 - 時計 - 車両設定 - メンテナンス - 画面カスタマイズ - 単位/言語 - 工場出荷設定

※1 「メインメニュー選択」で選択した項目を表示します。 ※2 OKスイッチを回すと項目を選択します。

アドバンスドドライブアシストディスプレイ

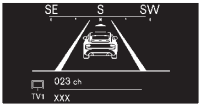
車両情報画面

様々な車両情報を表示したり、各種設定をしたりすることができます。

ホーム

メーター画面モードがノーマル表示、またはエンハンス表示のとき、ステアリングスイッチの<◀▶>スイッチでホーム [] を選択し、<OK>スイッチを回すと項目が切り替わります。ステアリングスイッチの使いかたは（ P.54）をお読みください。

アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定 [] ⇒ [画面カスタマイズ] ⇒ [メインメニュー選択] で選択していると表示します。

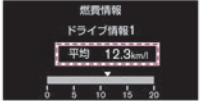
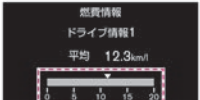
画面表示	項目	概要	詳細説明
	ホーム	● 次の情報を表示します。 - ー オーディオ情報 - ー ナビゲーションシステム情報	● オーディオやナビゲーションシステムの使用状況によって、表示される項目は変わります。
-	表示なし	● アドバンスドドライブアシストディスプレイに何も表示されません。	-

エコグループ

メーター画面モードがノーマル表示、またはエンハンス表示のとき、ステアリングスイッチの<◀▶>スイッチで、エコグループ [P.54] を選択し、<OK>スイッチを回すと項目が切り替わります。ステアリングスイッチの使いかたは (P.54) をお読みください。アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定 [P.54] ⇒ [画面カスタマイズ] ⇒ [メインメニュー選択] で選択していると表示します。

画面表示	項目	概要	詳細説明
 ドライブコンピュータ ドライブ情報1 平均 走行距離/消費 0 km/l 0.0 km 0 km/h 00:24	ドライブコンピュータ	● ドライブコンピュータを表示します。ステアリングスイッチの<OK>スイッチを押すと [ドライブ情報1]、[ドライブ情報2]、[給油後走行情報] の順で画面が切り替わります。 [ドライブ情報1]、[ドライブ情報2] をリセットするときは、リセットしたい画面を表示中にステアリングスイッチの<OK>スイッチを長押しします。その後リセットメニューからリセットする項目を選択し、再度ステアリングスイッチの<OK>スイッチを押します。リセット画面が表示されるので、[はい] を選択し、再度ステアリングスイッチの<OK>スイッチを押すとリセットされます。 画面の切り替えかたについては (P.54) をお読みください。 ● 給油後走行情報は、給油するたびにリセットされます。	● ドライブコンピュータの項目 — 平均燃費 — 平均車速 — 走行距離 — 走行時間 ● ドライブコンピュータの平均燃費をリセットすると、燃費情報の平均燃費もリセットされます。

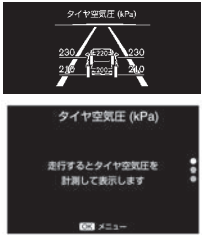
アドバンスドドライブアシストディスプレイ

画面表示	項目	概要	詳細説明
	燃費情報	- リセットしてからの平均燃費を表示します。ステアリングスイッチの<OK>スイッチを押すと【ドライブ情報1】、【ドライブ情報2】、【給油後走行情報】の順で画面が切り替わります。【ドライブ情報1】、【ドライブ情報2】をリセットするときは、リセットしたい画面を表示中にステアリングスイッチの<OK>スイッチを長押しします。その後リセットメニューからリセットする項目を選択し、再度ステアリングスイッチの<OK>スイッチを押します。リセット画面が表示されるので、【はい】を選択し、再度ステアリングスイッチの<OK>スイッチを押すとリセットされます。画面の切り替えかたについては (P.54) をお読みください。 - 給油後走行情報は、給油するたびにリセットされます。	- 平均燃費は、バッテリー交換後やリセット後は「---」と表示します。 - 平均燃費は約30秒ごとに更新します。
		瞬間燃費を表示します。	

車両情報

メーター画面モードがノーマル表示、またはエンハンス表示のとき、ステアリングスイッチの<◀▶>スイッチで車両情報 [🚗] を選択します。ステアリングスイッチの使いかたは (🔍 P.54) をお読みください。

アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定 [⚙️] ⇒ [画面カスタマイズ] ⇒ [メインメニュー選択] で選択していると表示します。

画面表示	項目	概要	詳細説明
	タイヤ空気圧	● 走行中のタイヤ空気圧を表示します。 ● この画面を表示中にステアリングスイッチの<OK>スイッチを押すとTPMS (タイヤ空気圧警報システム) の設定を変更できます。 TPMS設定については (🔍 P.71) 、タイヤ空気圧警報システムについては (🔍 P.262) をお読みください。	● タイヤ空気圧は走行中に計測されるため、電源ポジションをONにしてから25km/h以上で走行しデータを取得するまでは、[走行するとタイヤ空気圧を計測して表示します] というメッセージが表示され、タイヤ空気圧は表示されません。

アドバンスドドライブアシストディスプレイ

ナビゲーション情報

メーター画面モードがノーマル表示、またはエンハンス表示のとき、ステアリングスイッチの<◀▶>スイッチでナビゲーション情報 [A] を選択し、<OK>スイッチを回すと項目が切り替わります。ステアリングスイッチの使いかたは (P.54) をお読みください。アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定 [⚙] ⇒ [画面カスタマイズ] ⇒ [メインメニュー選択] で選択していると表示します。

画面表示	項目	概要	詳細説明
	ナビゲーション	● ナビゲーションシステムで目的地を設定していると、ナビゲーションシステムと連動し、次の右左折までの距離などを表示します。	● ナビゲーションシステムの取り扱いについては、別冊のナビゲーションシステム取扱説明書をお読みください。 ● 目的地を設定していないときは、表示されません。
	マップ表示	● ナビゲーションシステムで目的地を設定していると、ナビゲーションシステムと連動し、ルートガイドを表示します。	
	コンパス表示	● コンパス（車両の進行方位）を表示します。	-

オーディオ情報

メーター画面モードがノーマル表示、またはエンハンス表示のとき、ステアリングスイッチの<◀▶>スイッチでオーディオ情報 [🎵] を選択します。ステアリングスイッチの使いかたは（➡P.54）をお読みください。

アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定 [⚙️] ⇒ [画面カスタマイズ] ⇒ [メインメニュー選択] で選択していると表示します。

画面表示	項目	概要	詳細説明
	オーディオ	● 現在使用中のオーディオ情報を表示します。 ● この画面を表示中に、ステアリングスイッチの<OK>スイッチを押すと、オーディオの種類を切り替えることができます。	● オーディオの取り扱いについては、別冊のナビゲーションシステム取扱説明書をお読みください。

アドバンスドドライブアシストディスプレイ

走行支援グループ（表示項目）

メーター画面モードがノーマル表示、またはエンハンス表示のとき、ステアリングスイッチの<◀▶>スイッチで走行支援グループ〔Ⓔ〕を選択し、<OK>スイッチを回すと項目が切り替わります。ステアリングスイッチの使いかたは（➡P.54）をお読みください。アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定〔⚙〕⇒〔画面カスタマイズ〕⇒〔メインメニュー選択〕で選択していると表示します。

画面表示	項目	概要	詳細説明
	運転支援	● 運転支援システムのON・OFF状態を表示します。 ● この画面を表示中に、ステアリングスイッチの<OK>スイッチを押すと、走行支援システムのメニュー画面を表示し、各システムのON・OFFを設定できます。詳しくは運転支援（➡P.71）の中の該当項目をお読みください。	● 詳しくは、各走行支援システムの説明をお読みください。 ― <u>➡インテリジェント エマージェンシーブレーキ (P.156)</u> ― <u>➡LDW（車線逸脱警報） (P.173)</u> ― <u>➡BSW（後側方車両検知警報） (P.168)</u> ― <u>➡インテリジェント FCW（前方衝突予測警報） (P.175)</u>
	クルーズ （CRUISE）	● インテリジェント クルーズコントロールの作動状態を表示します。ステアリングスイッチの<メインスイッチ>を押すと、運転支援画面を表示してから数秒後にインテリジェント クルーズコントロール画面に切り替わります。	● インテリジェント クルーズコントロールについては、（➡P.144）をお読みください。

警告

警告について

- 異常を検知するとマスターウォーニング [] が点灯し、アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告を表示します。警告を一時的に消すときは、<OK>スイッチを押します。
- 警告が表示されたときは、すみやかに適切な処置をしてください。放置すると故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。

確認のしかた

異常を検知している場合、電源ポジションがONのときステアリングスイッチの<   >スイッチで警告 [] を選択すると、異常を検知している警告が確認できます。

警告メッセージの表示画面については、（ P.230）をお読みください。

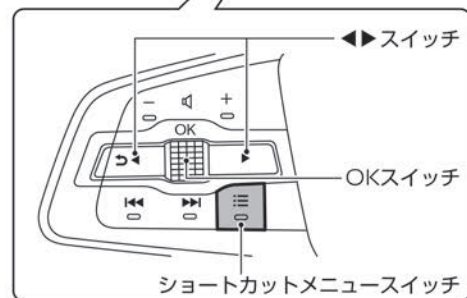
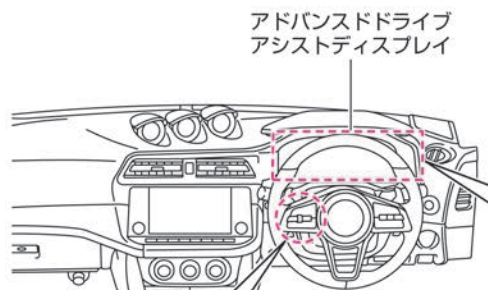
ステアリングスイッチの使いかたは（ P.54）をお読みください。

アドバンスドドライブアシストディスプレイ

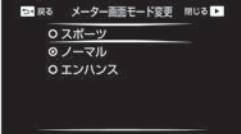
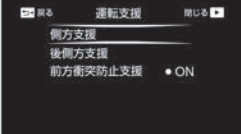
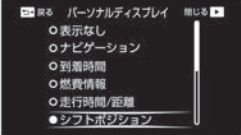
アドバンスドドライブアシストディスプレイとは（ショートカットメニュー）

電源ポジションがONのとき、ハンドル左側にある< ≡ >スイッチを押すと、よく使用する設定項目画面をすばやく表示することができます。メーター画面モード変更、オーディオ、運転支援、パーソナルディスプレイのいずれかの表示項目を選択できます。

画面の切り替えかた（ショートカットメニュー）



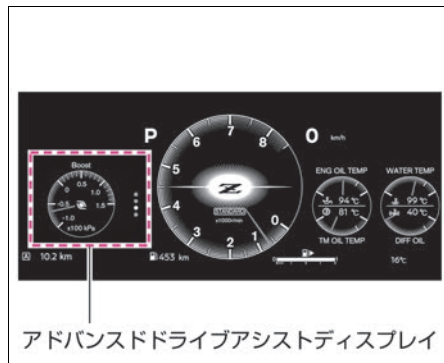
・車種により表示できる項目が異なります。

メーター画面 モード変更		スポーツ表示 ノーマル表示 エンハンス表示		
オーディオ		AM FM 交通情報 TV1 TV2 Apps	USB1 USB2 iPod1 iPod2 Apps	Bluetoothオーディオ Apple CarPlay Android Auto
運転支援		側方支援 後側方支援 前方衝突防止支援 ● ON	側方支援 後側方支援 前方衝突防止支援	
パーソナル ディスプレイ		表示なし ナビゲーション 到着時間 燃費情報 ●シフトポジション	表示なし ナビゲーション 到着時間 燃費情報	走行時間/距離 シフトポジション 平均車速

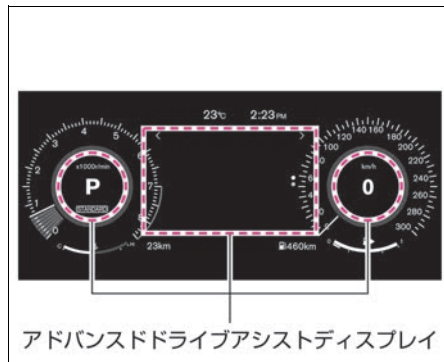
アドバンスドライバアシストディスプレイ

メーター画面モード変更

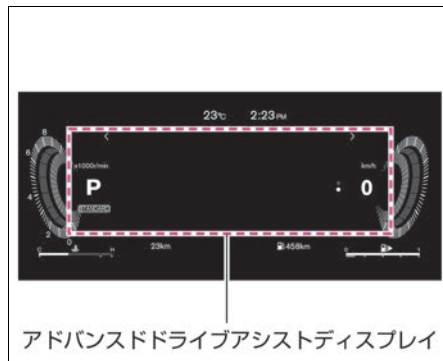
スポーツ表示



ノーマル表示

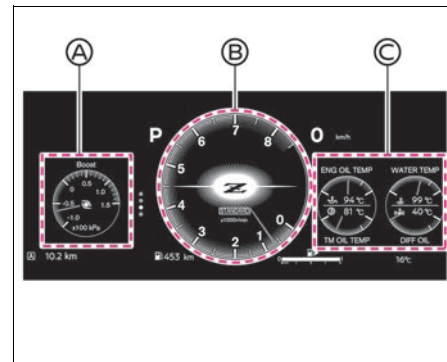


エンハンス表示



- 電源ポジションがONのとき、ステアリングスイッチの<  > スイッチを押し「メーター画面モード変更」を選択し、<OK>スイッチを押すと表示画面が切り替わります。なおメーター表示は、スポーツ表示、ノーマル表示、エンハンス表示の3種類あります。ステアリングスイッチの使いかたは(➡P.54)をお読みください。

■ スポーツ表示



- スポーツ表示は、スポーツ走行時に必要な画面に特化したモードです。ノーマル表示とエンハンス表示とは、表示される項目が異なります。
- 中央にタコメーター（エンジン回転計）を表示し、左右にブースト計や油温を表示したスポーツ走行に適した画面です。

アドバンスドライバアシストディスプレイ

画面④		
項目1	項目2	詳細説明
タイヤ空気圧／ Tire Pressure	目標圧力（フロント）	● 走行中のタイヤ空気圧を表示します。 ● <OK>スイッチを押すと項目2に切り替わります。 - 詳しくはTPMS設定（➡P.71）、タイヤ空気圧警報システム（➡P.262）をお読みください。
	目標圧力（リア）	
	タイヤ空気圧単位	
	TPMSリセット	
Boost		● エンジンの過給圧を表示します。 ➡ <u>ブースト計 (P.45)</u>
G-Force		● 走行中の加速G、減速G、横Gの値を表示します。 - リセットするときは、この画面が表示中にステアリングスイッチの<OK>スイッチを長押しします。 ● G-Forceの値は電源ポジションをOFFにするとリセットされます。
設定	Shift Up Indicator	● シフトアップインジケーターの設定は、カスタマイズ／自動／OFFの3モードから選択できます。 ● 設定したエンジン回転数があと約500rpmに近づくとシフトアップインジケーターが点灯、または点滅します。 ● <OK>スイッチを押すと項目2に切り替わります。 - 詳しくはシフトアップインジケーター（➡P.122）をお読みください。
	運転支援	● 運転支援の設定を変更できます。 - 詳しくは運転支援（➡P.71）をお読みください。
	TPMS設定	● TPMSの設定を変更できます。 - 詳しくはTPMS設定（➡P.71）、タイヤ空気圧警報システム（➡P.262）をお読みください。
	車両設定	● 車両設定の設定を変更できます。 - 詳しくは車両設定（➡P.71）をお読みください。
	メンテナンス	● メンテナンスの設定を変更できます。 - 詳しくはメンテナンス（➡P.71）をお読みください。
	単位/言語	● 単位/言語の設定を変更できます。 - 詳しくは単位/言語（➡P.71）をお読みください。

アドバンスドライバアシストディスプレイ

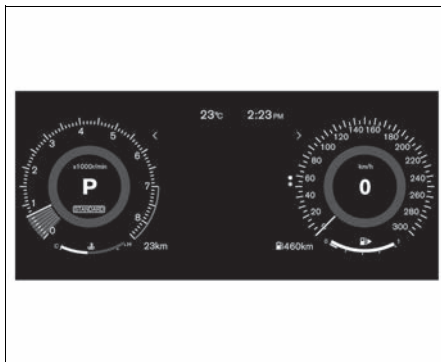
画面㉒		
項目1	項目2	詳細説明
	工場出荷設定	● 工場出荷設定の設定を変更できます。 詳しくは工場出荷設定 (➡ P.71) をお読みください。

画面㉓	
項目	詳細説明
タコメーター（エンジン回転計）	● 1分間あたりのエンジン回転数を表示します。 詳しくはタコメーター（エンジン回転計） (➡ P.41) をお読みください。

画面㉔	
項目	詳細説明
ENG OIL TEMP	● エンジン油温、エンジン水温、トランスミッション油温★、デファレンシャル油温★、エンジン油圧★、アクセル開度★を表示します。レッドゾーン（赤色表示部）に入りそうな場合は、クールダウンを行ってください。 ● ローンチコントロールを使用するときは必ず各メーターを確認し、適正範囲内にあることを確認してください。適正值から外れている場合、ローンチコントロールは使用できません。 詳しくはローンチコントロール (➡ P.117) をお読みください。 ● 車種により、画面㉔に表示される項目が異なります。
WATER TEMP	
TM OIL TEMP★	
DIFF OIL★	
ENG OIL PRESS★	
ACCELERATOR★	

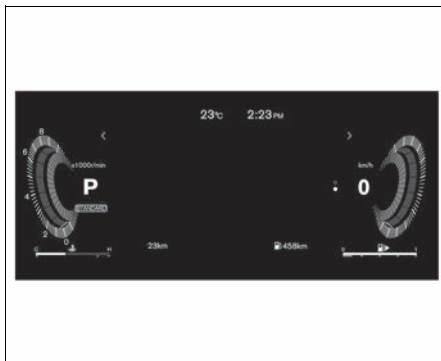
アドバンスドドライブアシストディスプレイ

■ ノーマル表示



- 左側にタコメーター（エンジン回転計）、右側にスピードメーター（速度計）が大きく表示される画面です。
表示項目の詳細については、車両情報画面（➡ P.55）をお読みください。

■ エンハンス表示



☆／★：車両型式、オプションなどで異なる装備

- 左右のアナログメーター表示をデジタル表示化および移動して、中央のアドバンスドドライブアシストディスプレイを拡大した画面です。
表示項目の詳細については、車両情報画面（➡ P.55）をお読みください。

オーディオ

ステアリングスイッチの<  >スイッチを押してから<OK>スイッチを回して［オーディオ］を選択し、<OK>スイッチを押して決定することができます。

項目	詳細説明
AM	● オーディオの取り扱いについては、別冊のナビゲーションシステム取扱説明書をお読みください。
FM	
交通情報	
TV1	
TV2	
USB1	
USB2	
iPod1	
iPod2	
Apps	
Bluetoothオーディオ	
Apple CarPlay	
Android Auto	

アドバンスドライバアシストディスプレイ

運転支援

ステアリングスイッチの<  >スイッチを押してから<OK>スイッチを回して〔運転支援〕を選択し、<OK>スイッチを押して決定することができます。

項目1	項目2	詳細説明
側方支援	車線逸脱警報	● 設定の詳細については、設定（各種設定画面）の運転支援をお読みください。 運転支援（  P.71）
後側方支援	後側方車両検知警報	
	インジケータの明るさ	
エマージェンシーブレーキ		

アドバンスドライバアシストディスプレイ

パーソナルディスプレイ

ステアリングスイッチの<  >スイッチを押してから<OK>スイッチを回して「パーソナルディスプレイ」を選択し、<OK>スイッチを押して決定することができます。

項目1	項目2	詳細説明
表示なし		● 設定の詳細については、設定（各種設定画面）のパーソナルディスプレイをお読みください。 パーソナルディスプレイ (➡ P.71)
ナビゲーション		
到着時間		
燃費情報	ドライブ情報1	
	ドライブ情報2	
	給油後走行情報	
走行時間/距離	ドライブ情報1	
	ドライブ情報2	
	給油後走行情報	
シフトポジション		
平均車速	ドライブ情報1	
	ドライブ情報2	
	給油後走行情報	

各種設定画面

運転支援システムのON・OFF設定をはじめ、時計の調整やアラームの設定などができます。

ステアリングスイッチの使いかたは（ P.54）をお読みください。

設定（各種設定画面）

各種設定画面では、次の機能の設定ができます。ステアリングスイッチの<◀▶>スイッチで設定 [] を表示し、<OK>スイッチを押して設定画面を表示させ<OK>スイッチを回して選択します。<OK>スイッチを押して決定することができます。

 設定例1（メインメニュー選択）（P.78）

 設定例2（タイヤ）（P.78）

■ 運転支援

項目1	項目2	機能
側方支援	車線逸脱警報	● LDW（車線逸脱警報）のON・OFFを設定します。  <u>LDW（車線逸脱警報）（P.173）</u>
後側方支援	後側方車両検知警報	● BSW（後側方車両検知警報）のON・OFFを設定します。  <u>BSW（後側方車両検知警報）（P.168）</u>
	インジケータの明るさ	● インジケータの明るさを、[明るい]、[標準]、[暗い] から選択します。  <u>BSW（後側方車両検知警報）（P.168）</u>  <u>RCTA（後退時車両検知警報）（P.178）</u>
エマージェンシーブレーキ		● インテリジェント エマージェンシーブレーキ、踏み間違い衝突防止アシスト★、インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）のON・OFFを設定します。  <u>インテリジェント エマージェンシーブレーキ（P.156）</u>  <u>踏み間違い衝突防止アシスト★（P.161）</u>  <u>インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）（P.175）</u>

アドバンスドライバアシストディスプレイ

項目1	項目2	機能
駐車支援	センサー	● 前後ソナーの設定を [ON]、[OFF]、[前方のみ] から選択します。 ➡ <u>ソナー表示 (P79)</u>
	ソナー検知距離	● ソナー検知距離を [遠]、[中]、[近] から選択します。障害物までの最長距離が110%（[遠]）、100%（[中]）、90%（[近]）で変更できます。 [中] を選択したときの障害物までの最長距離は、（➡ P.186）をご参照ください。 ➡ <u>ソナー表示 (P79)</u>
	ソナー自動表示	● 障害物に近づいたときの、割り込み表示ON・OFFを設定します。 ➡ <u>ソナー表示 (P79)</u>
	ソナー音量	● ボリューム（警告音（ブザー））を、[大]、[中]、[小] から選択します。 ➡ <u>ソナー表示 (P79)</u>
後退時車両検知警報		● RCTA（後退時車両検知警報）のON・OFFを設定します。 ➡ <u>RCTA（後退時車両検知警報） (P.178)</u>
ふらつき警報		● インテリジェント DA（ふらつき警報）のON・OFFを設定します。 ➡ <u>インテリジェント DA（ふらつき警報） (P.177)</u>
走行時間* ※：走行中は操作できません。	---分／---分	● 設定した時間まで連続走行したことをお知らせします。 <OK>スイッチを回すと分が切り替わり、<OK>スイッチを押すと決定します。 — 最大360分まで設定できます — 設定時間は30分単位で切り替わります（<◀>スイッチを押すと設定前の画面に戻ります）
	リセット	● [はい] を選択すると、走行した時間をリセットできます。

アドバンスドライバアシストディスプレイ

■ パーソナルディスプレイ

項目1	項目2	機能
表示なし		● パーソナルディスプレイに何も表示されません。
ナビゲーション		● パーソナルディスプレイにナビゲーションを表示します。
到着時間		● パーソナルディスプレイに到着時間を表示します。
燃費情報	ドライブ情報1	● パーソナルディスプレイに燃費情報を表示します。
	ドライブ情報2	
	給油後走行情報	
走行時間/距離	ドライブ情報1	● パーソナルディスプレイに走行時間/距離を表示します。
	ドライブ情報2	
	給油後走行情報	
シフトポジション		● パーソナルディスプレイにシフトポジションを表示します。
平均車速	ドライブ情報1	● パーソナルディスプレイに平均車速を表示します。
	ドライブ情報2	
	給油後走行情報	

■ TPMS設定

走行中は操作できません。

項目	機能
目標圧力（フロント）	● フロントタイヤの目標とする空気圧の表示を設定します。 － 200kPa～340kPaの範囲内で設定できます
目標圧力（リア）	● リヤタイヤの目標とする空気圧の表示を設定します。 － 200kPa～340kPaの範囲内で設定できます
タイヤ空気圧単位	● タイヤ空気圧の単位表示を切り替えます。タイヤ空気圧の単位は、運転席ドア開口部ラベルに記載されている単位をご使用ください。

アドバンスドライバアシストディスプレイ

項目	機能
TPMSリセット	● タイヤ空気圧警報システムのリセットをします。リセットするときは、この画面を表示中にステアリングスイッチの<OK>スイッチを押します。リセット画面が表示されるので [はい] を選択し、再度ステアリングスイッチの<OK>スイッチを押し、25km/h以上で走行するとリセットされます。 タイヤ空気圧警報システムについては、（🔄P.262）をお読みください。

■ 時計

走行中は操作できません。

項目1	項目2	機能
表示		● 時計表示のON・OFFを設定します。 時計（🔄P.43）
時計設定モード	自動	● GPSからの情報を使って自動で時刻を設定します。
	手動	● [時計設定] から手動で時刻を設定します。
時間表示		● <OK>スイッチを押すと12時間表示、24時間表示を切り替えます。
時計設定		● 時計を設定します。 ① <OK>スイッチを押すと「時」調整画面に切り替わります。 ② <OK>スイッチを回して「時」を調整します。 ③ <OK>スイッチを押すと「分」調整画面に切り替わります。 ④ <OK>スイッチを回して「分」を調整します。 ⑤ <OK>スイッチを押すと時刻が設定されます。 （<◀>スイッチを押すと前の調整画面に戻ります）

アドバンスドライバシストディスプレイ

■ 車両設定

走行中は操作できません。

項目1	項目2	機能
ライト/照明	ウェルカムヘッドライト	● ウェルカムライト機能のON・OFFを設定します。 ウェルカムライト機能（フェアウェル機能付）（➡P.132）
	自動室内灯	● キー連動室内照明のON・OFFを設定します。 ➡ <u>ルームランプ（マップランプ兼用）の使いかた</u> （P.190）
	オートライト感度調整	● オートライトシステム（薄暮れ感知「おもいやりライト」機能付）の点灯タイミングを、[より早い]、[早い]、[標準]、[遅い] から選択します。 ➡ <u>AUTO（自動点灯・消灯）の使いかた</u> （P.129）
方向指示器		● コンフォートフラッシャー機能の [3回]（ON）・[連続]（OFF）を設定します。 ➡ <u>方向指示器の使いかた</u> （P.132）
ロック	keyエントリー	● ドアハンドルのスイッチでの施錠・解錠機能のON・OFFを設定します。 ➡ <u>インテリジェントキー機能による施錠・解錠のしかた</u> （P.88）
ワイパー	車速連動	● 車速連動のON・OFFを設定します。 ➡ <u>フロントワイパーの使いかた</u> （P.133）

アドバンスドライバシストディスプレイ

■ メンテナンス

走行中は操作できません。

項目	機能
オイル交換時期	● 車両システムが自動で設定した、エンジンオイル交換までの距離を表示します。 - ー エンジンオイル交換までの距離は、走行状況に応じてシステムにより自動で設定されます。手動で設定することはできません。 - ー エンジンオイル交換時期が近づくと、メーターにオイル交換までの残り距離が表示されます。 - ー エンジンオイル交換時期になると、電源ポジションをONにすると、オイル交換警告画面を表示します。 - ー エンジンオイル交換後は、必ず表示をリセットしてください。リセットするときは、この画面を表示中にステアリングスイッチの<OK>スイッチを押すとリセット画面が表示されます。[はい]を選択し、再度<OK>スイッチを押すと走行した距離をリセットできます。リセットしなかった場合、オイル交換残り距離が誤って表示されます。その場合、標準距離の半分の距離でオイル交換してください。標準距離については別冊のメンテナンスノートをお読みください。 詳しくは、エンジンオイル交換警告A/B (P.235)をお読みください。 ● メンテナンスノートに記載されている「厳しい使われ方の条件」に当てはまる場合、オイル交換距離表示画面が表示されるまでの距離が短くなる場合があります。  アドバイス ● エンジンオイル交換時以外にリセットはしないでください。
オイル/オイルフィルター	● [メンテナンス] では、次回メンテナンスを行うまでの距離を設定できます。設定値を超えるとメンテナンスする距離がきたことを表示で知らせます。（定期交換部品等の交換距離については、別冊のメンテナンスノートをお読みください。） - ー <OK>スイッチを回すと距離が切り替わり、<OK>スイッチを押すと決定します。（<◀>スイッチを押すと設定前の画面に戻ります） - ー 500km～30,000kmまでの範囲内で距離を設定できます。 - ー 設定距離は500km単位で切り替わります。 - ー [リセット] を選択して<OK>スイッチを押すとリセット画面が表示されます。[はい] を選択し、再度<OK>スイッチを押すと走行した距離をリセットできます。 ● 機能を停止することができます。 - ー 停止する場合は、距離表示を [---] に合わせ<OK>スイッチを押し決定します。
タイヤ	
ユーザー	

アドバンスドライバアシストディスプレイ

■ 画面カスタマイズ

走行中は操作できません。

項目1	項目2	機能
メインメニュー選択		● 車両情報画面で表示させたい項目を選択することができます。 ➡ <u>車両情報画面 (P.55)</u>
ナビゲーション設定	自動割込み設定	● 走行中、次の右左折点に接近したとき、メーター内にポップアップでお知らせする機能のON・OFFを設定します。
メーター演出	アニメーション	● ディスプレイ演出のON・OFFを設定します。 OFFにすると、エンジン始動時のアニメーションがOFFになります。
オペレーションガイダンス	ライト	● ライトスイッチを回したとき、スイッチ位置をメーター内にポップアップで表示する機能のON・OFFを設定します。

■ 単位／言語

走行中は操作できません。

項目	機能
距離/燃費	● 距離と燃費の表示単位を表示します。
タイヤ空気圧	● タイヤ空気圧の表示単位を切り替えます。タイヤ空気圧の単位は、運転席ドア開口部ラベルに記載されている単位をご使用ください。
温度	● 温度の単位を [°C] または [°F] に切り替えます。
言語	● 表示言語を [日本語] または [English] に切り替えます。

■ 工場出荷設定

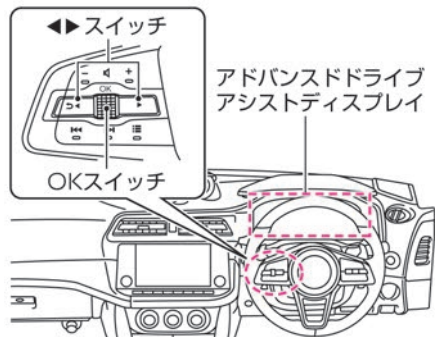
走行中は操作できません。

機能
工場出荷時の設定にリセットすることができます。 ● [はい] を選択すると、各種設定が初期化されます。

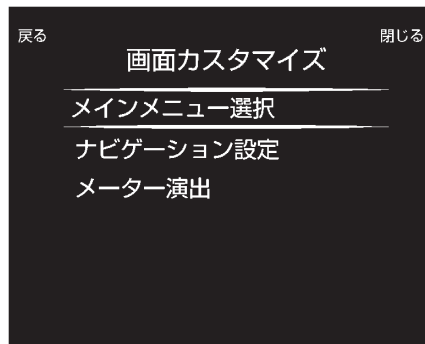
アドバンスドライバアシストディスプレイ

設定例1 (メインメニュー選択)

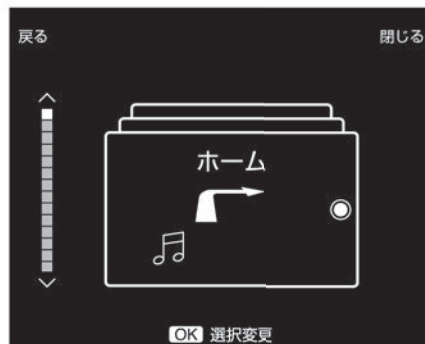
1. ステアリングスイッチの<◀▶>スイッチを数回押し、設定 [⚙] 画面を表示して<OK>スイッチを押します。



2. ステアリングスイッチの<OK>スイッチを回して、[画面カスタマイズ] を選択し、<OK>スイッチを押して決定します。
3. ステアリングスイッチの<OK>スイッチを回して、[メインメニュー選択] を選択し、<OK>スイッチを押して決定します。

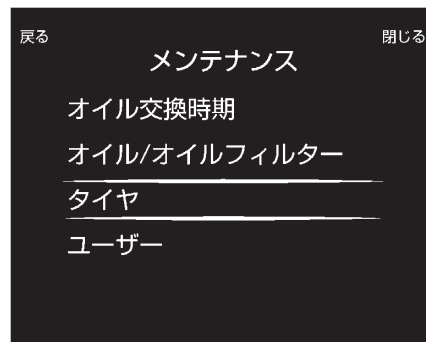


4. 表示させたい項目を、ステアリングスイッチの<OK>スイッチを回して選択し、<OK>スイッチを押して選択すると表示できるようになります。



設定例2 (タイヤ)

1. ステアリングスイッチの<◀▶>スイッチを数回押し、設定 [⚙] 画面を表示して<OK>スイッチを押します。
2. ステアリングスイッチの<OK>スイッチを回して、[メンテナンス] を選択し、<OK>スイッチを押して決定します。
3. ステアリングスイッチの<OK>スイッチを回して、[タイヤ] を選択し、<OK>スイッチを押して決定します。



4. [タイヤ] 画面でステアリングスイッチの<OK>スイッチを押して、次回メンテナンスを行う距離の設定画面に進みます。([---km/---km] の右側の表示)
※ [---km/---km] の左側は、設定以降走行した距離を表示します。

アドバンスドライバアシストディスプレイ

5. ステアリングスイッチの<OK>スイッチを回して距離を切り替え、<OK>スイッチを押して決定します。
設定距離は500km単位で切り替わります。
※機能を停止する場合は、距離表示を [---] に合わせ<OK>スイッチを押して決定します。
- [タイヤ] 画面でリセットを選択してステアリングスイッチの<OK>スイッチを押すと走行した距離をリセットできます。
([---km /---km] の左側の表示)

その他の表示機能

ソナー表示



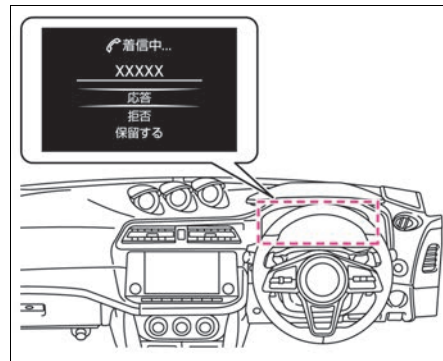
- 車両が障害物に近づく、アドバンスドライバアシストディスプレイのソナー表示色が緑⇒黄⇒赤の順に切り替わり、警報音（ブザー）が鳴ります。

☆／★：車両型式、オプションなどで異なる装備

表示色	警報音
緑	ピッ、ピッ、 ピッ・・・
黄	ピピピピピ・・・
赤	ピー

- ソナー表示中にステアリングスイッチの<OK>スイッチ、<◀▶>スイッチを押す、または<OK>スイッチを回すと一時的にソナー機能を停止できます。
- アドバンスドライバアシストディスプレイで設定 [⚙] ⇒ [運転支援] ⇒ [駐車支援] を選択すると、ソナー機能の各種設定が行えます。
設定の詳細については、運転支援をお読みください。
- ➡ アドバンスドライバアシストディスプレイとは（メインメニュー） (P.54)
- ➡ 設定（各種設定画面） (P.71)
- ソナーが障害物を検知すると、ソナー画面が割り込み表示します。割り込み表示はOFFにすることができます。
- ➡ 設定（各種設定画面） (P.71)
- ソナーのお手入れについては、
(➡ P.274) をお読みください。
- ソナーの詳細については、ソナーシステム (➡ P.186) をお読みください。

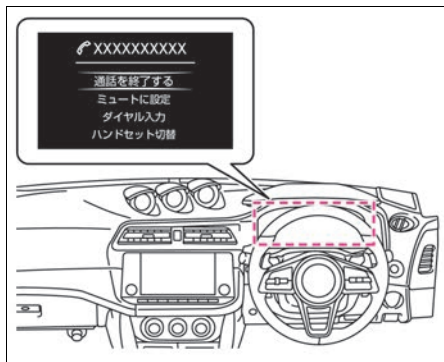
着信表示



- 携帯電話をハンズフリー接続しているときに、着信すると表示します。
ハンズフリーフォンについては、別冊のナビゲーションシステム取扱説明書をお読みください。

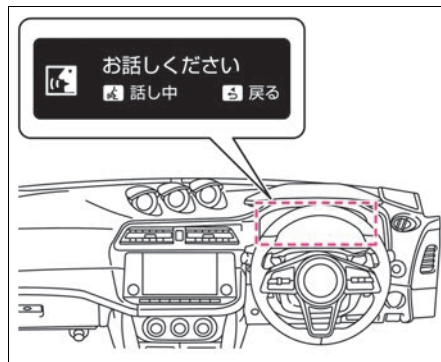
アドバンスドドライブアシストディスプレイ

通話表示



- 携帯電話をハンズフリー接続しているときに、通話すると表示します。ハンズフリーフォンについては、別冊のナビゲーションシステム取扱説明書をお読みください。

音声操作表示

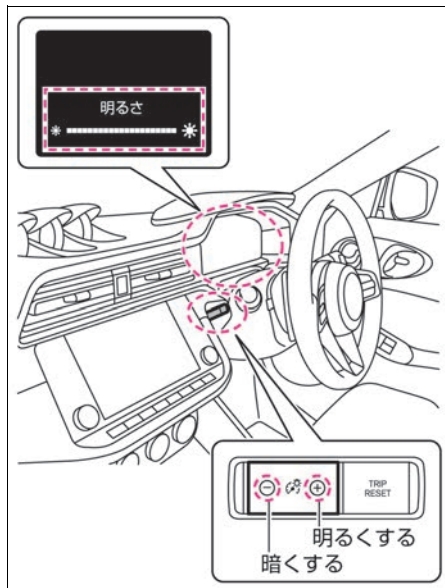


- ナビゲーションシステムで音声操作を行うと、アドバンスドドライブアシストディスプレイに音声操作表示をします。音声操作については、別冊のナビゲーションシステム取扱説明書をお読みください。

メーターの明るさの調節

イルミネーションコントロール

メーターの明るさの調節のしかた



電源ポジションがONのとき、メーター照明の明るさを調節できます。

- スイッチを押して調節します。
- 明るさのレベル表示は、アドバンスドドライバシストディスプレイに表示されます。
- 明るさのレベルが最大または最小に達すると、音が鳴ります。

☆／★：車両型式、オプションなどで異なる装備

MEMO



メーカーの見かた

キー

インテリジェントキー	P.84
インテリジェントキーに関する注意事項	P.85

ドアの施錠と解錠

ドア	P.88
バックドア	P.90

シート・ハンドルの調節

シート	P.93
ハンドル	P.97

ミラーの調節

自動防眩式ルームミラー	P.99
ドアミラー	P.99

窓ガラスの開閉

パワーウインドー	P.101
----------	-------

燃料補給口

燃料補給口	P.103
-------	-------

エアコンの操作

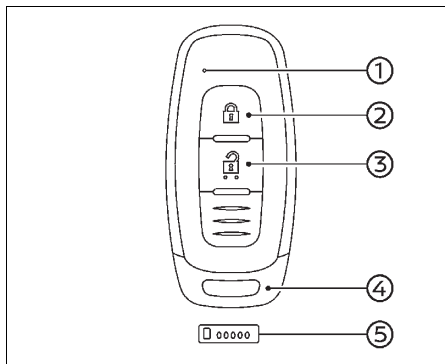
オートエアコン	P.105
吹き出し口	P.107
エアコンを使うときに注意すること	P.108

インテリジェントキー

インテリジェントキーを携帯するだけでドアの施錠・解錠およびエンジンの始動操作ができます。

ドアの施錠・解錠のしかたは（➡P.88）、始動操作は（➡P.112）をお読みください。

各部名称と機能

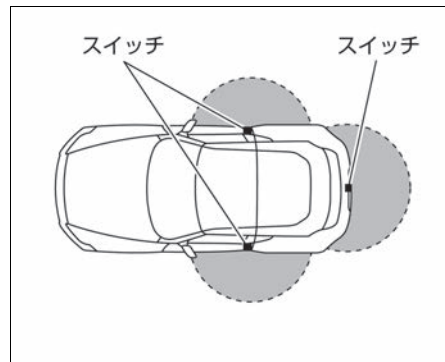


- ① 作動表示灯
- ②～③のいずれかのスイッチを押すと、赤く点滅します。
- ② ドア施錠スイッチ
スイッチを押すと、全ドアおよび燃料補給口が施錠します。
- ③ ドア解錠スイッチ
スイッチを押すと、全ドアおよび燃料補給口が解錠します。

- ④ 内蔵キー（メカニカルキー）
キーの電池が切れたときや、バッテリーがあがったときなどにドアの施錠・解錠ができます。
- ⑤ キー番号タグ
キーを紛失した場合、キー番号から日産販売会社でスペアキーを作成できますので、大切に保管してください。

- キーは2個ついています。
- キーは同じ車両で最大4個まで使うことができます。ご購入やご使用開始方法については、日産販売会社にご相談ください。
- キーの電池が切れても、ドアの施錠・解錠やエンジンの始動を行うことができます。

ドアの施錠・解錠の作動範囲



作動範囲は各ドアハンドルのスイッチから周囲約80cm以内です。作動範囲は球状になっているため、地面近くや高い場所では作動しないことがあります。

インテリジェントキーが作動範囲内にある場合は、キーを携帯している人以外でもドアハンドルのスイッチを押して施錠・解錠できます。

- ドアハンドルのスイッチを押してドアを施錠したあとは、作動確認のためブザーまたは非常点滅表示灯のアンサーバック機能で施錠されたことを確認してください。
- ドアハンドルのスイッチを押す前にドアハンドルを引かないでください。
- ドアを施錠・解錠すると、燃料補給口も連動して施錠・解錠されます。

インテリジェントキーに関する機能について

■ アンサーバック機能

- ドアの施錠・解錠時に、作動確認のためのブザーと非常点滅表示灯が作動します。
(施錠時1回、解錠時2回)
アンサーバック機能のブザーを停止することができます。日産販売会社にご相談ください。

■ ウェルカムライト機能（フェアウェル機能付）

- ドアの施錠・解錠時に、車幅灯、尾灯、番号灯が点灯します。（施錠時約10秒、解錠時約30秒）
詳しくは、その他の機能について（➡P.132）をお読みください。

■ キー連動室内照明システム

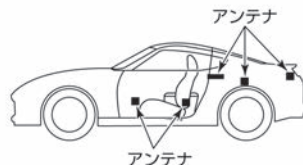
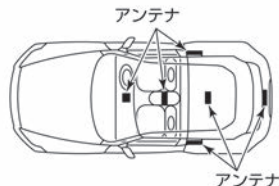
- ドアを解錠すると、ルームランプ（マップランプ兼用）が約15秒間点灯します。
詳しくは、室内灯（➡P.190）をお読みください。

■ オートロック機能

- <ドア解錠スイッチ>を押してから約30秒以内にいずれかのドアを開けなかったときは、盗難防止のため全ドアが施錠されます。
(施錠されるまでの間に、再度<ドア解錠スイッチ>を押すと、その時点から約30秒後に施錠されます。)

インテリジェントキーに関する注意事項

⚠ 警告



- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器（ICD）を使用されている方は、アンテナから約22cm以下の範囲に装着部位を近づけない。

ドアおよびバックドア開閉時、ドアハンドルのスイッチ操作時、エンジン始動時などにキーの電波が植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器（ICD）の作動に影響を与えるおそれがあります。

- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器（ICD）以外の医療電気機器を使用されている方は、医療電気機器製造業者などへ影響を確認してから使用する。

キーの電波が医療電気機器の動作に影響を与える場合があります。

- 航空機内ではキーのスイッチを押さない。

万一スイッチが押されると電波が発信され、航空機の運航に支障をきたすおそれがあるため、バッグなどに収納するときは、荷物などでスイッチが押されないようにしてください。

🚗 アドバイス

- キーは運転者が必ず携帯してください。
- キーは、必ず内蔵キー（メカニカルキー）を内蔵した状態で携帯してください。

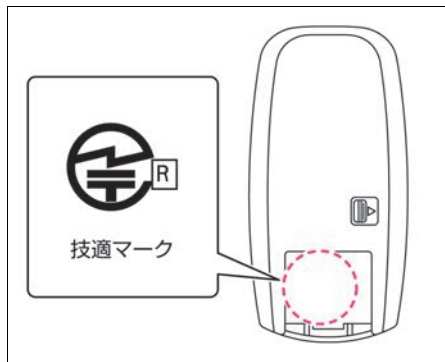
アドバイス

- キーはドアポケットに入れないでください。ドアを閉めるときの衝撃により破損するおそれがあります。また、ドアポケット内に一緒に入れておいた物がドアを閉めた衝撃で当たるなどして勝手にスイッチが入り、キーを車室内に封じ込めるおそれがあります。
- インstrumentパネル上面、ドアポケット付近、グローブボックス内、フロア上では、キーが正常に作動しなかったり、車外から施錠ができ、キーを車室内に封じ込めたりするおそれがあります。
- キーを紛失したときは、盗難などを防ぐため、ただちに日産販売会社にご相談ください。
- キーは微弱な電波を使用しています。次のような使用環境では機能に障害が起こるため、ドアハンドルのスイッチやキーのスイッチが正常に作動しない場合があります。
 - ー 近くにテレビ塔や発電所、放送局など強い電波やノイズを発生する設備があるとき
 - ー インテリジェントキーをワイヤレス充電器の充電エリア内に置いたとき
 - ー 無線機や携帯電話などの無線通信機器と一緒に携帯しているとき
 - ー キーが金属製の物に接したり、覆われていたりしているとき

- ー 近くで電波式のリモコンスイッチを操作しているとき
- ー キーをパソコンなどの電化製品の近くに置いたとき
- ー コインパーキングに駐車したとき（車両検出用の電波の影響があるため）
- ー 近くで電波式侵入警報装置を使用しているとき
- ー 極端に気温が低いとき（電池の性能が低下するため）
- 本車両は電氣的にハンドルロック（ステアリングロック）を制御しているため、電源ポジションがLOCKのときにバッテリーがあがると、ハンドルロック（ステアリングロック）の解除が行えなくなります。
- キーは電波法の認証に適合しています。次のことを必ずお守りください。
 - ー 電池を交換するとき以外は分解しない（分解、改造したものを使用することは法律で禁止されています）
 - ー 日本国内のみで使用する
- キーは車両との通信のために常時受信動作をしているため、常に電池を消耗しています。電池の寿命は使用状況によりますが約2年です。電池が切れた場合、新しい電池と交換してください。

➡ インテリジェントキーの電池交換 (P.266)

- キーの電池が消耗しているときや、強い電波、ノイズのある場所では、作動範囲が狭くなったり、作動しなかったりすることがあります。
- キーは送信機を内蔵している精密機械です。故障を防止するため、次のことをお守りください。
 - ー 長時間高温になる場所に置かない
 - ー 分解しない
 - ー 無理に曲げたり、落としたり、強い衝撃を与えたりしない
 - ー 水に濡らさない
 - ー 超音波洗浄器などにつけない
 - ー 磁気を帯びたキーホルダーなどをつけない
 - ー テレビ、オーディオなど、磁気を帯びた機器の近くに置かない
- 車両盗難防止のために、インテリジェントキーは車両から2m以上離して保管してください。
- インテリジェントキーの操作をしなくても、車両周辺にキーがあると電池の消耗が早くなります。電池の寿命を長くするためにも、車両周辺にキーを持ったまま長時間滞在しないことをおすすめします。



- キーの認証技適マークはキーの裏面で確認できます。
- キーのスイッチを押しても作動しないときは、電池の消耗または故障が考えられます。日産販売会社にご相談ください。
- ➡ インテリジェントキーの電池交換 (P.266)
- キーの電池が切れ、施錠・解錠ができないときは、内蔵キー（メカニカルキー）で施錠・解錠ができます。
- ➡ ドアが開かないときは (P.217)
- 次のような場合は、作動しません。
 - 電源ポジションがAcc、ONのとき
 - ドアが完全に閉まっていない（半ドア）とき
 - 車から離れすぎているとき
 - 携帯しているキー以外に自車のキーが車室内にあるとき（解錠のみできます。）
 - キーの電池が切れているとき

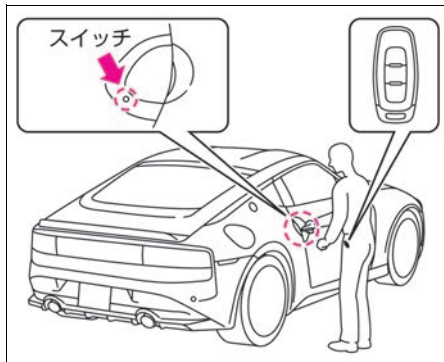
ドアの施錠と解錠

ドア

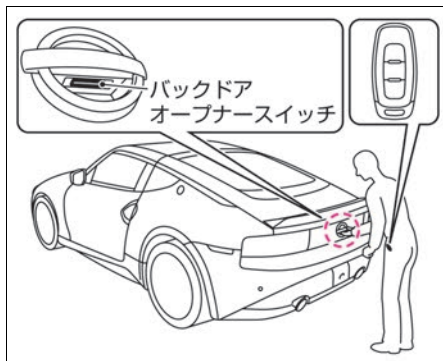
ドアハンドルのスイッチやインテリジェントキーのスイッチで施錠・解錠します。

ドアを施錠したあとは、作動確認のためブザーまたは非常点滅表示灯のアンサーバック機能で施錠されたことを確認してください。

インテリジェントキー機能による施錠・解錠のしかた



- キーを携帯し運転席、助手席ドアにあるスイッチを押すと、運転席と助手席のドアが施錠・解錠します。



- キーを携帯しバックドアオープナースイッチを押すと、すべてのドアが解錠します。
- キーが各スイッチから周囲80cm以内にあるときに作動します。
- キーを検知しているドアハンドルスイッチでのみ施錠・解錠を行うことができます。
- ドアの施錠・解錠時にはアンサーバック機能、オートロック機能が作動します。
- 施錠・解錠したときは、ブザーおよび非常点滅表示灯が次のように作動します。

	ブザー音	非常点滅表示灯
施錠	ピッ	1回点滅
解錠	ピピッ	2回点滅

- 車両に近づきすぎている場合などは作動しないことがあります。
- 急にドアハンドルを操作すると、ドアハンドルが引かれるため、施錠できないことがあります。

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定 [⚙️] ⇒ [車両設定] ⇒ [ロック] ⇒ [keyエントリー] を選択すると、ドアハンドルのスイッチでの施錠・解錠機能のON・OFFを切り替えることができます。
設定の詳細については、車両設定をお読みください。

➡ アドバンスドドライブアシストディスプレイとは（メインメニュー）（P.54）

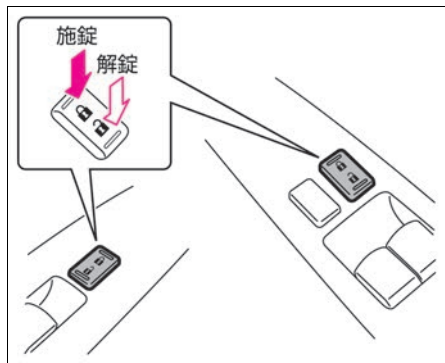
- 次のような場合は、作動しません。
 - ー 電源ポジションがAcc、ONのとき
 - ー ドアが完全に閉まっていない（半ドア）とき
 - ー 携帯しているキー以外に自車のキーが車室内にあるとき（解錠のみできます。）
 - ー キーの電池が切れているとき

■ オートロック機能

- 盗難防止のため、自動的に施錠する機能です。ドアハンドルのスイッチ、またはインテリジェントキーの＜ドア解錠スイッチ＞を押して解錠したときは、約30秒間ドアを開けないと再び全ドアが施錠されます。

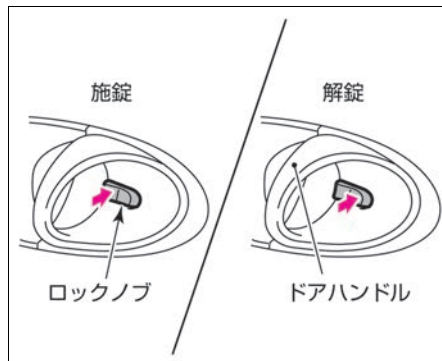
ドアの施錠と解錠

ドアロックスイッチでの施錠・解錠のしかた



- <ドアロックスイッチ>を押すと、全ドアが施錠または解錠します。
- 施錠するときは、施錠側  の<ドアロックスイッチ>を押します。
- 解錠するときは、解錠側  の<ドアロックスイッチ>を押します。
- ドアが開いているときは、<ドアロックスイッチ>での施錠はできません。

ロックノブでの施錠・解錠のしかた



- 運転席のロックノブで全ドアが施錠または解錠します。
- 運転席ドアは、施錠したままでもドアハンドルを引くとドアが開けられます。そのとき、全ドアが同時に解錠します。
- 施錠するときは、施錠するドアのロックノブを施錠側に押し込みます。
- 解錠するときは、解錠するドアのロックノブを解錠側に押し込みます。

キーを使用しない施錠のしかた

■ ドア

- ロックノブの施錠側を押し込み、ドアハンドルを引きながらドアを閉めます。

■ キー封じ込み防止機能

- インテリジェントキーを車室内に置き忘れたまま施錠することを防ぐ機能です。ドアを閉めたときや施錠しようとしたときに、キーが車室内に残っているとブザーでお知らせし、全ドアを自動的に解錠します。

ドアに関する注意事項

⚠ 警告

- **ドアの開閉はお子さまにはさせない。**

手、首、足などを挟んだりして、重大な傷害につながるおそれがあります。

- **ドアを開けるときは、周囲の安全を確認する。**

後続車や通行人にぶつかるおそれがあります。風が強いときは特に注意して開けてください。

- **走行する前にドアを確実に閉める。**

走行中に突然ドアが開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ドアの施錠と解錠

⚠ 注意

- 車から離れるときは、盗難や事故防止のため、必ずエンジンを止め施錠してください。
- 窓ガラスと車体との密閉性を向上させるための機構により、ドアを開けると窓ガラスが少し下降し、ドアを閉めると上昇します。指などを挟まないように注意してください。

🚗 アドバイス

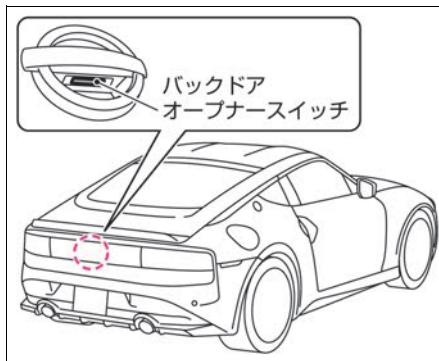
- バッテリーがあがるとドアを閉めるときに車体と窓ガラスが干渉するおそれがあります。その場合には、窓ガラスを内側に倒すように力を加えながらゆっくりと閉め、車体と窓ガラスが当たらないように注意してください。

📖 知識

- ドアハンドルを引きながら解錠しようとする、ドアが解錠できないことがあります。一度ドアハンドルを戻すと自動的に解錠し、再度ドアハンドルを引くとドアを開けることができます。
- 運転席ドアを施錠・解錠すると、燃料補給口も連動して施錠・解錠されます。

バックドア

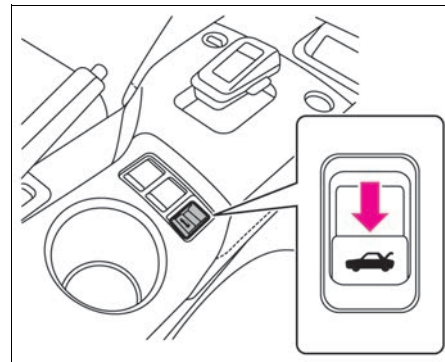
バックドアの開けかた



開閉操作をするときは、バックドア周囲の安全を確認してください。

- 解錠されているときは、＜バックドア オープナースイッチ＞を押し、バックドアを持ち上げます。
- 施錠されているときは、キーを携帯して＜バックドアオープナースイッチ＞を押し、バックドアを持ち上げます。（ドアも同時に解錠します。）
- ＜バックドアオープナースイッチ＞を押したまま、キーのスイッチでドアを施錠・解錠しないでください。故障の原因になります。
- 手を添えないと全開にならない場合は、ガスステアの保持力が低下しているおそれがあります。お近くの日産販売会社にて、早めの点検を受けてください。

■ 車内バックドアオープナースイッチ



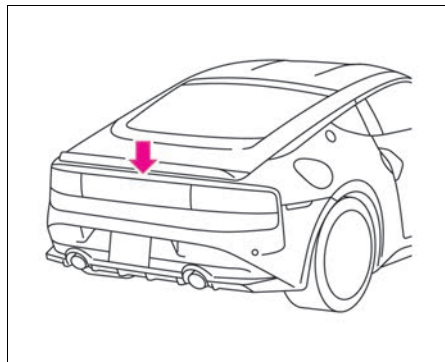
- 解錠後、＜車内バックドアオープナースイッチ＞を引き、バックドアを持ち上げて、全開にします。

🚗 アドバイス

- 以下の場合、解錠してもバックドアが半ドア状態になることがあります。その場合は、＜バックドアオープナースイッチ＞で再度解錠し、手でバックドアを持ち上げてください。
 - ー バックドアに雪やアクセサリなどの重量物が付いているとき
 - ー バックドアが凍結しているとき

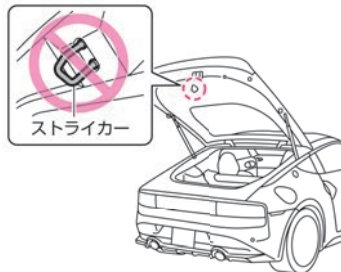
ドアの施錠と解錠

バックドアの閉めかた



- バックドアを降ろし、確実にロックするまで押しつけます。

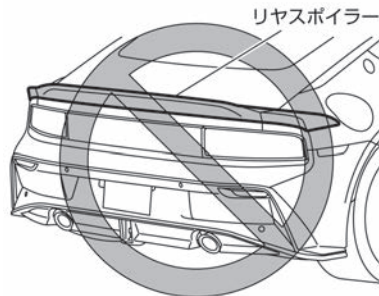
アドバイス



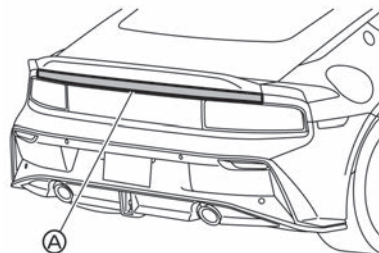
- バックドアを閉めるときは、ストライカーに異物を挟まないようにしてください。ストライカーやバックドアのロックが破損し、バックドアが閉まらなくなるおそれがあります。

NISMO仕様車

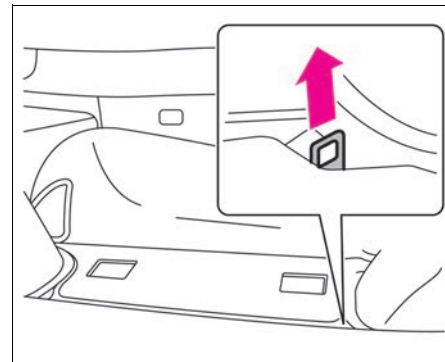
- リヤスポイラーを持って開閉しないでください。リヤスポイラーが破損するおそれがあります。



- バックドアを開閉するときは、Ⓐ部分を持ってください。



■ バックドアが開けられなくなったとき



- バッテリーあがりなどにより、＜バックドアオープナースイッチ＞や＜車内バックドアオープナースイッチ＞でバックドアを開けられなくなったときは、助手席側からラゲッジフロアカーペットをめくり、オープナーケーブルを強く引いてください。
- オープナーケーブルによる開操作を2回以上行う場合は、オープナーケーブル位置を元に戻してから次の開操作を行ってください。

アドバイス

- 緊急時以外は使わないでください。
- 操作後はなるべく早く日産販売会社で点検を受けてください。

ドアの施錠と解錠

バックドアに関する注意事項

⚠ 警告

- バックドアの開閉はお子さまにはさせない。

手、首、足などを挟んだりして、重大な傷害につながるおそれがあります。

- バックドアを開けるときは、周囲の安全を確認する。

後続車や通行人にぶつかるおそれがあります。風が強いときは特に注意して開けてください。

- 走行する前にバックドアを確実に閉める。

走行中に突然バックドアが開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

- ラゲッジルーム（荷室）に人を乗せて走行しない。

急ブレーキをかけたときなど、重大な傷害につながるおそれがあります。

- 走行前にバックドアが確実に閉まっていることを確認する。

バックドアを開けたまま走行すると、車室内に排気ガスが侵入し、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。一酸化炭素を吸い込むと、意識が薄れて事故につながるおそれがあるほか、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- バックドアや車体側に手を触れたままバックドアを閉めない。

手を挟まれてケガをするおそれがあります。

- バックドアを閉めるときは、バックドアのふちやその周辺に手をかけない。

手を挟まれてケガをするおそれがあります。必ず外から押して閉めてください。

- バックドアを開ける前に、バックドアに付着した雪や氷、ゴミなどの重量物を取り除く。

重量物が付いたままバックドアを開けると、重みで突然閉まるおそれがあります。

- バックドアを開けるときは、必ず全開にする。

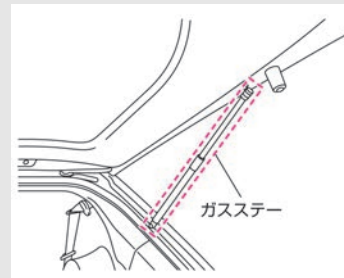
途中で止めると突然閉まるおそれがあります。

- 風が強いときにバックドアを開ける場合は特に注意する。

風にあおられ、急に閉まることがあります。

- バックドアを閉めるときは、手などを挟まないように注意する。

バックドアガスステーについて



- バックドアのガスステーは、バックドアの重量を支えるために取り付けられています。ガスステーの損傷や作動不良を防ぐため、次のことを守る。

ー ガスステーに手やひもなどをかけたり、横方向に力をかけたりしない

ー ビニール片、ステッカー、接着剤などの異物をロッド部に付着させない

- ガスステーを持って、バックドアを閉めたり、ぶら下がったりしない。

手や腕を挟んだりして思わぬケガをするおそれがあります。

シート

シートの調節のしかた（タイプA／ B）

⚠ 警告

- シートは必ず走行前に調節する。
走行中に調節すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- マニュアルシートを調節したあとは、確実に固定されたことを確認する。
固定されていないと突然運転姿勢が変わり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 背もたれを必要以上に倒したまま走行しない。
シートベルトが効果を十分に発揮せず、衝突時などに重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 背もたれと背中の中にクッションなどを入れない。
運転姿勢が不安定になり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- シートを調節するときは、動いている部分に手や足などを近づけない。
挟まれてケガをするおそれがあります。
- マニュアルシートの背もたれの角度を調節するときは、背もたれを支えながら調節する。

顔や身体に当たり、思わぬケガをするおそれがあります。

- シートの下に手を入れるときは注意する。

車室内を清掃するときやシートの下に落としたものを拾うときなどは、シートレールやシートフレームに当たり、ケガをするおそれがあります。

アドバイス

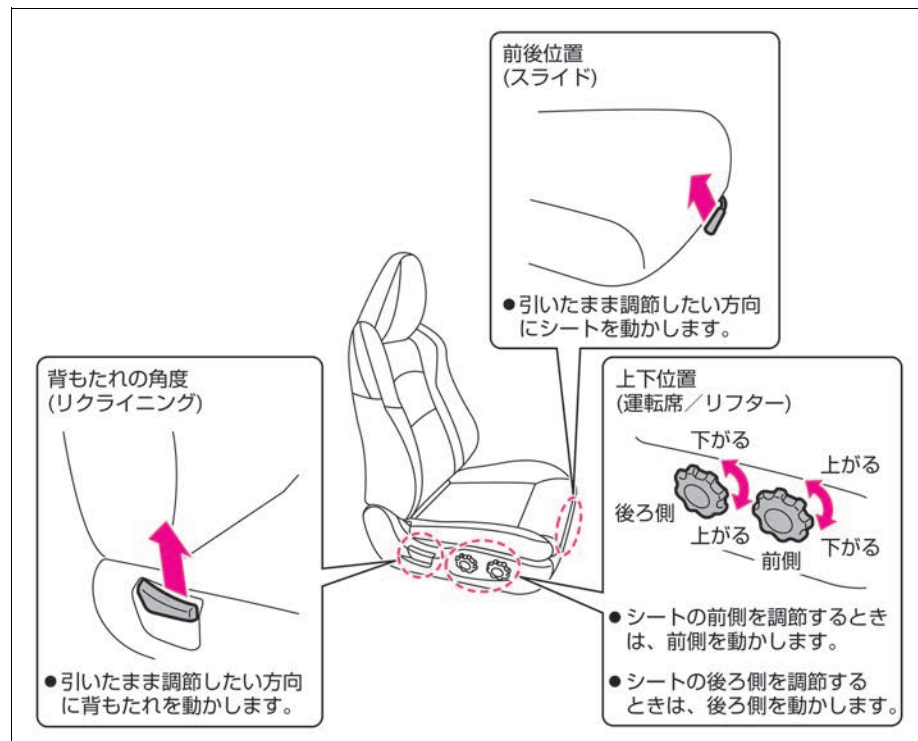
- 助手席にお子さまや小柄な方を乗せたり、クッションなどを使用したりすると、シートベルトリマインダーが正常に作動しなくなるおそれがあります。

シートベルトリマインダー
(P.224)

- シート調節時にヘッドレストが天井やサンバイザーに当たらないように注意してください。

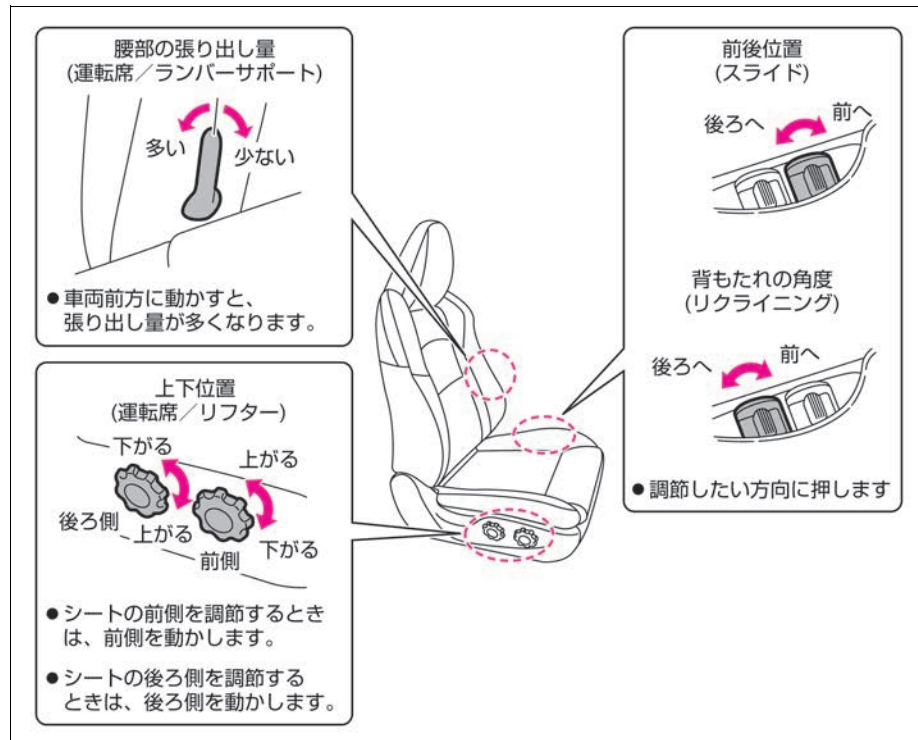
シート・ハンドルの調節

タイプA



シート・ハンドルの調節

タイプ⑧



シートの調節のしかた (タイプ⑨)

⚠ 警告

- シートは必ず走行前に調節する。
走行中に調節すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- シートを調節したあとは、確実に固定されたことを確認する。
固定されていないと突然運転姿勢が変わり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 背もたれを必要以上に倒したまま走行しない。
シートベルトが効果を十分に発揮せず、衝突時などに重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 背もたれと背中の上にクッションなどを入れない。
運転姿勢が不安定になり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- シートを調節するときは、動いている部分に手や足などを近づけない。
挟まれてケガをするおそれがあります。
- シートの下に手を入れるときは注意する。

シート・ハンドルの調節

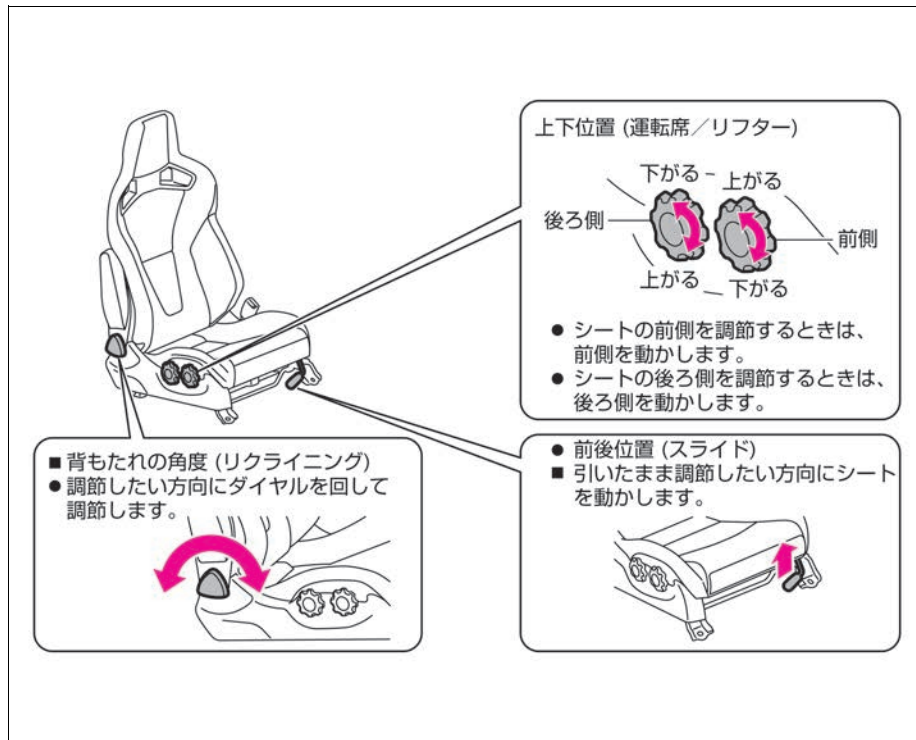
⚠ 注意

車室内を清掃するときやシートの下に落としたものを拾うときなどは、シートレールやシートフレームに当たり、ケガをするおそれがあります。

📖 知識

- 背もたれの角度調節ダイヤルが回しづらいときは、安全な場所に駐車し、ドアを開けたり一旦車両から降りたりして調節してください。
- 背もたれの角度調整後、背もたれを天井部に干渉させたままにしないでください。シートが変形するおそれがあります。

タイプC



シート・ハンドルの調節

ヘッドレストの調節のしかた★

⚠ 警告

- ヘッドレストを外したまま走行しない。

万一のとき、頭部への衝撃を防ぐことができなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

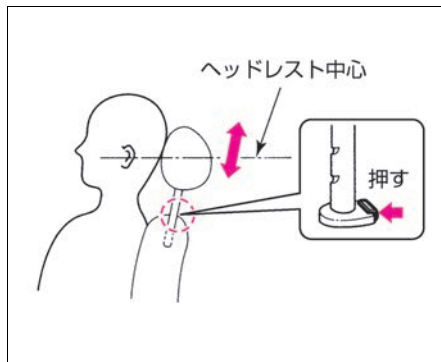
⚠ 注意

- ヘッドレストを取り付けるときは、前後の向きを間違えない。

万一のとき、ヘッドレストが効果を十分に発揮せず、思わぬケガをするおそれがあります。

- ヘッドレストを取り付けたあとは、ヘッドレストを持ち上げ、抜け出さないことを確認する。

万一のとき、ヘッドレストが効果を十分に発揮せず、思わぬケガをするおそれがあります。



ヘッドレストの中心が、耳の高さになる位置に調節します。

- 高くするとき、ヘッドレストを引き上げます。
- 低くするとき、ボタンを押しながらヘッドレストを下げます。

■ ヘッドレストの外しかた、付けかた★

- 取り外すときは、ボタンを押しながらヘッドレストを引き上げます。
- 取り付けるときは、ボタンを押しながらヘッドレストを差し込みます。

■ アクティブヘッドレスト★について

⚠ 注意

- ヘッドレストのステーにテーブル、テレビなどの用品を取り付けない。

万一の追突時にアクティブヘッドレストの機能が損なわれるおそれがあります。

追突されたときに背もたれが乗員を受け止める力を利用して、ヘッドレストが瞬時に前方に移動します。

ヘッドレストの移動により、頭部の過度な後方への傾きを防ぎ、首への負担を軽減します。いわゆる「むち打ち症」が多く発生するといわれている、低速から中速までの追突時に効果を発揮します。

- アクティブヘッドレストは、追突時のみ作動し、追突後は元の位置に戻ります。
- アクティブヘッドレストの調節方法は、通常のヘッドレストと同じです。正しく調節してください。

ハンドル

適切な運転姿勢で無理なくハンドルを握れるように、ハンドル位置を調節します。

ハンドル位置の調節のしかた

⚠ 警告

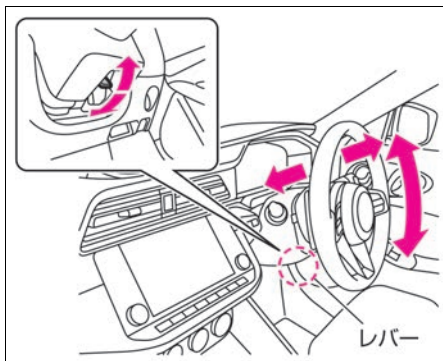
- ハンドルの調節は、必ず走行前に行う。

走行中に調節すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

- 調節したあとは、確実に固定されたことを確認する。

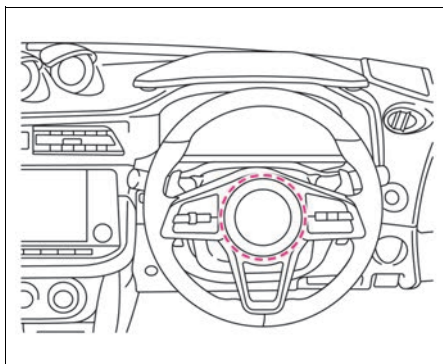
ハンドル位置が固定されていないと突然運転姿勢が変わり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

シート・ハンドルの調節



- ハンドル下のレバーを押し下げ、ハンドルを前後・上下に動かします。
- 適切な位置で止め、レバーを引き上げて固定します。

ホーンの鳴らしかた



ホーンを鳴らすには、ハンドル中央のパッド面を押します。

ミラーの調節

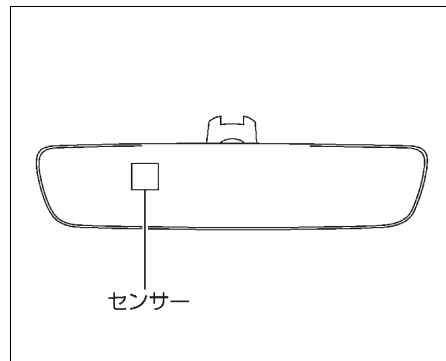
自動防眩式ルームミラー

自動防眩式ルームミラーは、後続車両のヘッドランプの明るさに応じて反射率を調整します。

電源ポジションをONにすると作動します。

自動防眩式ルームミラーの使いかた

- ミラー本体を持ち、角度を調節して適切な位置に合わせます。



⚠ 警告

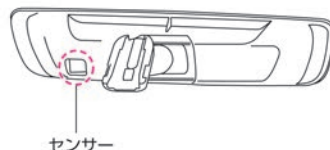
- ミラーの調節は走行前のみ行う。
思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ルームミラーに物をかけたり、ガラススクリーナーを使用したりしない。
センサーの感度が低下し、作動不良の原因となる場合があります。

🚗 アドバイス

- ミラーを90度以上回転させないでください。配線が断線するおそれがあります。

📖 知識

- ミラー裏側にあるセンサーをドライブレコーダーなどでふさがれないでください。防眩機能が作動しない場合があります。



ドアミラー

電源ポジションがONまたはAccのときに操作できます。

ドアミラーの注意事項

⚠ 警告

- ミラーの調節は、必ず走行前に行う。
走行中にミラーを調節すると、前方不注意となり思わぬ事故につながるおそれがあります。

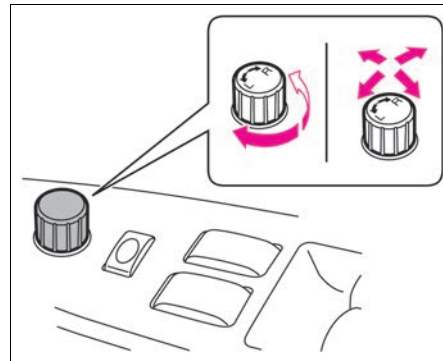
⚠ 注意

- ミラーが動いているときは手を触れない。
手を挟む、またミラーが故障するおそれがあります。
- ミラーを格納したまま走行しない。
後方確認ができないため危険です。

🚗 アドバイス

- 凍結したままミラーを作動させないでください。
寒冷時にドアミラーが正常に作動しない場合は、ドアミラー内部が凍結している可能性があるため、そのまま作動を繰り返すと故障の原因となります。

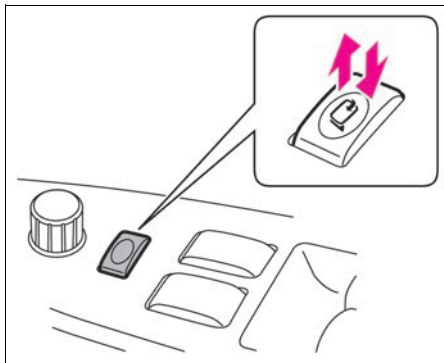
ドアミラーの角度調節のしかた



ミラーの調節

- 調節したいミラー側にスイッチを回します。
(左側はL、右側はR)
- スイッチを前後左右に押して、鏡面角度を調節します。
- ミラーの映像は実際より遠くに見えるので注意してください。

ドアミラーの格納のしかた



- <格納スイッチ>を押すと、左右のミラーが格納されます。
- <格納スイッチ>をもう一度押すと、元の位置に戻ります。
- スイッチ操作を連続して行くと、途中で停止することがありますが、故障ではありません。しばらくしてから作動させてください。
- 手動で開閉すると電源ポジションをAccまたはONにしたとき、<格納スイッチ>の位置によりミラーが動き出すことがあります。

- 手動でミラーを開閉しないでください。手動で開閉すると、走行中にミラーが規定位置より前方または後方に倒れ、後方確認ができなくなるおそれがあります。手動で開閉してしまったときは、走行前に<格納スイッチ>で開閉操作を行ってください。

ドアミラーヒーターの使いかた

電源ポジションがONのとき、<リヤウィンドーデフォグスイッチ>
(➡P.105)を押すと、ドアミラーに内蔵されたヒーターが作動し霜やくもりが取れます。

窓ガラスの開閉

パワーウィンドー

電源ポジションがONのときに操作できます。

パワーウィンドーの注意事項

⚠ 警告

- 乗員の操作を含めすべての窓ガラス開閉操作は運転者に責任があるため、次のことを必ず守る。
 - ー 走行中は顔や腕、物などを車外に出さないでください。車外の物に当たったり、急ブレーキ時に重大な傷害につながったりするおそれがあります。
 - ー 窓ガラスを開閉するときは、窓から手や顔などを出したり、故意に挟み込み防止機構を働かせたりしないでください。手や顔、腕などを窓ガラスに挟まれたり巻き込まれたりすると、重大な傷害につながるおそれがあります。
 - ー お子さまにはパワーウィンドーを操作させないでください。重大な傷害につながるおそれがあるため、＜パワーウィンドーロックスイッチ＞を押し込んでください。
 - ー 窓ガラスを開閉するときはお子さまに声をかけ、手や腕などが窓ガラス付近にないことを確認してから操作を行ってください。

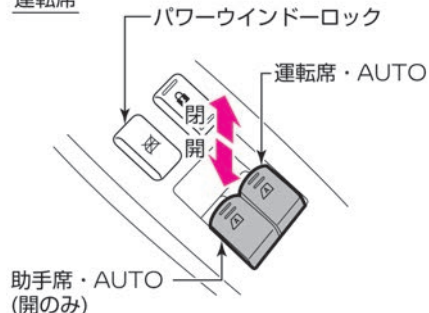
⚠ 注意

- 指などを挟まれないように注意する。
窓ガラスには挟み込み防止機構がありますが、窓ガラスを確実に閉めるため、閉め切る直前の部分では挟み込みを感知できない領域があります。

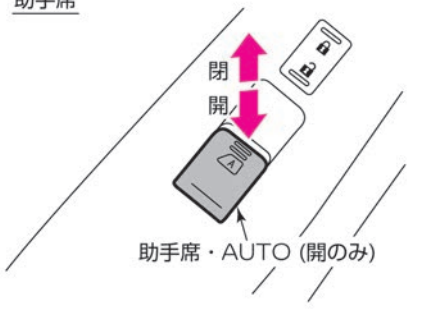
ー 車から離れるときは電源ポジションをOFFにし、キーとお子さまを車室内に残さないでください。いたずらなどの誤った操作によって思わぬ事故につながるおそれがあります。

パワーウィンドーの開けかた、閉めかた

運転席



助手席



運転席のスイッチで、各席の窓ガラスの開閉ができます。助手席のスイッチでは自席の窓ガラスの開閉ができます。

窓ガラスの開閉

■ 開けるには

- スイッチを軽く押すと、押している間だけ開きます。

■ 閉めるには

- スイッチを軽く引き上げると、引き上げている間だけ閉まります。

■ 自動開閉するには

窓ガラスはワンタッチで自動開閉できます。

- スイッチを強く押すと全開します。
- スイッチを強く引き上げると全閉します。(運転席側の窓ガラスのみ)
- 途中で止めたいときは、スイッチを操作した反対側に軽く押すか引き上げます。

■ 開閉操作をロックするには

お子さまが誤って窓ガラスを開閉することを防止できます。

- <パワーウインドーロックスイッチ>を押し込むと、助手席の窓ガラスの開閉ができなくなります。
- スイッチを押し戻すとロックが解除されます。

📖 知識

- ドアを開けると窓ガラスが少し下降し、ドアを閉めたあとに上昇します。これは窓ガラスと車体との密閉性を向上させるための機構で異常ではありません。

挟み込み防止機構

⚠ 警告

- 窓ガラスを閉める前に乗員の手や顔などが窓から出ていないことを確認する。

挟み込み防止機構を解除すると、自動開作動と挟み込み防止機構が作動しません。確認せずに窓ガラスを閉めると重大な傷害につながるおそれがあります。

- 運転席の窓ガラスをワンタッチで閉めているとき、車体と窓ガラスの間に異物が挟まると、窓ガラスの上昇が停止し、自動で少し開きます。
- 環境や走行条件により、異物を挟んだときと同じような衝撃や荷重が窓ガラスに加わると挟み込み防止機構が作動することがあります。
- 故障などで挟み込み防止機構が作動してしまい、窓ガラスを自動で閉めることができないときは、スイッチを上側へ引き続けて閉めてください。

正常に作動しないとき

- 初期設定を行うときは、ドアを閉めて操作してください。

窓ガラスのワンタッチ開閉、挟み込み防止機構が正常に作動しないときは、次の操作を行い初期設定してください。

- ① エンジンを始動します。
- ② スイッチを押して、窓ガラスを全開にします。

- ③ スイッチを引き上げ続け、窓ガラスが全閉して3秒以上たってから手を離します。
 - ④ 正常に作動することを確認し、正常に作動しないときは、早めに日産販売会社で点検を受けてください。
- 初期設定されていない場合、ドアを開けると自動的に少し窓ガラスが下がりますが、ドアを開けた状態で窓ガラスを上げることはできません。

燃料補給口

燃料補給口

燃料補給口は運転席側の車両後方にあります。

燃料の補給

燃料タンクの容量は約62ℓです。

エンジン型式	指定燃料
VR30DDTT	無鉛プレミアム（無鉛ハイオク）ガソリン

🚗 アドバイス

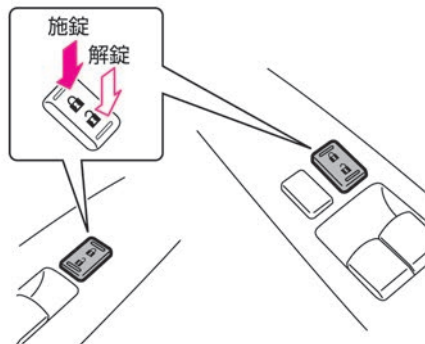
- 指定以外の燃料は補給しないでください。
- 無鉛プレミアムガソリンが入手できない場合、無鉛レギュラーガソリンも使用できますが、エンジン出力低下などの現象が発生します。

開けた、閉めた

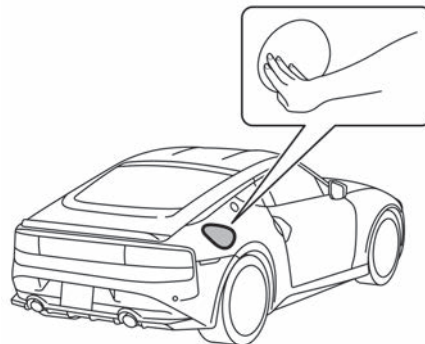
⚠ 警告

- キャップは確実に閉める。
閉まっていないと走行中に燃料が漏れ、火災につながるおそれがあります。
- 日産純正品以外のキャップは使用しない。

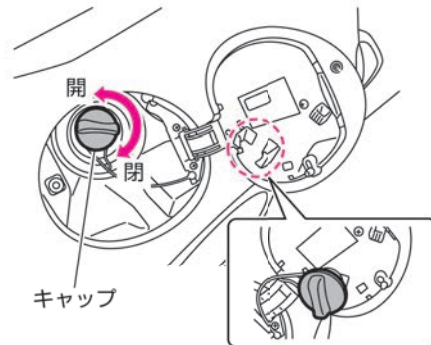
1. <ドアロックスイッチ>を押して解錠します。
燃料補給口のリッドロックは、<ドアロックスイッチ>の施錠・解錠に連動します。



2. リッドの車両後方側を押すとリッドが少し開きます。開いたすき間に手を入れて全開します。



3. キャップを左にゆっくり回して開けます。
補給時、キャップはリッド裏側のホルダーに置きます。



4. 閉めるときは、キャップを“カチッ、カチッ”と、2回以上音がするまで右に回して閉めます。
5. リッドを閉めます。

燃料補給時の注意事項

⚠ 警告

- 燃料補給時は、次のことを必ず守る。
 - エンジンを止める
 - 車のドアや窓を閉める
 - タバコなどの火気を近づけない
 - 気化した燃料を吸わない
- 補給作業を行う前に、金属部分に触れて身体の静電気を除去する。

⚠ 警告

放電による火花でやけどをしたり、燃料に引火したりするおそれがあります。

- 補給作業はひとりで行う。

作業中に車室内に戻ったり、帯電している人や物に触れると再帯電するおそれがあります。

- キャップを開けるときはゆっくり回し、燃料タンク内の圧力を下げてから外す。

急に開けると、燃料が補給口から吹き返すおそれがあります。

- 給油ノズルは確実に給油口へ挿入する。

給油ノズルの挿入が浅いと、給油の自動停止が遅れるため、燃料が吹きこぼれ火災につながるおそれがあります。

- 給油ノズルの自動停止後は、給油の継ぎ足しをしない。

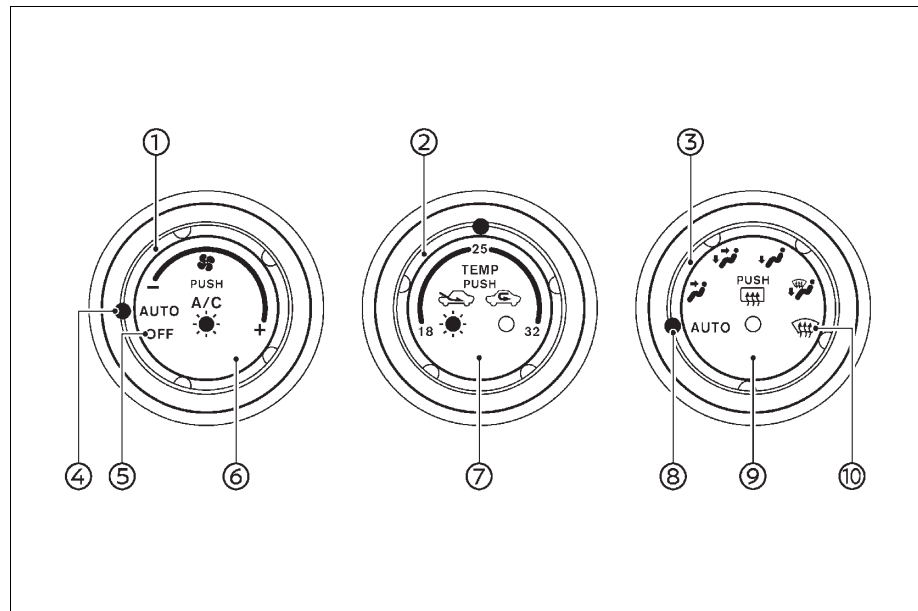
継ぎ足しをすると、燃料があふれて火災につながるおそれがあります。

- ガソリンスタンド内に掲示されている注意事項を守る。

オートエアコン

吹き出し口、風量、内気循環／外気導入を自動で制御し、設定した温度に保ちます。

各スイッチの名称と機能



- ① **風量調節ダイヤル**
ダイヤルを回して風量を調節します。
- ② **温度調節ダイヤル**
ダイヤルを回して設定温度を調節します。(18℃～32℃)
- ③ **吹き出し口切り替えダイヤル**
ダイヤルを回して吹き出し口を切り替えます。

- ④ **AUTO位置(風量)**
風量を自動制御に切り替え、設定した温度に保ちます。
- ⑤ **OFF位置**
オートエアコンをOFFにします。
- ⑥ **エアコンスイッチ**
冷房・除湿機能のON・OFFを切り替えます。
- ⑦ **内外気切り替えスイッチ**
スイッチを押すごとに、内気循環、外気導入が切り替わります。
内気循環のときは<内気循環>、外気導入のときは<外気導入>の下にある表示灯が点灯します。
- ⑧ **AUTO位置(吹き出し口)**
吹き出し口を自動制御に切り替え、設定した温度に保ちます。
- ⑨ **リヤウインドーデフォグガースイッチ**
バックドアガラスのくもりが取れます。また、ドアミラーに内蔵されたヒーターが作動し霜やくもりを取ります。(P.245)
- ⑩ **デフロスター位置**
ダイヤルを回してデフロスター<デフロスター>に切り替えます。

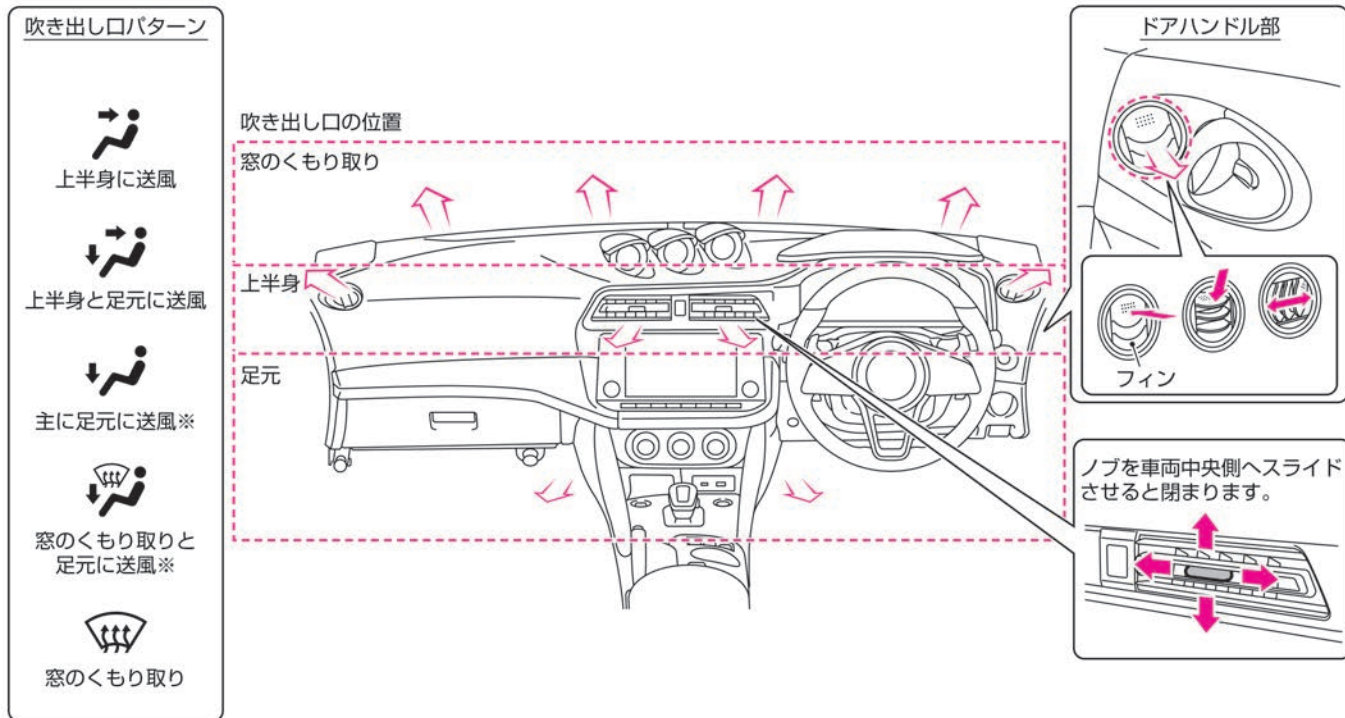
オートでの使いかた

1. 吹き出し口切り替えダイヤル③をAUTO位置（吹き出し口）⑧にします。
2. 温度調節ダイヤル②を回して希望温度にします。
温度の調節範囲は18～32℃です。
右回転：温度が上がる
左回転：温度が下がる
3. 風量調節ダイヤル①をAUTO位置（風量）④にします。
4. <内外気切り替えスイッチ>⑦を約2秒間押し続けます。
スイッチの表示灯が2回点滅すると自動制御モードに切り替わります。

- オートで使用中に風量の調節または、吹き出し口の切り替えを行うと、操作した機能以外については引き続き自動制御されます。
また、内気循環／外気導入が自動制御モード中に<内外気切り替えスイッチ>⑦を押すと、マニュアルモードに切り替わります。（自動制御モード時は、制御している方の表示灯が点灯します。）
- 吹き出し口の切り替えは、吹き出し口（➡P.107）をお読みください。
- 電源ポジションをOFFにし、再度電源ポジションをONにすると、エアコンの条件によっては、内気循環／外気導入が自動制御モードになる場合があります。

吹き出し口

吹き出し口切り替えダイヤルを回すごとに吹き出し口が切り替わります。



※：窓側の冷気を抑えるために、ドアハンドル部にある吹き出し口から少し温風が出ます。

エアコンの操作

エアコンを使うときに注意すること

エアコンに関する注意事項

⚠ 注意

- <エアコンスイッチ>OFF時に内気循環で長時間使用しない。

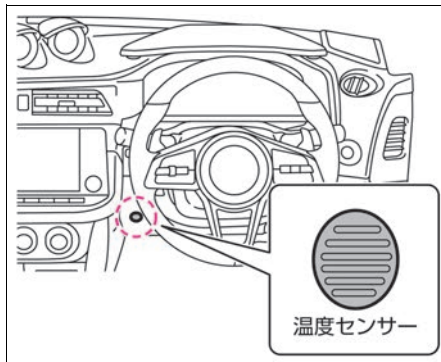
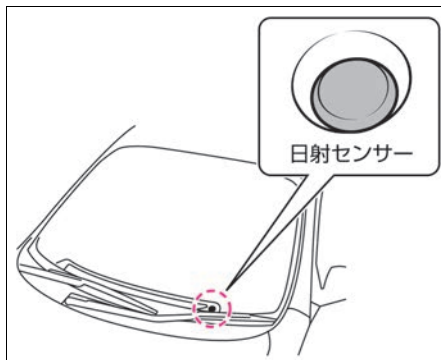
窓ガラスがくもりやすくなり、視界が損なわれ危険なため、一時的にご使用ください。

- 吹き出し風を長時間連続して身体に当てない。

特に皮膚の弱い方、乳幼児、病人、お年寄り、身体の不自由な方などには、吹き出し風が長時間当たらないように運転者が注意してください。低温やけどや思わぬ傷害を受けるおそれがあります。

- デフロスター位置<☞>にしているときに、エアコンの設定温度を低くしない。

フロントガラスの外側に露が付き、視界を妨げるおそれがあります。



- 自動温度調節は日射センサーと温度センサーで行っています。センサーをふさいだり、クリーナーなどを吹きかけたりしないでください。センサーの感度が低下し、正常に作動しなくなります。
- ほこり、花粉、粉じんなどを集じんし、タバコやペットなどのにおいをフィルター内の活性炭が吸着除去するクリーンフィルター（脱臭機能付）を装着してい

ます。集じん・脱臭性能を維持するため、クリーンフィルター（脱臭機能付）は定期的に交換してください。

交換時期：1年ごとまたは12,000km走行ごと

- クリーンフィルター（脱臭機能付）が交換時期に満たない場合でも、吹き出し風量が極端に減少したり、窓ガラスがくもりやすくなったりした場合は交換してください。なお、取り付け、交換などについては、日産販売会社にご相談ください。
- 外気導入に固定していると、夏場など外気温が高いときは、冷房の効きが悪くなる場合があります。その場合は、一時的に内気循環にしてください。
- エアコン装置のオイル循環を切らさないために、ときどき<エアコンスイッチ>をONにして作動させてください。なお、外気温が0℃近くまで下がるとエアコン装置が作動しないことがあるため、暖かい日に行ってください。
- エアコンガスは必ず指定のものをご使用ください。エアコンガスの詳細については、ボンネットの裏にあるエアコンラベルをご確認ください。
- 地球温暖化防止のためエアコンガスを大気放出しないでください。
- エアコンの修理、メンテナンスは日産販売会社にご相談ください。
- 冷房時、吹き出し口から霧が吹き出したように見えることがありますが、これは湿った空気が急に冷やされたときに発生するもので、異常ではありません。
- エアコンがONのとき、またはOFFにした直後に、“カチカチ”、“シュー”、

エアコンの操作

“コツン”などの音が聞こえることがありますが、異常ではありません。

- 始動直後で吹き出し風の温度が低いときは、足元への吹き出し風量が少なくなります。
- エアコンの運転中、運転後などに車両の下に水が垂れることがあります。
- 外気温が低いときは、外気温に応じてフロントデフロスターへの風量が多くなります。

エアコンのにおいについて

- エアコン装置は、空気中のいろいろなにおいが混ざり合うため、吹き出し風からにおいを感じる場合があります。
- エアコン作動時のにおいを抑えるため、駐車時などは外気導入にしておくことをおすすめします。

MEMO

始動する

エンジンスイッチ	P.112
----------	-------

運転する

セレクトレバー（オートマチック車）	P.115
ローンチコントロール	P.117
ドライブモードセクター★	P.119
シフトレバー（マニュアル車）	P.120
シンクロレブコントロール（マニュアル車）	P.121
シフトアップインジケーター	P.122
パーキングブレーキ	P.124
発進・走行（オートマチック車）	P.124
停車・駐車（オートマチック車）	P.126

ランプをつける、ワイパーを使う

ライトスイッチ	P.128
フォグランプスイッチ	P.133
ワイパー・ウォッシャースイッチ	P.133

運転支援機能

ABS（アンチロックブレーキシステム）	P.135
VDC（ビークルダイナミクスコントロール）	P.135
ヒルスタートアシスト	P.137
メカニカルLSD（リミテッドスリップデファレンシャル）★	P.138
走行支援機能	P.139
インテリジェント クルーズコントロール	P.144

インテリジェント エマージェンシーブレーキ	P.156
踏み間違い衝突防止アシスト★	P.161
BSW（後側方車両検知警報）	P.168
LDW（車線逸脱警報）	P.173
インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）	P.175
インテリジェント DA（ふらつき警報）	P.177
RCTA（後退時車両検知警報）	P.178

駐車支援システム

バックビューモニター	P.182
バックビューモニターの注意事項	P.183
ソナーシステム	P.186

エンジンスイッチ

⚠ 警告

- エンジンを始動する前にペダルの位置を確認する。

ペダルの踏み間違いは思わぬ事故につながります。右足でアクセルペダルとブレーキペダルを交互に踏み、その位置を確実に覚えてください。

- 換気の悪い場所では、暖機運転をしたりエンジンをかけたままにしたりしない。

排気ガスが車両周辺に滞留したり、車室内に侵入したりすることで、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。一酸化炭素を吸い込むと、意識が薄れて事故につながるおそれがあるほか、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。

- エンジンを始動するときは、必ず運転席に座る。

運転席以外から行くと、思わぬ事故につながるおそれがあります。

- セレクトレバーの操作は必ずエンジンが始動したことを確認してから行う。(オートマチック車)

スターターモーターが回転中にセレクトレバーを操作すると、エンジン始動が中止され、思わぬ事故につながるおそれがあります。

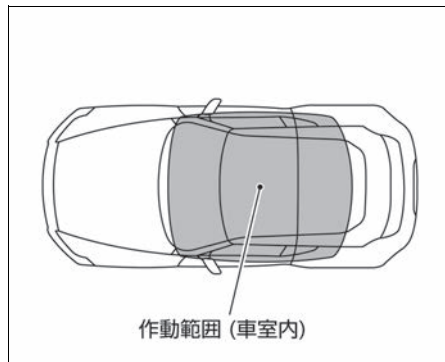
- エンジン始動前のブレーキペダル操作などにより、ブレーキペダルが硬くなっている場合があります。この場合、ブレー

キペダルを軽く踏んだ状態ではペダル踏み込み操作が検知されず、エンジンが始動しません。ブレーキペダルを通常よりも強く踏み込んでください。

- エンジンの始動を連続して行くと保護機能が作動し、エンジンがかからなくなることがあります。その場合は、3分以上待ってから再度<エンジンスイッチ>を押して始動してください。
- ブレーキペダルを踏んだり離したりしたとき、「カチッ」と音が聞こえることがあります。異常ではありません。

エンジンがかかりにくいときは

- オートマチック車はブレーキペダルを踏みながら、アクセルペダルをいっばいに踏み込んで<エンジンスイッチ>を一度押してください。ブレーキペダル、アクセルペダルは離さず、約5秒後にもう一度<エンジンスイッチ>を押してください。その後、再度エンジンの始動のしかた(➡P.112)の手順1~3の操作をしてください。



- キーが作動範囲(車室内)にあるときに、エンジンを始動することができます。(ラゲッジルーム内は除きます。)
- キーの電池が消耗しているときや、強い電波、ノイズのある場所では、作動範囲が狭くなる、また、作動しないことがあります。
- ラゲッジルーム内は作動範囲ではありませんが、エンジンの始動が可能になることがあります。
- 車室内でもインストルメントパネル上、グローブボックス内、ドアポケット内などにインテリジェントキーがあるときは、エンジンの始動ができないことがあります。
- 車外でもドアやドアガラスに近づきすぎた場合は、エンジンの始動が可能になることがあります。

クラッチ・スタートシステム(マニュアル車)

- マニュアル車は、クラッチペダルを踏み込んだ状態で<エンジンスイッチ>を押さないと、エンジンが始動できません。

エンジンの始動のしかた

1. アクセルペダル、ブレーキペダルおよびクラッチペダル(マニュアル車)の位置を確認し、正しい運転姿勢(➡P.14)がとれるようにハンドル、シート、ミラーを調節します。

始動する

2. オートマチック車

パーキングブレーキがかかっていることと、シフトポジションが**P**に入っていることを確認します。シフトポジションが**N**でも始動できますが、安全のため必ず**P**で始動してください。

マニュアル車

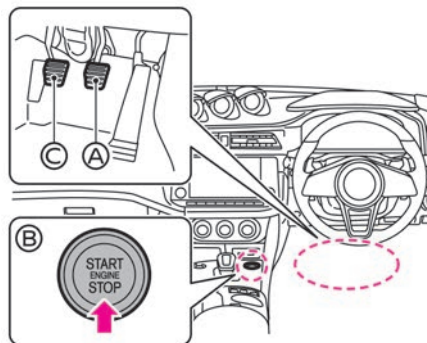
パーキングブレーキがかかっていることと、シフトポジションが**N**であることを確認します。

3. オートマチック車

ブレーキペダル**A**をしっかりと踏み込みながら、＜エンジンスイッチ＞**B**を1回押します。

マニュアル車

ブレーキペダル**A**をしっかりと踏み込みながら、アクセルペダルを踏まずにクラッチペダル**C**をいっばいに踏み込んで、＜エンジンスイッチ＞**B**を1回押します。



エンジンの停止のしかた

⚠ 警告

- 電源ポジションをOFFにするときには、パーキングブレーキを確実にかけ、セレクトレバーが**P**であることを確認する。(オートマチック車)

車両が動き出し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

1. ブレーキペダルを踏んで、車両を完全に停車させます。
2. ブレーキペダルを踏んだままパーキングブレーキをかけます。
➡ パーキングブレーキのかけかた (P.124)
3. オートマチック車はセレクトレバーにある＜P＞スイッチを押し、マニュアル車はシフトポジションをNにします。
➡ セレクトレバーの操作 (P.115)
➡ シフトレバーの操作 (P.120)
4. ＜エンジンスイッチ＞を押します。電源ポジションがOFFになり、エンジンが停止します。

電源ポジションの切り替えかた

- ブレーキペダルを踏まずに＜エンジンスイッチ＞を押すと、次のように電源ポジションが切り替わります。

モード	働き
OFF (LOCK※)	● 電源が切れる位置 ※：いずれかのドアを開閉するとハンドルがロックされます。
Acc	● オーディオ、ドアミラーなどが使える位置
ON	● すべての電装品が使える位置

- インテリジェントキーを携帯しているときに、次の作動をします。
 - ー ブレーキペダルを踏まずに＜エンジンスイッチ＞を押すと、モードが切り替わります。
 - ー オートマチック車はブレーキペダル、マニュアル車はクラッチペダルを踏みながら＜エンジンスイッチ＞を押すと、エンジンが始動します。
 - ー エンジンが始動中に＜エンジンスイッチ＞を押すと、エンジンが停止します。

🚗 アドバイス

- エンジンを止めたままオーディオなどを長時間つけておいたり、電源ポジションをAccまたはONにしたまま長時間放置しないでください。バッテリーがあがり、エンジンの始動やハンドルロック（ステアリングロック）の解除ができなくなります。
- 次の条件がそろると自動的に電源ポジションがOFFになります。

始動する

アドバイス

- 電源ポジションがONのまま約10分経過、またはAccのまま約30分経過したとき
- 全ドアが閉まっているとき
- シフトポジションがPのとき（オートマチック車）

知識

- 電源ポジションがOFFのとき、ハンドルロック（ステアリングロック）がかかっていない場合は、いずれかのドアを開けるか、または閉めるとハンドルロック（ステアリングロック）が作動します。
 ハンドルがロックし、エンジンの始動ができないときは (P.218)

エンジンの非常停止のしかた

警告

- 非常停止を行うときは、可能な限り減速してから行う。
非常停止後は、ブレーキの効きが悪くなり、ハンドルも重くなるため、車両のコントロールが難しくなります。

緊急時など、走行中に強制的にエンジンを停止させるときは、次のいずれかの操作を行ってください。

- <エンジンスイッチ>をすばやく3回押す。

- <エンジンスイッチ>を2秒以上押し続ける。

セレクトレバー（オートマチック車）

⚠ 警告

- セレクトレバーの操作は必ずエンジンが始動したことを確認してから行う。

スターターモーターが回転する前にセレクトレバーを操作すると、目的のシフトポジションに切り替わらず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- セレクトレバーには物を掛けない。
車両が突然発進するなど、事故の原因になるおそれがあります。

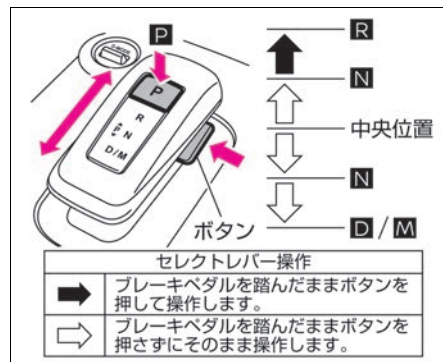
🚗 アドバイス

- セレクトレバーは、操作後に手を離すと中央に戻ります。中央の位置以外で保持し続けしないでください。故障の原因になります。

エンジンが始動しているとき、すべてのシフトポジションに切り替えることができます。セレクトレバーを操作したあとは、目的のシフトポジションに切り替わっていることを必ず確認してください。

セレクトレバーの操作

P	セレクトレバーにある<P>スイッチを押します。
R	ブレーキペダルを踏みながら、ボタンを押して車両前方へ2段階スライドさせます。
N	Pのときは、ブレーキペダルを踏みながら車両前方、または車両後方に1段階スライドさせ、しばらく保持します。 D・Mのときは、ブレーキペダルを踏みながら車両前方に1段階スライドさせ、しばらく保持します。 Rのときは、ブレーキペダルを踏みながら車両後方に1段階スライドさせ、しばらく保持します。
D	ブレーキペダルを踏みながら、車両後方に2段階スライドさせます。
M (マニュアルモード)	D のときに車両後方に2段階スライドさせると M に切り替わります。もう一度2段階スライドさせると D に戻ります。



- セレクトレバーが中央にないときは、<P>スイッチを押しても**P**に切り替えられません。
- シフトポジションを**R**に切り替えるとブザーが鳴ります。
- 次の操作は無効とみなされ、ブザーが鳴るとともにシフトポジションは**N**に切り替わります。
 - ー 前進中にシフトポジションを**R**に切り替える
 - ー 後退中にシフトポジションを**D**に切り替える
- 以下の条件が重なったとき、シフトポジションが自動で**P**に切り替わる場合があります。
 - ー 運転席シートベルトを外したとき
 - ー 運転席ドアを開けたとき
- この車両にはオートP機能がありますが、電制シフトが故障した場合は、シフトポジションが**P**以外で電源ポジションをOFFにしようとしても、ブザーが鳴り、

運転する

電源ポジションをOFFに切り替えられませんが、電源ポジションをOFFにできないときは、次の操作を行ってください。

- ① 停車してパーキングブレーキをかけます。
- ② ブレーキペダルを踏み込みながら<エンジンスイッチ>を押して、電源ポジションをONに切り替えます。
- ③ セレクトレバーにある<P>スイッチを押して**P**に切り替えます。
- ④ <エンジンスイッチ>を押して、OFFに切り替えます。

各シフトポジションの機能

シフトポジション	役割
P	駐車およびエンジンを始動するとき
R	後退するとき
N	動力が伝わらない状態
D	通常走行するとき
M	M レンジ パドルシフトの操作で1速から9速を任意に選択して走行できます。

- シフトポジションを**P**に切り替えずに電源ポジションをOFFにすると、自動的にシフトポジションが**P**に切り替わります。(オートP機能)

マニュアルモードの使いかた

Dのときにシフトポジションを**M**に切り替えたり、パドルシフトを操作したりするとマニュアルモードになります。

(ポジションインジケータに、シフトポジションを表示します。)

- 安全や走行性能を確保するために、セレクトレバーまたはパドルシフトを操作しても希望するギヤに変速しなかったり、シフトポジションが自動的に切り替わる場合があります。
- セレクトレバー、またはパドルシフトを操作しても希望するギヤに変速しない場合は、ポジションインジケータが点滅しブザーが鳴ります。
- 車両が停止すると、1速へ自動的にシフトダウンします。

知識

シフトアップインジケータ

- シフトアップインジケータ(➡P.122)を設定すると、シフトアップタイミングの目安になります。

各シフトポジションの動き

シフトポジション	動き
1	1速に固定されます。より強いエンジンブレーキが必要なときに使います。

シフトポジション	動き
2	2速に固定されます。強いエンジンブレーキが必要なときに使います。
3	3速に固定されます。エンジンブレーキが必要なときに使います。
4	4速に固定されます。下り坂で軽いエンジンブレーキをかけたいときなどに使います。
5	5速に固定されます。
6	6速に固定されます。
7	7速に固定されます。
8	8速に固定されます。
9	9速に固定されます。

各シフトポジションの限界速度

注意

- 限界速度を超えると、エンジンが破損するおそれがあります。

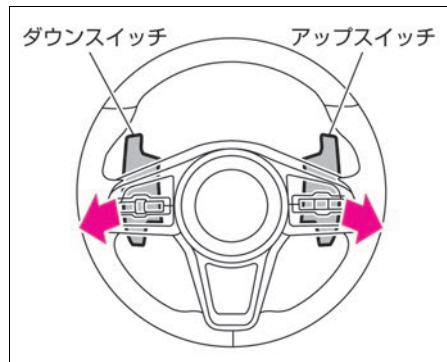
シフトポジションを切り替えるときは、エンジンを回転させすぎないために、下表の速度を超えないようにしてください。

シフトポジション	限界速度 (km/h)
1速	50
2速	80
3速	120

シフトポジション	限界速度 (km/h)
4速	180
5速	180
6速	180
7速	180
8速	180

■ 切り替えかた

- シフトポジションをMに切り替えるか、パドルシフトを操作します。
(ポジションインジケーターの表示がDからギヤポジション表示に変更します。)



- パドルシフトを手前に引いて操作します。
 - シフトポジションアップ
右側のパドルシフトを引きます。
 - シフトポジションダウン
左側のパドルシフトを引きます。
- パドルシフトを操作しても希望するギヤに変速できない場合があります。そのと

きはポジションインジケーターが点滅し、ブザーが鳴ります。

➡ ポジションインジケーター (P.42)

- シフトポジションがDで走行中(約10km/h以上)のとき、パドルシフトで切り替えられます。

■ 解除のしかた

シフトポジションがMのとき

- シフトポジションをDに切り替えます。

シフトポジションがDでパドルシフト操作によりマニュアルモードにしたとき

- パドルシフトを約2秒間、手前に引き続けます。
- 次の場合は、自動的にマニュアルモードが解除されます。
 - 変速操作をしないで、しばらく走行したとき
 - 車速が約10km/h以下になったとき

ローンチコントロール

ローンチコントロールについて

⚠ 警告

- 交通ルールやマナーを守って運転する。
周囲の交通状況や路面状態から判断して安全が確保できるときのみ使用してください。
- 濡れた路面のような滑りやすい状況では使用しない。
急激なタイヤスリップによってハンドルを取られるおそれがあり危険ですので使用しないでください。
- 改造はしない。
ローンチコントロールは、エンジン・トランスミッション(オートマチック車)・VDCの制御だけでなく、タイヤなどのセッティングも含めて開発されています。よって改造すると車両のバランスが崩れ、性能が発揮できないだけでなく、トランスミッションなどのパワートレイン系部品が破損するおそれがあります。

📖 知識

- エンジン冷却水やトランスミッションオイルの温度が低いときや高いときは使用できません。
使用できる範囲は以下のとおりです。

知識

- エンジン冷却水温度：60℃以上～100℃以下
- トランスミッションオイル温度：60℃以上～100℃以下（オートマチック車）
- 性能は、路面状態や気温によるタイヤスリップの大小や、気温によるエンジン出力の増減によって変化することをご承知おきください。
- タイヤが冷えているため本来の性能を発揮できないときや、濡れた路面のような滑りやすい状況では、安全を確保するためブレーキをかけたり、エンジン出力を抑えるVDC制御が入る場合があります。
- ローンチコントロールを多用すると、通常の発進時に比べ、パワートレイン系部品に大きな負担がかかります。特にマニュアル車のクラッチは摩耗や劣化の進行が早まります。

所定の操作を行うと、停車状態からの発進加速性能を高めめます。

ローンチコントロールを使用するときは、むち打ちなどに注意してください。また、正しい運転姿勢がとれるよう、ハンドル、シート、ミラーを調整してください。

■ 使いかた



オートマチック車

1. <ドライブモードセクター>を操作して、ドライブモードを[SPORT]（NISMO仕様車以外）または[SPORT+]（NISMO仕様車）に切り替えます。
2. シフトポジションをDに切り替えます。
3. 左足でブレーキペダルをしっかりと踏み込みます。
4. 左右のパドルシフトを同時に手前に引きながら、右足でアクセルペダルをすばやくいっばいに踏み込みます。

アドバイス

- ブレーキペダルの踏み込み力が弱いためにホイールスピンが発生した場合、安全上の理由から制御システムが作動します。

5. アドバンスドドライブアシストディスプレイに[ローンチコントロール]と表示されます。
表示を確認したら、パドルシフトから手を放してください。

アドバイス

- パドルシフトを引いた状態で車両が発進した場合、ローンチコントロールが解除され、マニュアルモードになります。
6. アクセルペダルを踏み込んでから6秒以内にブレーキペダルを離します。

マニュアル車

1. <Sモードスイッチ>をONにします。（NISMO仕様車以外）
<ドライブモードセクター>を操作して、ドライブモードを[SPORT]に切り替えてから、<Sモードスイッチ>をONにします。（NISMO仕様車）
2. 左足でクラッチペダルをしっかりと踏み込みます。
3. シフトポジションを1速にします。
4. 右足でアクセルペダルをすばやくいっばいに踏み込みます。
5. アドバンスドドライブアシストディスプレイに[ローンチコントロール]と表示されます。



アドバイス

- [ローンチコントロール] と表示されているときに、ステアリングスイッチの<CANCEL>スイッチを6秒以内に<RES+>方向、または<SET->方向に押すことで、設定エンジン回転数を変更できます。
(<CANCEL>スイッチを操作するごとに、500rpm変更されます)
 - 初期設定のエンジン回転数は3,000rpmで、最大5,000rpm (NISMO仕様マニュアル車以外) または4,000rpm (NISMO仕様マニュアル車) まで変更できます。
 - 設定は、エンジンを再始動しても維持されます。
6. アクセルペダルを踏み込んでから6秒以内に、すばやくクラッチをつないで発進します。
7. 発進後はアクセルペダルを戻さず、クラッチとシフトレバーの操作のみでシフトアップが可能です。
アクセルペダルを離すと、ローンチコントロール機能が終了します。

ドライブモードセレクト★

複数のドライブモードがあります。目的に応じて使い分けてください。

ドライブモードについて

⚠ 警告

- **[SPORT] または [SPORT+] (NISMO仕様オートマチック車) のときは、ハンドルの路面からの影響を受けやすくなり、ハンドルがとられやすくなります。状況に応じて、[STANDARD] に切り替えてください。**
- **[SPORT] または [SPORT+] (NISMO仕様オートマチック車) で走行するときは周囲の状況に十分注意し、安全運転を心がける。**
 - [SPORT] または [SPORT+] (NISMO仕様オートマチック車) に設定すると、同じ状況でも [STANDARD] に比べてVDCの制御が抑えられ、VDCが作動しない場合があります。
 - 滑りやすい路面やカーブの手前では、特に速度を落としてください。

ドライブモード	特徴
[SPORT+] (NISMO仕様オートマチック車)	● [SPORT] に対して、さらにエンジンやトランスミッションのレスポンスが向上し、より路面からの情報がダイレクトに伝わるステアリングフィールになります。 ● 発進加速性能を高めるローンチコントロールが使用できます。 ➡ <u>ローンチコントロールについて (P117)</u>
[SPORT]	● [STANDARD] に対して次の項目が変化します。 — トランスミッションの変速レスポンス — ステアリングの操作フィーリング — VDC制御 — サウンド特性 ● 発進加速性能を高めるローンチコントロールが使用できます。 (NISMO仕様オートマチック車以外) ➡ <u>ローンチコントロールについて (P117)</u>
[STANDARD]	通常走行に最適な標準的制御のモード。

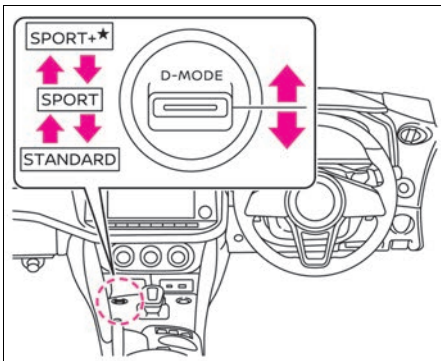
モードの切り替えかた

⚠ 注意

- 走行中にくドライブモードセレクト>や画面を注視しない。
前方不注意となり思わぬ事故につながるおそれがあります。

🚗 アドバイス

- <ドライブモードセレクト>を操作してもモードが切り替わらない場合は、システムの異常が考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。



- 電源ポジションがONのとき、<ドライブモードセレクト>を操作すると、選択可能なドライブモードがアドバンスドドライブアシストディスプレイに表示されます。

- モードの設定は、電源ポジションをONにするたびに「[STANDARD]」に戻ります。
- 「[SPORT]」または「[SPORT+]」にすると、サウンドエフェクトが鳴ります。(NISMO仕様オートマチック車)
- ➡ アクティブ・サウンド・コントロールについて (P.204)

シフトレバー (マニュアル車)

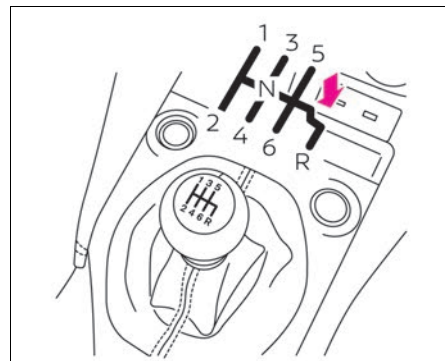
シフトレバーの操作

⚠ 注意

- 滑りやすい路面では不要なシフトダウンをしない。
タイヤがスリップして思わぬ事故につながるおそれがあります。
- Rに入れるときは、車両が完全に停止したことを確認する。

🚗 アドバイス

- 必ずクラッチペダルを完全に奥まで踏み込んでからシフトレバーを操作してください。ペダルを奥まで踏まずに操作すると、トランスミッションを破損するおそれがあります。
- シフトポジションがRのときに急発進しないでください。部品破損につながる恐れがあります。



- クラッチペダルを踏んでからシフトレバーを動かします。
- 1速で発進し、車のスピードに合わせて、2速から順に6速に変速します。
- 後退するときは、車を完全に停止させたあと、Rに入れます。(シフトレバーを押し下げながらRに入れます。)
- 駐車するときはシフトポジションをNに入れ、パーキングブレーキをかけます。
- 上り坂で駐車するときはシフトポジションを1速、下り坂ではRに入れてください。
- 信号待ちなど短時間の停車をするときは、ブレーキペダルを踏んだままNに入れ、クラッチペダルから足を離してください。
- シフトレバーを押し下げないと、Rに入りません。
- Nに戻すと、シフトレバーは元の高さに戻ります。

各シフトレバー位置の働き

シフトポジション	働き
N (ニュートラル)	エンジンを始動する
1速	車を走り出させるとき、または大きな力や、強いエンジンブレーキが必要なときに使う
2速、3速	加速していくとき、または普通走行から減速しエンジンブレーキをかける
4速、5速、6速	普通走行や高速走行する
R (リバース)	後退させる

各シフトポジションの限界速度



注意

- エンジンブレーキを使うときなどシフトダウンするときは、限界速度以下で変速する。
- 限界速度を超えると、エンジンを破損するおそれがあります。

シフトレバーを操作するときは、エンジンを回転させすぎないために、下表の速度を超えないようにしてください。

シフトポジション	限界速度 (km/h)
1速	59

シフトポジション	限界速度 (km/h)
2速	96
3速	137
4速	175
5速	180

シンクロレブコントロール (マニュアル車)

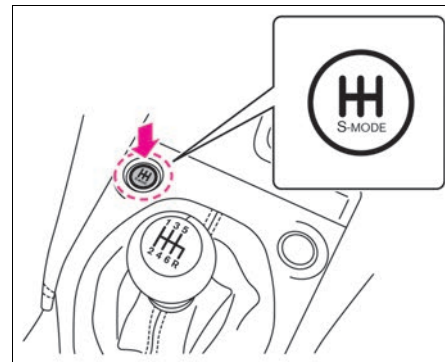
シンクロレブコントロールについて

変速するときに、シフトレバー位置や車速から目標エンジン回転数を算出し、変速後のエンジン回転数に制御します。すばやくかつクラッチペダルを離したときのショックが小さい変速を可能にするシステムです。

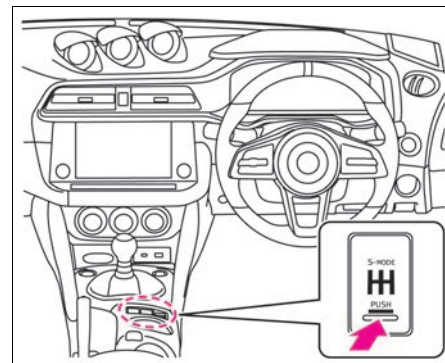
- <Sモードスイッチ>がONのときに作動します。
- シフトレバーとクラッチペダルの操作は、通常のマニュアル車と同じです。
- 1速では作動しません。
- シフトチェンジの操作ミスをカバーするための機能ではありません。
- オーバーレブを防止するための機能ではありません。

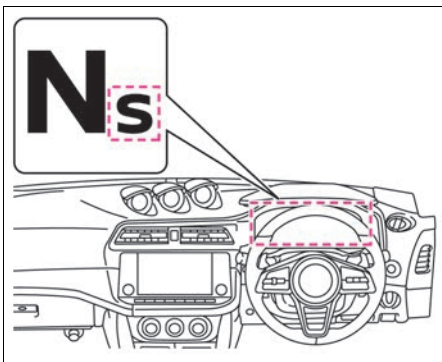
シンクロレブコントロールの使いかた

NISMO仕様車以外



NISMO仕様車





- <Sモードスイッチ>を押すと、システムが作動します。
(メーター内のポジションインジケータに [S] が点灯)
- 解除するときは、スイッチを約1秒以上押します。
(メーター内のポジションインジケータの [S] が消灯)

シフトアップするとき

- 変速後のシフトレバー位置に応じたエンジン回転数よりも下回らないようにエンジン回転数を制御します。

シフトダウンするとき

- アクセルペダルを踏まなくても、変速後のシフトレバー位置に応じたエンジン回転数に制御され、クラッチペダルを離れたときのショックをやわらげます。

アドバイス

- エンジン回転数が下がるまでには多少時間がかかるため、クラッチペダルを早く操作した場合に大きなショックが発生することがあります。

ギヤが入っている状態でクラッチを切ったとき

- クラッチペダルを踏んだときのシフトレバー位置のエンジン回転数に制御し、クラッチペダルを離れたときのショックをやわらげます。

アドバイス

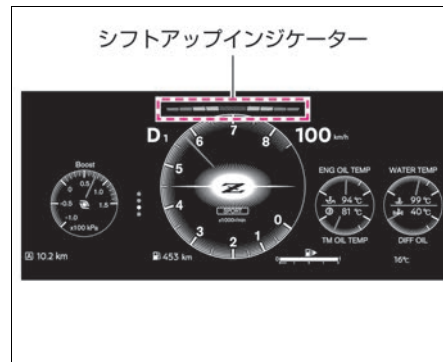
- クラッチペダルは奥までしっかりと踏み込んでください。作動開始が遅くなるおそれがあります。
- 走行中にクラッチペダルを踏み込んだまましていると、シフトレバー位置の回転数に制御するため、回転数が高いままになることがありますが異常ではありません。
- シフトポジションがNで走行中にクラッチペダルを踏み込んだままにすると、約2秒間作動し、エンジン回転数が高い状態になり、その後アイドル回転数まで下がりますが異常ではありません。
- エンジン水温が低いときは適切なエンジン回転数になるまでの時間が長くなり、回転数がずれることがありますが異常ではありません。

- シフトポジションがRのときはSモードインジケータが点灯していても作動しません。
- 本システムでは各シフトレバー位置の限界速度 (➡P.121) までしか制御しません。

シフトアップインジケータ

どのギヤからでも一定のエンジン回転数でシフトアップしたいとき、シフトアップタイミングの目安として使用します。

シフトアップインジケータについて



- 設定したエンジン回転数に近づくと、シフトアップインジケータが緑⇒黄⇒赤の順番で点灯、または点滅します。
- 設定したエンジン回転数になるとシフトアップインジケータが点灯します。

設定のしかた

⚠ 注意

- 設定した回転数とタコメーターの表示に若干のずれが生じる場合があります。
- シフトアップインジケーターは、スポーツ表示のときに設定できます。
➡ 各部名称（スポーツ表示）（P.40）
- メーターがスポーツ表示のとき、＜OK＞スイッチを回し [Shift Up Indicator] を選択し＜OK＞スイッチを押すと、シフトアップインジケーターの設定を変更することができます。

カスタマイズモード

- ＜OK＞スイッチを回し [カスタマイズ] を選択します。
- 5,200～8,500rpmの範囲で設定できます。
- 設定回転数は100rpm単位で切り替わります。
- 機能を停止する場合は、距離表示を [---] に合わせ＜OK＞スイッチを押し決定します。

自動モード

- ＜OK＞スイッチを回し [自動] を選択すると、最適な位置でシフトアップインジケーターが点灯します。

OFFモード

- 機能を停止することができます。

- ＜OK＞スイッチを回し [OFF] を選択すると、シフトアップインジケーターが非表示になります。

■ 点灯・点滅のしかた

シフトアップインジケーターの表示色が黄色に点灯したら、シフトアップタイミングが近いことをお知らせします。
シフトアップインジケーターの表示色が赤色に点灯したら、すばやくシフトアップを行ってください。



アドバイス

- シフトアップインジケーターが赤色で点滅すると、エンジン保護のため燃料供給が制限されます。



モード	表示色	表示タイミング
カスタマイズ	緑色	設定回転数の約1,800～2,400rpm手前から点灯
	黄色	設定回転数の約600～1,200rpm手前から点灯
自動	赤（点灯）	設定回転数になると点灯
	緑色 黄色	各シフトポジションによって、点灯する回転数が自動で設定されます。
	赤（点滅）	
OFF	非表示	最高エンジン回転数付近 —

運転する

パーキングブレーキ

パーキングブレーキをかけると後輪が固定されます。

パーキングブレーキのかけかた

⚠ 警告

- パーキングブレーキをかけたまま走行しない。

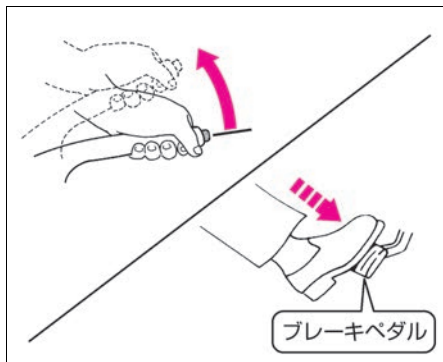
ブレーキが過熱することによって、ブレーキの効が悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

- 窓から身を乗り入れてパーキングブレーキを解除しない。

車両が動き出したときにブレーキペダルを踏めず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

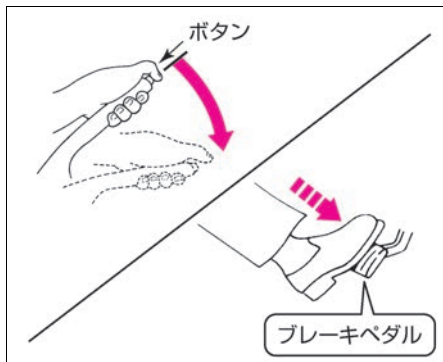
🚗 アドバイス

- 駐車するときは、必ずパーキングブレーキをかけてください。



- 右足でブレーキペダルを踏みながら、左手でパーキングブレーキレバーをいばいに引きます。

パーキングブレーキの解除のしかた



- 右足でブレーキペダルを踏みながら、左手でパーキングブレーキレバーを少し引

き上げながらボタンを押し、レバーを戻します。

- パーキングブレーキをかけたまま走行すると、パーキングブレーキ戻し忘れ警告 (P.231) が表示され、パーキングブレーキ戻し忘れ警報が鳴ります。

発進・走行 (オートマチック車)

発進するときの注意事項

⚠ 警告

- 発進するときは、アクセルペダルを踏んだままセレクトレバーを操作しない。

急発進し、重大な事故につながるおそれがあります。

- 停車中、シフトポジションがP、N以外に入っているときは、ブレーキペダルをしっかりと踏む。

クリープ現象により車が動き出し、事故につながるおそれがあります。

発進のしかた

1. ブレーキペダルを踏んだまま<エンジンスイッチ>を押して始動します。
2. ブレーキペダルを右足でしっかりと踏んだまま、セレクトレバーを車両後方に2段階スライドさせ、シフトポジションをDまたはM (マニュアルモード) に切り替えます。

- セレクトレバーの操作 (P.115)

3. ブレーキペダルを右足でしっかりと踏んだまま、パーキングブレーキを解除します。
➡ パーキングブレーキの解除のしかた (P.124)
 4. ブレーキペダルを徐々にゆるめ、アクセルペダルをゆっくり踏み発進します。
- 急な上り坂で発進するときは、ヒルスタートアシスト (➡ P.137) が作動します。
 - 緩やかな坂道ではヒルスタートアシストが作動しない場合がありますが、自動的に車両の後退を抑制する機能が働き、一定の車速以上では後退しないように制御します。

走行するときの注意事項

⚠ 警告

- 下り坂ではフットブレーキとエンジンブレーキを併用する。

シフトポジションが**D**のとき、低速ギヤを保持してエンジンブレーキが効きやすい状態に制御しますが、スピードが出すぎるときは坂の勾配に応じてマニュアルモードに入れてください。

フットブレーキだけを使い続けると、フットブレーキに負担がかかり、過熱してブレーキの効きが悪くなるおそれがあります。必ずエンジンブレーキを併用してください。

- 低速ギヤを保持しない場合は、坂の勾配に応じてマニュアルモードを低速ギヤに入れる。

アクセルペダルを深く踏み込んだ高負荷な状態で長く走り続けると、低速ギヤを保持しない場合があります。その場合には、坂の勾配に応じてマニュアルモードを低速ギヤに入れてください。

- 下り坂ではフットブレーキとエンジンブレーキを併用する。

ブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキが過熱して効きが悪くなるおそれがあります。坂の勾配に応じてエンジンブレーキを併用してください。

- 滑りやすい路面では、急激なエンジンブレーキは効かせない。

タイヤがスリップするおそれがあります。

- 走行中はシフトポジションを**N**に切り替えない。

エンジンブレーキが全く効かなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、トランスミッションが故障する原因となります。



アドバイス

- 上り坂ではクリーブ現象を利用した停車や、アクセルペダルを踏みながら停車状態を保つような停車はしないでください。車両故障につながるおそれがあります。

- 上り坂でシフトポジションを**D**または**M**のまま故意に車両を後退させたり、下り坂で**R**のまま故意に車両を前進させたりしないでください。車両故障につながるおそれがあります。
- 冠水路など深い水たまりは無理に走行しないでください。エンジン破損や車両故障につながるおそれがあります。
- 浸水・冠水被害に遭われた場合は、車両故障につながるおそれがあるため、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

走行のしかた

- シフトポジションを**D**にしたまま走行します。
- アクセルペダルとブレーキペダルの操作で、加速、減速を行います。アクセルペダルの踏み加減と走行速度や走行状況などにより、適切なギヤに自動変速されます。
- 高速道路の入り口などで急加速したいときは、アクセルペダルをいっぱい踏み込みます。キックダウンし急加速します。
- 上り坂では速度が下がってきたら、シフトポジションは**D**のままアクセルペダルを踏み込みます。坂の勾配に応じて、自動的に低速ギヤに切り替わり、低速ギヤを保持します。
- アクセルペダルの踏み加減と走行速度により、キックダウンすることがあります。

- 自動変速の回数が多いときは、坂の勾配に応じてマニュアルモードに入れると、変速回数が少ないなめらかな走行ができます。
- 下り坂では、エンジンブレーキを併用して走行します。シフトポジションが**D**でも、アクセルペダルを戻すと自動的にエンジンブレーキが得られます。また坂の勾配に応じて強いエンジンブレーキが必要な場合は、マニュアルモードに入れます。勾配の緩い下り坂では、マニュアルモードの5速または4速にすると、軽いエンジンブレーキが得られます。
- 走行中にセレクトレバーにある<P>スイッチを押した場合は、操作が無効となります。（ブザーが鳴り、操作前のシフトポジションが維持されます。）

停車・駐車（オートマチック車）

停車・駐車の手続き

⚠ 警告

- 駐車するときは、ガスライターなどに注意する。
操作部が露出しているガスライターをグローブボックスなどの小物入れに入れておいたり、床やシートのすき間に落としたままにしたりしないでください。荷物を押し込んだときやシートを動かしたときに、ガスが噴出して火災につながるおそれがあります。
また、ライターを使用したあと、すぐに収納すると火災を起こすおそれがあります。
- 停車中の空ぶかしはしない。
万一、シフトポジションが**P**、**N**以外に入っていると急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。停車後に再発進するときは、シフトポジションの位置を目で確認してください。
- 換気の悪い場所では、エンジンを始動したままにしない。
排気ガスが車両周辺に滞留したり、車室内に侵入したりすることで、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。一酸化炭素を吸い込むと、意識が薄れて事故につながるおそれがあるほか、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。

- 車から離れるときは、必ずシフトポジションを**P**にして、エンジンを停止する。

エンジンがかかったままで、シフトポジションが**P**、**N**以外だと、クリープ現象で車が動き出したり、誤ってアクセルペダルを踏み込むと急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

- 坂道などでシフトポジションを**D**、または**M**に入れたまま惰性での後退をしたり、**R**に入れたまま惰性での前進をしない。

エンジンが止まり、極度にハンドルの操作力が重くなります。また、ブレーキの効きが悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- 枯れ草、紙、木材、油など燃えやすい物の上や近くには駐車しない。
排気管や排気ガスは高温になるため着火するおそれがあり危険です。
- 長期間車両を駐車していると、小動物が巣を作り、思わぬ火災につながる可能性があるので注意する。
- エアコン使用時はエンジン回転数が変動するため、クリープ現象が断続的に強くなることがあるので注意する。
ブレーキペダルを特にしっかりと踏んでください。



アドバイス

- 炎天下で駐車するときは、車室内にライターや炭酸飲料の缶、サングラス、カメラなどを置いたままにしないでください。車室内が高温になり、爆発したり変形したりするおそれがあります。

停車・駐車のしかた

1. 停車するときは、シフトポジションは**D**または**M**のままで、ブレーキペダルをしっかりと踏みます。
2. そのまま駐車するときは、ブレーキペダルを踏んだままパーキングブレーキをかけます。
➡パーキングブレーキのかけかた
(P.124)
3. ブレーキペダルを踏んだままセレクトレバーにある<P>スイッチを押し、シフトポジションを**P**に切り替えます。
4. <エンジンスイッチ>を1回押すと、エンジンが停止します。

ランプをつける、ワイパーを使う

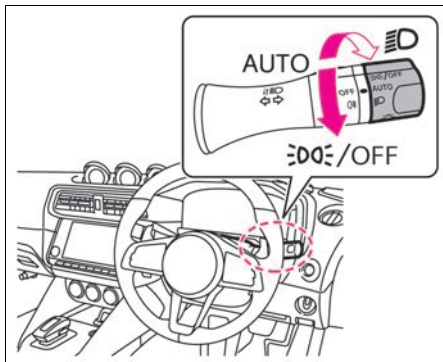
ライトスイッチ

ライトスイッチの注意事項

アドバイス

- エンジン停止時に長時間点灯させないでください。バッテリーがあがっておそれがあります。

ライトスイッチの使いかた



スイッチを回すと、次のように点灯、消灯します。

スイッチ位置

点灯するランプ

< 3DQZ/OFF >

(< 3DQZ/OFF >の位置にしても手を離すと自動で< AUTO >の位置に戻ります)

ヘッドランプ、車幅灯、尾灯、番号灯が自動点灯しているとき

停車時に< 3DQZ/OFF >の位置に回して保持すると、車幅灯、尾灯、番号灯が点灯します。走行を開始すると、周囲の明るさに応じてヘッドランプが自動点灯します。

車幅灯、尾灯、番号灯が点灯しているとき

停車時にセレクトレバーがP位置のとき、またはパーキングブレーキをかけているとき、< 3DQZ/OFF >の位置に回して保持すると、全ランプが消灯します。

走行を開始すると、周囲の明るさに応じてランプが自動点灯します。

ヘッドランプ、車幅灯、尾灯、番号灯が消灯しているとき

< 3DQZ/OFF >の位置に回して保持すると、車幅灯、尾灯、番号灯が点灯します。

< AUTO >

ヘッドランプ、車幅灯、尾灯、番号灯、デイトタイムランニングランプが自動点灯・消灯します。

< 3DQZ >

ヘッドランプ、車幅灯、尾灯、番号灯が点灯します。

- 車幅灯、尾灯、番号灯が点灯しているときはメーター内のテールランプ表示灯 [3DQZ] が点灯します。

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定 [3DQZ] ⇒ [画面カスタマイズ] ⇒ [オペレーションガイド] ⇒ [ライト] を選択すると、ライトスイッチを動かしたときにメーターに表示する機能のON・OFFを切り替えることができます。設定の詳細については、画面カスタマイズ (P.71) をお読みください。

- 通常時は< AUTO >の位置で使用してください。

- ヘッドランプ、制動灯などは、雨天走行や洗車などにより、レンズ内面が一時的にくもることがありますが異常ではありません。

バッテリーセーバー

- ランプを点灯したまま電源ポジションをOFFにし、リモコンまたはドアハンドルのスイッチで施錠すると、バッテリーあがりを防止するためランプが消灯します。次回、次の操作を行うとランプが再点灯します。

- 電源ポジションをAccにします
- ライトスイッチを操作する

オートレベライザー

- ヘッドランプが下向き点灯時に乗車人員や荷物量の違いにより車両姿勢が変化すると、自動的に照射方向を調整するシステムです。

ランプをつける、ワイパーを使う

デイトタイムランニングランプ

- 周囲の車や歩行者などからの視認性を向上させます。
- 電源ポジションがONでライトスイッチが<AUTO>の位置のとき、車幅灯、尾灯、番号灯が点灯しているとデイトタイムランニングランプが点灯します。デイトタイムランニングランプが点灯すると同時に尾灯も点灯します。
- パーキングブレーキをかけているとデイトタイムランニングランプは点灯しませんが、パーキングブレーキを解除すると点灯します。なお、デイトタイムランニングランプが点灯しているときにパーキングブレーキをかけてもデイトタイムランニングランプは消灯しません。
- 次の場合はデイトタイムランニングランプが消灯します。

- 車幅灯、尾灯、番号灯が点灯しているとき
- 停車時にライトスイッチを<3DGE/OFF>の位置に回して保持したとき

ヘッドランプ消し忘れ警報

- 電源ポジションがON以外の位置で運転席ドアを開けたとき、次の場合にブザーが鳴ります。
- ライトスイッチが<3D>の位置にあるとき
- ライトスイッチを<3DGE/OFF>の位置に回して、メーター内のテールランプ表示灯 [3DGE] が点灯しているとき

<3DGE/OFF>の使いかた

ヘッドランプ、車幅灯、尾灯、番号灯が自動点灯しているとき（周囲が暗いとき、ワイパーが作動しているとき）

- 停車時にライトスイッチを<3DGE/OFF>の位置に回して保持すると、車幅灯、尾灯、番号灯のみが点灯します。
- ライトスイッチを<3DGE/OFF>の位置に回してすぐに手を離れた場合は、ヘッドランプを消灯できません。
- 走行中にライトスイッチを<3DGE/OFF>の位置に回しても、ヘッドランプを消灯できません。

ヘッドランプ、車幅灯、尾灯、番号灯が消灯しているとき（周囲が明るいとき、キースイッチ（電源ポジション）がOFFのとき）

- ライトスイッチを<3DGE/OFF>の位置に回して保持すると、車幅灯、尾灯、番号灯が点灯します。
- ライトスイッチを<3DGE/OFF>の位置に回してすぐに手を離れた場合は、車幅灯、尾灯、番号灯を点灯できません。

車幅灯、尾灯、番号灯が点灯しているとき

- 停車時にセレクトレバーがP位置のとき、またはパーキングブレーキをかけているときにライトスイッチを<3DGE/OFF>の位置に回して保持すると、全ランプが消灯します。
- ライトスイッチを<3DGE/OFF>の位置に回してすぐに手を離れた場合は、全ランプを消灯できません。

- 走行を開始すると、周囲の明るさ、ワイパー作動に応じてヘッドランプが自動点灯します。

次の操作をすると、AUTO（自動点灯・消灯）に戻ります。

- セレクトレバーがP位置以外でパーキングブレーキをかけていないとき、再度ライトスイッチを<3DGE/OFF>の位置に回す
- 停車時にセレクトレバーがP位置のとき、またはパーキングブレーキをかけているときは、全ランプを消灯させた後、再度ライトスイッチを<3DGE/OFF>の位置に回す
- <3D>の位置にしてから<AUTO>の位置にする

AUTO（自動点灯・消灯）の使いかた

- 電源ポジションがOFFのときは消灯します。
- 電源ポジションがONのときは次のように作動します。

周囲が明るいとき

- 停車中、走行中ともにデイトタイムランニングランプ、尾灯が点灯します。

周囲が暗いとき

- 停車中、走行中ともにヘッドランプ、車幅灯、尾灯、番号灯が自動点灯します。

■薄暮感知「おもいやりライト」機能

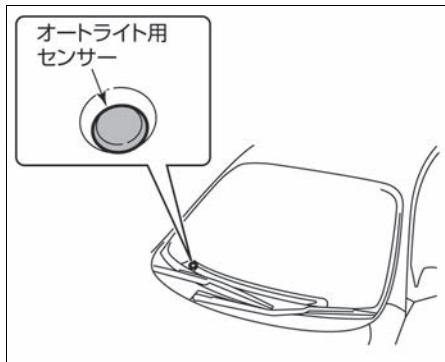
- 歩行者事故が多く発生している夕暮れ時もランプを自動点灯します。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定 [設定] ⇒ [車両設定] ⇒

ランプをつける、ワイパーを使う

〔ライト/照明〕⇒〔オートライト感度調整〕を選択すると、オートライトシステム（薄暮れ感知「おもいやりライト」機能付）の点灯タイミングの設定を変更することができます。

設定の詳細については、車両設定をお読みください。

➡アドバンスドドライブアシストディスプレイとは（メインメニュー）（P.54）



- センサーの上に物を置いたり、ガラスクリーナーなどを吹きかけないでください。センサーの感度が低下し、正常に作動しなくなります。

< 〰 > の使いかた

- ライトスイッチを< 〰 >の位置に合わせるとヘッドランプ、車幅灯、尾灯、番号灯が点灯します。

自動点灯ランプの消灯のしかた（車両停車時）

- 自動点灯したヘッドランプは走行中に消灯できない仕様となっています。

ヘッドランプの消灯方法

- ライトスイッチを< 〰 /OFF >の位置に回すと、ヘッドランプが消灯します。

すべてのランプの消灯方法

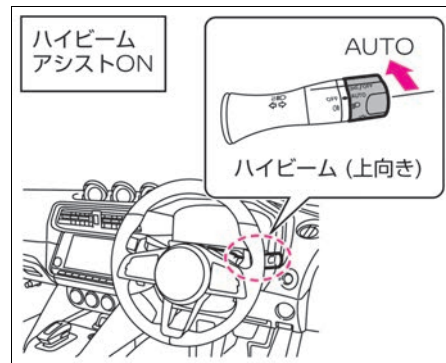
- 停車中にライトスイッチを< 〰 /OFF >の位置に回して保持し、ヘッドランプを消灯した後、セレクトレバーをD位置にする、またはパーキングブレーキをかけて、再度ライトスイッチを< 〰 /OFF >の位置に回して保持すると、全ランプが消灯します。

ハイビームアシスト

先行車または対向車や周囲の明るさなどに応じ、ハイビーム（上向き）とロービーム（下向き）が切り替わります。

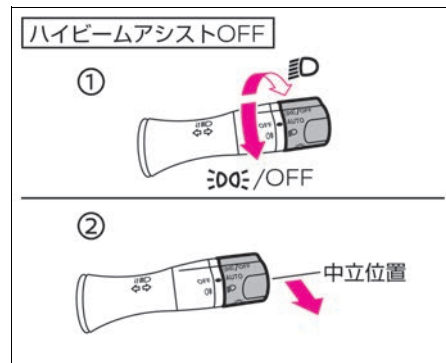
約40km/h以上で走行中、ヘッドランプが点灯しているときに切り替えを行い、約10km/h以下になるとロービーム（下向き）に切り替わります。

ハイビームアシストをONにする方法



- ライトスイッチが< AUTO >の位置でレバーを車両前方に押すと、ハイビームアシストがONになります。（メーター内のハイビームアシスト表示灯〔A〕が点灯）

ハイビームアシストをOFFにする方法



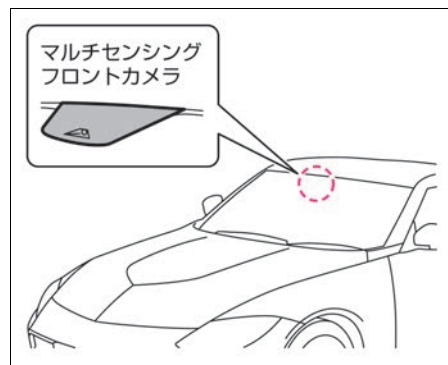
ランプをつける、ワイパーを使う

次のいずれかの操作をすると、ハイビームアシストがOFFになります。

● ライトスイッチを<AUTO>の位置以外にする...①

● ライトスイッチを中立位置にする
(ロービームに切り替わります)...②

■ マルチセンシングフロントカメラについて



フロントガラス上部に周囲の状況を感じ取るためのカメラがあります。

ハイビームアシストを正しく作動させるため、次のことをお守りください。

- フロントガラスが汚れたら清掃してください。
- カメラの周辺にアクセサリやステッカーなどを取り付けないでください。
- カメラのレンズには触れないでください。
- カメラおよびその周囲に強い衝撃を与えないでください。

➡ マルチセンシングフロントカメラの取り扱い (P.273)

ハイビームアシストの注意事項

⚠ 警告

● システムを過信しない。

常に周囲の状況を確認し、必要に応じて上向きと下向きを手動で切り替えてください。

● 次のようなときは、ハイビームアシストが正しく作動しない場合があるため、必要に応じて上向きと下向きを手動で切り替える。

- 悪天候のとき(雨、霧、雪など)
- 薄暗い早朝や夕暮れなどの暗さが不十分なとき
- カメラ前方のフロントガラスがくもっていたり、汚れなどが付着したりしているとき
- カメラの向きがずれているとき
- 周囲にヘッドランプや尾灯に似た光源があるとき
- 対向車または先行車が無灯火のとき
- 対向車のヘッドランプが破損または汚れていたり、光軸がずれているとき
- 自転車やバイクなど、ライトの明るさや大きさが十分でないとき
- 歩行者など光を発しないものとき

- 明るさの急激な変化が連続しているとき
- 段差や起伏のある道路を走行しているとき
- カーブが多い道路を走行しているとき
- ミラーや標識など反射の強いものが前方にあるとき
- トレーラーやコンテナなど先行車の後部の反射が強いとき
- パンクやけん引などで車両が傾いているとき

🚗 アドバイス

- ハイビームアシストが正しく作動しなかったり、作動中にメーターにハイビームアシスト表示灯〔**Ⓐ**〕が点灯しなかったりしたときは、ハイビームアシストが故障しているおそれがあります。日産販売会社で点検を受けてください。

ハイビームアシスト表示灯

(➡ P.53)

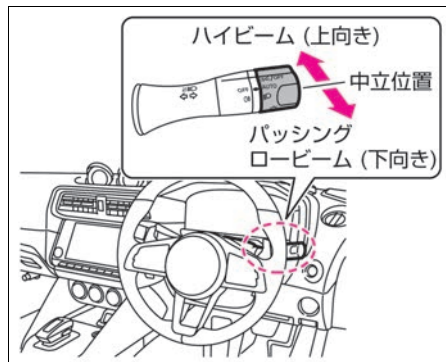
照射範囲切り替え制御

- 次のような原因で、上向きと下向きの切り替わるタイミングが変化することがあります。
 - 対向車または先行車のランプの明るさ
 - 対向車または先行車の向きや動き
 - 対向車または先行車のランプが片側のみ点灯している

ランプをつける、ワイパーを使う

- 対向車または先行車が二輪車
- 道路状況（カーブや勾配、路面状況など）
- 乗車している人数や荷物の量
- 対向車または先行車を検知し、照射範囲を切り替えているときにも、ヘッドランプ上向き表示灯<  >が点灯することがあります。（ハイビームの一部が点灯しているため）
ヘッドランプ上向き表示灯（➡P.52）

ハイビーム（上向き）への切り替えかた



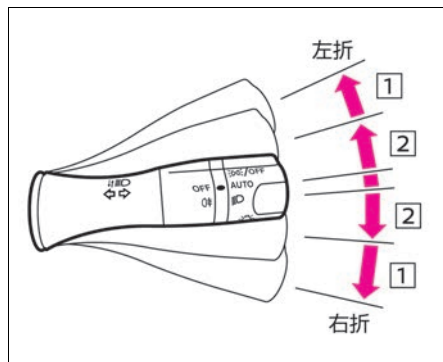
- ヘッドランプが点灯しているとき、ライトスイッチを車両前方に押し、ハイビームに切り替わります。
- 元の位置（中立位置）に戻すとロービームに戻ります。
- パッシングするときは、ライトスイッチの位置に関係なく、レバーを手前に引きます。

- ハイビームに切り替えているときは、ヘッドランプ上向き表示灯<  >が点灯します。
- ライトスイッチが< AUTO >の位置でハイビームに切り替えると、ハイビームアシスト（➡P.130）がONになります。
- ヘッドランプ、制動灯などは、雨天走行や洗車などにより、レンズ内面が一時的にくもることがありますが異常ではありません。

アドバイス

- 対向車があるときや市街地走行などでは下向きにしてください。

方向指示器の使いかた



電源ポジションがONのとき使えます。

- 右折または左折するときは、ライトスイッチを①の位置まで動かします。
- 車線変更などのときは、ライトスイッチを②の位置まで動かして軽く押さえます。

スイッチを押さえている間、方向指示器が点滅します。
また、スイッチ②の位置まで上または下に押さえたあと、すぐに手を離れたときは3回点滅し消灯します。（コンフォートフラッシャー機能）
設定の詳細については、車両設定をお読みください。

アドバイス

- 方向指示器のランプとメーター内の方向指示表示灯〔〕の点滅が速くなったときは、日産販売会社で点検を受けてください。

その他の機能について

■ ウェルカムライト機能（フェアウェル機能付）

- ドアの施錠・解錠時に、車幅灯、尾灯、番号灯が点灯します。（施錠時約10秒、解錠時約30秒）
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定〔〕⇒〔車両設定〕⇒〔ライト/照明〕⇒〔ウェルカムヘッドライト〕を選択すると、ウェルカムライト機能（フェアウェル機能付）の設定を変更することができます。
設定の詳細については、車両設定をお読みください。

➡アドバンスドドライブアシストディスプレイとは（メインメニュー）（P.54）

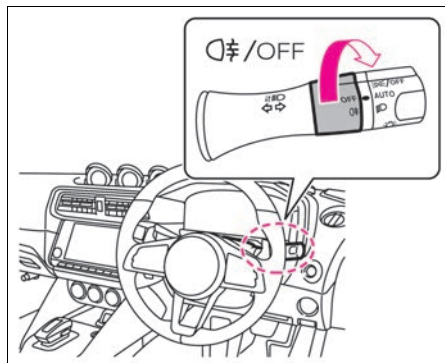
➡設定（各種設定画面）（P.71）

ランプをつける、ワイパーを使う

フォグランプスイッチ

雨、霧、雪などで視界が悪いとき、尾灯の補助として使用します。

リヤフォグランプの使いかた



- ヘッドランプが点灯しているときに使用できます。
- <Q≡>をマークの位置に合わせます。
(スイッチから手を離すと自動的にOFFの位置に戻ります。)
- 消灯するとき、スイッチを再度操作します。
- リヤフォグランプが点灯しているときは、リヤフォグランプ表示灯〔Q≡〕が点灯します。

リヤフォグランプの注意事項



警告

- 晴天時は使用しない。

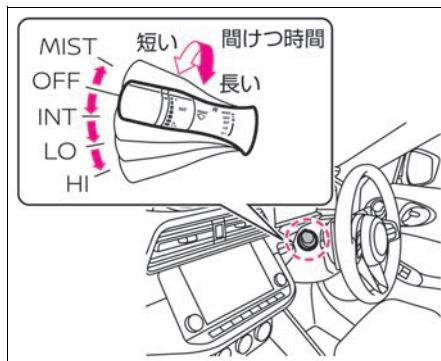
☆／★：車両型式、オプションなどで異なる装備

後続車の視界を悪くするおそれがあります。

ワイパー・ウォッシャースイッチ

電源ポジションがONのとき使用できます。

フロントワイパーの使いかた



- スイッチを動かすと、次のように作動します。

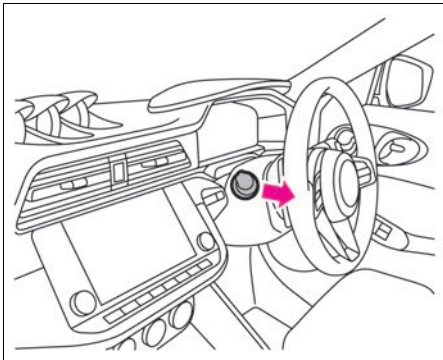
スイッチ位置	作動
<MIST>	スイッチを上げている間作動します。 手を離すと自動的にOFFに戻ります。
<OFF>	停止します。
<INT>	間けつで作動します。 スイッチを回し、ワイパーの間けつ時間を調節します。

スイッチ位置	作動
<LO>	低速で連続して作動します。
<HI>	高速で連続して作動します。

- <MIST>の位置では、スイッチを押し上げている間ワイパーは作動し、手を離すと自動的に<OFF>位置に戻り停止します。
- 間けつ作動の間隔は、車速が速くなると短くなる車速感知式です。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定 [⚙] ⇒ [車両設定] ⇒ [ワイパー] ⇒ [車速連動] を選択すると、車速連動機能のON・OFFを切り替えることができます。
設定の詳細については、車両設定をお読みください。
- ② アドバンスドドライブアシストディスプレイとは (メインメニュー) (P.54)
- ② 設定 (各種設定画面) (P.71)

ランプをつける、ワイパーを使う

ウォッシャーの使いかた



- スイッチを手前に引くと、ウォッシャー液が噴射します。
- スイッチを引いている間はウォッシャー液の噴射とワイパーの作動が続き、レバーを離すとワイパーが数回作動してから停止します。

ワイパー・ウォッシャーを使うときの注意事項

⚠ 警告

- 寒冷時は、ウォッシャー液を噴射する前に、ヒーターでガラスを温める。また、ウォッシャー液は外気温に合わせた希釈割合にする。

寒冷時は、ガラスに吹きつけられたウォッシャー液が凍結し、視界を妨げ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

🚗 アドバイス

- 雪が降りそうときや降雪時にはワイパーアームを起こしておいてください。ワイパーに雪が積もり、破損するおそれがあります。
- ワイパー作動中、雪などの障害物によりワイパーが作動できなくなると、モーター保護のためにワイパーの作動が停止することがあります。その場合は、スイッチを<OFF>にして障害物を取り除いたあと、モーターが冷えるまで（約1分間）待ってから、再度スイッチを操作してください。ワイパーが作動を開始します。
- 凍結などでワイパーゴムがガラスに張り付いているときは、ワイパーを作動させないでください。ワイパーが損傷したり、モーターが故障したりするおそれがあります。
- 窓ガラスが乾いているときは、ウォッシャー液を噴射してからワイパーをご使用ください。ガラスが乾いた状態でワイパーを使用すると、ガラスやブレード（ゴム部）を傷つけるおそれがあります。
- ウォッシャー液が出ないときは、連続して30秒以上作動させないでください。モーターが故障する原因となります。
- ウォッシャー液を補給しても液が出ないときは、日産販売会社にご相談ください。

ABS（アンチロックブレーキシステム）

ABSとは、急ブレーキ時や滑りやすい路面でのブレーキ時に、タイヤのロックを防止して、車両の安定性を向上させるとともにハンドル操作による障害物回避をしやすくするシステムです。

ABSに関する注意事項

⚠ 警告

● カーブの手前では十分に減速する。

ABSはあくまでも運転者のブレーキ操作を補助するシステムです。ABSの付いていない車両と同様に、カーブの手前では十分な減速が必要です。早めの操作で安全運転を心がけてください。

● でこぼこ道、砂利道、積雪路などでは、特に速度を抑え、車間距離を十分にとる。

ABSはブレーキ時の車両の安定性、操舵性を確保しようとするための装置で、制動距離が短くなるとは限りません。でこぼこ道、砂利道、積雪路などでは、ABSの付いていない車より制動距離が長くなる場合があります。このような道を走行するときは、特に速度を抑え、車間距離を十分にとって運転してください。

● タイヤ交換時は、必ず指定サイズのタイヤを4輪に装着する。

ABSは各車輪の回転速度をセンサーで検出しています。指定サイズ以外ではABSが正常に作動しなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ABSについて

急ブレーキを踏まなければいけないような状況に陥らないよう、安全運転を心がけることが大切です。万一の危険な状況では次のようにしてください。

- 危険だと感じたら、ためらわず思い切りブレーキペダルを踏み込んでください。
- ABSが作動すると、ブレーキペダルに振動が伝わったり、作動音が聞こえたりします。これはABSの正常な作動によるものです。そのままブレーキペダルを踏み続けてください。
- 障害物回避の際には、ブレーキペダルを踏みながらハンドル操作をしてください。
- 電源ポジションをONにしたときや、エンジン始動後最初の発進時に、エンジンルーム内から音が聞こえることがありますが、これはシステムの作動をチェックしている音で異常ではありません。

なお、車両を確実に停車させるため、ABSは低速では作動しません。路面の状況により異なりますが約10km/h以下では作動しません。

VDC（ビークルダイナミクスコントロール）

VDCは、横滑りや駆動輪の空転を抑えて走行時の車両安定性を向上させるシステムです。

VDCの機能について

- VDCのシステムには次の機能があります。
 - ー VDC機能：走行中の横滑り状態をセンサーで判別し、走行時の車両安定性を向上させる機能です。
 - ー トラクションコントロール機能（TCS）：滑りやすい路面などで駆動輪が空転した場合、エンジンの出力を抑えることにより、駆動力およびハンドルの操作性を向上させる機能です。
 - ー ブレーキLSD機能：滑りやすい路面などで駆動輪が空転した場合、空転している駆動輪にブレーキをかけることにより、もう一輪の駆動力を確保する機能です。
 - ー ABS機能：ABS（ P.135）
- VDC作動時は、ブレーキの作動により音や振動を発生する場合がありますが異常ではありません。

VDCの作動について

- VDCの作動と警告灯
 - ー VDCが作動しているときは、メーター内のVDC警告灯  が点滅します。

運転支援機能

- トラクションコントロール機能のみが作動しているときもVDC警告灯

〔〕が点滅します。VDC警告灯が点滅したときは、車両が滑りやすい状態になっていますので特に慎重に運転してください。

- 次の場合、VDC警告灯〔〕が点灯することがあります。一度電源ポジションをOFFにし、再度ONするとVDC警告灯は消灯します。
 - 駐車場の入り口などにあるターンテーブルや動く物の上に車があるとき
 - 極端に傾いた特殊な路面（サーキット路に見られるバンクなど）を走行したとき

VDCに関する注意事項

警告

- 滑りやすい路面やカーブの手前では速度を落とす。

この装置は車両の走行安定性を向上させるもので事故を防止するものではありません。VDCの作動にも限界があるため、滑りやすい路面やカーブの手前では、特に速度を落とし安全運転を心がけてください。

- 次の場合、VDC警告灯〔〕が点灯し正常に作動しないことがあるので注意する。

- サスペンション、タイヤ、ホイール、ブレーキ、エンジン関係部品（マフラー、ECM〔エンジンコントロールモジュール〕など）、車体補強関係部品（ロールバー、タワーバーなど）などを純正品以外に交換したり、改造したとき
- サスペンション、タイヤ、ブレーキなどの関係部品が著しく摩耗および劣化した状態で走行したとき

- VDC付車でも雪道などでは冬用タイヤやタイヤチェーンを装着する。

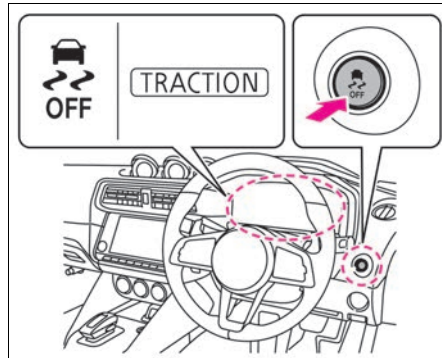
注意

- 【SPORT】または【SPORT+】（NISMO仕様オートマチック車）で走行するときは周囲の状況に十分注意し、安全運転を心がける。

<ドライブモードセレクター>でドライブモードを【SPORT】または【SPORT+】（NISMO仕様オートマチック車）に設定すると、【STANDARD】に比べてVDCの制御が抑えられ、VDCが作動しない場合があります。（ドライブモードセレクター付車）

➡ モードの切り替えかた (P.120)

VDCの切り替えかた



- <VDC OFFスイッチ>を操作すると、次のようにVDC機能のモードを切り替えることができます。

NISMO仕様車以外

現在のモード	スイッチ 操作	変更後のモード	変更後のメーター表示
			VDC OFF表示灯
VDC ON	長押し (約2秒)	VDC OFF	点灯
	単押し	VDC ON (変更なし)	消灯
VDC OFF	単押し	VDC ON	消灯

NISMO仕様車

現在のモード	スイッチ 操作	変更後のモード	変更後のメーター表示	
			VDC OFF表示灯	トラクションモードインジケータ
VDC ON	長押し (約2秒)	トラクション	点灯	点灯
	単押し	VDC ON (変更なし)	消灯	消灯
トラクションモード ON	長押し (約2秒)	VDC OFF	点灯	消灯
	単押し	VDC ON	消灯	消灯
VDC OFF	単押し	VDC ON	消灯	消灯

- VDCが作動しているときは、ぬかるみや雪道から脱出するときに、スリップ状態を検知するため、アクセルペダルを踏み込んでもタイヤの回転数が上がらないことがあります。タイヤの回転数を上げたいときは<VDC OFFスイッチ>を操作してVDCを停止してください。
- VDC機能をOFFにすると、VDCのすべての機能と、次の機能が停止します。(ABS機能およびブレーキLSD機能を除く)
 - ー インテリジェント クルーズコントロール (P.144)
 - ー インテリジェント エマージェンシーブレーキ (P.156)

☆／★：車両型式、オプションなどで異なる装備

- ー インテリジェント FCW（前方衝突予測警報） (P.175)
- ー 踏み間違い衝突防止アシスト★ (P.161)

- 電源ポジションをONにするたびに、VDCは自動的にONになります。
- VDCが作動すると発進時や加速時に車体およびペダルにわずかな振動と作動音が発生しますが異常ではありません。
- 電源ポジションをONにしたときや、エンジン始動後最初の発進時に、エンジンルームからモーターなどの音が聞こえることがあります。これはシステムの作動をチェックしている音で異常ではありません。

ヒルスタートアシスト

ヒルスタートアシストは、上り坂での発進を補助するシステムです。

警告

- ヒルスタートアシストの機能を過信しない。

凍結している路面や泥状の坂道では、車両がスリップして後退することがあります。特に安全運転を心がけてください。

緩やかな坂道ではヒルスタートアシストが作動せず後退する場合があります。その際はブレーキペダルを踏むか、パーキングブレーキをかけてください。

⚠ 警告

- 停車するときは、思わぬ事故につながるおそれがあるため、ブレーキペダルを踏み続ける。

この装置は、ブレーキペダルから足を離すと約2秒間ブレーキ力を保持しますが、その後ブレーキ力が解除されます。駐車するときは確実にシフトポジションをPまたはNに入れ、パーキングブレーキをかけてください。

ヒルスタートアシストについて

- 上り坂で発進するとき、ブレーキペダルからアクセルペダルへ踏み替える間に発生する車両の後退を防ぎます。
- シフトポジションがオートマチック車はP、N以外のとき、マニュアル車はN以外のとき、ブレーキペダルから足を離すと、約2秒間ブレーキ力を保持します。
- セレクトレバーやシフトレバーを操作した直後はブレーキを踏んだ状態で約1秒待ってから発進してください。ヒルスタートアシストが作動しないことがあります。
- VDC警告灯 [] (➡P.224) が点灯したときは作動しません。
- ヒルスタートアシストが作動しているとき、ブレーキペダルの踏みこたえが変化したり、音や振動が発生したりすることがありますが、異常ではありません。

メカニカルLSD (リミテッドスリップデファレンシャル) ★

メカニカルLSD (リミテッドスリップデファレンシャル) について

⚠ 警告

- 急激なアクセルの開閉を行わない。
尻振りや横滑りを起こし、思わぬ事故につながるおそれがあります。雨天時や、滑りやすい路面で走行するときは特に注意して運転してください。

アドバイス

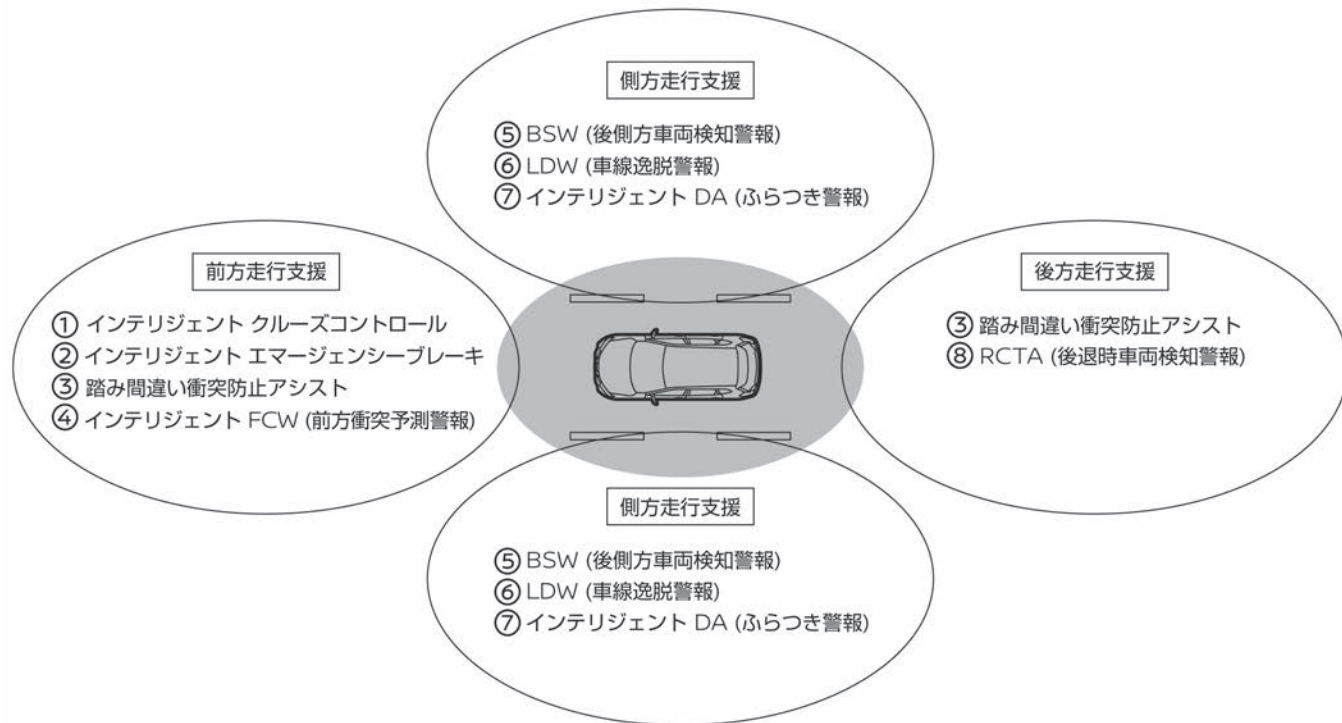
- デファレンシャルオイルは指定のオイルをご使用ください。指定以外のオイルを使用すると、正常に作動しなくなり、異音、振動の発生や故障の原因となるおそれがあります。
- ➡ リヤデファレンシャルオイル
(P.278)

リヤファイナルドライブにはメカニカルLSDが装備されています。

- メカニカルLSDは旋回時や左右の駆動輪の回転差が生じた際に回転差を制御したり、適切な駆動力を配分する装置です。
- 冷間時（低温始動時）にハンドルを切りながら発進すると、内輪のタイヤがスリップしたり異音や振動が出ることがあります。これはメカニカルLSD装着車特有の現象（内輪側のトルク増加によるスリップ）であり、異常ではありません。

走行支援機能

走行支援機能について



運転支援機能

範囲		機能名	機能説明	支援内容	使用するセンサー※1		
					レーダー	カメラ (フロント)	ソナー
前方	①	インテリジェント クルーズコントロール	先行車との距離を測定し、運転者がセットした車速を上限として、車速に応じた車間距離を保ちながら走行を支援します。(👉P.144)	支援	○	—	—
	②	インテリジェント エマージェンシーブレーキ	前方の車両や歩行者、自転車と衝突のおそれがあるとき、警報とブレーキにより、運転者の衝突回避操作を支援します。(👉P.156)	支援	○	○	—
前方 後方	③	踏み間違い衝突防止アシスト★	進行方向に壁などの障害物、車両や歩行者（前進時のみ）などがいる場所で、アクセルペダルとブレーキペダルの踏み間違いやブレーキ操作が遅れたとき、音と表示で警告し、さらに過度な加速の防止や障害物への衝突防止を支援します。(👉P.161)	支援	—	○※2	○
前方	④	インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）	前方を走行する2台前の車両を検知し、急な減速などにより、自車の回避操作が必要と判断した場合に警報します。(👉P.175)	警報	○	—	—
側方	⑤	BSW（後側方車両検知警報）	車線変更時、隣車線に車両がいる場合に警報します。(👉P.168)	警報	○	—	—
	⑥	LDW（車線逸脱警報）	運転者が意図せず走行車線から逸脱しそうなとき、警報します。(👉P.173)		—	○	—
	⑦	インテリジェント DA（ふらつき警報）	ハンドル操作から運転者の注意力が低下していると判断したとき、警報音（ブザー）と表示により運転者に休憩を促します。(👉P.177)		—	—	—
後方	⑧	RCTA（後退時車両検知警報）	後退時、後方を横切ろうとする車両があると、警報します。(👉P.178)	警報	○	—	—

※1：レーダーセンサー／カメラ類の取り扱い注意に従って、お手入れをお願いします。適切なお手入れを行わないと、システムが正常に作動しないおそれがあります。(👉P.272、👉P.273、👉P.274)

※2：後方への支援には使用されません。

走行支援機能

⚠ 警告

- 走行支援機能は、自動で運転する装置ではありません。運転者は交通法規を遵守し、常に周囲に注意し、道路・交通・自車の状況に応じハンドル、ブレーキ、アクセルを確実に操作し、安全な運転を行う責任があります。性能には限界があるため、システムだけに頼った運転はせず、常に安全運転を心がけてください。

- レーダー、カメラ、ソナーの性能には限界があります。詳細については、各検知条件と制限をお読みください。

➡ レーダーセンサーの検知条件と制限 (P.141)

➡ マルチセンシングフロントカメラの検知条件と制限 (P.142)

➡ ソナーの検知条件と制限 (P.143)

フロントガラスに装備されたマルチセンシングフロントカメラ、フロントバンパーおよびリヤバンパーに装備されたレーダーセンサーとソナーセンサーで構成された、走行を支援するシステムです。

- 作動させるためにスイッチ操作が不要な機能（メーターでのON設定が必要）

- インテリジェント エマージェンシーブレーキ
- 踏み間違い衝突防止アシスト★

☆／★：車両型式、オプションなどで異なる装備

- インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）
- BSW（後側方車両検知警報）
- LDW（車線逸脱警報）
- インテリジェント DA（ふらつき警報）
- RCTA（後退時車両検知警報）
- 作動させるために操作が必要な機能
- インテリジェント クルーズコントロール

走行支援機能の設定

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定 [] ⇒ [運転支援] ⇒ 必要な機能を選択すると、ON・OFFを切り替えることができます。

機能名	設定できる機能
側方支援	LDW（車線逸脱警報）
後側方支援	BSW（後側方車両検知警報）
エマージェンシーブレーキ	インテリジェント エマージェンシーブレーキ、踏み間違い衝突防止アシスト★、インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）
駐車支援	ソナー
後退時車両検知警報	RCTA（後退時車両検知警報）
ふらつき警報	インテリジェント DA（ふらつき警報）

レーダーセンサーの検知条件と制限

- レーダーセンサーは次のような障害物は検知できないことがあります。
 - － 歩行者、自転車、動物など
 - － 対向車
 - － 約30km/h以上の速度で通過する車両
 - － 約8km/h以下の速度で通過する車両
 - － 前方の車両がオートバイのような幅の狭い車両のとき
- 次のような場合は、前方の2台前の車両を検知できないことがあります。
 - － 悪天候（雨、雪、霧など）で視界が悪いとき
 - － 前方の車両や対向車などにより水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
 - － 雪や氷、泥などがレーダーセンサー周辺に付着しているとき
 - － 放送局など周辺の電波源により影響を受けているとき
 - － トンネル内を走行しているとき
 - － 前方の車両がけん引を行っているとき
 - － 前方の車両との距離が極端に近いとき
 - － 急なカーブや、勾配の変化があるところを走行しているとき
- 次のような状況では、レーダーセンサーが接近する車両を検知できないことがあります。
 - － 隣に駐車している車両などが、レーダーセンサーの検出エリアを妨げているとき
 - － 駐車枠線が斜めに引かれた駐車場に駐車しているとき

- 回り込むようにして自車両後方へ車両が接近してきたとき
- 接近してきた車両の向きが、自車両の向きと同じまたはそれに近いとき

マルチセンシングフロントカメラの検知条件と制限

- マルチセンシングフロントカメラは次のような障害物を検知できないことがあります。
 - 子供などの背の低い人、動物、自転車
 - 対向車両
 - 道路構造物（ガードレール、ポールなど車両と歩行者以外の障害物）
- マルチセンシングフロントカメラは車両の後端を認識するため、以下のような車両を検知しないもしくは検知できない場合があります。
 - バンパー形状などにより、タイヤが見えにくい車両
 - 幌がはみ出し、後端形状がはっきりしない車両
 - 前方を横切って通過する車両
 - 斜めもしくは前向きに止まっている車両
- マルチセンシングフロントカメラは次のような場合、前方の車両、歩行者を検知できないことがあります。
 - 悪天候（雨、雪、霧、風塵、砂塵、吹雪など）で視界が悪いとき
 - 前方の車両や対向車などにより水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき

- カメラ前方のフロントガラスのくもりや、汚れ、油膜、虫汚れ、水滴、氷、雪、泥などが付着しているとき
- 前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けているとき
- 前方の強い光により前方車両のタイヤの部分が影になり見えにくいとき
- 夜間やトンネル内などでヘッドランプを点灯していない、あるいはヘッドランプのレンズが極端に汚れている、または光軸調整が適切に行われていないとき
- 夜間やトンネル内などで前方の車両のテールランプが点灯していないとき
- トンネルの出入り口や日陰など、急に明るさの変化が起こったとき
- カーブを走行しているとき
- 勾配の変化があるところを走行しているとき
- 未舗装路など凹凸のある路面を走行しているとき
- 歩行者が大きな荷物を持っている、背景と同じ色の服を着ているなど人特有の輪郭が認識できないとき
- 前方車両からの太陽光などを強く反射されたとき
- 対象物の位置や動きが大きく変化した場合（自車の車線変更・右左折、前方車両の右左折・急ハンドル・急加速・急減速など）
- 始動してから約15秒間
- カメラの視界がさえぎられているとき（フロントガラスの汚れ、油膜、虫汚れ、ワイパーブレード）
- カメラの向きがずれているとき

- マルチセンシングフロントカメラは以下の例のような周辺状況では対象物の形状を正しく検出できずシステムが作動しない場合があります。
 - 対象物が背景と似た色合いで区別ができない場合
 - 対象物が道路標示（道路上の横断歩道、制限速度などの標示）の近くにいる場合
 - 対象物が路面の水たまりの付近にいる場合（周りの風景が水たまりに映り込むなど）
 - 対象物が建物や街路樹などの影と重なっているとき
 - 対象物と自車の間に水蒸気や煙などがあるとき
 - 夜間やトンネル内など暗い場所にいる歩行者
 - 車高の低い車両
 - 最低地上高（地面から車体までの高さ）が極端に低いもしくは極端に高い車両
 - 特殊な形状の車両（タンクローリー、サイドカーなど）
 - 前方の至近距離に割り込んだ車両
 - 前方の至近距離に飛び出してきた歩行者
 - 後端面積が小さい車両（空荷のトラックなど）
 - リヤタイヤから車両後端までが長い車両
 - 四輪車以外の車両（二輪車など）
 - 荷台から荷物や幌がはみ出している車両

- マルチセンシングフロントカメラは以下の例のような場合、衝突するおそれがある対象を正しく検出できない場合があります。
 - － 複数の対象物同士が近接している場合
 - － 対象となる二輪車、または車高の低い車両の前方近くに車両がいる場合
 - － 自車の正面から横にずれた位置に存在する車両や歩行者

ソナーの検知条件と制限

- 次のような場合、ソナーは正しく検出できないことがあります。
 - － 人、動物などの動いているもの、特に人は衣服の種類によっても検出できない場合があります。
 - － 背の低い障害物
 - － 溝や穴など地面より低い場所
 - － ボールなどの幅の狭い障害物
 - － 針金、ロープ、チェーンなどの細い障害物
 - － 金網、フェンス、ショッピングカートなどのすき間が多い障害物
 - － 鋭角的な形の障害物
 - － 壁などに配置されている配管などの障害物
 - － 地面から高い位置に存在する障害物
 - － 柱などで構成されている平面ではない障害物
 - － スポンジ状のものや雪などの表面が柔らかく音波を吸収しやすい障害物
 - － バンパーに非常に近い障害物
 - － 急に進行方向に現れた障害物

- － 急にソナーの検出範囲に飛び込んできた障害物
- － 急に近づいてきた障害物
- － 車両側方にある障害物
- － 障害物の面が車両の前面、または後面に対して斜めのとき
- － センサー部や周辺が凍結したり、雨、雪、氷、汚れなどがソナーセンサーに付着したりしているとき
- － 車両姿勢が大きく傾いているとき
- － 炎天下や寒冷時でセンサー周辺が著しく高温または低温のとき
- － でこぼこ道、坂道、砂利道、草むらを走行しているとき
- － 他車のホーン、オートバイの排気音や工事など、付近で大きな音がしたとき
- － 車両感応センサーや他車のソナーなど、超音波を発するものが付近にあるとき

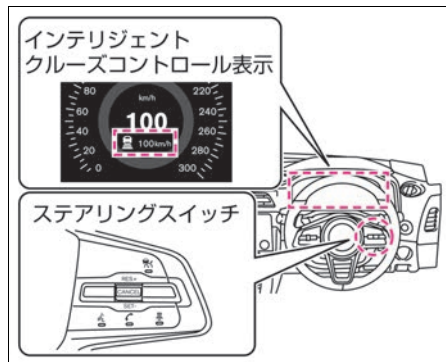
- 次のような場合、ソナーは検知することがあります。
 - － 周囲に草が生い茂っているとき
 - － 車両側面の近くに壁があるとき
 - － 高さのあるゲート、狭いトンネル、料金所のバーなど
 - － マンホールやスピードバンプなど路面上に段差や突起物があるとき
 - － 垂れ下がった旗、ビニールカーテンなどをくぐって走行するとき
 - － 車両周辺に雪のかたまりがあるとき
 - － 勾配路
 - － 車両感応センサーや他車のソナーなど、超音波を発するものが付近にあるとき

- － 他車のホーン、オートバイの排気音や工事など、付近で大きな音がしたとき
- － 背が高く上部が張り出しているものがあるとき
- － 雨、雪、氷、汚れなどがソナーセンサーに付着しているとき
- － 凸形状または凹形状の構造物の近くを通過しているとき
- － 車両側方の近くに構造物（壁、料金所設備、駐車場のゲート設備など）があるとき

インテリジェント クルーズコントロール

インテリジェント クルーズコントロールは、先行車との距離を測定し、運転者がセットした車速を上限として、車速に応じた車間距離を保ちながら走行するシステムです。

システムに関連する表示とスイッチ



⚠ 注意

- 高速道路や自動車専用道路で使用する。

インテリジェント クルーズコントロールは、高速道路や自動車専用道路の直線や緩やかなカーブでの使用を想定して設計されています。一般道での使用は思わぬ事故につながるおそれがありますので使用しないでください。

- インテリジェント クルーズコントロールにより停止までブレーキ制御を行います、停止状態を保持する機能はありません。

オートマチック車は自車が停止したとシステムが判断すると、ブザー音とともにブレーキ制御が解除され、クリープ現象によりゆっくりと車両が動き出します。停止状態を保持するためのブレーキ操作は、必ず運転者が行ってください。（先行車との車間距離が短いときや下り坂で追従走行しているときなど、状況により停止できない場合もあります。）

- インテリジェント クルーズコントロールの性能には限界があるため、システムだけに頼った運転はせず、常に安全運転を心がける。

脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意および雨・霧などの視界不良による危険を回避するものではありません。先行車との車間距離、周囲の状況に応じてブレーキペダルを踏んで減速するなどして車間距離を確保し、安全運転を心がけてください。

- インテリジェント クルーズコントロールの減速能力には限界がありますので、自車の前へ他車が割り込んだときや先行車が急ブレーキをかけたとき、下り坂で追従走行しているときなどは、十分に減速できず先行車に接近することがあります。

この場合は、ブザー音および表示による警報で注意を促します。

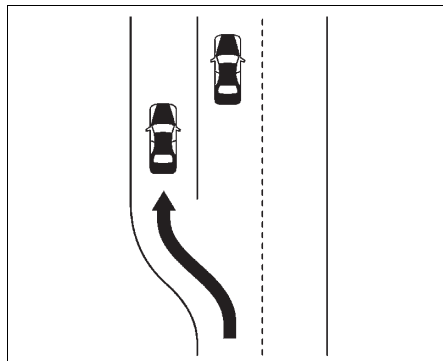
- 次のような状況では、思わぬ事故につながるおそれがありますのでインテリジェント クルーズコントロールを使わない。

- ー 交通量の多い道や急カーブのある道
道路状況にあった速度で走行できないため事故につながるおそれがあります。
- ー 凍結路や積雪路など滑りやすい路面
タイヤが空転し、車のコントロールを失うおそれがあります。
- ー 悪天候（雨、霧、雪など）のとき
先行車との車間距離が正確に検出できない場合があります。
- ー センサー部に雨滴、雪などが付着しているとき
先行車との距離が正確に検出できない場合があります。
- ー 急な下り坂
先行車を検出していない場合はインテリジェント クルーズコントロールの制御によるブレーキ操作を行わないため、セットした車速を超えてしまうおそれがあります。また、先行車を検出して追従走行している場合には、ブレーキが過熱してしまうおそれがあります。
- ー 急な上り坂、下り坂が繰り返される道
先行車を正確に検出できず、先行車に近づきすぎて思わぬ事故につながるおそれがあります。

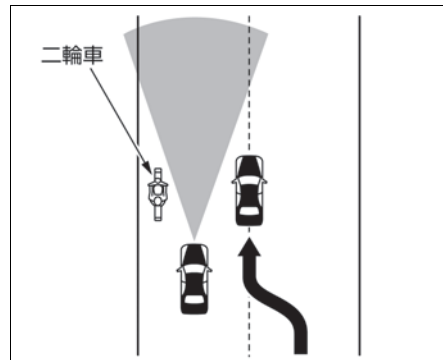
⚠ 注意

- 頻繁な加減速により、車間距離が保ちにくい交通状況のとき
交通状況にあった速度で走行できないため、事故につながるおそれがあります。
- 停止中の車両や自車速より極端に遅い車両に対しては、インテリジェントクルーズコントロールによる制御も接近警報も行いません。
料金所や渋滞の最後尾で停車中の車両や極端に速度の遅い車両などには十分注意してください。
- 急な割り込み車両や、歩行者などの車両以外のものに対しては、制御または接近警報を行いません。
- 次の場合には、先行車を正確に検出できず、車間距離が適切に保てなくなる場合があります。周囲の状況に十分注意し、必要に応じてブレーキ操作をしてください。
 - 先行車や他車線の車が路上の水や雪などを巻き上げて走っているとき
 - ラゲッジルームに極端に重い荷物を積んだとき
 - 急な上り坂、下り坂が繰り返される道を走行しているとき
- レーダーの性能には限界があるため、システムだけに頼った運転はせず、常に安全運転を心がけてください。詳細については、検知条件と制限をお読みください。

➡ レーダーセンサーの検知条件と制限 (P.141)



- 高速道路などで、インターチェンジ、サービスエリア、パーキングエリアなどに入庫する（本線から出る）とき本線上でインテリジェントクルーズコントロールによりセット車速よりも遅い車速で走行する先行車に追従走行している場合には、自車または先行車の車線変更などで、自車線上に先行車を検出しなくなることによりセット車速まで加速するため、思わぬ事故につながるおそれがあります。



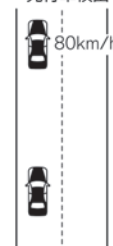
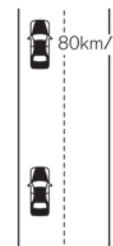
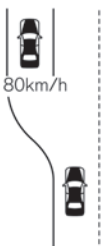
- 近距離ではセンサーの検出エリアが狭いため、自車線の端を走行する二輪車を検出できなかったり、間近に割り込んでくる先行車の検出が遅れたりして、車間距離が適切に保てない場合があります。
- センサーの汚れを自動的に判定する機能を備えておりますが万全ではありません。状況によってはセンサーが汚れていても判定できない場合があります。また雪、氷などが付着したときも判定できない場合があります。このような状況では、適切な作動ができなくなるおそれがありますので、常に前方に注意して走行してください。また、レーダーセンサーおよびその周辺はいつもきれいにしておいてください。
なお、汚れを判定した場合は、インテリジェントクルーズコントロールは自動的に解除されます。
- 道路形状（カーブ路、カーブの出入り口、ワインディング道、車線規制や工事中などで車線の幅が狭くなっている道）によっては、一時的に先行車を検出できない

くなり、システムが適正に作動しない可能性があります。先行車の検出は、自車の操作や状況（ハンドル操作、車線内の位置、事故や故障で走行が不安定な場合など）によっても影響を受ける可能性があります。このような場合は、先行車との適切な車間距離を保つため、必要に応じてブレーキ操作をしてください。

- 機能によって制御内容が異なります。インテリジェントクルーズコントロールを使用するときは、どの機能が選択されているかをメーター内のディスプレイで必ず確認してください。

➡ **アドバンスドドライバアシストディスプレイ (P.147)**

インテリジェントクルーズコントロールについて

走行状況	定速走行 先行車を検出していないとき	減速走行 設定した車速より遅い先行車が検出されたとき	追従走行 設定した車速より遅い先行車に追従するとき	加速走行 設定した車速より遅い先行車を検出しなくなったとき
例	100km/hに設定 未検出  100km/h (設定車速)	100km/hで定速走行時に、80km/hの先行車を検出したとき 先行車検出  100km/h→80km/h	100km/hに設定しているときに、80km/hの先行車がいるとき  80km/h	100km/hに設定しているときに、80km/hの先行車を検出しなくなったとき  80km/h→100km/h (設定車速)

インテリジェントクルーズコントロールには、以下のような機能があります。

- インテリジェントクルーズコントロール
 - ー 先行車を検出していない場合は、運転者がセットした車速（約30km/h以上）で定速走行します。
 - ー 先行車を検出している場合は、先行車との距離を測定し、運転者がセットした車速を上限として車速に応じた車間距離を保つように車間制御を行います。

● 定速制御機能

- ー 運転者がセットした車速（約40km/h以上）で定速走行します。
（車間距離の制御は行いません。）

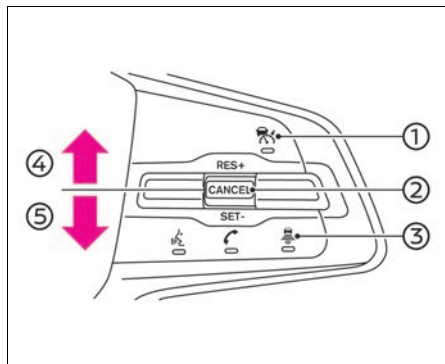
先行車との距離を測定し、運転者がセットした車速を上限として車速に応じた車間距離を保ちながら走行することができます。

- シフトポジションがオートマチック車は**D**または**M**のとき、マニュアル車は**N**または**R**以外のとき以下の制御を行います。

運転支援機能

- 先行車を検出していないときは、運転者がセットした車速（約30km/h以上）で定速走行します。
- 先行車を検出しているときは、運転者がセットした車速を上限として、車速に応じた車間距離を保つように車間制御を行い走行します。
また、先行車が停止したときには、自車もそれに応じて停止します。
（停止後はシステムが自動的に解除されます。）
- 先行車を検出しなくなったときは、セットした速度までゆっくりと加速し、定速走行を行います。
なお、車速が約25km/hを下回っている場合は、システムが自動的に解除されます。

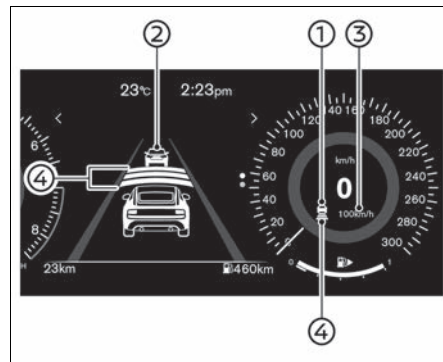
ステアリングスイッチ（インテリジェントクルーズコントロール）



- ① **メインスイッチ**
インテリジェントクルーズコントロールのON・OFFができます。
- ② **CANCELスイッチ**
インテリジェントクルーズコントロールの解除ができます。
- ③ **車間設定スイッチ**
車間設定を「長」「中」「短」の3段階に切り替えることができます。
- ④ **RES+操作（上押し）**
インテリジェントクルーズコントロールを解除後、解除前の設定車速に再びセットすることができます。
設定車速を上げることができます。
- ⑤ **SET-操作（下押し）**
インテリジェントクルーズコントロールのセットができます。
設定車速を下げるすることができます。

アドバンスドドライブアシストディスプレイ

アドバンスドドライブアシストディスプレイはメーター内にあります。



- ① **インテリジェントクルーズコントロール表示灯**
システムの作動状態を色で表示します。
白色：＜メインスイッチ＞を押し、システムがONになると表示します。
緑色：車速を設定すると表示します。
オレンジ色：システムが故障すると表示します。
先行車検出の有無をお知らせします。
先行車検出有り：アイコン表示
先行車検出無し：アイコン非表示
- ② **先行車検出表示**
先行車検出の有無をお知らせします。
- ③ **設定車速表示**
設定した車速を表示します。

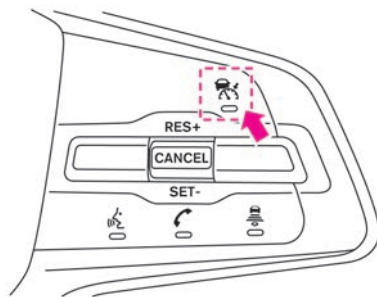
- ④ 車間設定表示
 <車間設定スイッチ>で設定した車間設定を表示します。

インテリジェントクルーズコントロールの使いかた

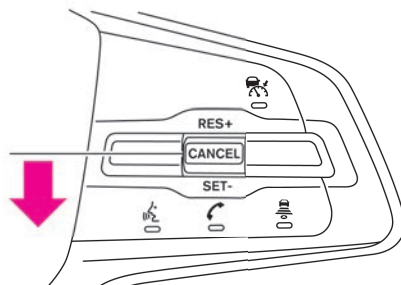
⚠ 注意

- インテリジェントクルーズコントロールを使用しないときは、<メインスイッチ>をOFFにしてください。

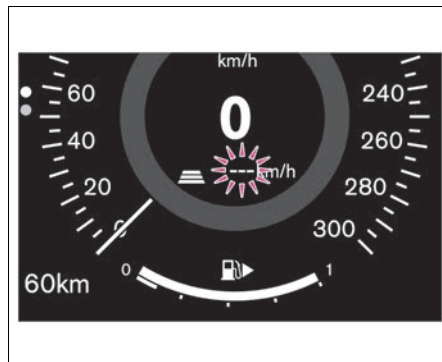
間違えてスイッチを押してしまった場合、インテリジェントクルーズコントロールがセットされてしまい思わぬ事故につながるおそれがあります。



1. <メインスイッチ>を押してインテリジェントクルーズコントロールをONにします。(1.5秒未満押す)
 (インテリジェントクルーズコントロール表示灯、車間設定表示、設定車速表示が点灯し、セット待機状態になります。)
2. 設定したい車速まで加速または減速します。



3. <SET->方向に押します。
 スイッチを押したときの車速が設定車速になります。
 車速が約30km/h以下で先行車を検出しているときにスイッチを押した場合、設定車速は30km/hになります。
 (先行車検出の有無を表示、インテリジェントクルーズコントロール表示灯、車間設定、設定車速が緑色で点灯し、セット状態になります。)
4. 制御を開始します。



- 次の場合はメーター内のディスプレイの設定車速表示が約2秒間点滅し、セットすることができません。
 - ー 車速が約30km/hを下回っていて、先行車を検出していないとき
 - ー シフトポジションがDまたはM以外のとき(オートマチック車)
 - ー シフトポジションをNにしたとき(マニュアル車)
 - ー パーキングブレーキがかかっているとき
 - ー ブレーキを踏んでいるとき
- 次の場合はメーター内のディスプレイに「作動範囲外のため現在使用できません」と表示され、セットすることができません。
 - ー VDCをOFFにしているとき
 - ➡ VDC (ビークルダイナミクスコントロール) (P.135)

運転支援機能

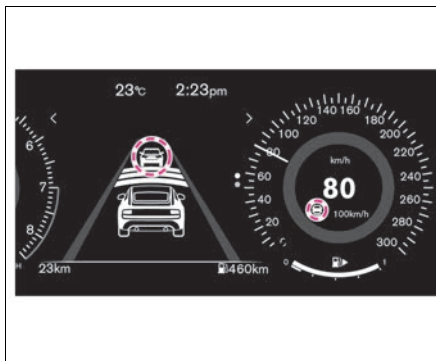
- トラクションモードをONにしているとき（NISMO仕様車）

➡VDCの切り替えかた（P.136）

- 次の場合はメーター内のディスプレイに「滑りやすい路面のため 現在使用できません」と警告が表示され、セットすることができません。
 - ABSまたはVDC（トラクションコントロールを含む）が作動しているとき
 - タイヤが空転しているとき
- エンジンを停止するとインテリジェントクルーズコントロールは自動的に解除されます。
- 車間設定は、エンジンを停止しても再度設定を変更するまでその状態が維持されます。

インテリジェントクルーズコントロールの作動

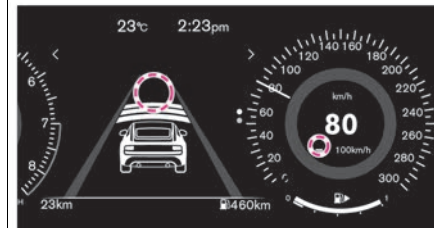
■ 先行車を検出しているとき



運転者が設定した車間距離を保つように制御します。（先行車検出表示が点灯）

- 設定車速を上限とする範囲で制御します。
- インテリジェントクルーズコントロールの制御によりブレーキが作動したときは、自車の制動灯が点灯します。
- ブレーキが作動したとき、音がすることがありますが異常ではありません。

■ 先行車を検出しなくなったとき



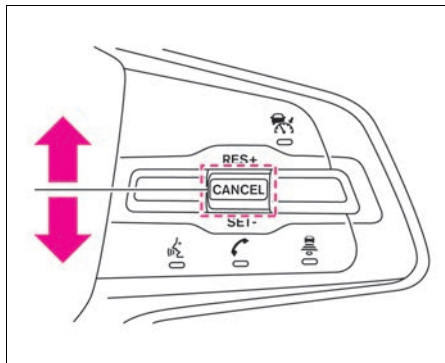
設定車速までゆっくりと加速し、定速走行します。（先行車検出表示が消灯）

- 設定車速までの加速中に先行車を検出すると、再び車間制御を行います。
- 設定車速までは機能の制御によって加速しますが、すばやく加速したいときはアクセルペダルを踏んで加速してください。
- 車速が約25km/hを下回ったときに、先行車を検出しなくなると自動的に制御を解除します。

設定車速の変更のしかた

- 車間制御しているときは先行車に合わせた車速に制御されるため、＜RES+＞方向に押して設定車速を上げても加速しません。
このとき機能上は設定車速を変更しているため、先行車を検出しなくなるとその設定した車速まで加速します。設定車速はメーター内のディスプレイの設定車速表示を確認しながら変更してください。

■ 設定車速を変えたいとき



- 設定車速を上げたいときは、＜RES+＞方向に押します。
- 設定車速を下げたいときは、＜SET-＞方向に押します。

■ 一時的に加速、減速をしたいとき

⚠ 注意

- 通常、車間制御中は先行車の速度に合わせて加速、減速を行います。

車線変更などで加速が必要なときや、先行車が急減速したり、他車が割り込むなどして先行車に接近しそうになったときなどはアクセルペダル、またはブレーキペダルを踏んで周囲の状況に応じた適切な加速、減速を行ってください。

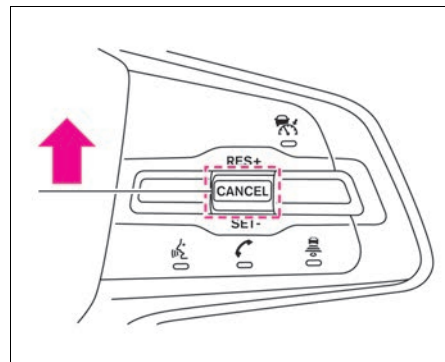
- アクセルペダルを踏んでいるときは、インテリジェントクルーズコントロールによるブレーキ操作も警報も行いません。

加速したいとき

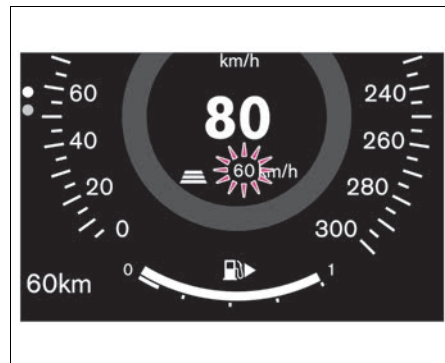
- アクセルペダルを踏むと、加速します。アクセルペダルを離すと、元の制御状態に戻ります。

減速したいとき

- ブレーキペダルを踏むと、減速（制御が解除）します。
（設定車速表示の車速値が消灯し、セット待機状態になります。）



- 解除前の設定車速で再びセットしたいときは、＜RES+＞方向に押します。
（メーター内のディスプレイが再びセット状態の表示になります。）



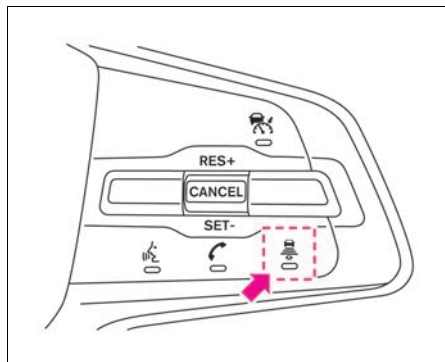
- アクセルペダルを踏んで加速した場合や、＜SET-＞操作（下押し）で設定車速を下げた場合などで設定車速より実際の車速

運転支援機能

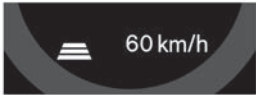
の方が高くなったときは、設定車速表示が点滅します。

- アクセルペダルを戻したあとに定速走行し、車速が設定車速となった場合や、車間制御で車速が設定車速以下となったときは、設定車速が点灯状態に戻ります。

車間距離設定の変更のしかた



先行車との車間距離を交通状況に応じて選ぶことができます。制御中またはセット待機状態のときに車間設定を切り替えることができます。

車間設定	ディスプレイ
長	
中	
短	

- <車間設定スイッチ>を押すと、車間距離を設定できます。車両アイコン下のバーの本数で設定を表示します。
- 車間設定は、エンジンを停止しても再度設定を変更するまでその状態が維持されます。
- 各制御は車速に応じて変わり、車速が高いほど長くなります。
- 車速100km/hで走行しているとき、車間設定での制御車間距離の目安は次のとおりです。

長：約60m

中：約45m

短：約30m

接近警報

⚠ 注意

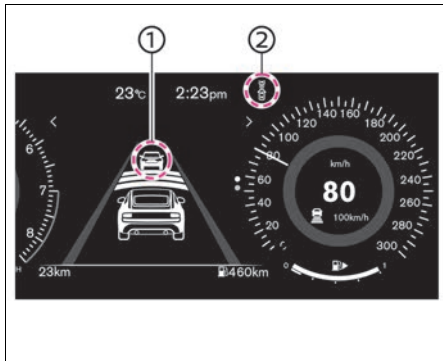
- 警報ブザーが頻繁に鳴るような状況では、インテリジェントクルーズコントロールを使用しないでください。
- 短い車間距離でも、次の場合には警報が作動しないことがあります。
 - 先行車との相対速度が小さいとき（ほぼ同じ速度で走っているとき）
 - 先行車の方が自転車より速いとき（車間距離が次第に離れていくとき）
 - 他車が至近距離に割り込んできたとき
- 料金所や渋滞の最後尾で停車中の車両や、自車速より極端に車速が遅い車両に対しては警報が作動しません。
- 道路形状（カーブ路、カーブの出入り口、車線規制や工事中などで車線の幅が狭くなっている道）や、自車および周辺車両の状況（ハンドル操作、車線内の位置、事故や故障で走行が不安定な場合など）によっては、一時的に隣車線の車両や、車道脇に設置されている物体などを検出して、接近警報が作動する場合があります。

車間制御中に先行車の減速度合いが大きい場合や他車の割り込みなどによって、十分な減速ができない状態で先行車に接近したときは、次のようにブザーとメーター内の

運転支援機能

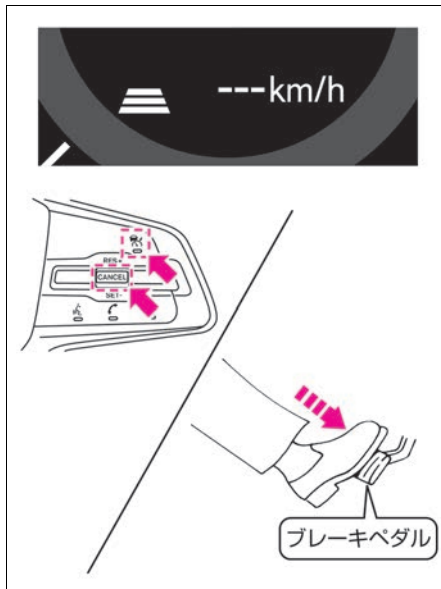
ディスプレイの表示によって運転者に注意を促します。

この場合は、ブレーキを踏んで減速し、適切な車間距離を確保してください。



- 先行車に接近し、車間距離が十分でないと判断されるときはブザーが“ピッ、ピッ、ピッ...”と鳴り、メーター内のディスプレイの先行車検出表示①と、接近警報表示②が点滅します。

インテリジェントクルーズコントロールの解除のしかた



- 次の操作でインテリジェントクルーズコントロールが解除されます。
 - ー <CANCEL>スイッチを押す
 - ー <メインスイッチ>を押す
 - ー ブレーキペダルを踏む
- <CANCEL>スイッチで解除したときやブレーキペダルを踏んで解除したときは、セツ待機状態になります。
- 次の場合は“ピー”というブザー音とともに制御が自動的に解除されます。

- ー 先行車を検出していないときに、車速が約25km/hを下回ったとき
- ー インテリジェントクルーズコントロールにより自車が停止したとき
- ー シフトポジションをDまたはM以外にしたとき（オートマチック車）
- ー シフトポジションをNにしたとき（マニュアル車）
- ー クラッチを踏んだとき（マニュアル車）
- ー パーキングブレーキをかけたとき
- ー ABSまたはVDC（トラクションコントロールを含む）が作動したとき
- ー VDCをOFFにしたとき
- ー トラクションモードをONにしたとき（NISMO仕様車）
- ー センサー部が汚れ、車間距離の測定が困難になったとき
- ー タイヤが空転したとき

インテリジェントクルーズコントロールの自動解除

- 次の場合は、“ピー”というブザー音とともにメーター内のディスプレイに【作動範囲外のため現在使用できません】と表示され、インテリジェントクルーズコントロールが自動的に解除されます。
 - ー VDCをOFFにしたとき
 - ー トラクションモードをONにしたとき（NISMO仕様車）
- 次の場合は、“ピー”というブザー音とともにメーター内のディスプレイに【滑

りやすい路面のため 現在使用できません」と表示され、インテリジェントクルーズコントロールが自動的に解除されます。

- VDC (トラクションコントロールを含む) が作動したとき
 - タイヤが空転したとき
- システムを再び作動させる場合は、停止したときの状態が改善されてから、〈メインスイッチ〉でシステムを一旦OFFにしたあと、再びセット操作を行ってください。

- 次の場合は、「ピー」というブザー音とともにメーター内のディスプレイに「フロントレーダー及びその周辺が汚れています 拭いてください」と表示され、自動的に作動が停止します。

- センサー部が汚れ、先行車の検出が困難になったとき
- システムを再び作動させる場合は、安全な場所に停車して、エンジンを一旦停止してレーダーセンサーおよびその周辺の汚れなどを取り除いてから再始動し、再びシステムをONにしてください。

- 道路形状や周辺の建造物により、レーダーが先行車を正確に検知できないとき (例: 長い橋、雪原、長い壁の横など)
- システムを再び作動させる場合は、上記の状況から離れるとシステムは自動的に作動を再開します。

- 次の場合は、「ピー」というブザー音とともに警告灯がオレンジ色に点灯し、メーター内のディスプレイに「システム

故障 取扱説明書を見てください] と表示され、自動的に作動が停止します。

- インテリジェントクルーズコントロールシステムに異常があるとき
- システムを再び作動させる場合は、安全な場所に停車して、エンジンを一旦停止して再始動し、再びシステムをONにしてください。



アドバイス

- システムをONにできない、または警告が表示し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

定速制御機能について

定速制御機能を使用すると、シフトポジションがオートマチック車は**D**または**M**のとき、マニュアル車は**N**または**R**以外のとき、アクセルペダルを踏まなくても一定の速度で走行することができます。

約40km/h以上で任意の速度にセットできます。

システムに関連する表示

⚠ 注意

- 定速制御中は車間制御を行わないため、ブレーキ操作も警報も行いません。

先行車との車間距離、周囲の状況に応じてブレーキペダルを踏んで減速するなどして車間距離を確保し、安全運転を心がけてください。

- 次のような状況では、思わぬ事故につながるおそれがありますので、定速制御機能を使わないでください。

- 交通量の多い道や急カーブのある道

交通状況にあった速度で走行できないため事故につながるおそれがあります。

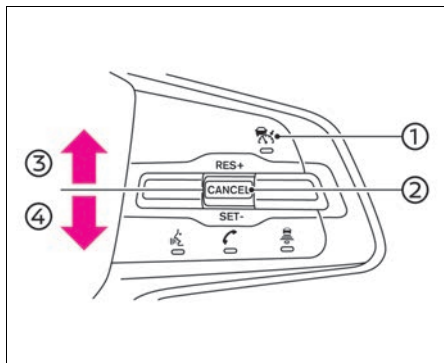
- 凍結路や積雪路など滑りやすい路面

タイヤが空転し、車のコントロールを失うおそれがあります。

- 急な下り坂

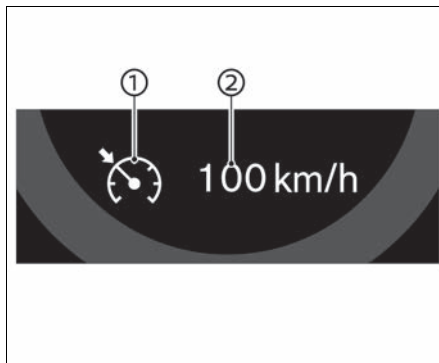
急な下り坂ではエンジンブレーキが十分効かないため、セットした速度を超えてしまい、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ステアリングスイッチ（定速制御機能）



- ① **メインスイッチ**
定速制御機能のON・OFFができます。
- ② **CANCELスイッチ**
定速制御機能の解除ができます。
- ③ **RES+操作（上押し）**
定速制御機能を解除後、解除前の設定車速に再びセットすることができます。
- ④ **SET-操作（下押し）**
定速制御機能のセットができます。

アドバンスドドライブアシストディスプレイ



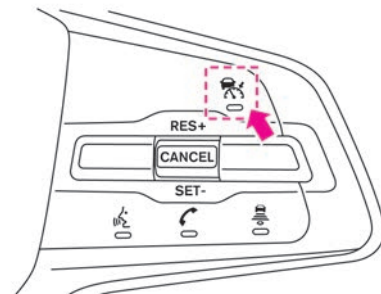
- ① **クルーズ表示灯**
システムの作動状態を色で表示します。
白色：＜メインスイッチ＞を1.5秒以上押し、システムがONになると表示します。
緑色：車速を設定すると表示します。
オレンジ色：システムが故障すると表示します。
- ② **設定車速表示**
設定した車速を表示します。

定速制御機能の使いかた

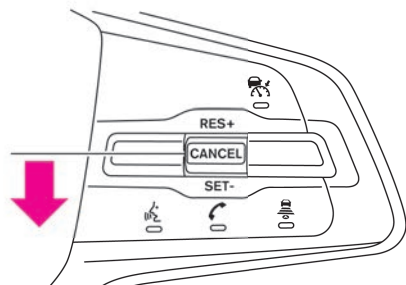
⚠ 注意

- 定速制御機能を使用しないときは、＜メインスイッチ＞をOFFにしてください。

誤ってスイッチを押してしまった場合、定速制御機能がセットされてしまい思わぬ事故につながるおそれがあります。



1. ＜メインスイッチ＞を1.5秒以上押しして定速制御機能をONにします。
（クルーズ表示灯、設定車速表示が点灯し、セット待機状態になります。）
2. 設定したい車速まで加速または減速します。

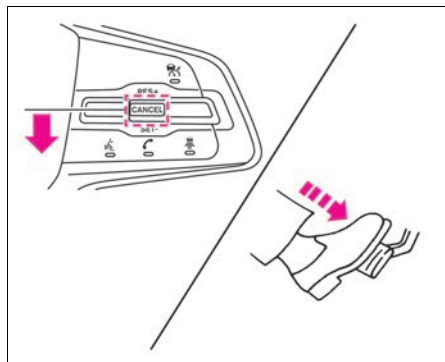


3. <SET->方向に押します。
スイッチを押したときの車速が設定車速になります。
(クルーズ表示灯、設定車速表示が緑色に点灯し、セット状態になります。)
4. 制御を開始します。
- 定速で走行中、アクセルペダルを踏むと加速しますが、アクセルペダルを戻すとセットした速度で定速走行に戻ります。

設定車速の変更のしかた

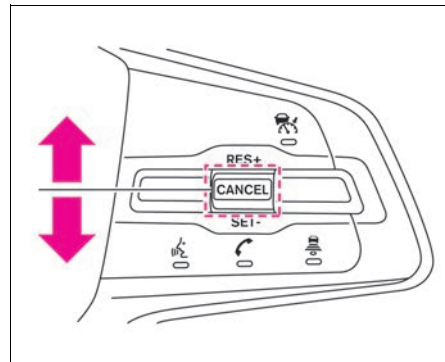
定速走行中に次の操作をします。

■ ペダルで変えるとき



- ① アクセルペダルまたはブレーキペダルを踏み、速度を変えます。
- ② 希望の速度になったら、<SET->方向に押します。

■ ステアリングスイッチで変えるとき



設定車速を上げたいとき

- ① <RES+>方向に押し続けると加速します。
- ② 希望の速度になったら、手を離します。

設定車速を下げたいとき

- ① <SET->方向に押し続けると減速します。
- ② 希望の速度になったら、手を離します。

■ 一時的に加速、減速をしたいとき

加速したいとき

- アクセルペダルを踏むと、加速します。

減速したいとき

- ブレーキペダルを踏むと、減速（制御が解除）します。

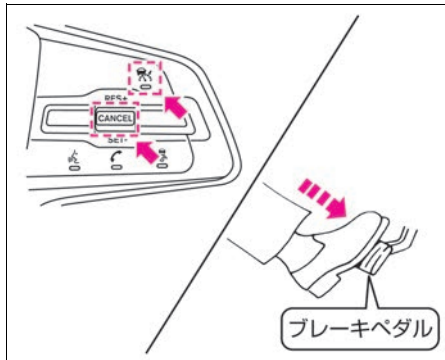
運転支援機能

■ もう一度、定速走行に戻りたいとき

解除前の設定車速で再びセットしたいときは、<RES+>方向に押します。

(車速が約40km/h以上のとき戻せます。)

定速走行の解除のしかた



- 次の操作で定速制御機能が解除されます。
 - <CANCEL>スイッチを押す
 - <メインスイッチ>を押す
 - ブレーキペダルを踏む
- <CANCEL>スイッチで解除したときやブレーキペダルを踏んで解除したときは、セット待機状態になります。
- 次の場合は“ピー”というブザー音とともに制御が自動的に解除されます。
 - 車速が約27km/h以下になったとき
 - 設定車速より約13km/h以上車速が低下したとき

- シフトポジションがDまたはM以外にしたとき（オートマチック車）
- クラッチを踏んだとき（マニュアル車）
- VDC（トラクションコントロールを含む）が作動したとき
- タイヤが空転したとき

定速制御機能の自動解除

- 次の場合は、“ピー”というブザー音とともにクルーズ表示灯がオレンジ色に点灯し、自動的に作動が停止します。
 - 定速制御機能に異常があるとき
- システムを再び作動させる場合は、安全な場所に停車して、エンジンを一旦停止して再始動し、再びシステムをONにしてください。

🚗 アドバイス

- システムをONにできない、または警告が表示し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

インテリジェント エマージェンシーブレーキ

インテリジェント エマージェンシーブレーキは、前方の車両や歩行者、人が乗車している自転車と衝突のおそれがあるとき、警報とブレーキにより、運転者の衝突回避操作を支援します。

システムに関連する表示

⚠ 警告

- 機能には限界があるため、過信せず安全運転を心がける。

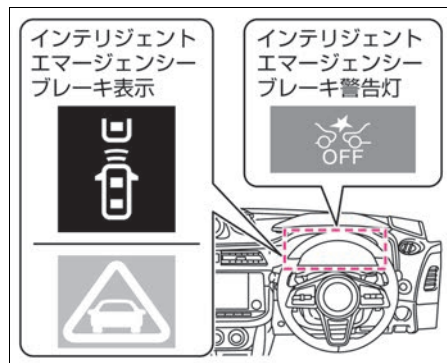
インテリジェント エマージェンシーブレーキは、前方の車両や歩行者、人が乗車している自転車との衝突回避操作を支援、または衝突時の被害や傷害の軽減を目的としています。あらゆる状況で効果があるわけではありません。

必ず周囲の安全確認を行い、前方車両との車間距離を十分に維持して安全運転を心がけて走行してください。

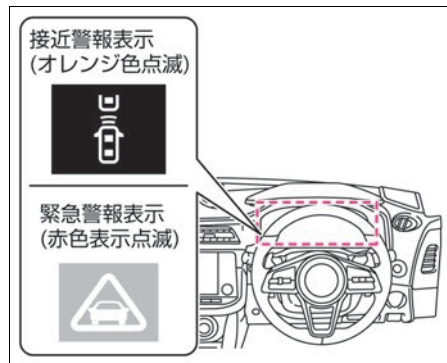
- レーダーやマルチセンシングフロントカメラの性能には限界があるため、システムだけに頼った運転はせず、常に安全運転を心がけてください。詳細については、各検知条件と制限をお読みください。

➡ レーダーセンサーの検知条件と制限 (P.141)

➡ マルチセンシングフロントカメラの検知条件と制限 (P.142)



インテリジェント エマージェンシー ブレーキについて



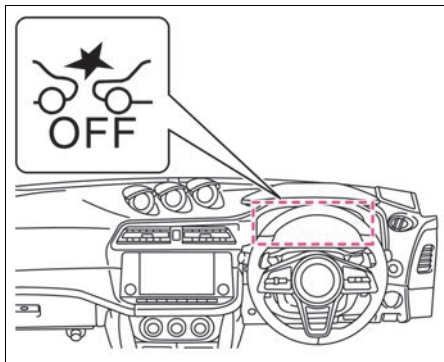
- フロントガラス上部のマルチセンシングフロントカメラおよび車両前部のレーダーセンサーにより前方の車両や歩行者、人が乗車している自転車を検知します。

- 車速約5km/hから作動します。歩行者・人が乗車している自転車には約10～60km/hの範囲で作動します。（車速約80km/h以上では停止車両に対しては作動しません。）
- 衝突するおそれがあると判断すると、警報音（ブザー）が鳴るとともにアドバンスドドライブアシストディスプレイのインテリジェント エマージェンシーブレーキ表示（接近警報表示）がオレンジ色に点滅します。
- 運転者の衝突回避操作が不十分で、衝突危険性が高まったときには、アドバンスドドライブアシストディスプレイのインテリジェント エマージェンシーブレーキ表示が赤色の緊急警報表示になり、警報音（ブザー）が鳴るとともに軽いブレーキがかかります。
- さらに衝突の危険性が高まったときには、衝突の直前に強いブレーキがかかります。
- 次の場合、システムによるブレーキの作動が解除されます。
 - ー アクセルペダルを強く踏み込んだとき
 - ー ハンドルを大きく、またはすばやく切ったとき
 - ー 前方の車両や歩行者、人が乗車している自転車との衝突の危険がなくなったと判断したとき
- システムによるブレーキで車両が停止したときは、車両が停止してから約2秒後にブレーキが解除されます。
- 運転者がハンドルやアクセル、ブレーキを操作している場合は、インテリジェント エマージェンシーブレーキの作動が遅

れたり、作動したりしない場合があります。

- 前方車両と自車の速度の差が小さいときは作動しません。
 - システムによるブレーキが作動しているときは、制動灯が点灯します。
 - システムによるブレーキ作動中にブレーキペダルを踏んだとき、ブレーキペダルの踏みごたえが変化したり、音や振動が発生したりすることがありますが異常ではありません。また踏力を加えることで、ブレーキ力を増すことができます。
 - アドバンスドドライブアシストディスプレイを「運転支援」、および「クルーズ（CRUISE）」に切り替えると、インテリジェント エマージェンシーブレーキの作動状態をアドバンスドドライブアシストディスプレイ内で確認することができます。
- 詳しくは、➡ アドバンスドドライブアシストディスプレイとは（メインメニュー）（P.54）をお読みください。

インテリジェント エマージェンシー ブレーキの停止のしかた



- アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定 [設定] ⇒ [運転支援] ⇒ [エマージェンシーブレーキ] を選択すると、インテリジェント エマージェンシーブレーキのON・OFFを切り替えることができます。設定の詳細については、運転支援をお読みください。

➔ アドバンスドドライブアシストディスプレイとは（メインメニュー）（P.54）

➔ 設定（各種設定画面）（P.71）

- ー 走行中はインテリジェント エマージェンシーブレーキをOFFにすることはできません。
- 機能をOFFにすると、システムが停止します。（インテリジェント エマージェンシーブレーキ警告灯 [点灯] が点灯）
- エンジンのを再始動するとONになります。

- インテリジェント エマージェンシーブレーキをOFFにすると、踏み間違い衝突防止アシスト★、インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）も連動してOFFになります。

➔ 踏み間違い衝突防止アシスト★
（P.161）

インテリジェント エマージェンシー ブレーキに関する注意事項

- 次のような障害物は検知しません。

- ー 子供などの背の低い人、動物、自転車
- ー 対向車両
- ー 道路構造物（ガードレール、ポールなど車両と歩行者、人が乗車している自転車以外の障害物）

- システムは車両の後端を認識するため、以下の例のような車両を検知しないもしくは検知できない場合があります。

- ー バンパー形状などにより、タイヤが見えにくい車両
- ー 幌がはみ出し、後端形状がはっきりしない車両
- ー 前方を横切って通過する車両
- ー 斜めもしくは前向きに止まっている車両

- 次のような場合は、前方の車両、歩行者、人が乗車している自転車を検知できないことがあります。

- ー 悪天候（雨、雪、霧、風塵、砂塵、吹雪など）で視界が悪いとき

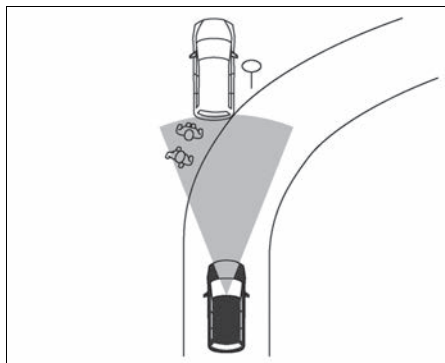
- ー 前方の車両や対向車などにより水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
- ー カメラ前方のフロントガラスに汚れ、油膜、水滴、氷、雪などの付着やワイパーのふき残しがあるとき
- ー カメラ前方のフロントガラスがくもっているとき
- ー 前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けているとき
- ー 前方の強い光により前方車両のタイヤの部分が影になり見えにくいとき
- ー 夜間やトンネル内などでヘッドランプを点灯していない、あるいはヘッドランプのレンズが極端に汚れているとき
- ー 夜間やトンネル内などで前方の車両のテールランプが点灯していないとき
- ー トンネルの出入り口や日陰など、急に明るさの変化が起こったとき
- ー カーブを走行しているとき
- ー 勾配の変化があるところを走行しているとき
- ー 未舗装路など凹凸のある路面を走行しているとき
- ー 歩行者が大きな荷物を持っている、背景と同じ色の服を着ているなど人特有の輪郭が認識できないとき
- ー 前方車両からの太陽光などを強く反射されたとき
- ー 対象物の位置や動きが大きく変化した場合（自車の車線変更・右左折、前方車両の右左折・急ハンドル・急加速・急減速など）
- ー 始動してから約15秒間

- エンジン始動後、走行してからインテリジェント エマージェンシーブレーキシステムが1回も障害物を検知していないとき
- カメラの視界が遮られているとき（フロントガラスの汚れ、油膜、虫汚れ、ワイパーブレード）
- カメラの向きがずれているとき
- 雪や氷、泥などがレーダーセンサー周辺に付着しているとき
- 放送局など周辺の電波源により影響を受けているとき
- オートバイのような幅が狭い車両が前方を走行しているとき
- 子供用の自転車、大きい荷物を載せた自転車、2人以上乗車している自転車、または特殊な形状の自転車（チャイルドシート装着車・タンデム自転車など）
- 以下の例のような周辺状況では対象物の形状を正しく検出できずシステムが作動しない場合があります。
 - 対象物が背景と似た色合いで区別ができない場合
 - 対象物が道路標示（道路上の横断歩道、制限速度などの標示）の近くにいる場合
 - 対象物が路面の水たまりの付近にいる場合（周りの風景が水たまりに映り込むなど）
 - 対象物が建物や街路樹などの影と重なっているとき
 - 対象物と自車の間に水蒸気や煙などがあるとき
- 以下の対象物にはシステムが作動しない場合があります。
 - 歩行者、人が乗車している自転車の移動速度が速いとき
 - 対向して接近する歩行者、自転車
 - 歩行者の姿勢や手足の状態（手を上げているときなど）により、歩行していると特定できないとき
 - 夜間やトンネル内など暗い場所にいる歩行者
 - 車高の低い車両
 - 最低地上高（地面から車体までの高さ）が極端に低いもしくは極端に高い車両
 - 特殊な形状の車両（タンクローリー、サイドカーなど）
 - 前方の至近距離に割り込んだ車両
 - 前方の至近距離に飛び出してきた歩行者、自転車
 - 自車の正面から横にずれた位置に存在する車両や歩行者、自転車、人が乗車している自転車
 - 後端面積が小さい車両（空荷のトラックなど）
 - リヤタイヤから車両後端までが長い車両
 - 四輪車以外の車両（二輪車など）
 - 荷台から荷物や幌がはみ出している車両
 - ショッピングカート、ベビーカー、自転車などを押しているとき
- 以下の例のような場合、衝突するおそれがある対象を正しく検出できない場合があります。
 - 複数の対象物同士が近接している場合
 - 対象となる二輪車または車高の低い車両の前方近くに車両がいる場合
 - 外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。
 - 次のような場合は、システムが機能を十分に発揮できないことがあります。
 - 滑りやすい路面を走行しているとき
 - 勾配のある路面を走行しているとき
 - 外気温が低いときや走行開始直後などでブレーキが冷えているとき
 - 下り坂などでブレーキが過熱してブレーキの効きが悪くなっているとき
 - 水たまり走行後や洗車後などブレーキが濡れてブレーキの効きが悪くなっているとき
 - 長期間駐車などで、ブレーキの性能が十分に発揮できないとき
 - 摩耗しているタイヤ、空気圧不足のタイヤ、スペアタイヤのような非常用タイヤ、日産純正品もしくは日産販売会社で購入したタイヤ以外を使用しているときや、タイヤチェーンを装着しているとき
 - 純正品以外のブレーキ部品、サスペンション部品を使用しているとき
 - 車両が傾いているとき（ラゲッジルームに極端に重い荷物を積んでいるとき）
 - 路面または壁面の影や模様・ペイント（かすれた道路標示や漢字で構成される特殊な道路標示、濡れた路面に映り込んだ模様、わだちなどや光の反射を含む）、前方の道路構造物（トンネル、高架橋、交通標識、車両脇に設置された反射器（リ

運転支援機能

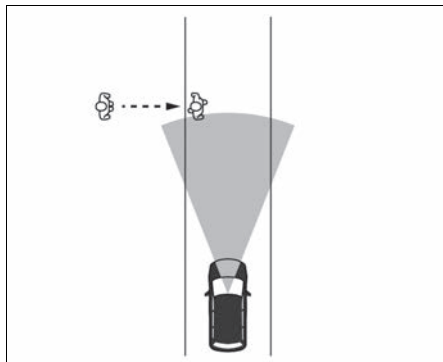
フレクター)、反射シート、ガードレール、カーブミラー、電柱や電線、看板)などで構成される形状が、車両や歩行者、自転車の輪郭の特徴や車両のテールランプの大きさ・位置などと似通っている場合、システムが作動する場合があります。

- 右左折中の前の車両にシステムが作動を継続する場合があります。
- 前の車両に接近し追い越す場合、システムが作動する場合があります。
- 道路形状(カーブ路、カーブの出入り口、ワインディング道、車線規制や工事中など)によっては、一時的に自車正面の対向車にシステムが作動する場合があります。
- 自転車で行走している人を歩行者と検知し、システムが作動する場合があります。
- 以下のような物に反応し、システムが作動する場合があります。



- 道路脇にある物(道路標識、ガードレール、歩行者、自転車、人が乗車している自転車、車両など)

- 道幅が狭い路地などを走行する際の歩行者・人が乗車している自転車



- 路肩の障害物を避けるため、一時的に自車前方の走行レーンにはみ出したり、近づいたりする歩行者や人が乗車している自転車
- 路面上にある物(線路、格子、鉄板など)
- 駐車場内にある物(梁など)
- 走行車線または隣接する車線にある物(歩行者、車両など)
- 走行車線または隣接する車線に近づいてくる物(歩行者、車両など)
- 対向して接近する歩行者
- 走行路にある物(近接する樹木など)

インテリジェントエマージェンシーブレーキの作動が停止するとき

- 次の場合、メーター内のインテリジェントエマージェンシーブレーキ警告灯 [燐] が点灯し、作動が停止します。
 - インテリジェントエマージェンシーブレーキの設定をOFFにしたとき
- 次の場合、メーター内のインテリジェントエマージェンシーブレーキ警告灯 [燐] が点灯するとともに、アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告を表示し、システムが一時的に作動しなくなります。
 - VDCをOFFにしたとき
 - トラクションモードをONにしたとき(NISMO仕様車)
 - フロントガラスの汚れなどにより、カメラの前方視界が遮蔽されていると判断したとき
 - 前方からの強い光により、カメラが前方を認識できなくなったとき
 - 炎天下に駐車したときなど、カメラが高温になったとき(車室内の温度が下がると、作動を復帰します)
 - 悪天候(雨、雪、霧、風塵、砂塵、吹雪など)で視界が悪いとき
 - フロントガラスの結露やくもりなどにより、マルチセンシングフロントカメラが前方を認識できなくなったとき

- 周辺の電波源の影響を受けているときシステムが停止したときの状態が改善されると、自動的に作動を再開します。
- 車両前部に取り付けられたレーダーセンサー周辺に雪や氷、泥などが付着しているとき
上記警告が表示されたときは、安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してからレーダーセンサーおよびその周辺の汚れを取り除き、エンジンを再始動してください。
- 道路形状や周辺の建造物（長い橋、雪原、長い壁の横など）により、レーダーセンサーが先行車を正確に検知できないとき
上記の状況から離れるとシステムは自動的に作動を再開します。
- 夜間やトンネル内などでヘッドランプを点灯せず、真っ暗な状態が継続したとき
- インテリジェント エマージェンシーブレーキのシステムチェックが正常に終了しなかったとき
- けん引されているとき
- ソナーに異常が発生したとき
- システムに異常があると、警告音が鳴るとともにメーター内のインテリジェント エマージェンシーブレーキ警告灯 [𠂔] が点灯し、アドバンスドドライブアシストディスプレイ内に警告が表示され、システムが停止します。
警告灯 (➡P.226)
警告メッセージ (➡P.233)

- エンジンが始動してから約15秒間はシステムチェックのため、インテリジェント エマージェンシーブレーキシステムは作動しません。



アドバイス

- システムを正しく作動させるためにカメラ前方のフロントガラスはいつもきれいにしておいてください。マルチセンシングフロントカメラの取り扱いについては、(➡P.273)をお読みください。
- 警告灯が点灯したときは、安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。
上記の操作をしても、警告灯が点灯し続けるときはシステムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。
警告灯 (➡P.226)
- VDCをOFFにしたとき、またはトラクションモード (NISMO仕様車) をONにしたときは、インテリジェント エマージェンシーブレーキ警告灯 [𠂔] が点灯するとともに、アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示され、システムが一時的に作動しくなくなります。
- 夜間、ライトを点けずに走行するなどで、カメラの視界が真っ暗な状態になった場合は、メーター内のインテリジェント エマージェンシーブレーキ警告灯 [𠂔] が点灯するとともに、アドバンスドドライ

ブアシストディスプレイに警告が表示される場合があります。

踏み間違い衝突防止アシスト★

踏み間違い衝突防止アシストは、進行方向に壁などの障害物、車両や歩行者（前進時のみ）などがある場所で、駐車操作時など低速のときにアクセルペダルとブレーキペダルを間違えて踏み込む、あるいはブレーキ操作が遅れたときに運転者に音と表示で警告します。

さらにエンジン出力やブレーキを制御することで、過度な加速の防止や障害物への衝突防止を支援します。

システムに関連する表示

警告

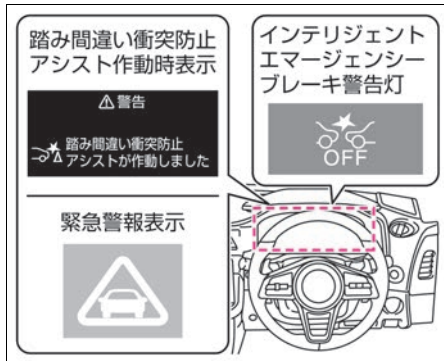
- 機能には限界があるため、過信せず安全運転を心がける。
踏み間違い衝突防止アシストは、アクセルペダルとブレーキペダルの踏み間違いにより引き起こされる暴走や衝突事故の軽減を目的とした補助機能です。あらゆる状況で効果があるわけではありません。運転者は周囲の安全確認を行い、常に注意深い運転操作を心がけて走行してください。
- ソナーやマルチセンシングフロントカメラの性能には限界があるため、システムだけに頼った運転はせず、常に安全運転を心がけてください。詳細については、各検知条件と制限をお読みください。

運転支援機能

警告

● ソナーの検知条件と制限
(P.143)

● マルチセンシングフロントカメラ
の検知条件と制限 (P.142)

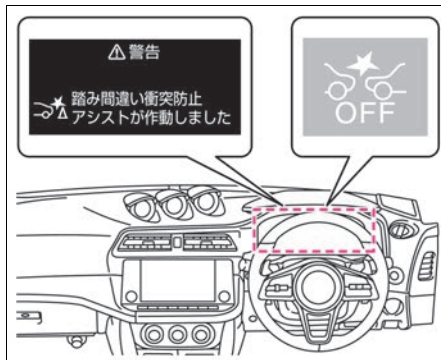


踏み間違い衝突防止アシストについて

警告

- 故意にアクセルペダルを踏み込まない。

車両が急に動き出し思わぬ事故につながるおそれがあります。また、低速加速抑制機能は、アクセルペダルをゆっくりと深く踏み込んだときには作動しません。



前進時

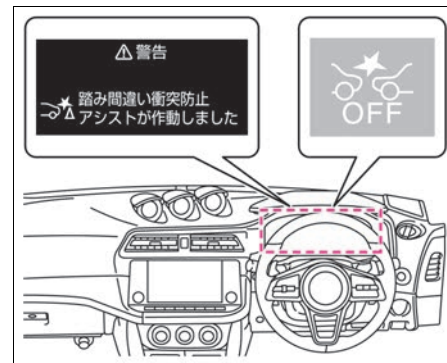
- フロントガラス上部のマルチセンシングフロントカメラにより前方の車両や歩行者を検知します。
- フロントバンパーに取り付けられたソナーにより、進行方向の障害物を検知します。

後退時

- リヤバンパーに取り付けられたソナーにより、進行方向の障害物を検知します。

踏み間違い衝突防止アシストには、2つの機能があります。

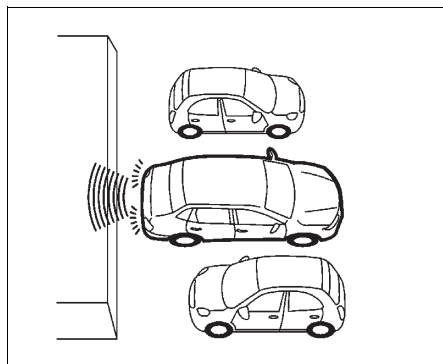
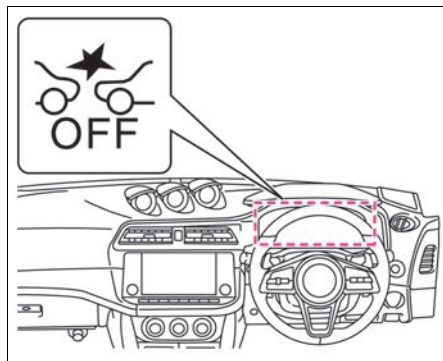
低速加速抑制機能



運転支援機能

- 前進時（停車時含む）、進行方向に車両や歩行者、壁などの障害物を検出している場合に、アクセルペダルが必要以上に踏み込まれたとシステムが判断すると、約6秒間加速を抑制したり、弱いブレーキをかけたりすることで車速が上がることを抑えます。
- 後退時（停車時含む）、進行方向に壁などの障害物を検出している場合に、アクセルペダルが必要以上に踏み込まれたとシステムが判断すると、約6秒間加速を抑制したり、弱いブレーキをかけたりすることで車速が上がることを抑えます。
- 車両、歩行者に対しては、車速約0～25km/hの範囲で作動します。
- 壁などの障害物に対しては、車速約0～15km/hの範囲で作動します。
- 低速加速抑制機能が作動しているときは、警報音（ブザー）と警告灯の点滅、およびアドバンスドドライブアシストディスプレイの表示によって運転者に警告します。
警告灯（➡P.226）
警告メッセージ（➡P.232）

低速衝突軽減ブレーキ機能

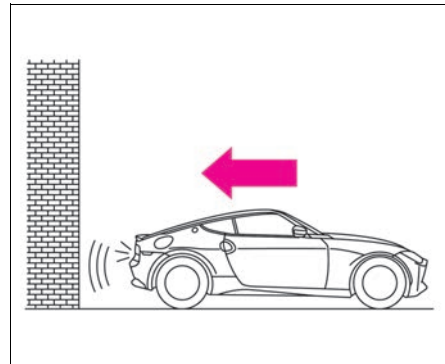


- 前進、または後退時、進行方向の障害物を検知し、衝突するおそれがあるとシステムが判断すると、エンジン出力の制御、およびブレーキをかけて衝突を回避、または被害の軽減をします。
- 低速衝突軽減ブレーキ機能は、車速約15km/h以下のとき作動します。

- 低速衝突軽減ブレーキ機能が作動すると、警報音（ブザー）と警告灯の点滅によって運転者に警告します。
警告灯（➡P.226）
- 低速衝突軽減ブレーキ機能が作動したときは制動灯が点灯します。
- 低速衝突軽減ブレーキ機能が作動しているときは、作動音が聞こえることがありますが異常ではありません。

低速衝突軽減ブレーキが作動するとき・しないとき

クルマ止めのない駐車場などで、壁などに衝突しそうになったとき



- 万一、運転者のブレーキ操作が遅れ、壁などに衝突するおそれがあるとシステムが判断すると、警報音（ブザー）と警告灯が点滅し、ブレーキをかけて衝突を回避または被害を軽減します。
- ブレーキ制御が作動したあと、再び同じ障害物に近づいたときは作動しません。

運転支援機能

- システムは、ブレーキペダルを踏みながら車両を移動する（駐車場での操作）など低速における支援を目的にしています。アクセルペダルを踏んで前進・後退する状況などでは作動が遅れ十分に機能しない場合があります。

縦列駐車をするとき

シフトポジションを**D**／**M**から**R**、または**R**から**D**／**M**に切り替えたときは、シフトポジションの操作を繰り返すたびに進行方向の障害物を検知してブレーキ制御が作動します。

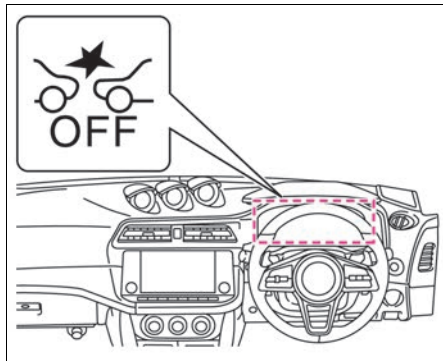
- ブレーキ制御が作動したあと、シフトポジションを切り替えずにさらに同じ障害物に向かって前進、または後退をした場合は、ブレーキ制御は作動しません。
- アクセルペダルを踏んでいるときは作動が遅れることがあります。
- 後退中は、前方の障害物に対しては作動しません。同様に、前進中は後方の障害物に対して作動しません。
- 障害物に対し斜めに接近すると作動しないことがあります。
- 幅の狭い障害物に対しては作動しないことがあります。
- 他の車両が自車両に対して横にすれた位置にあるときは、作動しないまたは作動が遅れることがあります。

並列駐車をするとき

- 狭いスペースに進入するときに作動することがあります。
- 他の車両の角部に向かって接近したときは作動しません。

- 他の車両が自車両に対して横にすれた位置にあるときは、作動しないまたは作動が遅れることがあります。
- 後退中は、前方の障害物に対しては作動しません。同様に、前進中は後方の障害物に対しては作動しません。
- 壁から突き出している柱や配管などに対しては作動しません。
- 低い障害物に対しては作動しません。

踏み間違い衝突防止アシストの停止のしかた



- アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定 [⚙] ⇒ [運転支援] ⇒ [エマージェンシーブレーキ] を選択すると、踏み間違い衝突防止アシストのON・OFFを切り替えることができます。

設定の詳細については、運転支援システムをお読みください。

➡ アドバンスドドライブアシストディスプレイとは（メインメニュー） (P.54)

➡ 設定（各種設定画面） (P.71)

- 機能をOFFにすると、システムが停止します。（インテリジェント エマージェンシーブレーキ警告灯 [𠂔] が点灯）
- 踏み間違い衝突防止アシストの設定は、インテリジェント エマージェンシーブレーキ、インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）の設定と連動しています。

踏み間違い衝突防止アシストに関する注意事項

⚠ 警告

- 故意にアクセルペダルを踏み込まない。

車両が急に動き出し思わぬ事故につながるおそれがあります。また、低速加速抑制機能は、アクセルペダルをゆっくりと深く踏み込んだときには作動しません。

- 次の場合は、予期せずシステムが作動し、思わぬ事故につながるおそれがあるため、踏み間違い衝突防止アシストをOFFにする。

- けん引するとき
- トレーラーなどに積載するとき

⚠ 警告

- 点検などでシャシーダイナモを使用するとき
- 純正品以外のサスペンション部品を使用しているとき
(車高や車両の傾きが変わると正しく障害物を検知できないことがあります)
- センサーを妨げるようなバイクラックなどを装着しているとき
- 外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。
- ソナーは次のような障害物は検知しません。
 - 背の低い障害物
 - 幅の狭い障害物
 - 針金、金網、ロープなどの細い障害物
 - バンパーに非常に近い障害物
 - 急に進行方向に現れた障害物
- ソナーは次のような障害物は検知しないことや作動が遅れることがあります。
 - 地面から高い位置に存在する障害物
 - 周囲で大きな音が鳴っているとき
 - 周囲に超音波を発するものがあるとき
 - スポンジ状のものや雪など表面が柔らかく音波を吸収しやすい障害物

● ソナーは次のような場合は検知しないことがあります。

- 雨、雪、氷、汚れなどがソナーに付着しているとき
- 周囲で大きな音が鳴っているとき
- 周囲に超音波を発するものがあるとき
- 障害物の面が車両の前面、または後面に対して斜めのとき

● ソナーは次のような場合は検知することがあります。

- 周囲に草が生い茂っているとき
- 車両側面の近くに壁があるとき
- 路面上に段差や突起物があるとき
- 垂れ下がった旗、ビニールカーテンなどをくぐって走行するとき
- 車両周辺に雪のかたまりがあるとき
- 車両感応センサーや他車のソナーなど、超音波を発生するものが付近にいたとき
- 他車のホーン、オートバイの排気音や工事など、付近で大きな音がしたとき
- 背が高く上部が張り出しているものがあるとき
- 高さのある縁石や車止めがあるとき

● マルチセンシングフロントカメラは次のような障害物は検知しません。

- 子供などの背の低い人、動物、自転車
- 対向車両
- 道路構造物（ガードレール、ポールなど車両と歩行者以外の障害物）

● マルチセンシングフロントカメラは車両の後端を認識するため、以下の例のような車両を検知しないもしくは検知できない場合があります。

- バンパー形状などにより、タイヤが見えにくい車両
- 幌がはみ出し、後端形状がはっきりしない車両
- 前方を横切って通過する車両
- 斜めもしくは前向きに止まっている車両

● マルチセンシングフロントカメラは次のような場合、前方の車両、歩行者を検知できないことがあります。

- 悪天候（雨、雪、霧、風塵、砂塵、吹雪など）で視界が悪いとき
- 前方の車両や対向車などにより水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
- カメラ前方のフロントガラスに汚れ、油膜、水滴、氷、雪などが付着しているとき
- カメラ前方のフロントガラスがくもっているとき
- 前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けているとき

⚠ 警告

- 前方の強い光により前方車両のタイヤの部分が影になり見えにくいとき
- 夜間やトンネル内などでヘッドランプを点灯していない、あるいはヘッドランプのレンズが極端に汚れているとき
- 夜間やトンネル内などで前方の車両のテールランプが点灯していないとき
- トンネルの出入り口や日陰など、急に明るさの変化が起こったとき
- カーブを走行しているとき
- 勾配の変化があるところを走行しているとき
- 未舗装路など凹凸のある路面を走行しているとき
- 歩行者が大きな荷物を持っている、背景と同じ色の服を着ているなど人特有の輪郭が認識できないとき
- 前方車両からの太陽光などを強く反射されたとき
- 対象物の位置や動きが大きく変化した場合（自車の車線変更・右左折、前方車両の右左折・急ハンドル・急加速・急減速など）
- 始動してから約15秒間
- カメラの視界がさえぎられているとき（フロントガラスの汚れ、油膜、虫汚れ、ワイパーブレード）
- カメラの向きがずれているとき

● マルチセンシングフロントカメラは以下の例のような周辺状況では対象物の形状を正しく検出できずシステムが作動しない場合があります。

- 対象物が背景と似た色合いで区別ができない場合
- 対象物が道路標示（道路上の横断歩道、制限速度などの標示）の近くにいる場合
- 対象物が路面の水たまりの付近にいる場合（周りの風景が水たまりに映り込むなど）
- 対象物が建物や街路樹などの影と重なっているとき
- 対象物と自車の間に水蒸気や煙などがあるとき

● 以下の対象物にはマルチセンシングフロントカメラが対象物の形状を正しく検出できずシステムが作動しない場合があります。

- 夜間やトンネル内など暗い場所にいる歩行者
- 車高の低い車両
- 最低地上高（地面から車体までの高さ）が極端に低いもしくは極端に高い車両
- 特殊な形状の車両（タンクローリー、サイドカーなど）
- 前方の至近距離に割り込んだ車両
- 前方の至近距離に飛び出してきた歩行者

- 自車の正面から横にずれた位置に存在する車両や歩行者
- 後端面積が小さい車両（空荷のトラックなど）
- リヤタイヤから車両後端までが長い車両
- 四輪車以外の車両（二輪車など）
- 荷台から荷物や幌がはみ出している車両

● マルチセンシングフロントカメラは以下の例のような場合、衝突するおそれがある対象を正しく検出できない場合があります。

- 複数の対象物同士が近接している場合
- 対象となる二輪車または車高の低い車両の前方近くに車両がいる場合

低速衝突軽減ブレーキ機能について

- ブレーキ制御は短時間しか作動しません。必ず運転者がブレーキペダルを踏んでください。
- 車両を停止させる場合は、必ず運転者がブレーキペダルを踏む。

低速加速抑制機能が作動したあとに低速衝突軽減ブレーキ機能が作動したときは、車両が停止してから約2秒後にブレーキが解除され、車両が動き出します。

- 外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。

⚠ 注意

低速衝突軽減ブレーキ機能について

- システムの作動を待たず、すみやかにブレーキ操作を行う。
車両の状態、走行状況、交通環境、天候、路面状況などにより作動しない場合や、本来の性能を発揮できないことがあります。
- アクセルペダルを踏んだ状態で障害物に接近したときは、作動が遅れることがあります。

🚗 アドバイス

- 次の場合は、システムが正常に作動しなかったり、機能を十分に発揮できないことがあります。
 - 悪天候（雨、霧、雪など）のとき
 - 勾配が急な坂道を走行しているとき
 - 段差などをまたいでいるときなど車両姿勢が変化しているとき
 - 滑りやすい路面を走行しているとき
 - ハンドルを大きく切って旋回しているとき
 - 外気温が低いときや走行開始直後などでブレーキが冷えているとき
 - 下り坂などでブレーキが過熱してブレーキの効きが悪くなっているとき

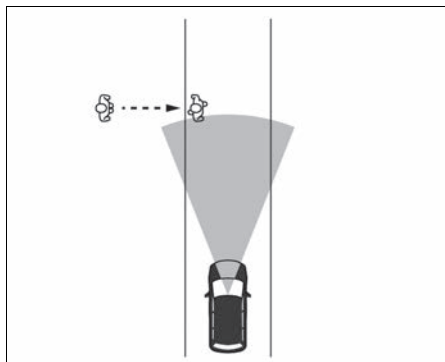
- 水たまり走行後や洗車後などブレーキが濡れてブレーキの効きが悪くなっているとき
- 長期間駐車などで、ブレーキの性能が十分に発揮できないとき
- 摩耗しているタイヤ、空気圧不足のタイヤ、スベアタイヤのような非常用タイヤ、日産純正品もしくは日産販売会社で購入したタイヤ以外を使用しているときや、タイヤチェーンを装着しているとき
- 車両が傾いているとき（ラゲッジルームに極端に重い荷物を積んでいるとき）
- 動いている物体に対しては踏み間違ひ衝突防止アシストは作動しません。（前方の車両、歩行者を除く）

低速加速抑制機能について

- ソナーで検出した壁や車両などの大きな障害物に対して作動します。車両の幅以下の障害物は検知しません。
- マルチセンシングフロントカメラで検出した衝突のおそれのある前方の車両や歩行者に対して作動します。
- 低速加速抑制機能は、運転者がアクセルペダルを戻すと解除されます。
- アクセルペダルを踏み続けた場合は、作動を開始してから約6秒後に解除されます。
- 渋滞などで前方にいる車両を追い越すときなどに低速加速抑制機能が一時的に作動することがあります。
- 信号待ちや右折待ちなどで、車間距離の短い状態から前の車に続いて発進する際、

アクセルペダルをすばやく深く踏み込むと低速加速抑制機能が一時的に作動することがあります。

- 次の場合は作動しません。
 - 車速が約15km/h以上のとき（前方の車両、歩行者に対しては約25km/h以上）
 - ブレーキペダルを踏んでいるとき
 - シフトポジションが **D**、**M**、**R** 以外のとき
 - トラクションコントロール機能（TCS）が作動しているとき
 - タイヤが空転しているとき
- 路面または壁面の模様・ペイント（かすれた道路標示や漢字で構成される特殊な道路標示を含む）、前方の道路構造物（トンネル、高架橋、交通標識、車両脇に設置された反射器（リフレクター）、反射シート、ガードレール）などで構成される形状が、車両や歩行者の輪郭の特徴や車両のテールランプの大きさ・位置などと似通っている場合、マルチセンシングフロントカメラが対象物の形状を正しく検出できずシステムが作動する場合があります。
- 自転車で走行している人を歩行者と検知し、システムが作動する場合があります。
- 以下のような物に反応し、システムが作動する場合があります。



- 歩行者が自車前方の走行レーンに近づいた場合
- 道路上方にある物（低い橋、道路標識など）
- 路面上にある物（線路、格子、鉄板など）
- 駐車場内にある物（梁など）
- 走行車線または隣接する車線にある物（歩行者、車両など）
- 走行車線または隣接する車線に近づいてくる物（歩行者、車両など）
- 対向して接近する歩行者
- 走行路にある物（近接する樹木など）

低速衝突軽減ブレーキ機能について

- ブレーキ制御が作動したあと、再び同じ障害物に近づいても作動しません。
- 次の場合は作動しません。
 - シフトポジションが **D**、**M**、**R** 以外の場合

- 前進時は車両後方の障害物に対しては作動しません。同様に、後退時は車両前方の障害物に対しては作動しません。

踏み間違い衝突防止アシストの作動が停止するとき

- 次の場合、メーター内のインテリジェントエマージェンシーブレーキ警告灯 [点滅] が点灯し、作動が停止します。
 - インテリジェントエマージェンシーブレーキの設定をOFFにしたとき
 - VDCをOFFにしたとき
 - トラクションモードをONにしたとき（NISMO仕様車）
 - ソナーに異常が発生したとき
- インテリジェントエマージェンシーブレーキが一時的に作動できなくなったときは、メーター内のインテリジェントエマージェンシーブレーキ警告灯 [点滅] が点灯するとともに、アドバンスドドライバシストディスプレイに「現在一部の運転支援を制限しています」と警告が表示され、踏み間違い衝突防止アシストも一時的に作動しなくなります。詳しくは、**インテリジェントエマージェンシーブレーキの作動が停止するとき**（P.160）をお読みください。

- システムに異常があると、メーター内のインテリジェントエマージェンシーブレーキ警告灯 [点滅] が点灯し、警報音（ブザー）が鳴るとともにアドバンスド

ライブアシストディスプレイ内に警告が表示され、システムが停止します。

警告灯 (P.226)

警告メッセージ (P.232)

アドバイス

- システムを正しく作動させるためにソナーはいつもきれいにしておいてください。ソナーの取り扱いについては、(P.274)をお読みください。
- 警告灯が点灯したときは、安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。

上記の操作をしても、警告灯が点灯し続けるときはシステムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

警告灯 (P.226)

BSW（後側方車両検知警報）

BSW（後側方車両検知警報）は、車線変更をするとき、隣車線に車両がいる場合に警報によって運転者に注意を促します。

システムに関連する表示

警告

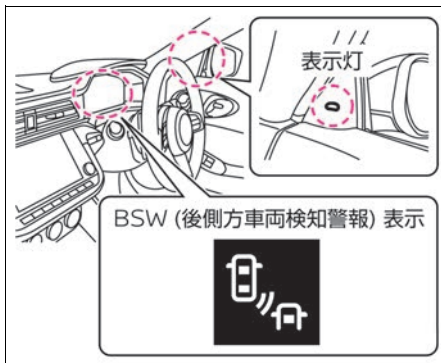
- 機能には限界があるため、過信せず安全運転を心がける。

⚠ 警告

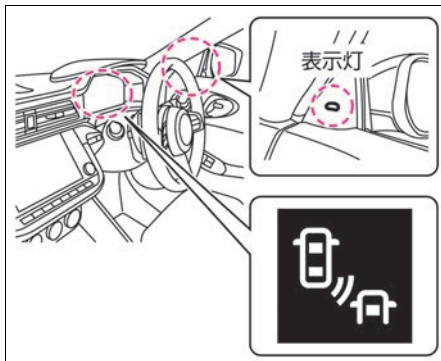
BSW（後側方車両検知警報）は、ドアミラーによる周囲の検知を代わりに行ったり、車両や障害物との接触を防いだりする機能ではありません。車線変更を行うときは、機能に頼った確認をせず、必ずドアミラーおよびルームミラーで側方および後方の安全を確認してください。

- レーダーの性能には限界があるため、システムだけに頼った運転はせず、常に安全運転を心がけてください。詳細については、各検知条件と制限をお読みください。

➡ レーダーセンサーの検知条件と制限 (P.141)

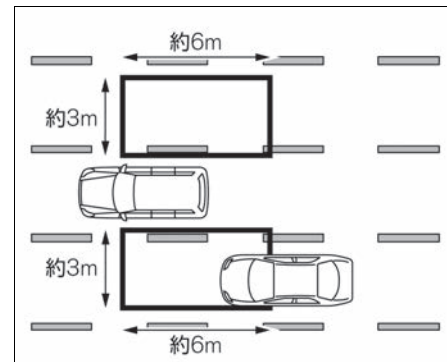


BSW（後側方車両検知警報）について



- 車両後部のレーダーセンサーにより隣車線の車両を検知します。
- 車速約30km/h以上で作動します。
- レーダーセンサーにより隣車線の車両を検知すると、検知した側のドアミラー付近にある表示灯が点灯します。
- 隣車線の車両を検知しているときに、検知している側に方向指示器を作動させると、警報音（ブザー）が鳴るとともにアドバンスドドライブアシストディスプレイのBSW（後側方車両検知警報）表示と、ドアミラー付近にある表示灯が点滅します。

検知範囲について



- レーダーセンサーは、自車両の左右にある検知範囲内にいる車両を検知します。
- 検知範囲は、自車両のドアミラーから後方に約6m、車両の側面から横方向に約3mです。
- ドアミラー付近の表示灯は電源ポジションをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定 [⚙] ⇒ [運転支援] ⇒ [後側方支援] ⇒ [インジケータの明るさ]を選択すると、ドアミラー付近の表示灯の明るさの設定を変更することができます。設定の詳細については、運転支援システムをお読みください。
- ➡ アドバンスドドライブアシストディスプレイとは（メインメニュー） (P.54)
- ➡ 設定（各種設定画面） (P.71)

運転支援機能

- 方向指示器が作動しているときに、レーダーセンサーにより隣車線の車両を検知した場合には、ドアミラー付近にある表示灯は点滅しますが音は鳴りません。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイを〔運転支援〕に切り替えると、BSW（後側方車両検知警報）の作動状態をアドバンスドドライブアシストディスプレイ内で確認することができます。
- ➡ アドバンスドドライブアシストディスプレイとは（メインメニュー）（P.54）

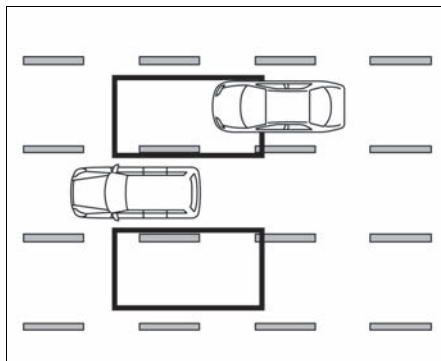
作動するとき・しないとき

⚠ 注意

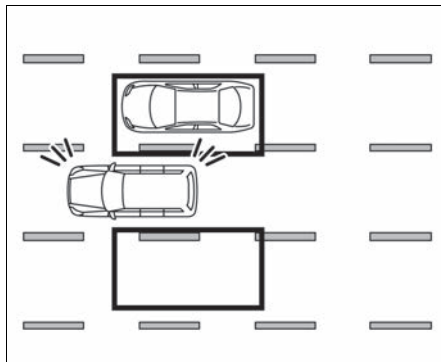
- 車線変更を行うときは、必ずドアミラーおよびルームミラーを使用して周囲の安全を確認する。

自車両より極端に速い速度で接近してくる車両は検知できないことがあります。

後方から車両が接近してくるとき



- 後方から車両が接近してくる場合、その車両が検知範囲内に入るとドアミラー付近にある表示灯が点灯します。

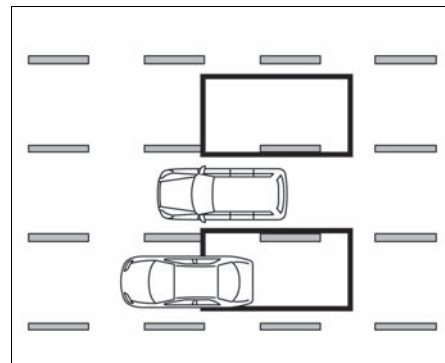


- 車両を検知しているときに、検知している側に方向指示器を作動させると警報音（ブザー）が鳴るとともに、BSW（後側

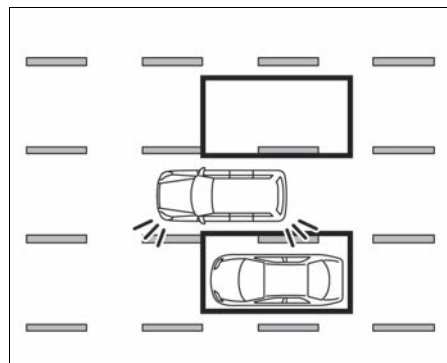
方車両検知警報）表示とドアミラー付近にある表示灯が点滅します。

- 方向指示器を作動したあとに、検知範囲に車両が入ってきたときは、BSW（後側方車両検知警報）表示とドアミラー付近にある表示灯が点滅しますが、警報音（ブザー）は鳴りません。

他の車両を追い越すとき

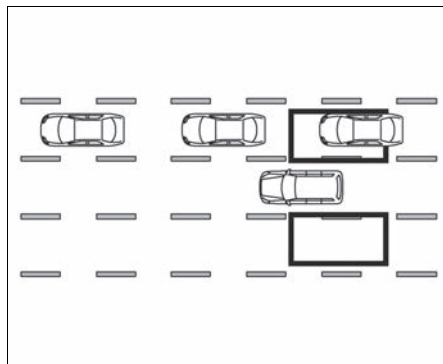


- 他の車両を追い越すとき、追い越される車両が検知範囲内に2秒以上とどまるとドアミラー付近の表示灯が点灯します。



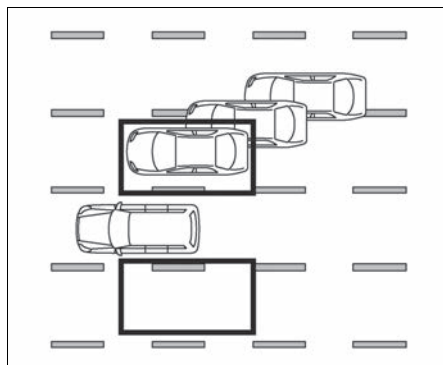
- 車両を検知しドアミラー付近にある表示灯が点灯しているときに、検知している側に方向指示器を作動させると警報音（ブザー）が鳴るとともに、BSW（後側方車両検知警報）表示とドアミラー付近にある表示灯が点滅します。
- 速度の遅い車両をすばやく追いついたときはシステムが検知しません。

他の車両に追い越されるとき

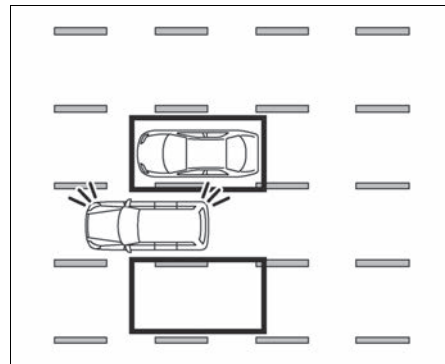


- 複数の車両に連続して追い越されるとき、追いつく車両の車間距離が短い場合は、1台目の車両以外が検出されないことがあります。

他の車線から車両が接近してきたとき



- 車線変更などで車両が接近してきたときは、検知範囲内に入るとドアミラー付近の表示灯が点灯します。



- 車両を検知しているときに、検知している側に方向指示器を作動させると警報音（ブザー）が鳴るとともに、BSW（後側方車両検知警報）表示とドアミラー付近にある表示灯が点滅します。
- 自車両とほぼ同じ速度で走行する車両が車線変更してきた場合、検出できないことがあります。
- 方向指示器を作動させたあとに、検知範囲に車両が入ってきたときは、BSW（後側方車両検知警報）表示とドアミラー付近にある表示灯が点滅しますが、警報音（ブザー）は鳴りません。

BSW（後側方車両検知警報）の使いかた

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定 [⚙] ⇒ [運転支援] ⇒

運転支援機能

〔後側方支援〕⇒〔後側方車両検知警報〕を選択すると、BSW（後側方車両検知警報）のON・OFFを切り替えることができます。設定の詳細については、運転支援をお読みください。

➡アドバンスドドライブアシストディスプレイとは（メインメニュー）（P.54）

➡設定（各種設定画面）（P.71）

- アドバンスドドライブアシストディスプレイのON・OFF設定は、エンジンを再始動しても維持されます。

BSW（後側方車両検知警報）に関する注意事項

⚠ 警告

- 次のような車両は、正確に検知できず、システムが正しく作動しないおそれがあります。
 - 背の低い車両や、オートバイなどの幅の狭い車両
 - 停車状態から検知範囲に居続ける車両
 - 後方から速い速度で接近してくる車両
 - 自車両が速い速度で追い越した車両
 - 合流や車線変更で自車両の横にほぼ同じ速度で移動してきた車両
- 次のような状況では、隣の車線の車両を検知できないことがあります。

- 強い光（太陽光など）を受けているとき
- 急な明るさの変化が起こったとき（トンネルの出入り口など）
- 車線の幅が極端に広い道路を運転しているとき
- 悪天候（雨、雪、霧など）で視界が悪いとき
- 水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
- 雪や氷、泥などがレーダーセンサー周辺に付着しているとき
- 放送局・レーダー搭載車両など周辺の電波源により影響を受けているとき

⚠ 注意

- レーダーセンサーは次のような障害物は検知しません。
 - 歩行者、自転車、動物など
 - 対向車

🚗 アドバイス

- 外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。
- 車線の幅が極端に広い道路を運転する場合、隣の車線にいる車両を検知できないことがあります。また、車線の幅が極端に狭い道路を運転する場合、2つ隣の車線にいる車両を検知することがあります。
- レーダーセンサーは静止している障害物を検知しないよう設計されていますが状

況によっては、ガードレール、壁、植物、駐車された車両などを検知してしまうことがあります。

作動が停止するとき

- 次の場合はアドバンスドドライブアシストディスプレイに〔サイドレーダー及びその周辺が汚れています 拭いてください〕と警告が表示され、BSW（後側方車両検知警報）表示が点滅し、一時的にシステムが停止します。
 - レーダーセンサーが汚れているとき
 - レーダーセンサーに雨、雪、氷などが付着しているとき
- システムに異常があると、アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示され、BSW（後側方車両検知警報）表示が点灯しシステムが停止します。警告メッセージ（➡P.234）

🚗 アドバイス

- レーダーセンサーの周辺が汚れているときは安全な場所に停車し、レーダーセンサー周辺の汚れなどを取り除いてからエンジンを再始動してください。レーダーセンサーの取り扱いについては、（➡P.272）をお読みください。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示されたときは、安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。

🚗 アドバイス

エンジン再始動後も表示され続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

LDW（車線逸脱警報）

運転者が意図せず走行車線から逸脱しそうなとき、警報によって注意を促します。

システムに関連する表示

⚠️ 警告

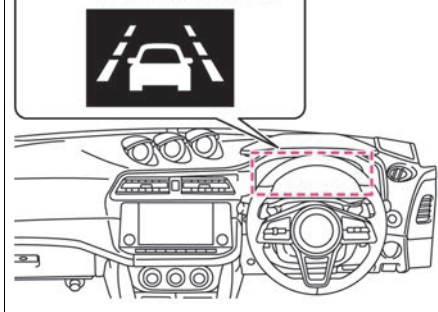
- 機能には限界があるため、過信せず安全運転を心がける。

LDW（車線逸脱警報）は、脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意および雨、霧などの視界不良による危険を回避するものではありません。周囲の状況に応じてハンドル操作を行い、常に安全運転を心がけてください。

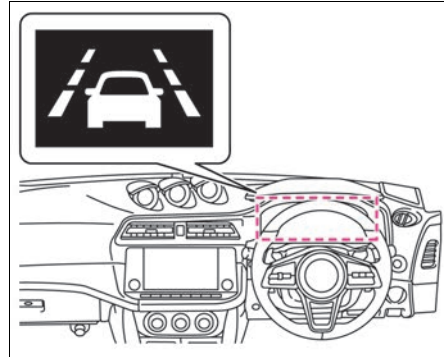
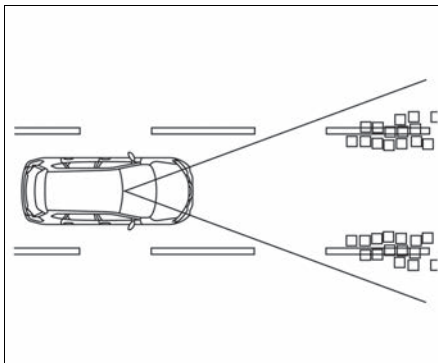
- マルチセンシングフロントカメラの性能には限界があるため、システムだけに頼った運転はせず、常に安全運転を心がけてください。詳細については、検知条件と制限をお読みください。

👉 マルチセンシングフロントカメラの検知条件と制限 (P.142)

LDW（車線逸脱警報）表示



LDW（車線逸脱警報）について



- フロントガラス上部のマルチセンシングフロントカメラにより走行車線のレーンマーカーを検知します。
- 車速約60km/h以上で作動します。
- 走行車線の右側もしくは、左側のレーンマーカーに近づいたと判断すると、警報音（ブザー）が鳴るとともにメーター内のLDW（車線逸脱警報）表示がオレンジ色に点滅します。
レーンマーカーとは、走行車線の右側もしくは左側に引かれた線のことを示します。
- 車両の移動する方向に方向指示器を作動させている場合は警報を行いません。（方向指示器を解除したあと、約2秒間は警報を行いません。）
- アドバンスドドライブアシストディスプレイを「運転支援」、および「クルーズ（CRUISE）」に切り替えると、LDW（車線逸脱警報）の作動状態をアドバンスド

運転支援機能

ドライブアシストディスプレイ内で確認することができます。
詳しくは、運転支援をお読みください。

➡ アドバンスドドライブアシストディスプレイとは（メインメニュー）（P.54）

➡ 設定（各種設定画面）（P.71）

ON・OFFのしかた

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定 [] ⇒ [運転支援] ⇒ [側方支援] ⇒ [車線逸脱警報] を選択すると、LDW（車線逸脱警報）機能のON・OFFを切り替えることができます。設定の詳細については、運転支援をお読みください。

➡ アドバンスドドライブアシストディスプレイとは（メインメニュー）（P.54）

➡ 設定（各種設定画面）（P.71）

- アドバンスドドライブアシストディスプレイのON・OFF設定は、エンジンを再始動しても維持されます。

LDW（車線逸脱警報）に関する注意事項

警告

- 次のような状況では、レーンマーカ―を正確に検出できず、適切な作動ができない場合があります。

- － 検出しにくいレーンマーカ―（不明瞭なレーンマーカ―、黄色のレーンマーカ―、一般的でないレーンマーカ―、水たまり・汚れ・雪などで隠れているレーンマーカ―）がある道路を走行するとき
- － 急なカーブのある道路を走行するとき
- － 消されたレーンマーカ―がまだ見えている道路を走行するとき
- － 道路上に影、雪、水たまり、わだち、道路のつなぎ目、線状の補修痕などがあるとき（これらのものをレーンマーカ―として検出して警報する場合があります。）
- － 車線の分岐・合流のある道路を走行したとき
- － 自車がレーンマーカ―に対してまっすぐに走行していないとき
- － 先行車との車間距離が短く、カメラの検出範囲が遮られるとき
- － 雨、雪、汚れなどがフロントガラスに付着しているとき
- － 汚れなどでヘッドランプの明るさが不十分なときやヘッドランプの光軸調整が適切に行われていないとき
- － 前方から強い光（太陽光など）を受けているとき
- － 急な明るさの変化が起こったとき（トンネルの出入り口など）

アドバイス

- 外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。

作動が停止するとき

- 炎天下に駐車したときなど、カメラが高温になったときは、アドバンスドドライブアシストディスプレイに「カメラが高温のため現在使用できません」と警告が表示され、LDW（車線逸脱警報）表示が点滅し一時的にシステムが停止します。（室内の温度が下がると、作動を復帰します。）
- システムに異常があると、アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示され、LDW（車線逸脱警報）表示が点灯しシステムが停止します。警告メッセージ（➡ P.234）

アドバイス

- システムを正しく作動させるためにカメラ前方のフロントガラスはいつもきれいにしておいてください。マルチセンシングフロントカメラの取り扱いについては、（➡ P.273）をお読みください。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示されたときは、安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。

🚗 アドバイス

エンジン再始動後も警告が表示され続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

インテリジェントFCW（前方衝突予測警報）

前方を走行する2台前の車両を検知し、急な減速などにより、自車の回避操作が必要と判断した場合には、警報によって運転者に注意を促します。

システムに関する表示

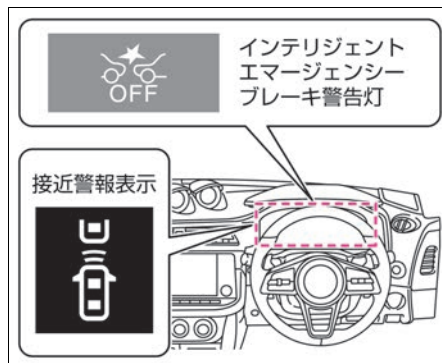
⚠️ 警告

- インテリジェントFCW（前方衝突予測警報）は前方を走行する2台前の車両の急な減速などを検知したとき運転者に警報を行いますが、衝突を回避する機能はありません。
- インテリジェントFCW（前方衝突予測警報）は脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意および雨、霧などの視界不良による危険を回避するものではありません。

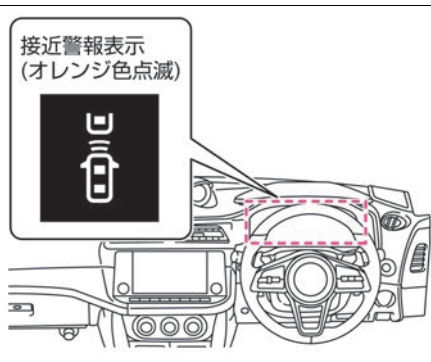
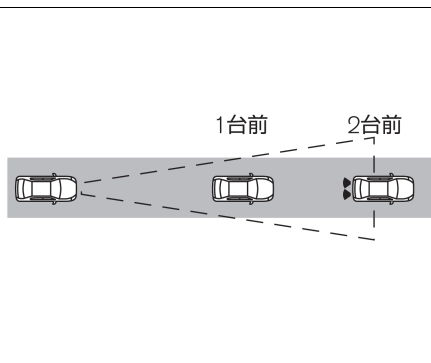
前方の車両との車間距離、周囲の状態に応じてブレーキペダルを踏んで減速するなどして車間距離を確保し、安全運転を心がけてください。

- レーダーの性能には限界があるため、システムだけに頼った運転はせず、常に安全運転を心がけてください。詳細については、検知条件と制限をお読みください。

➡️ レーダーセンサーの検知条件と制限 (P.141)



インテリジェントFCW（前方衝突予測警報）について



- インテリジェントFCW（前方衝突予測警報）は車速が約5km/h以上で作動します。

運転支援機能

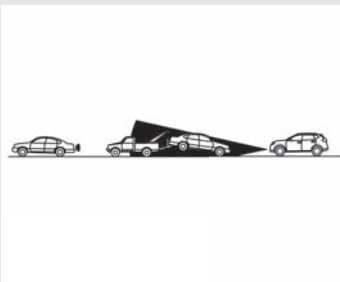
- 車両前部に取り付けられたレーダーセンサーにより前方の2台前の車両との距離を計測します。
- 自車の回避操作が必要と判断すると、アドバンスドドライバアシストディスプレイの接近警報表示がオレンジ色に点滅するとともに警報音（ブザー）を鳴らして、運転者に注意を促します。
- インテリジェント エマージェンシーブレーキのON・OFFを切り替えると、踏み間違い衝突防止アシスト★、インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）も連動してON・OFFされます。
 - ➡ 踏み間違い衝突防止アシスト★ (P.161)
 - ➡ インテリジェント エマージェンシーブレーキ (P.156)

インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）に関する注意事項

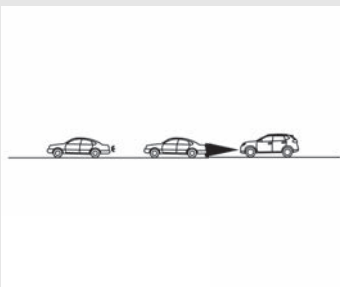
⚠ 警告

- 次のような障害物は検知しません。
 - 歩行者、自転車、動物、道路上に落ちている障害物
 - 対向車両
 - 前方を横切って通過する車両
- 次のような場合は、前方の2台前の車両を検知できないことがあります。
 - 悪天候（雨、雪、霧など）で視界が悪いとき

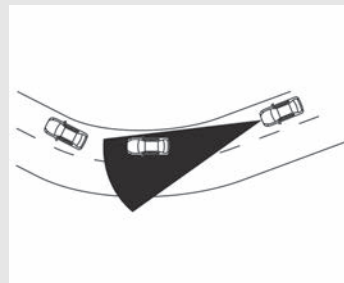
- 前方の車両や対向車などにより水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
- 雪や氷、泥などがレーダーセンサー周辺に付着しているとき
- 放送局など周辺の電波源により影響を受けているとき
- トンネル内を走行しているとき



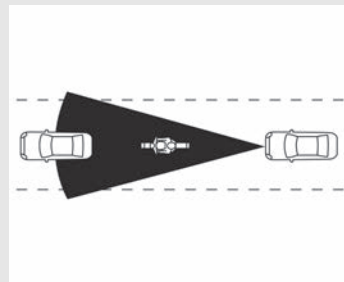
- 前方の車両がけん引を行っているとき



- 前方の車両との距離が極端に近いとき



- 急なカーブや、勾配の変化があるところを走行しているとき



- 前方の車両がオートバイのような幅の狭い車両のときは、前方の車両を検知できず、インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）は警報を行わないことがあります。
- 外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。

インテリジェントFCW（前方衝突予測警報）の作動が停止するとき

- 次の場合、メーター内のインテリジェントエマージェンシーブレーキ警告灯 [警] が点灯し、作動が停止します。
 - ー インテリジェントエマージェンシーブレーキの設定をOFFにしたとき
 - ー インテリジェントエマージェンシーブレーキが異常により作動を停止したとき
- 次の場合、メーター内のインテリジェントエマージェンシーブレーキ警告灯 [警] 、および接近警報表示が点灯するとともに、アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告を表示し、システムが一時的に作動しなくなります。
 - ー 周辺の電波源の影響を受けているとき停止したときの状態が改善されるとシステムは作動を再開します。
- 次の場合、メーター内のインテリジェントエマージェンシーブレーキ警告灯 [警] が点灯および接近警報表示が点滅するとともに、アドバンスドドライブアシストディスプレイに「現在一部の運転支援を制限しています」と警告が表示され、システムが一時的に作動しなくなります。
 - ー ソナーに異常が発生したとき
 - ー システムチェックが正常に終了しなかったとき
- 次の場合、インテリジェントエマージェンシーブレーキ警告灯 [警] 、および接近警報表示が点灯するとともに、アドバ

ンスドドライブアシストディスプレイに「現在一部の運転支援が使用できません」フロントレーダー周辺を拭いてください」と警告が表示され、システムが停止します。

ー 車両前部に取り付けられたレーダーセンサー周辺に雪や氷、泥などが付着しているとき

上記警告が表示されたときは、安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してからレーダーセンサーおよびその周辺の汚れなどを取り除き、エンジンを再始動してください。

- VDCをOFFにしたとき、またはトラクションモード（NISMO仕様車）をONにしたときは、インテリジェントエマージェンシーブレーキ警告灯 [警] が点灯するとともに、アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示され、システムが一時的に作動しなくなります。
- システムに異常があると、警告音が鳴るとともにメーター内のインテリジェントエマージェンシーブレーキ警告灯 [警] 、および接近警報表示が点灯し、アドバンスドドライブアシストディスプレイ内に警告が表示され、システムが停止します。
 - 警告灯 (P.226)
 - 警告メッセージ (P.233)



アドバイス

- インテリジェントエマージェンシーブレーキをONにできない、または警告灯が点灯したときは、安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。上記の操作をしても、警告灯が点灯し続けるときはシステムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

警告灯 (P.226)

- レーダーセンサーの周辺が汚れているときは安全な場所に停車し、レーダーセンサー周辺の汚れなどを取り除いてからエンジンを再始動してください。レーダーセンサーの取り扱いについては、(P.272)をお読みください。

インテリジェントDA（ふらつき警報）

インテリジェントDA（ふらつき警報）は、ハンドル操作から運転者の注意力が低下していると判断したときに、アドバンスドドライブアシストディスプレイの表示と音により運転者に休憩を促します。

システムに関連する表示

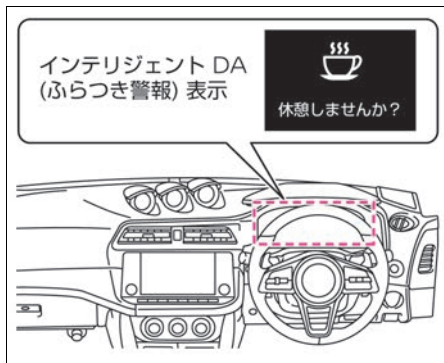


警告

- 機能には限界があるため、過信せず安全運転を心がける。

⚠ 警告

このシステムは疲労時の運転を補助するものではありません。疲労時の運転は重大な事故にいたる危険があるため、運転前に十分に休憩をとり、安全運転を心がけてください。



インテリジェント DA (ふらつき警報) について

- 車速約60km/h以上で走行中、運転者のハンドル操作から注意力が低下していると判断したときに、警報音（ブザー）が鳴るとともにアドバンスドドライブアシストディスプレイに「休憩しませんか？」と警告メッセージを表示します。
警告メッセージ (➡ P.236)

インテリジェント DA (ふらつき警報) の停止のしかた

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定 [⚙] ⇒ [運転支援] ⇒ [ふらつき警報] を選択すると、インテリジェント DA (ふらつき警報) 機能の ON・OFF を切り替えることができます。設定の詳細については、運転支援をお読みください。
- ➡ アドバンスドドライブアシストディスプレイとは (メインメニュー) (P.54)
- ➡ 設定 (各種設定画面) (P.71)
- 設定は、エンジンを再始動しても維持されます。

インテリジェント DA (ふらつき警報) の作動が停止するとき

- システムに異常があると、アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示され、作動が停止します。
警告メッセージ (➡ P.234)

🚗 アドバイス

- 安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。
- 再始動後もメッセージを表示するときは、システムの異常が考えられます。

通常走行に支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

RCTA (後退時車両検知警報)

RCTA (後退時車両検知警報) は、後退時に後方を横切ろうとする車両に衝突するおそれがあるとき、警報によって注意を促します。

システムに関連する表示

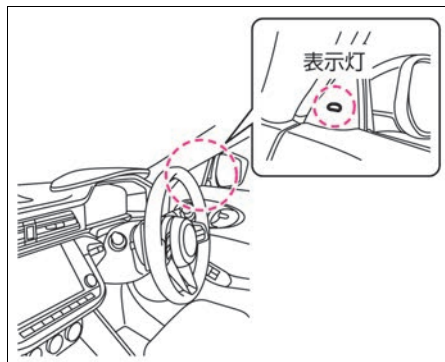
⚠ 警告

- 機能には限界があるため、過信せず安全運転を心がける。

RCTA (後退時車両検知警報) は、運転者の代わりに周囲を確認したり、車両と障害物との接触を防いだりする機能ではありません。駐車スペースから後退するときは、機能に頼らず、必ず運転者自身で周囲の安全を確認してください。

- レーダーの性能には限界があるため、システムだけに頼った運転はせず、常に安全運転を心がけてください。詳細については、検知条件と制限をお読みください。

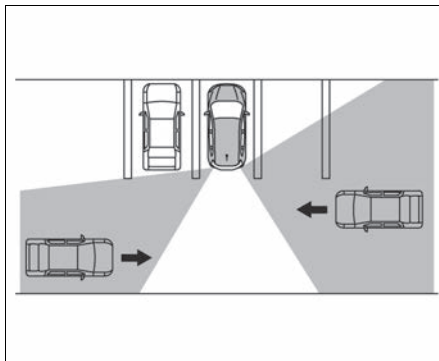
➡ レーダーセンサーの検知条件と制限 (P.141)



RCTA（後退時車両検知警報）について

- 車両後部のレーダーセンサーにより後方を横切ろうとする車両を検知します。
- シフトポジションがオートマチック車は **R**、マニュアル車はRで、車速約8km/h以下のとき作動します。
- レーダーセンサーにより後方を横切ろうとする車両を検知すると、警報音（ブザー）が鳴るとともに検知した側のドアミラー付近にある表示灯が点滅します。
- RCTA（後退時車両検知警報）の設定をOFFにしているときにオートマチック車はシフトポジションを **R**、マニュアル車はRにすると、アドバンスドドライブアシストディスプレイに「システムOFF」と表示されます。

検知範囲について



- レーダーセンサーは、約20m先から近づいてくる車両を検知します。
- ドアミラー付近の表示灯は電源ポジションをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定 **[⚙]** ⇒ 「運転支援」 ⇒ 「後退時車両検知警報」を選択すると、ドアミラー付近の表示灯の明るさの設定を変更することができます。設定の詳細については、運転支援システムをお読みください。
➡ アドバンスドドライブアシストディスプレイとは（メインメニュー）（P.54）
➡ 設定（各種設定画面）（P.71）

RCTA（後退時車両検知警報）の使いかた

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定 **[⚙]** ⇒ 「運転支援」 ⇒ 「後退時車両検知警報」を選択すると、RCTA（後退時車両検知警報）機能のON・OFFを切り替えることができます。設定の詳細については、運転支援をお読みください。
➡ アドバンスドドライブアシストディスプレイとは（メインメニュー）（P.54）
➡ 設定（各種設定画面）（P.71）
- 設定は、エンジンを再始動しても維持されます。

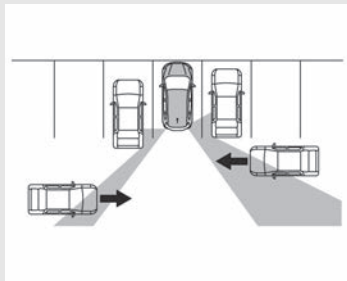
RCTA（後退時車両検知警報）に関する注意事項

⚠ 警告

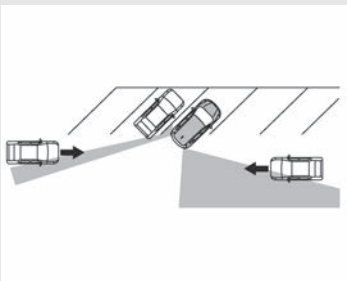
- 後退する前に、必ず目視で周囲の状況を確認してください。レーダーセンサーは接近している（動いている）車両を検知します。次のようなものは検知できないことがあります。
 - 歩行者、自転車、動物など
 - 約30km/h以上の速度で通過する車両
 - 約8km/h以下の速度で通過する車両

⚠ 警告

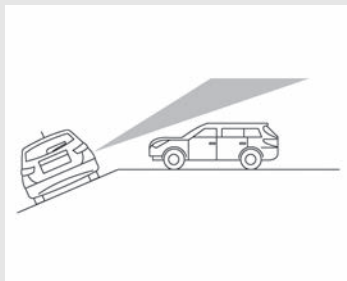
- 次のような状況では、レーダーセンサーが接近する車両を検知できないことがあります。



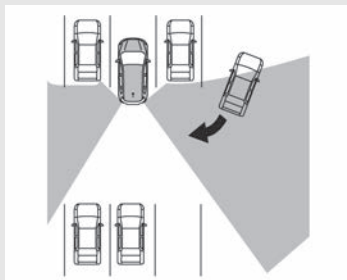
- 隣に駐車している車両などが、レーダーセンサーの検出エリアを妨げているとき



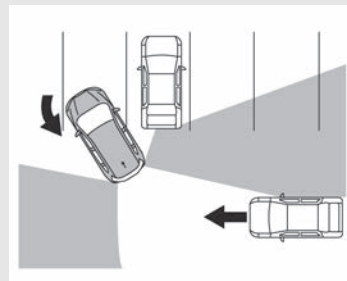
- 駐車枠線が斜めに引かれた駐車場に駐車しているとき



- 傾斜した地面に駐車しているとき



- 回り込むようにして自車両後方へ車両が接近してきたとき



- 接近してきた車両の向きが、自車両の向きと同じまたはそれに近いとき

- 放送局・レーダー搭載車両など周辺の電波源により影響を受けているとき

- 次のような場合は、思わぬ事故につながるおそれがあるため、システムを使用しないでください。

- 悪天候（雨、雪、霧など）で視界が悪いとき

- 水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき

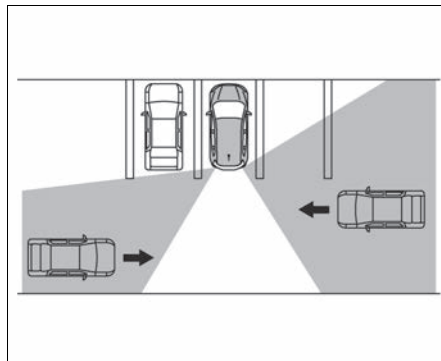
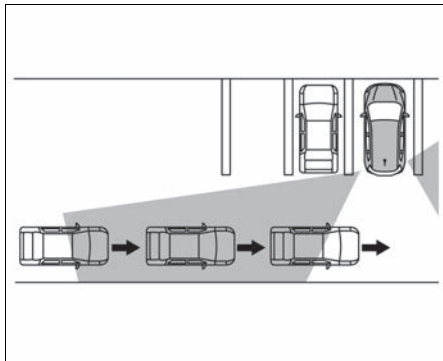
- 雪や氷、泥などがレーダーセンサー付近に付着しているとき

- レーダーセンサーは静止している障害物を検知しないように設計されていますが状況によっては、ガードレール、壁、駐車された車両などを検知してしまうことがあります。

⚠ 警告

- 外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。
- レーダーセンサー周辺へのステッカー（透明なものを含む）の貼り付け、アクセサリー類の取り付け、追加の塗装をしないでください。

車両を検知する性能が低下するおそれがあります。



- 複数の車両が連続して後方を通過する場合や、最初に検知した車両と逆方向から車両が接近してきた場合、2台目以降に対して警報が作動しない場合があります。

RCTA（後退時車両検知警報）の作動が停止するとき

- 次の場合はアドバンスドドライブアシストディスプレイに「サイドレーダー及びその周辺が汚れています 拭いてください」と警告が表示され、一時的にシステムが停止します。
 - レーダーセンサーが汚れているとき
 - レーダーセンサーに雨、雪、氷などが付着しているとき
- システムに異常があると、アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示され、システムが停止します。
警告メッセージ (P.234)

🚗 アドバイス

- レーダーセンサー周辺が汚れているときは安全な場所に停車し、レーダーセンサー周辺の汚れなどを取り除いてからエンジンを再始動してください。レーダーセンサーの取り扱いについては、(P.272)をお読みください。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示されたときは、安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。

エンジン再始動後も表示され続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

駐車支援システム

バックビューモニター

バックビューモニターについて

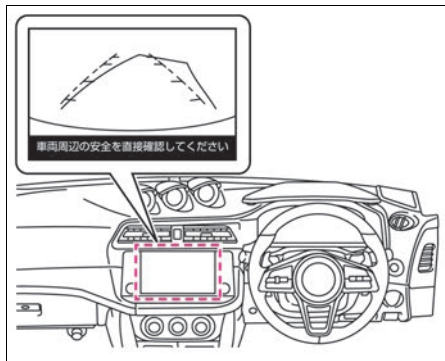
⚠ 警告

- バックビューモニターの機能を過信しない。

バックビューモニターは、後退操作を補助するシステムです。後退するときは、直接目で後方および周囲の安全を確認しながら運転してください。

- 実際の距離感を間違えないように注意する。

バックビューモニターの映像はレンズの特性により、画面に映る人や障害物の感覚が実際の位置や距離と異なります。



- バックビューモニターはナビゲーションモニターに表示されます。

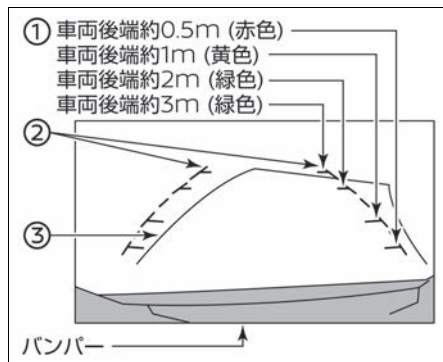
- エンジンが始動しているとき、オートマチック車はシフトポジションを**R**、マニュアル車はRに入れると作動します。車の後方の状況を確認しながら後退させることができます。

- バックビューモニターを表示中にオートマチック車はシフトポジションを**R**、マニュアル車はRから他の位置にすると、バックビューモニターがOFFになります。

- バックビューモニターを表示中に<カメラ>スイッチを押すと、予想進路線機能のON・OFFを切り替えることができます。

- ナビゲーションシステムで<カメラ>スイッチ⇒[予想進路線表示]を選択すると、予想進路線表示のON・OFFを切り替えることができます。

各表示線について



①距離目安ライン

- 車両後方の距離の目安を示します。

②車幅目安ライン

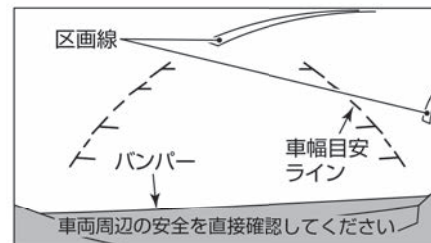
- 後退したときの車幅の目安を示します。

③予想進路線

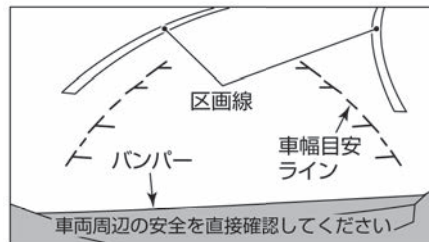
- 運転操作時に予想進路を表示します。ハンドルを切った角度に応じて移動します。

バックビューの見かた

1. オートマチック車はシフトポジションを**R**、マニュアル車はRにして、駐車スペースに入るようにゆっくりと後退します。
2. 車の後部が駐車スペースの中に入ったら、車幅目安ラインと駐車スペースの左右の区画線が平行になるようにハンドルを操作します。



3. 車幅目安ラインと駐車スペースの区画線が平行になったらハンドルをまっすぐ（直進状態）にして、ゆっくりと後退します。



知識

- 画面では車幅目安ラインと駐車スペースの区画線が平行に見えても、実際には平行ではない場合があります。
- 前記と逆方向の駐車スペースに駐車するときは、ハンドルの操作も左右逆になります。

バックビューモニターカメラの設定のしかた

- ナビゲーションシステムで次の操作をすると、バックビューモニター画面の画質を調整することができます。
 - <メニュー>⇒ [設定] ⇒ [カメラ] ⇒ [画質調整]
 - <カメラ>⇒ [画質調整]
- ナビゲーションシステムの操作方法は、別冊のナビゲーションシステム取扱説明書をお読みください。

☆／★：車両型式、オプションなどで異なる装備

項目1	項目2	機能
画質調整	明るさ	● [+]、[-] をタッチして明るさを調整します。
	コントラスト	● [+]、[-] をタッチしてコントラストを調整します。
	色合い	● [+]、[-] をタッチして色合いを調整します。
	色の濃さ	● [+]、[-] をタッチして色の濃さを調整します。
	黒レベル	● [+]、[-] をタッチして黒レベルを調整します。

バックビューモニターの注意事項

映し出す範囲

⚠ 注意

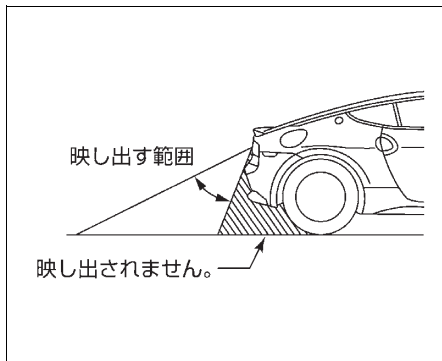
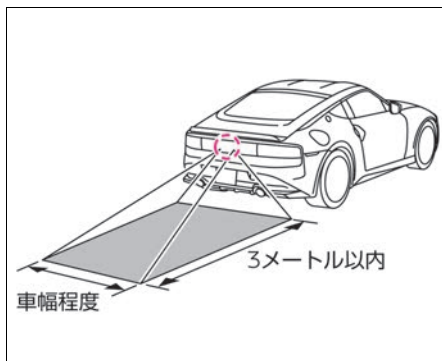
- バックビューモニターだけを見ながら後退しない。

絶対に画面の映像だけを見ながら後退しないでください。映像と実際の状況は異なることがあるため、車をぶつけたり、思わぬ事故を起こすおそれがあります。後退するときは、後方や周囲の安全を目視やミラーなどで直接確認してください。

🚗 アドバイス

- 車や路面の状況により、映る範囲が異なる場合があります。
- バックビューモニターの映像は、ルームミラーやドアミラーで見ると同様に左右反転させた鏡像です。
- 画面に表示される距離目安ライン、車幅目安ライン、予想進路線はあくまでも目安です。また、車両の乗車人数、車両姿勢などによって距離目安ライン、車幅目安ラインの位置がずれます。実際のまわりの状況を直接目で確認してご使用ください。
- 雪道や滑りやすい路面では、予想進路線と実際の進路が異なることがあります。

駐車支援システム

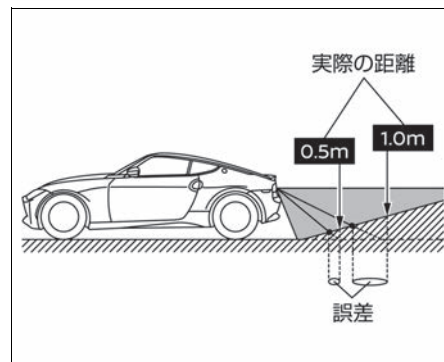
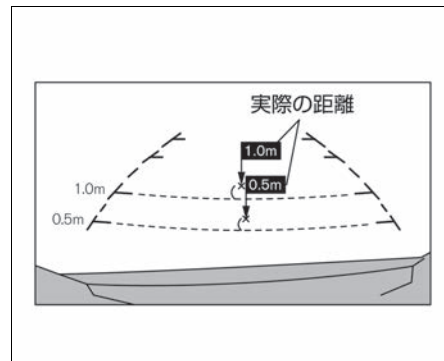


- バンパー後端から車の後方を映します。

映像と実際の路面との誤差

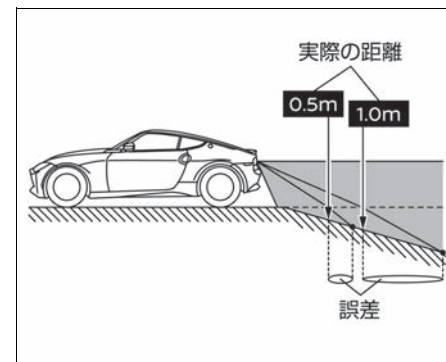
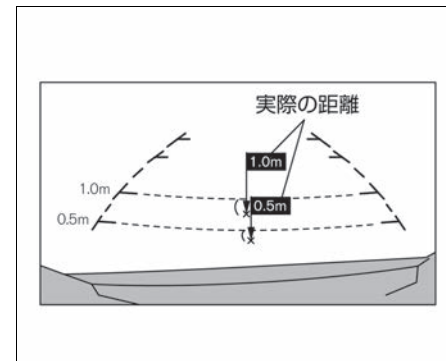
- 次のような場合には、画面の映像と実際の路面状況（距離や進路など）に誤差が生じます。

急な上り坂が後方にあるとき



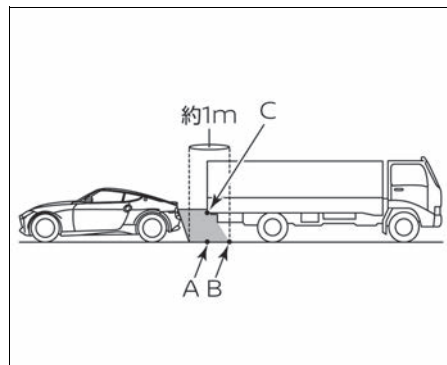
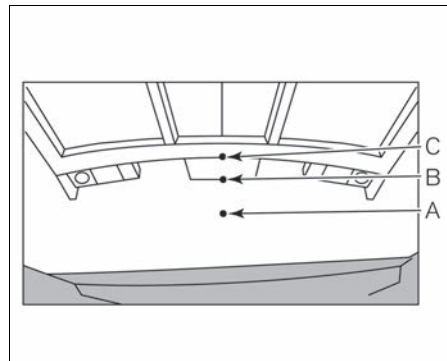
- 後方に上り坂がある場合、距離目安ライン、車幅目安ラインは実際の距離よりも手前に表示されます。
- 上り坂に障害物がある場合には障害物が実際よりも遠くに見えるように見えます。

急な下り坂が後方にあるとき



- 後方に下り坂がある場合、距離目安ライン、車幅目安ラインは実際の距離よりも後ろに表示されます。
- 下り坂に障害物がある場合には、障害物が実際よりも近くにあるように感じます。

立体物が近くにあるとき



- 距離目安ライン、車幅目安ラインは平面物（道路など）を対象にしています。そのため、張り出し部分のある立体物が近くにある場合には実際の距離と異なって表示される場合があります。
- 例：Cの位置はBの位置よりも遠くにあるように見えますが、実際はAの位置と

同じ距離です。Aの距離まで下がるとぶつかることがあります。

カメラ映像が表示されない場合

オートマチック車はシフトポジションを**R**、マニュアル車は**R**に入れ、バックビューモニターを作動させた状態でも次のような画面表示が続く場合は、カメラシステムの異常が考えられます。通常走行には支障ありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

カメラが作動しない場合

- バックビューモニター画面がカメラ映像に切り替わらず、前の画面（ナビゲーションシステムなど）を表示し続けているとき

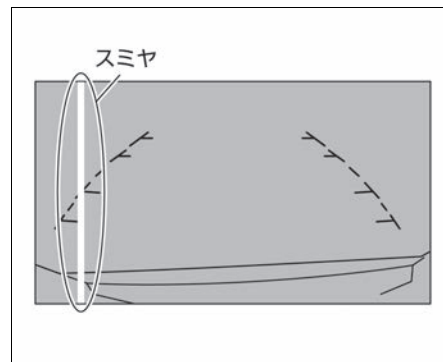
カメラの故障により映像に異常がある場合

- バックビューモニター画面が黒色／青色／灰色など、異常なカメラ映像が表示されるとき

故障かなと考える前に

故障かな？	確認すること	対処方法
映像の映りが悪い	カメラレンズが汚れていませんか？	カメラレンズを清掃してください。
	カメラレンズに雨、雪などの水滴が付着していませんか？	④バックビューモニターカメラの取り扱い (P.273)
	太陽光や他車のヘッドランプの光が直接カメラレンズ面に当たっているため故障ではありません。当たっている光がなくなれば元に戻ります。	
	温度の急な変化によってカメラレンズ部が結露したためで故障ではありません。しばらく走行すると元に戻ります。	
映像にちらつきが出る	蛍光灯などの照明の下にいるためで故障ではありません。	
実際の色味と異なる	カメラの特性のためで故障ではありません。	
映像が映らない	オートマチック車はシフトポジションがR、マニュアル車はRになっていませんか？	オートマチック車はシフトポジションをR、マニュアル車はRにしてください。
映像が見づらい	カメラに強い光や反射光が入ったためで故障ではありません。	
映像にスミヤ(※)が入る	バンパーなどから強い反射光が入ったためで故障ではありません。	

※スミヤ：方向指示器の強い光が上下方向に光の帯のように出たもの。



ソナーシステム

車速約10km/h以下で前進中または後退中にソナーが障害物を検知した場合は、ブザー音でお知らせします。

ソナー機能について

⚠ 警告

- バンパーにへこみなどがあると正確な距離が測定できず、正常に作動できない場合があります。
- 適正なタイヤの空気圧を維持してください。誤作動の原因になります。
- 純正以外の部品を取り付けたとき、正常に作動できない場合があります。

⚠ 注意

- 気温や天候、路面状態などの周囲の状況や、障害物の大きさ、形状によってはソナーが検知できないことがあります。また、音波を吸収しやすいものにも、ソナーが検知できないことがあります。必ず周囲を確認して運転をしてください。
- 次のような障害物には作動しません。
 - ー 背の低い障害物
 - ー 幅の狭い障害物
 - ー 針金、金網、ロープなどの細い障害物
 - ー ソナーに非常に近い障害物
 - ー 急に進行方向に現れた障害物
- 次のような障害物は検知しないことや作動が遅れることがあります。
 - ー 地面から高い位置に存在する障害物
 - ー スポンジ状のものや雪など表面が柔らかく音波を吸収しやすい障害物
- ソナーは次のような場合は検知しない、もしくは正しく検知できない場合があります。
 - ー 雨、雪、氷、汚れなどがソナーに付着しているとき
 - ー 障害物の面が車両の前面、または後面に対して斜めのとき
 - ー 周囲に草が生い茂っているとき
 - ー 車両側面の近くに壁があるとき

- ー 路面上に段差や突起物があるとき
- ー 垂れ下がった旗、ビニールカーテンなどをくぐって走行するとき
- ー 車両周辺に雪のかたまりがあるとき
- ー 周囲で大きな音が鳴っているとき
- ー 車両感応センサーやホーン、他車のソナー、オートバイの排気音など超音波を発生するものが付近に存在するとき
- ー 炎天下や寒冷時
- ー 表面が一樣でない障害物（複数の障害物が積載されて凹凸な形状の場合）

- 外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。

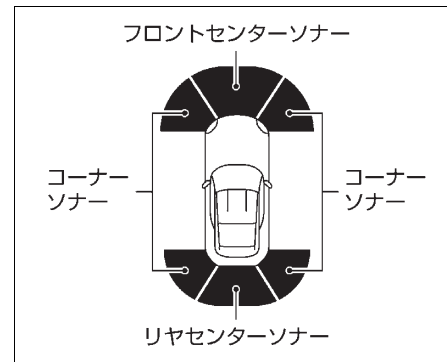
- ソナー部が凍結したときは異常表示が出たり、壁などの障害物があってもソナーが検知しないことがあります。

（氷が解ければ、正常に復帰します）

- ソナーは前後バンパーについています。バンパーには、ステッカーを貼ったりアクセサリなどを取り付けないでください。
- 適正なタイヤの空気圧を維持してください。誤警報や誤操作の原因になります。

🚗 アドバイス

- システムを正しく作動させるためにソナーはいつもきれいにしておいてください。ソナーの取り扱いについては、(📖 P.274)をお読みください。



- 車両が障害物に近づくとき、ブザー音が鳴ります。障害物との距離に応じて、音の間隔が変わります。
- 次の場合にソナー機能が作動します。
 - ー オートマチック車はシフトポジションがR、マニュアル車はRにしたとき
 - ー シフトポジションがDまたはMで障害物を検知したとき（約10km/h以下）（オートマチック車）
 - ー シフトポジションが1～6速で障害物を検知したとき（約10km/h以下）（マニュアル車）
- ただし次の場合は、一時停止が解除されます。

駐車支援システム

- オートマチック車はシフトポジションをR以外にしてから再度Rに、マニュアル車はR以外にしてから再度Rにしたとき
- 約15km/h以上に加速したのち約10km/h以下に減速したとき
- 電源ポジションをOFFにして、再度ONにしたとき

■ コーナーソナー

障害物までの距離 (目安)	60～50cm	50～30cm	30cm以下
表示色	緑	黄	赤
表示点減速度	遅い	早い	点灯
ブザー音	ピッ、 ピッ、 ピッ...	ピピピピ ピ...	ピー

■ フロントセンターソナー

障害物までの距離 (目安)	100～50cm	50～30cm	30cm以下
表示色	緑	黄	赤
表示点減速度	遅い	早い	点灯
ブザー音	ピッ、 ピッ、 ピッ...	ピピピピ ピ...	ピー

■ リヤセンターソナー

障害物までの距離 (目安)	150～50cm	50～30cm	30cm以下
表示色	緑	黄	赤
表示点減速度	遅い	早い	点灯
ブザー音	ピッ、 ピッ、 ピッ...	ピピピピ ピ...	ピー

■ ソナー表示色

- ソナー表示の色は、障害物に近づくにしたがって、緑、黄、赤と変化します。ソナーの表示の色と距離目安線とでは障害物までの距離は異なります。

■ ブザー音

- 障害物との距離が近づくにしたがって、断続音の間隔が短くなります。表示が赤の場合は連続音になります。
- 障害物との距離が広がった場合は断続音が消え、ソナー表示のみとなります。
- フロントソナーが検知したときは低音、バックソナーが検知したときは高音でお知らせします。
- コーナーソナーが検知したときは障害物との距離が3秒間変わらない場合は断続音は消え、ソナー表示のみとなります。
- 障害物を検知しているときは、ステアリングスイッチの<OK>スイッチでソナーの音がOFFになります。

■ ソナー機能OFF

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定 [] ⇒ [運転支援] ⇒ [駐車支援] ⇒ [センサー] を選択すると、各ソナー機能のON・OFFを設定できます。

室内灯

ルームランプ	P.190
--------	-------

収納装備

グローブボックス	P.191
センターコンソールボックス	P.191
リヤアクセサリケース	P.191
カップホルダー／ボトルホルダー	P.192

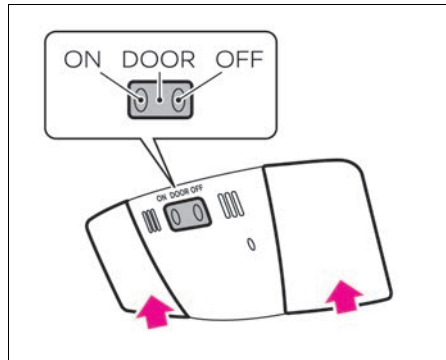
その他の室内装備

先進事故自動通報システム	P.194
ヒーターシート★	P.197
電源ソケット	P.198
USB電源ポート	P.199
ワイヤレス充電器	P.200
フロアカーペット	P.201
サンバイザー／バニティミラー（照明付き）	P.202
チケットホルダー	P.203
ラゲッジフック	P.203
ラゲッジルーム	P.203
アクティブ・ノイズ・コントロール／アクティブ・サウンド・コントロール（Boseサウンドシステム付車）	P.204

ルームランプ

ルームランプ (マップランプ兼用) の使いかた

ルームランプ (マップランプ兼用)



- ルームランプは、天井部の中央にあります。
 - ランプを押すごとに点灯・消灯します。
- ドア連動スイッチ**
- 次のように点灯・消灯します。

スイッチ	点灯・消灯のしかた
<ON>	常時点灯
<DOOR>	ドア（バックドアを除く）を開けると点灯し、閉めると消灯します。 （電源ポジションがOFF、またはLOCKのときは、ドアを閉めると約15秒間点灯後、消灯します。）

スイッチ	点灯・消灯のしかた
<OFF>	消灯

- ドア連動スイッチが<DOOR>位置でドアを開けたままのときは、ルームランプ（マップランプ兼用）のスイッチを押し戻しても常時点灯します。
- エンジン停止時に長時間点灯させないでください。バッテリーが上がりエンジンの始動ができなくなります。

バッテリーセーバー

- ドア連動スイッチが<ON>または<DOOR>位置にあるとき、ルームランプ（マップランプ兼用）が点灯したまま約15分以上放置した場合には、バッテリーあがりを防止するためランプが消灯します。（ラゲッジルームランプを除く）

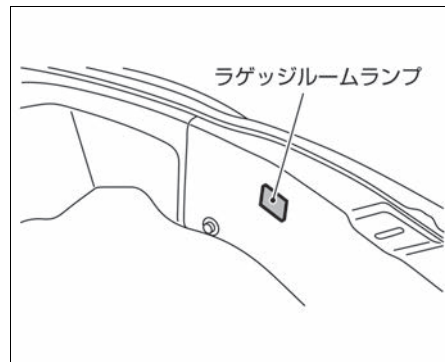
キー連動室内照明システム（ラゲッジランプを除く）

- ドア連動スイッチが<DOOR>位置のとき、次の条件で点灯します。
 - 電源ポジションをOFF、またはLOCKにしてから約15秒間
 - 電源ポジションがOFF、またはLOCKのとき、ドアを解錠してから約15秒間
 - 電源ポジションがOFF、またはLOCKのとき、ドア（バックドアを除く）を閉めてから約15秒間
 - ドア（バックドアを除く）が開いているとき
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定 [⚙] ⇒ [車両設定] ⇒ [ライト/照明] ⇒ [自動室内灯] を選択

すると、キー連動室内照明のON・OFFを切り替えることができます。設定の詳細については、車両設定をお読みください。

- ➡ アドバンスドドライブアシストディスプレイとは（メインメニュー）（P.54）
- ➡ 設定（各種設定画面）（P.71）

ラゲッジルームランプについて



- ラゲッジルームランプはラゲッジルームの後方にあります。
- バックドアを開けると自動で点灯し、バックドアを閉めると消灯します。
- ラゲッジルームランプを点灯させたままにすると、バッテリーあがりの原因となります。

🚗 アドバイス

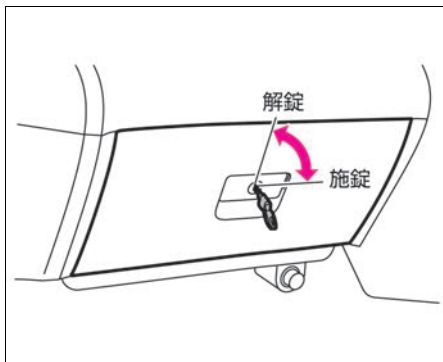
- エンジン停止時に長時間点灯させないでください。バッテリーが上がりエンジンの始動ができなくなります。

グローブボックス

グローブボックスの使いかた

⚠ 注意

- グローブボックスを開けたまま走行しない。
ブレーキをかけたときに、収納した物が飛び出したり、ふたに当たったりするなどして、思わぬケガをするおそれがあります。
- ふたを開けるときは、ゆっくり開ける。
ふたを全開にしたとき身体に当たるおそれがあります。



- ノブを手前に引いて開けます。
- 閉めるときは、前方へ押しつけてロックします。
- メカニカルキー (🔑 P.217) で施錠、解錠します。

☆/★：車両型式、オプションなどで異なる装備

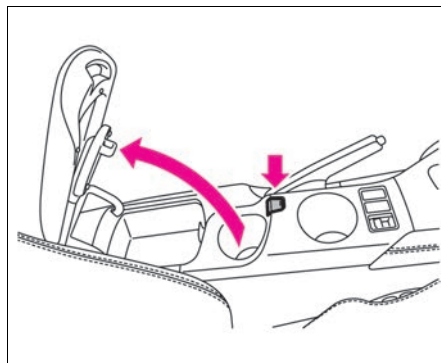
- メカニカルキーは半分ほど差し込んだ状態で止まります。

センターコンソールボックス

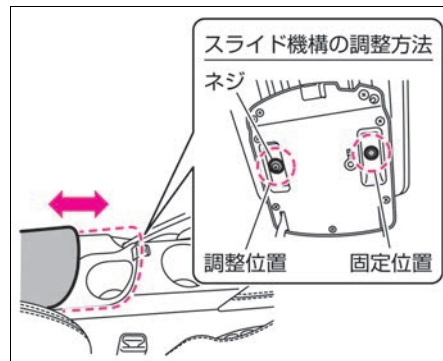
センターコンソールボックスの使いかた

⚠ 注意

- センターコンソールボックスを開けたままにしない。
開けたふたで思わぬケガをするおそれがあります。



- ボタンを押してふたを開けます。
- 閉めるときは、ふたを押してロックさせます。



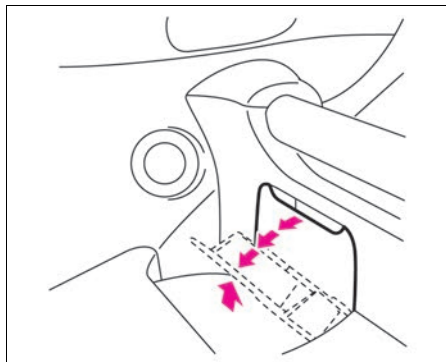
- センターコンソールボックスのふたは、前後にスライドできます。
- センターコンソールボックスのスライド機構は、ふたが車両前方位置にあるとき、ネジを調整位置から取り外し、固定位置に取り付けることで固定できます。ふたを固定しない場合は、ネジを調整位置に取り付けてください。
- センターコンソールボックス内には、電源ソケットがあります。
🔌 電源ソケットの使いかた (P.198)

リアアクセサリケース

リアアクセサリケースの使いかた

⚠ 注意

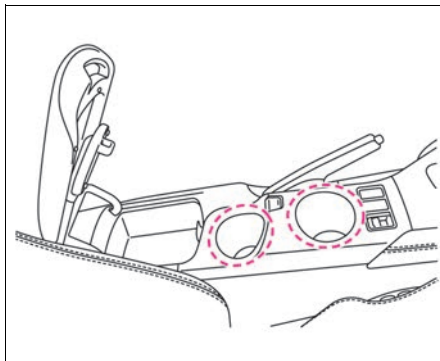
- リアアクセサリケースを開けたままにしない。
収納した物が飛び出したりして、思わぬケガをするおそれがあります。



- ふたを引いて開けます。
(ふたは2段階に開きます)
- 閉めるときは、ふたを押してロックします。
- ふたを取り外すときは、2段階開けた状態からさらに1段階開けて引き抜きます。
- 取り付けるときは、取り外したときの角度に合わせ、はめ込みます。

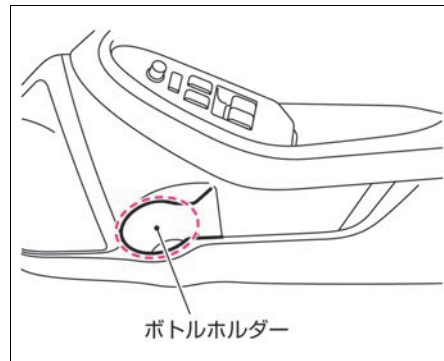
カップホルダー／ボトルホルダー

カップホルダーについて



- カップホルダーは、センターコンソールにあります。
- センターコンソールボックスのふたを車両後方にスライドさせると、後方のカップホルダーが使用できます。

ボトルホルダーについて



- ボトルホルダーはドアポケットにあります。

カップホルダー／ボトルホルダーに関する注意事項

⚠ 警告

- 運転中に飲物を出し入れしない。
運転中に飲物を出し入れすると前方不注意となり、思わぬ事故につながるおそれがあります。運転中は信号待ちなどの停車中に飲物を出し入れしてください。
- ビンなどの硬いものは入れない。
側面衝突などの事故のとき、重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- **熱い飲物を置かない。**

熱い飲物をカップホルダーに置くと、走行中にこぼれたり、飛び散ったりして、乗員がやけどを負うおそれがあります。

- **飲物をこぼさないように注意する。**

飲物の容器の形によっては、確実に固定されないおそれがあります。

- **車室内のスイッチや画面などに飲物をこぼさないようにする。**

故障や火災のおそれがあります。

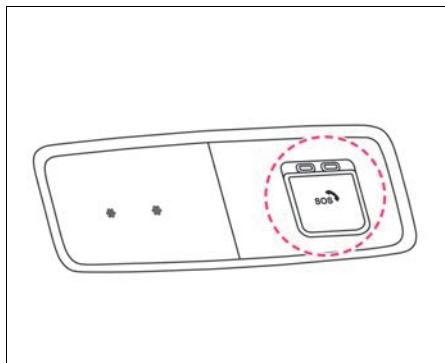
アドバイス

- 飲物や液体がいっぱいに満たされた容器をカップホルダーに置くと、走行中にこぼれたり、漏れ出したりして、車両の電子機器などに損傷を与えるおそれがあります。いっぱい満たされた容器を置かないください。

先進事故自動通報システム

＜SOSコールスイッチ＞を押すことでSOSコールを開始できます。また、エアバッグやプリテンショナーシートベルトが作動するレベルの事故では、自動でSOSコールを開始します。

先進事故自動通報システムについて



- 電源ポジションがONのとき、＜SOSコールスイッチ＞を押すと、SOSコールを開始できます。
- ＜SOSコールスイッチ＞は、ルームランプ（マップランプ兼用）周辺にあります。
- SOSコールとは、急病・犯罪・事故などの緊急時に警察・消防・医療機関への連絡を補助するサービスです。
- SOSコールのサービス提供は、（株）日本緊急通報サービスからのものです。
- 日産販売会社でサービスのお申し込みと、車両側での初期設定が完了していないと、

SOSコールを利用することができません。

- エアバッグ展開を伴う自動通報（SOSコール）後は、自動通報機能が使用できなくなります。リセット作業が必要ですので、日産販売会社へお問い合わせください。

先進事故自動通報システムの使いかた

⚠ 警告

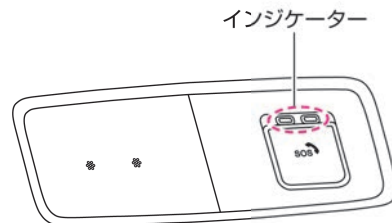
- ＜SOSコールスイッチ＞を押すときは、安全な場所に停車してから行う。走行中に運転者がスイッチを押そうとすると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- SOSコールは無線通信機能を利用しています。心臓ペースメーカーなどの医療用電気機器を使用している場合は、当該の医療用電気機器メーカー、もしくは販売業者に電波の影響について必ず確認してください。

🚗 アドバイス

- 次の場合は、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。
 - ー 電源ポジションをONにしても、インジケーターが赤色・緑色ともに点灯状態にならないとき
 - ー インジケーターが赤色・緑色ともに点灯してから一定時間経過後、赤色のインジケーターのみ点灯しているとき

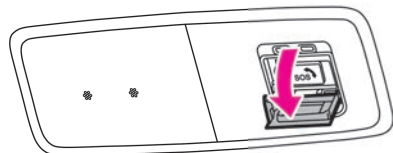
- インジケーターが赤色・緑色ともに消灯している場合は、電波環境のよい場所まで車を移動させてください。

1. 電源ポジションをONにします。
＜SOSコールスイッチ＞のインジケーターが赤色・緑色ともに点灯し、一定時間経過後に緑色のみ点灯を続けます。



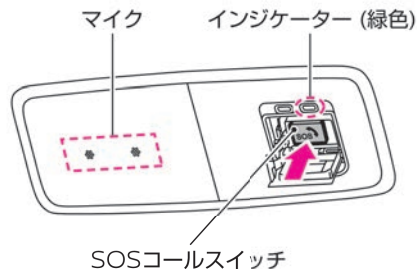
2. ＜SOSコールスイッチ＞のカバーを押して開きます。

あります。着信時は自動で音声接続します。
通話が終了したら、カバーを戻し、ロックするまで押します。



- SOSコールサービスのオペレーターや公共機関との通話中は、車両側から通話を終了させることはできません。

3. <SOSコールスイッチ>を約1秒間押します。
緑色のインジケーターが点滅し、オペレーターに繋がります。



4. SOSコールサービスのオペレーターと通話します。
状況に応じてオペレーターからの折り返し、もしくは公共機関（警察・消防・医療機関）からの通話着信が

☆／★：車両型式、オプションなどで異なる装備

SOSコールスイッチのインジケーターについて

●<SOSコールスイッチ>には、システムの状態を表すインジケーターがあります。

インジケーターの点灯パターン		システム状態	説明・対処方法
赤色	緑色		
 (消灯)	 (消灯)	システムOFF サービスエリア外	● システムがOFFの状態です。 ● 電源ポジションをONにすると電源が入ります。電源ポジションをONにしても、インジケーターが赤色・緑色ともに点灯状態にならないときは日産販売会社で点検を受けてください。 ● 電波環境が悪く、SOSコールを開始できない状態です。車を電波環境のよい場所へ移動させてください。
 (点灯)	 (点灯)	システムON通知	● システムがONになったことを知らせます。 ● システムがONになると、一定時間点灯します。 ● 初期設定が完了していないと点灯を続けます。
 (消灯)	 (点灯)	SOSコール開始可能	● SOSコールを開始できる状態です。
 (消灯)	 (点滅)	SOSコール利用中	● オペレーターセンターと通信中、またはオペレーターと通話中の状態です。
 (点灯)	 (消灯)	システム異常 SOSコールサービス 契約なし 先進事故自動通報シ ステム使用不可	● システム異常またはSOSコールサービス契約がなく、サービスを正常に提供できない状態です。すみやかにサービスの利用契約期限をご確認いただき、日産販売会社で点検を受けてください。

先進事故自動通報システムに関する 注意事項

アドバイス

- <SOSコールスイッチ>の赤色のインジケーターのみ点灯する場合は、システムに異常があるか、サービスの契約期限が切れています。契約期限をご確認いただき、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。
- バッテリーあがりにつながるため、SOSコール利用中は安全を確認したうえでエンジンを停止せずにご使用ください。
- 通話中は、<SOSコールスイッチ>の横にあるマイクに向かって話してください。
- 先進事故自動通報システムは、携帯電話と同様のデータ網を使用しています。圏外エリア（トンネル内、地下駐車場など）や電波の届きにくい場所（山間部）では利用できない場合があります。
- 救急車両は車両位置／車種／車体色／登録ナンバーをもとに現場の通報車両を特定します。元の車体色がわからなくなるほど塗り替えをしまっていると、救急車両の到着が遅れる場合があります。
- システムを利用する前に車側で初期設定が必要です。サービス契約後は日産販売会社で初期設定を完了してください。

- 車の登録ナンバーを変更したときは、NissanConnect お客さまセンターへ必ずご連絡ください。SOSコール利用時、会員登録上の車のナンバーと実際の車のナンバーが一致しない場合、救急隊員の到着が遅れることがあります。
- SOSコールサービス契約中に車を手放す場合は、NissanConnect お客さまセンターに必ずご連絡いただき、解約を行ってください。

NissanConnect お客さまセンター：

0120-981-523

受付時間 9:00～17:00（年末年始を除く）

- 先進事故自動通報システムは、国内でのみ利用できます。
- 先進事故自動通報システムは、NissanConnect サービスを申し込みいただくことで利用できます。
- <SOSコールスイッチ>の赤色のインジケーターが点灯していても、SOSコールを開始することができます。ただし、発生している異常によっては、音声通話や救急車両の案内を正常に行えないことがあります。すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。
- SOSコール開始後は通話のキャンセルはできません。いたずらや機能確認など、緊急の場合以外で<SOSコールスイッチ>を押さないでください。

- SOSコールは車載された通信機を使用するため、お客さまの携帯電話がなくても利用できます。
- 通話中の音声は、ボリュームを変更することができません。
- SOSコールサービスの契約期限後、継続利用を希望しない場合、日産販売会社にて退会手続きを行ってください。
- 本システムは、オープンソースを使用したソフトウェアを実装しています。ライセンスについて、次のWEBサイトを参照してください。
<http://opensourceautomotive.com/IC/tZ7T3eE6Aiv4/>

ヒーターシート★

シートを温めます。

ヒーターシートの使いかた

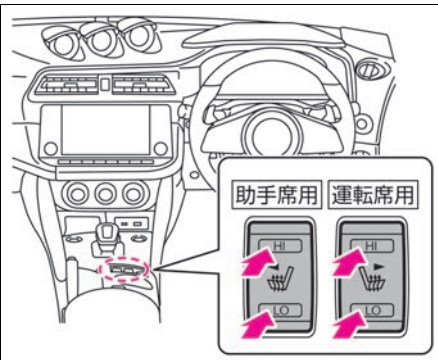
注意

- 長時間の連続使用はしない。
低温やけどの原因になります。特に皮膚の弱い方、乳幼児、病人、お年寄り、身体の不自由な方、眠気をもよおす薬を服用された方、深酒や疲労の激しい方は注意してください。
- 硬くて重い物や突起がある物をシートに載せたり、ピンや針などの鋭い物でシートを突き刺したりしない。

その他の室内装備

アドバイス

- 過熱するおそれがあるため、シートに毛皮や座布団を載せたり、シートカバーを使用したりしないでください。
- シートを清掃するときは、シンナー、ベンジン、アルコールなどの有機溶剤を使用しないでください。
- 水などをこぼしたときは、乾いた布ですぐにふき取ってください。
- バッテリーあがりを防止するため、エンジンをかけた状態でご使用ください。また、アイドリング状態での連続使用は避けてください。



- スイッチを押すと作動します。(スイッチの表示灯が点灯)
- OFFにするには、スイッチを中立位置にします。(スイッチの表示灯が消灯)

スイッチ位置	働き
<HI>	早く温めたいとき
<LO>	保温したいとき

電源ソケット

カーアクセサリーの電源をとるときに使います。

電源ソケットの使いかた

警告

- 電源ソケットを使うときは、次のことを守る。

電源ソケットの不適切な使用は、車両のヒューズが切れるだけでなく、最悪の場合、車両火災ややけどのおそれがあります。

- 複数の電源ソケットを持つアダプターを使用して、一度にたくさんの機器を接続しないでください。
- 消費電力120W以下のものを使ってください。
- 相手プラグをソケットの奥まできちんと挿入してください。
- 使用中や使用後はソケットやプラグの取り扱いに十分注意してください。
- シガーライターをソケットに差し込まないでください。

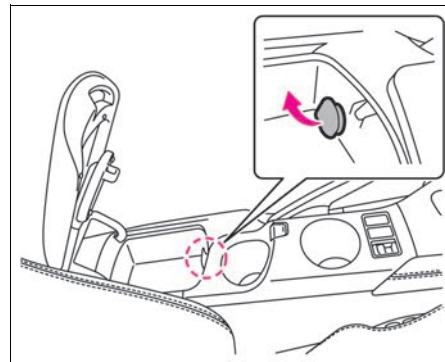
— ソケットに水をかけたり、指や金属などを入れたりしないでください。

アドバイス

- バッテリーあがりを防止するため、エンジンをかけて使ってください。また、アイドリング状態で長時間使ったり、エアコン、ヘッドランプ、リヤウインドーデフォグガーなどを同時に使わないでください。

- 容量は、12V (ボルト)、10A (アンペア)、120W (ワット) です。
- プラグを挿入したり抜いたりするときは、使用機器側の電源をOFFにするか、電源ポジションをOFFにしてください。

センターコンソールボックス内

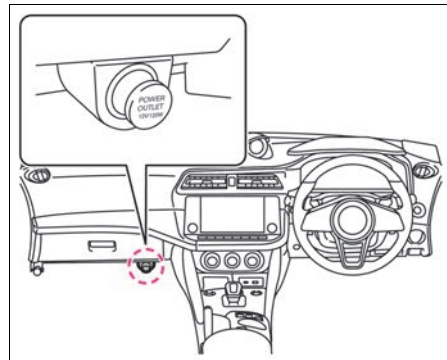


- センターコンソールボックスを開けます。
- 電源ソケットのふたを開けて使います。

その他の室内装備

- 使用しないときは、電源ソケットのふたを閉めます。

グローブボックス周辺



- キャップを引き抜いて使います。
- 使わないときは、キャップをしてください。

USB電源ポート

USB電源ポートは、モバイル機器などの充電や通信ができます。

USB電源ポートの使いかた

⚠ 警告

- **SRSエアバッグの作動を妨げるような場所に、モバイル機器や接続用のケーブルを設置しない。**

SRSエアバッグが正常に作動しなくなったり、SRSエアバッグの作動時にモバイル機器が飛ばされたりして、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。

- **USB電源ポートを使用するときは、次のことを守る。**

USB電源ポートの不適切な使用は、車両のヒューズが切れるだけでなく、最悪の場合、車両火災ややけどにつながるおそれがあります。

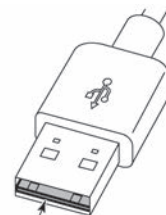
- 複数のUSB電源ポートを持つアダプターを使用して、一度にたくさんのモバイル機器を充電しない
- 消費電力12W以下のものを使用する
- ケーブルはしっかり奥まで挿入する
- ポートに水をかけたり、指や金属などを入れたりしない
- ポートの向きに注意し、無理な接続や取り外しをしない

⚠ 注意

- **モバイル機器または接続用のケーブルは、運転の邪魔にならない場所に固定する。**
運転に支障をきたし、思わぬ事故につながるおそれがあります。

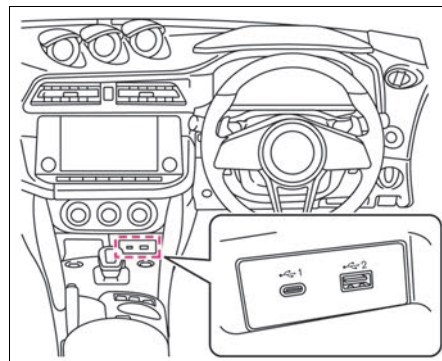
🚗 アドバイス

- 両面挿し（リバーシブル）対応のUSBケーブルは、USB電源ポートの内部端子を破損するおそれがあるので使用しないでください。



リバーシブルタイプUSBコネクタ
（接点基板が中央にある）

- バッテリーあがりを防止するため、エンジンが始動した状態で使用してください。



その他の室内装備

モバイル機器を使用するのに便利なUSB電源ポートが用意されています。

- USB電源ポートはインストルメントパネルにあります。
- USB Type-Aの容量は、5V（ボルト）、2.4A（アンペア）、12W（ワット）です。
- USB Type-Cの容量は、5V（ボルト）、3A（アンペア）、15W（ワット）です。
- ナビゲーションシステムとの通信については、別冊のナビゲーションシステム取扱説明書をお読みください。

ワイヤレス充電器

ワイヤレス充電器はQi規格、もしくはQi2規格に対応したスマートフォンの充電専用です。

ワイヤレス充電器の使いかた

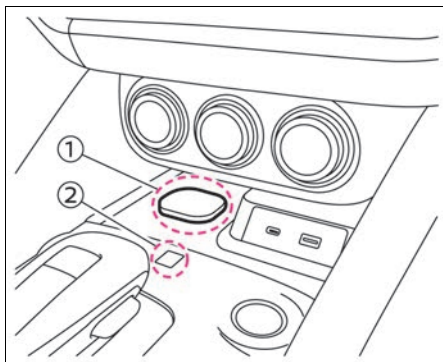
⚠ 警告

- 充電エリアとスマートフォンの間にコインなどの金属物を置かない。
車両火災ややけどにつながるおそれがあります。
- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器（ICD）、またはそれ以外の医療電気機器を使用されている方は、医療電気機器製造業者などへ影響を確認してから使用する。
ワイヤレス充電器の電波が医療電気機器の動作に影響を与える場合があります。
- 充電中はスマートフォンに布などをかぶせない。
車両火災ややけどにつながるおそれがあります。
- スマートフォンが濡れた状態で充電しない。
故障、火災または感電のおそれがあります。
- 金属物やインテリジェントキー、メモリードライブなどを充電エリア内に置かない。

- 充電エリアに水や飲物などの液体をこぼさないように注意する。
故障、火災または感電のおそれがあります。

⚠ 注意

- 充電エリアにほこりや汚れが付着した状態で使用しない。
 - 充電エリアの表面を叩かない。
 - 充電エリアの清掃にはグリース、オイルを使用しない。
-
- ワイヤレス充電器はインストルメントパネル下部にあります。
 - スマートフォンを充電エリア①に置くと充電が始まります。
（インジケーター②がオレンジ色に点灯）
 - Qi2規格に対応している機種およびケースやアクセサリを使用している場合は、マグネットにより位置が固定されます。
 - 充電が完了するとインジケーター②が緑色に点灯します。（すべての機種について作動の保証はいたしません）



🚗 アドバイス

- バッテリーあがりを防止するため、メーター内の走行可能表示灯が点灯しているときに使用してください。
- トレイに置くことができないサイズのスマートフォンは、充電することはできません。
- 充電エリアとスマートフォンの間に磁気カード、および充電エリアの近くにクレジットカード・ETCカードや磁気記録メディアなどを置かないでください。データが破損する可能性があります。
- Qi2規格対応スマートフォンにケースをつけてお使いの場合は、充電性能を最適化するため、マグネットリング付のケースを使用してください。マグネットが搭載されていないケースを装着している場合は充電されない可能性があります。

- アプリ起動中、またはアプリ使用直後に充電を行うとスマートフォンやワイヤレス充電器の温度が上がり、保護機能によって充電が停止する場合がありますが、故障ではありません。スマートフォンやワイヤレス充電器が冷えてから充電を再開してください。
- スマートフォンの状態（バッテリー温度など）や使用する環境によっては、充電の出力が制限もしくは停止することがあります。特に車室内の温度が高いときは、車室内の温度が下がってから充電機能をご使用ください。
- 走行時の振動や急旋回などにより、マグネットが外れた場合は、スマートフォンを充電エリアの上に置き直してください。

📖 知識

- 誤作動が発生したり、充電が停止したりすると、インジケーターがオレンジ色で8秒間点滅後消灯します。
- 充電位置はスマートフォンによって異なる場合があります。
- 充電中に電波障害が発生した場合は充電が停止します。充電が停止したときは、スマートフォンの受電部分が充電エリアの上にくるように置き直してください。
- インテリジェントキーと車両が通信をしているときは充電を停止することがあります。

- スマートフォンにUSBケーブルが接続されていると、インジケーターがオレンジ色に点灯、または点滅する場合がありますが、充電は開始されません。
- スマートフォンの種類によっては、充電が完了してもインジケーターがオレンジ色に点灯したままになる場合があります。
- スマートフォンの機種によっては、うまく動作しない場合があります。スマートフォンに付属の取扱説明書をお読みください。
- 充電中は、電磁波によりラジオ音声にノイズがはいることがあります。
- スマートフォンのOSアップデートに伴い、充電性能に影響が出る場合があります。詳しくは各携帯電話メーカーのHP情報等でご確認ください。

フロアカーペット

この車（年式）専用のフロアカーペットが設定されています。
床の上しっかりと固定して正しく使用してください。

固定のしかた

⚠️ 警告

- この車（年式）専用のフロアカーペットを、床の上しっかりと固定して正しく使用する。

⚠ 警告

フロアカーペットがずれて各ペダルと干渉し、思わぬスピードが出たりブレーキが効きづらくなったりするなど、重大な傷害につながるおそれがあります。

● 運転席にフロアカーペットを敷くときは、次のことを守る。

- 日産純正品であっても、他車種および異なる年式のフロアカーペットは使用しない
- フロアカーペットでペダルを覆わない
- フロアカーペットを重ねて敷かない
- 運転席専用のフロアカーペットを使用する
- フロアカーペットを前後さかさまにしたり、裏返しにしたりして使用しない

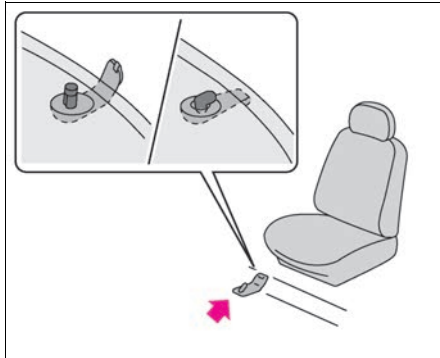
● 運転する前にフロアカーペットが正しく固定されていることを定期的に確認し、洗車後は必ず確認する。

● 運転に支障がないことを確認する。

運転する前、電源ポジションがOFFの状態オートマチック車はシフトポジションがP、マニュアル車はシフトポジションがNのとき、各ペダルをいっばいに踏み込み、フロアカーペットと干渉しないことを確認してください。

● タバコの火種をフロアカーペットなどに落とさない。

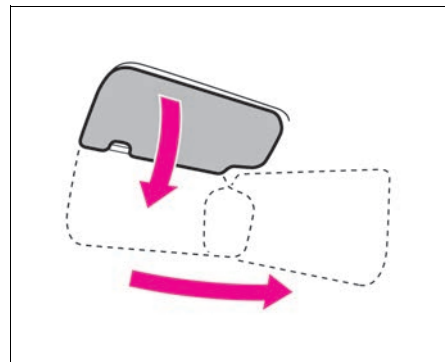
火災につながるおそれがあります。



- 床面には日産純正フロアカーペット用の固定クリップが付いています。
- フロアカーペットを床の形状に合わせて敷き、取り付け穴に固定クリップのピンを通して確実に固定します。
- 車種により、固定クリップ・ピンの形状や、各シートごとに設定されている数量は異なります。詳しい固定方法は、日産販売会社にお問い合わせください。

サンバイザー／バニティミラー（照明付き）

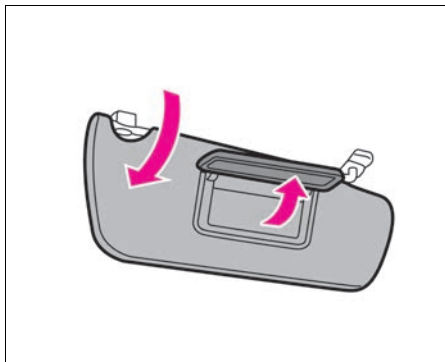
サンバイザー



- 前方からの日差しを防ぐときは、下に下げて使います。
- 横からの日差しを防ぐときは、下に下げてフックから外し、横にして使います。

その他の室内装備

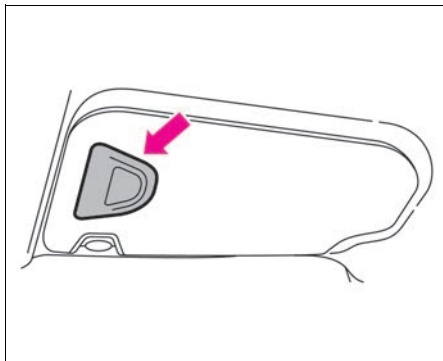
パニティミラーの使いかた



- サンバイザー裏側に照明付きのパニティミラー（鏡）が付いています。
- サンバイザーを下に下げて、カバーを開けて使います。

チケットホルダー

チケットホルダーの使いかた



- サンバイザーにチケットホルダーが付いています。
- カードをスライドさせ、差し込みます。

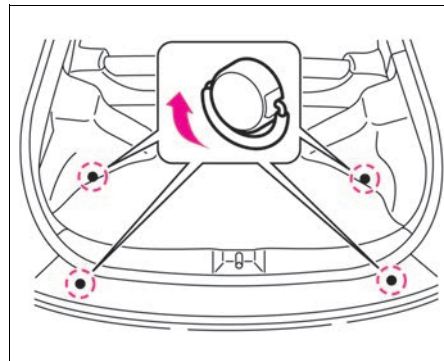


アドバイス

- 炎天下での駐車は車室内が大変高温になりますので、カードを入れたままにしないでください。カードが変形するおそれがあります。

ラゲッジフック

ラゲッジフックの使いかた



荷物の固定用としてネットなどをかけるときに使います。



アドバイス

- 3kg以上の物をかけないでください。フックが破損するおそれがあります。

ラゲッジルーム

収納スペースとしてお使いください。

ラゲッジルームについて



注意

- 長い荷物を積むとき、リヤタワーバーに立てかけて縦向きに積まない。

その他の室内装備

⚠ 注意

急ブレーキ時に荷物が室内に飛び込み、思わぬ事故につながるおそれがあります。

🚗 アドバイス

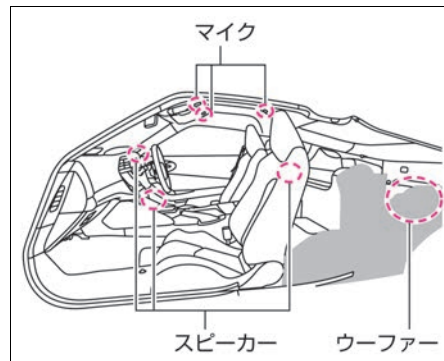
- ラゲッジフロアカーペットを取り外したまま使用したり、太陽光が当たるところで長時間駐車したりしないでください。
ラゲッジルームに積んだ荷物がラゲッジフロアカーペットの下にあるカバーと擦れたり、太陽光に当たり続けたりすることで変色するおそれがあります。

アクティブ・ノイズ・コントロール／アクティブ・サウンド・コントロール (Boseサウンドシステム付車)

アクティブ・ノイズ・コントロールについて

🚗 アドバイス

- アクティブ・ノイズ・コントロールを正常に作動させるために以下のことをお守りください。
 - スピーカーやウーファー周辺に物を置かない
 - マイクの穴をふさがない
 - スピーカー、ウーファー、パワーアンプなどのオーディオ機器を交換または改造しない
 - スピーカーやウーファー、マイク取り付け部周辺を改造（デッドニングなど）しない



- 天井のマイクでエンジンのこもり音を検知し、スピーカーとウーファーから自動的にこもり音を打ち消す音を出すことで車室内の静粛性を高めます。
- スピーカーは運転席側と助手席側にあります。
- マイクおよびマイク周辺をたたくと、スピーカーから音が出ることがありますが、異常ではありません。

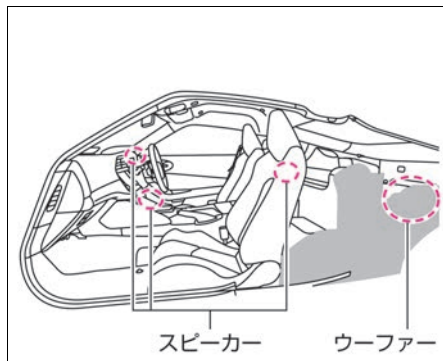
アクティブ・サウンド・コントロールについて

🚗 アドバイス

- アクティブ・サウンド・コントロールを正常に作動させるために次のことをお守りください。
 - スピーカーやウーファー周辺に物を置かない

アドバイス

- スピーカー、ウーファー、パワーアンプなどのオーディオ機器を交換または改造しない
- スピーカーやウーファー取り付け部周辺を改造（デッドニングなど）しない



- 走行時、アクセルの踏み込み量・エンジン回転数・シフトポジションなどに応じた音をスピーカーとウーファーから出すことで、力強く伸びのあるスポーツサウンドを高めます。

また、エンジン暖機後、スポーティさを高めるためにドライブモードセレクトで「SPORT」または「SPORT+」モードにすると、シフトチェンジ時やアクセルペダルをすばやく操作した際に、サウンドエフェクトが鳴ります。（NISMO仕様オートマチック車）

- スピーカーは運転席側と助手席側にあります。

☆／★：車両型式、オプションなどで異なる装備

MEMO

まずはじめに

故障したときは	P.208
発炎筒	P.209
けん引について	P.209

緊急時の対処法

パンクしたときは	P.213
ドアが開かないときは	P.217
インテリジェントキーで始動できないときは	P.218
ハンドルがロックし、エンジンの始動ができないときは	P.218
バッテリーがあがったときは	P.219
警告灯がついたときは	P.222
警告メッセージが表示されたときは	P.230
ブザー（警報音）が鳴ったときは	P.242
窓ガラスがくもったときは	P.244
オーバーヒートしたときは	P.245
雪道やぬかるみにはまったときは	P.246
水没したときは	P.247
外装ランプが点灯しないときは	P.248
ヒューズが切れたときは	P.248

まずはじめに

故障したときは

車両が故障したときは、次の手順で対処してください。

故障したときの対処のしかた

⚠ 警告

● 発炎筒はトンネル内では使用しない。

煙で視界が悪くなり、他車の走行の妨げとなり、事故につながるおそれがあります。非常点滅表示灯を使ってください。

⚠ 注意

● 走行中、エンジンが停止してしまったときは慎重に運転する。

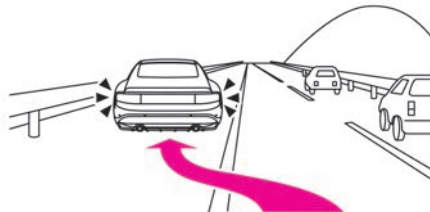
故障によりエンジンが停止していると、ブレーキや電動パワーステアリングが正しく機能せず、極度にブレーキの効きが悪くなったり、ハンドルの操作力が重くなったりすることがあります。

すみやかに安全な場所に停車してください。

🚗 アドバイス

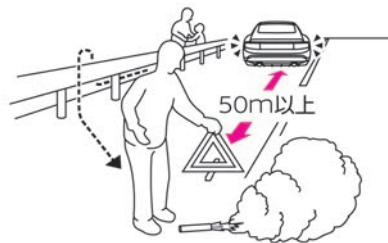
- 高速道路や自動車専用道路では、停止表示板（停止表示灯）の表示が法律で義務付けられています。
- 高速道路上では1kmごとに非常電話が設置されています。

1. 非常点滅表示灯で後続車に危険を知らせながら、できるだけ路肩に寄せて停車します。
路肩がない場所では、可能な限り広いところまで自走します。

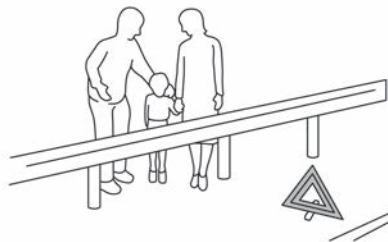


2. 同乗者をガードレールの外側などに避難させ、車両の50m以上後方に発炎筒と停止表示板（停止表示灯）を置きます。

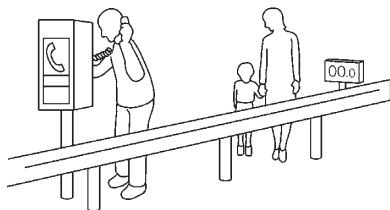
➡ 発炎筒 (P.209)



3. 運転者もガードレールの外側などに避難します。
避難するときは、停止車両への追突事故が発生したときに巻き込まれないよう注意してください。



4. 非常電話や携帯電話などで救援依頼をします。



発炎筒

高速道路や踏み切りなどで故障・事故により緊急停車したとき、周囲に危険を知らせるために使います。

発炎時間は約5分です。非常点滅表示灯と併用してください。

発炎筒の使いかた

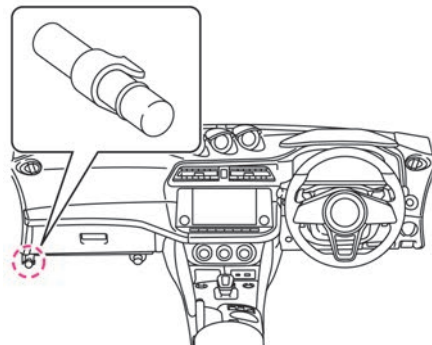
警告

- お子さまには触らせない。
いたすらなどで発火するおそれがあり危険です。
- 可燃物の近くで使用しない。
引火するおそれがあります。
- 点火は必ず車外で行い、点火後は顔や身体に近づけない。
やけどをするおそれがあります。

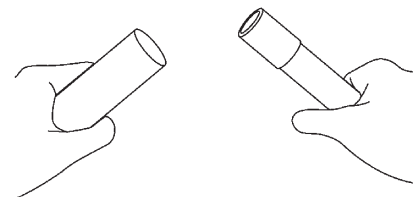
アドバイス

- 発炎筒に記載してある使用方法、注意をあらかじめ確認しておいてください。
- 発炎筒には有効期限があります。期限が切れる前に日産販売会社でお買い求めください。

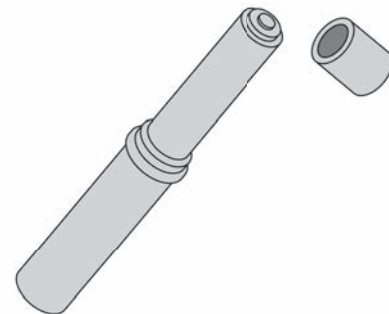
1. 助手席足元部のホルダーから発炎筒を外します。



2. 本体を回しながらケースから引き抜き、本体を逆さにして差し込みます。



3. 先端のふたを取り、ケースのすり薬で発炎筒の先端をこすって着火します。



けん引について

けん引が必要なときは、日産販売会社またはJAFなどのロードサービスに依頼してください。

まずはじめに

やむをえずけん引するときは、できる限り短距離の移動のみとしてください。

けん引時の注意事項

⚠ 注意

- 前輪を持ち上げてけん引するときは、電源ポジションをOFFにする。

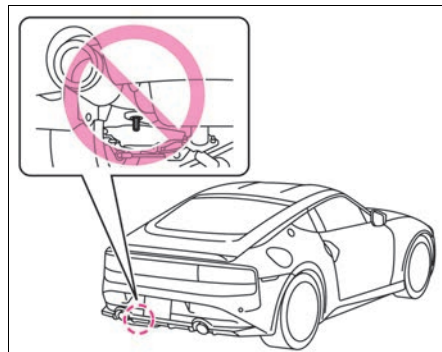
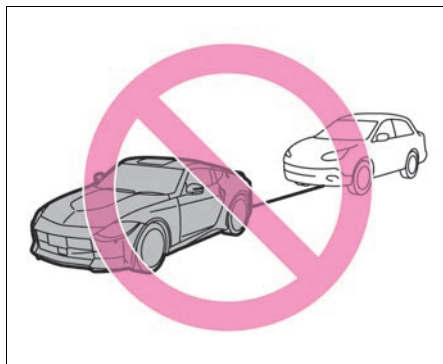
VDCが作動し、ブレーキがかかることがあります。

- 車両が動かなかったり、異常な音がしたりするときは、けん引せずに日産販売会社へご連絡ください。
- オートマチック車は後輪または4輪、マニュアル車は前輪または4輪を持ち上げてけん引してください。
- オートマチック車はオートP機能（➡P.116）により、電源ポジションがOFFのときはシフトポジションをPからNに切り替えることができません。そのため、バッテリーあがりなどで電源ポジションがOFFから切り替えられないときは、4輪を持ち上げてけん引してください。
- やむをえず4輪接地の状態でけん引されるときは、マニュアル車はシフトポジションをNに入れてください。
- 4輪接地でけん引してもらうときは、速度30km/h以下で路肩に寄せる程度の移動のみとしてください。高速走行や長距離走行をすると、トランスミッションが破損するおそれがあります。できるだけ

レッカー車、またはトレーラーを依頼してください。

- けん引ロープはできるだけソフトロープを使い、バンパーに傷をつけないように注意してください。
- けん引中はロープをたるませないように、前の車の制動灯に注意してください。
- けん引フックは他車をけん引するために使用しないでください。
- けん引中は、インテリジェントクルーズコントロールをOFFにする。

リヤフックについて



この車両で他車をけん引することはできません。後ろ側についているけん引フック取り付け穴は船舶輸送時の固定専用です。

けん引やトレーラー輸送時などの固定には絶対使用しないでください。

🚗 アドバイス

- けん引用として使うと、車両を損傷するおそれがあります。

やむをえず4輪接地でけん引される ときは

⚠ 警告

- 4輪接地でけん引されるときは、電源ポジションをOFFにしない。

まずはじめに

⚠ 警告

電源ポジションがLOCKでバッテリーがあがると、ハンドルロック（ステアリングロック）の解除ができなくなるため、このままの状態ではけん引しないでください。けん引するときは救援車のバッテリーとつなぎ、電源ポジションをAccまたはONにしてハンドル操作ができる状態で行ってください。また、けん引中は電源ポジションをLOCKにしないでください。ハンドル操作ができなくなり危険です。

⚠ 注意

- エンジンが停止していると、ブレーキやパワーステアリングの倍力装置が働かなくなるため、極度にブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作力が重くなったりすることがあるので注意する。
- けん引フックに指定以外のフックは絶対に使用しない。
フック部が破損するおそれがあります。
- 長い下り坂ではけん引しない。
ブレーキが過熱して効かなくなり、事故につながるおそれがあります。このような場所でけん引するときは、レッカー車で引いてもらってください。

🚗 アドバイス

- けん引フックの取り付け、取り外し時や、けん引しているときは、グリルを傷つけるおそれがあるので注意してください。

- マニュアル車は4輪接地の状態ではけん引されるときは、シフトポジションをNにした状態で行ってください。

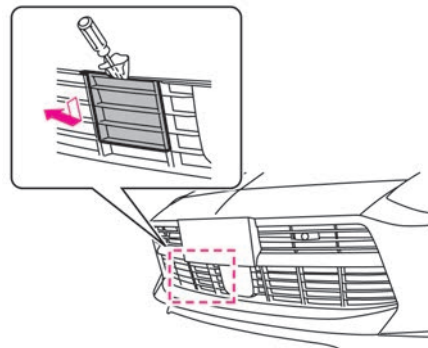
オートマチック車は、電源ポジションがOFFのときはオートP機能★によりシフトポジションをNに切り替えられないため、けん引することができません。

🔄 各シフトポジションの機能 (P.116)

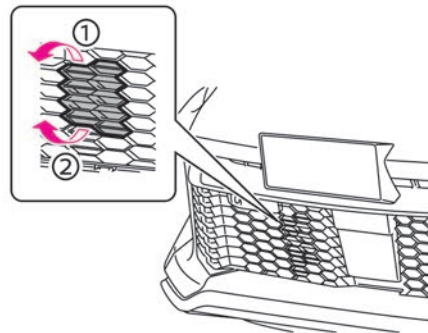
- ロープを掛けるときは、できるだけ同じ側で水平になるように掛けてください。
 - けん引中はロープをたるませないように、前の車の制動灯に注意してください。
 - けん引フックは他車をけん引するために使用しないでください。
1. 先の細いお手持ちの工具を布などで覆い、フロントバンパーのカバーの溝に差し込んでカバーを外します。
(NISMO仕様車以外)

フロントバンパーのカバーを、上側①⇒下側②の順に引いて取り外します。(NISMO仕様車)

NISMO仕様車以外

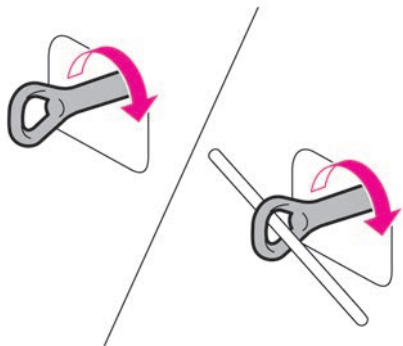


NISMO仕様車

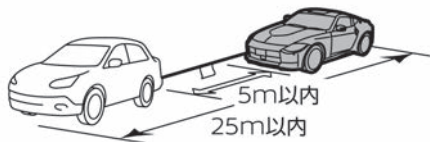


まずはじめに

2. ホイールナットレンチを使用して、けん引フックを取り付けます。
➡ 工具、タイヤ応急修理キットの格納場所 (P.253)



3. 自車および他車のけん引フックにロープを掛け、ロープ中央に30cm×30cm以上の白い布を取り付けます。



4. エンジンを始動しオートマチック車はシフトポジションを**N**、マニュアル車はシフトポジションをNに入れ、パーキングブレーキを解除します。
5. エンジンを始動できないときは電源ポジションをONにし、オートマチック車はシフトポジションを**N**、マニュアル車はシフトポジションをNにしてください。
6. パーキングブレーキを解除します。けん引が終わったら、けん引フックを取り付けたときと逆の手順で取り外します。

パンクしたときは

この車両には、スベアタイヤおよびジャッキが標準で搭載されていません。

タイヤがパンクしたときは、タイヤ応急修理キットで応急修理ができます。

応急修理する前に

- タイヤ応急修理キットは、車両に搭載されている日産純正品を使用してください。日産純正品以外のタイヤ応急修理キットを使用すると、タイヤ空気圧センサーのシールゴムが損傷し、タイヤのエア漏れの原因となります。修理後はすみやかに日産販売会社または専門の修理業者で点検、恒久修理またはタイヤ交換を行ってください。
- 修理剤とホースは再使用できません。使用後は新しい修理剤とホースをお求めください。詳しくは日産販売会社にご相談ください。
- 応急修理を行うときは、次の準備をしてください。
 - 地面が固く平らな場所に車両を移動する。
 - パーキングブレーキをかける。
 - オートマチック車はシフトポジションをP、マニュアル車はシフトポジションをRにする。
 - 電源ポジションをOFFにする。
 - 非常点滅表示灯を点滅させる。
- 次の場合はタイヤ応急修理キットでは応急修理ができません。日産販売会社またはJAFなどに連絡してください。

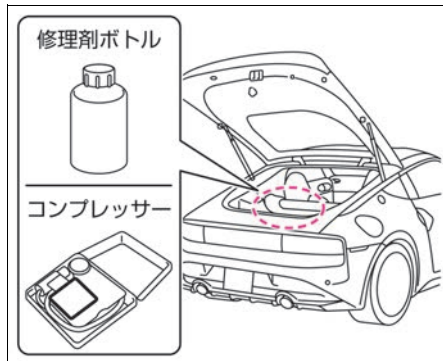
- 約6mm以上の切り傷や刺し傷があるとき
- タイヤサイド部が損傷を受けたとき
- ほとんど空気の抜けた状態で走行したとき
- タイヤがホイールから外れているとき
- ホイールが破損しているとき
- タイヤが2本以上パンクしているとき
- 修理剤の有効期限が切れているとき



アドバイス

- タイヤに釘やネジが刺さっている場合は、抜いてしまうとパンク穴が大きくなり空気が漏れやすくなるため、抜かずにタイヤ応急修理キットで応急修理してください。

タイヤ応急修理キットについて



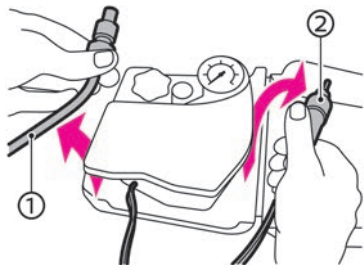
※車種により、エアコンプレッサーの形状が異なります。

- タイヤトレッド部（接地面）の軽度なパンクは、タイヤ応急修理キットで応急修理できます。
- タイヤ応急修理キットは、ラゲッジルームに格納されています。取り出すときは、ラゲッジルームのフロアカーペットとその下のカバーを取り出します。（カバーの前側を持ち上げながら左側に寄せ、右端から取り出します。）
- ➡ **工具、タイヤ応急修理キットの格納場所** (P.253)
- タイヤまたはロードホイールを交換したときは、必ずタイヤ空気圧警報システムのリセット操作をしてください。
- ➡ **タイヤ空気圧警報システムについて** (P.262)
- 指定以外のタイヤ・ロードホイールに交換すると、タイヤ空気圧警報システムが正常に作動しなくなるおそれがあります。

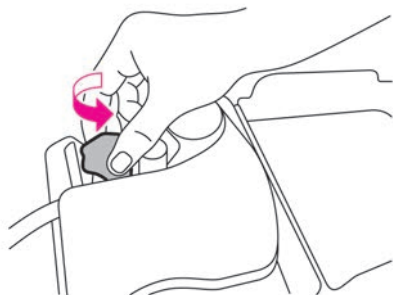
応急修理のしかた

■ コンプレッサーの準備

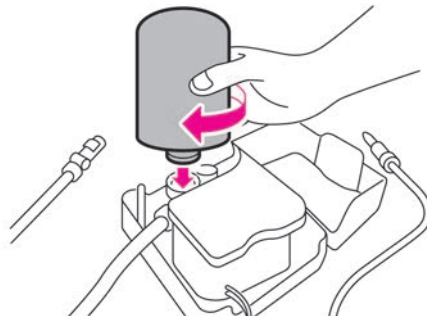
1. ラゲッジルームからタイヤ応急修理キットを取り出します。
2. コンプレッサーからホース①と電源プラグ②を取り出します。



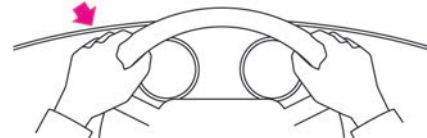
3. コンプレッサーから、ボトルホルダーのキャップを外します。



4. 修理剤ボトルのキャップを外し、内ぶたをつけたままボトルホルダーに取り付けます。
(ボトルホルダーにねじ込むと内ぶたが破れます。)



5. コンプレッサーの速度制限シールをはがし、運転者のよく見えるところに貼ります。



⚠ 注意

- ハンドルのセンターパッド部には速度制限シールを貼らない。

SRSエアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。また、警告灯やスピードメーターが見えなくなる位置にも貼らないでください。

■ エアの注入

⚠ 注意

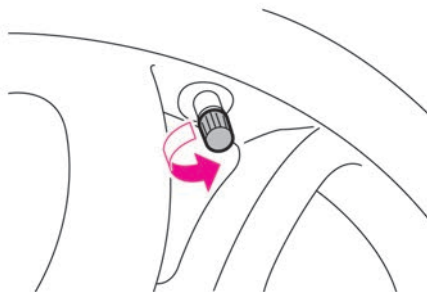
- ホースとタイヤのバルブの接続をしっかりと行う。
接続が不十分な場合、空気が漏れたり、修理剤が飛び散ったりするおそれがあります。
- 破裂の危険があるので応急修理キット作動中は補修中のタイヤから離れる。
- タイヤに亀裂や変形が生じている場合、ただちにコンプレッサーのスイッチをOFF（「○」の位置）にし、修理を中止する。

バルブを介して修理剤を注入するため、圧力が600kPaに達することがありますが、異常ではありません。通常は、30秒ほどで下がります。

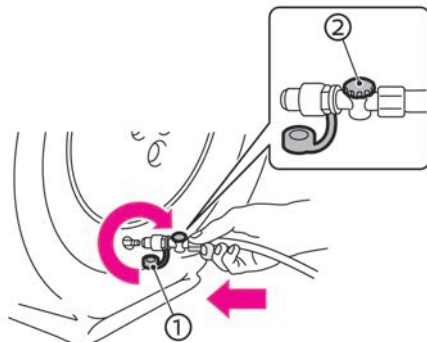
- 空気を入れたあとは、ホースの口金が発熱することがあるため、やけどしないように注意する。

- 1.パンクしたタイヤのバルブからキャップを外します。

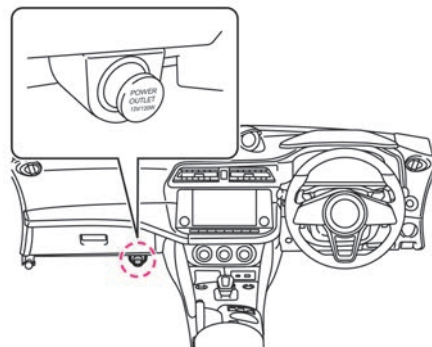
緊急時の対処法



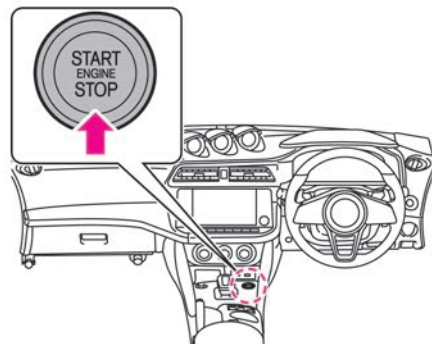
2. ホース先端の保護キャップ①を外し、ホースをパンクしたタイヤのバルブに確実にねじ込みます。
このとき、排気バルブ②が閉まっていることを確認してください。



3. コンプレッサーのスイッチがOFF（「O」の位置）の状態、電源プラグを車室内の電源ソケットに差し込みます。



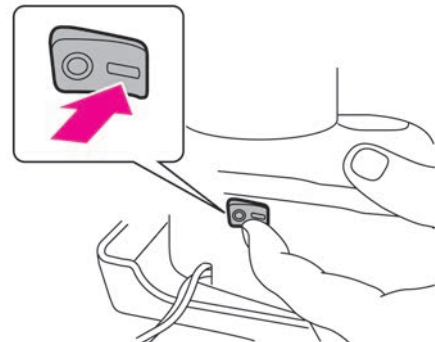
4. 電源ポジションをONにします。



5. コンプレッサーのスイッチをON（「I」の位置）にし、タイヤを指定空気圧または180kPa以上になるまで空気を充てんします。この際、実際の空気圧が測れるようにコンプ

レッサーを一時停止して空気圧計で測定してください。

※タイヤの指定空気圧は、運転席ドア開口部に表示されています。



6. 指定空気圧または180kPa以上まで昇圧できたら、コンプレッサーのスイッチをOFF（「O」の位置）にし電源プラグを電源ソケットから抜きます。
7. ホースをタイヤのバルブからすばやく取り外し、タイヤのバルブにキャップを取り付けます。

アドバイス

- コンプレッサーは長時間使用すると故障につながるおそれがありますので、10分以上連続して作動させないでください。タイヤ空気圧を昇圧できない場合は修理できません。

緊急時の対処法

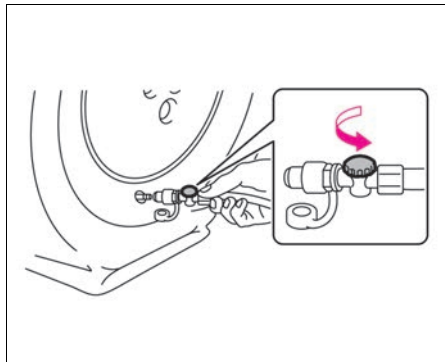
アドバイス

- 修理剤ボトルは、コンプレッサーのボトルホルダーから取り外さないでください。取り外すとボトル内に残った液剤がこぼれるおそれがあります。

10分以内に180kPaまで昇圧できない場合

10分以内に180kPaまで昇圧できない場合は、タイヤがひどい損傷を受けているおそれがあります。この場合は、本修理キットで応急修理をすることはできません。日産販売会社またはJAFなどに連絡してください。

空気を入れすぎてしまったとき



排気バルブを反時計回りに回して、空気を抜いてください。

■ 点検走行

注意

- 走行するときは、低速で慎重に運転し、特にカーブや旋回時には注意する。

アドバイス

- 応急修理後の恒久修理の際、パンク穴を発見できないために恒久修理できないことがあります。そのまま走行を続ける場合は、こまめに空気圧をチェックしてください。頻繁に空気圧の低下がみられるときは、日産販売会社または修理会社で点検を受けてください。

1. ただちに走行を始め、10分間または3km程度走行してください。
80km/h以下の速度で注意深く運転してください。
2. 走行後、再度タイヤ空気圧を測定します。コンプレッサーのスイッチがOFF（「〇」の位置）であることを確認します。コンプレッサーからのホースをタイヤのバルブに取り付け、タイヤ空気圧を確認してください。

130kPa未満の場合

本修理キットによる応急修理はできません。運転を中止して日産販売会社またはJAFなどのロードサービスに連絡してください。

130kPa以上指定空気圧未満の場合

コンプレッサーのスイッチをON（「I」の位置）にして指定空気圧まで昇圧し、点検走行の作業を行います。上記作業を繰り返

しても指定空気圧より低下する場合は、本修理キットによる応急修理はできません。運転を中止して日産販売会社またはJAFなどのロードサービスに連絡してください。

指定空気圧の場合

応急修理は完了です。すみやかに日産販売会社または専門の修理業者まで慎重に運転してください。

タイヤ応急修理キットの注意事項

注意

タイヤ応急修理キットについて

- タイヤ応急修理キットは搭載車両専用のため、他の車には使用しない。
- タイヤ応急修理キットは自動車用タイヤの空気充てんや空気圧チェック以外で使用しない。
- タイヤ応急修理キットはDC12V専用のため、他の電源での使用はしない。
- 分解、改造などは絶対にしない。
- コンプレッサーに衝撃を与えない。
故障の原因となります。
- お子さまが誤って手を触れないように注意する。

修理剤について

- 修理剤を口に入れない。

修理剤を飲み込むと健康に害があります。万一誤って飲んだ場合は、できるだけたくさん水を飲み、ただちに医師の診療を受けてください。

⚠ 注意

- 万一、目や皮膚に付着したときは、水でよく洗い流す。
それでも異常を感じたときは、医師の診療を受けてください。

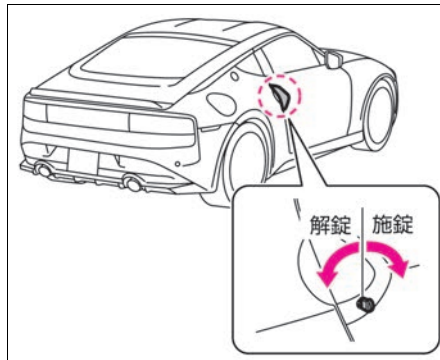
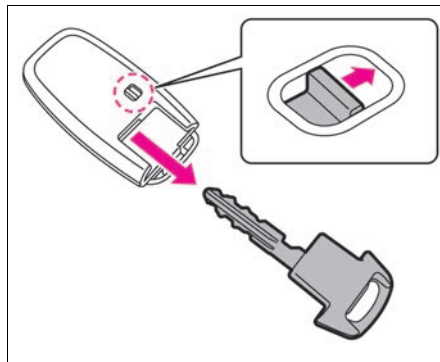
🚗 アドバイス

- タイヤ応急修理キットは、車両に搭載されている日産純正品を使用してください。日産純正品以外の修理剤、または液剤を注入すると、タイヤ空気圧センサーが故障するおそれがあります。
- 水やほこりを避けて使用してください。

ドアが開かないときは

インテリジェントキーの電池が切れたときや、バッテリーがあがったときなどドアが開かないときは、次の方法で施錠・解錠してください。

内蔵キー（メカニカルキー）でのドアの開けかた



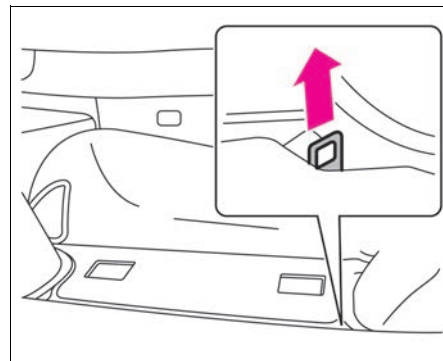
運転席ドアにある鍵穴に内蔵キーを差し込んで車両後方に内蔵キーを回すと解錠します。施錠するときは、車両前方に内蔵キーを回します。

- 運転席ドアを施錠・解錠すると、全ドアが同時に、施錠・解錠します。

緊急時のバックドアの開けかた

🚗 アドバイス

- この手順は、あくまで故障時の緊急手段です。故障の原因になるため、正常なときは使用しないでください。
- 操作後はなるべく早く日産販売会社で点検を受けてください。



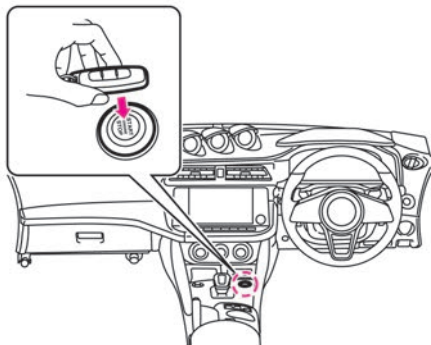
- バッテリーあがりなどにより、＜バックドアオープナースイッチ＞や＜車内バックドアオープナースイッチ＞でバックドアを開けられなくなったときは、助手席側からラゲッジフロアカーペットをめくり、オープナーケーブルを強く引いてください。
- オープナーケーブルによる開操作を2回以上行う場合は、オープナーケーブル位置を元に戻してから次の開操作を行ってください。

インテリジェントキーで始動できないときは

インテリジェントキーの電池が切れたときや、使用環境によりキーと車両の通信が正常に行われていないときは、次の手順でエンジンを始動してください。

エンジンの始動のしかた

1. ブレーキペダルを踏み、インテリジェントキーの裏面を<エンジンスイッチ>に接触させます。
(ブザーが“ポロポロポロ”と鳴ります。)



2. ブザーが鳴ってから10秒以内に、ブレーキペダルおよびマニュアル車はクラッチペダルをしっかりと踏み込みながら、<エンジンスイッチ>を押します。

🚗 アドバイス

- 上記の手順でエンジンを始動できない場合は、早めに日産販売会社にご連絡ください。
- ドアの施錠・解錠は、内蔵キー（メカニカルキー）（🔑 P.217）をご使用ください。
- キーの電池が切れたときは、早めに電池を交換してください。
🔑 インテリジェントキーの電池交換
(P.266)

停止のしかた

エンジンを停止するときは、<エンジンスイッチ>を押してください。

ハンドルがロックし、エンジンの始動ができないときは

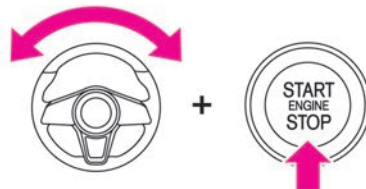
ハンドルがロックされているときは、<エンジンスイッチ>を押しても電源ポジションが切り替わらない場合があります。次の手順でハンドルロック（ステアリングロック）を解除してください。

ハンドルロック（ステアリングロック）の解除のしかた

🚗 アドバイス

- ハンドルがロックされていても、数mm～数cmだけ動かすことができます。その範囲内でハンドルを左右にゆっくり回しながら、<エンジンスイッチ>を押してください。

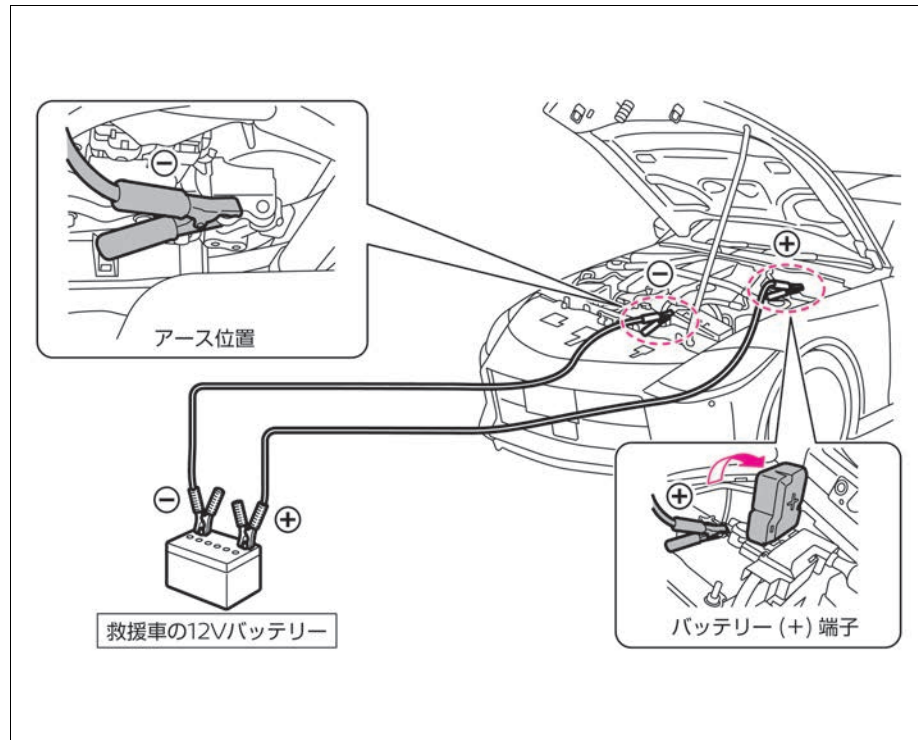
- ハンドルがロックされているときはハンドルが重く、力を入れないと回すことができないことがあります。
- バッテリーがあがるとハンドルロック（ステアリングロック）の解除が行えず、電源ポジションが切り替わらなくなります。すみやかにバッテリーを充電してください。



- ハンドルを左右に回しながら<エンジンスイッチ>を押します。ロックが解除できないときは、繰り返し行ってください。

バッテリーがあがったときは

バッテリーがあがり、エンジンの始動ができなくなったときは救援車を依頼し、ブースターケーブル（別売り）をつないで始動してください。



⚠ 警告

- ジャンプスタートを行うときは換気を十分にを行い、火気は近づけない。

バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあります。

- バッテリー液が付着したときは、すぐに多量の水で洗浄し、飲み込んだときは多量の水を飲んで応急処置をしたあと、医師の診療を受ける。

バッテリー液は希硫酸です。目や皮膚に付着すると、失明や炎症など重大な傷害につながるおそれがあります。

- ブースターケーブルを正しい順番と位置でつなぐ。
- ブースターケーブルを自車バッテリーの⊖端子に直接つながない。
- ブースターケーブルの⊕端子と⊖端子を接触させない。

火花が発生し、バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発し、やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。

- バッテリーの⊕側ターミナルが周辺の金属と接触しないようにする。

接触するとショートして火災の原因となるおそれがあります。また、バッテリーの端子の締め付けが緩いと、配線などが過熱、焼損し、火災につながるおそれがあります。

緊急時の対処法

⚠ 警告

- バッテリーを交換するときは、必ず同じサイズ（型式）に交換し、動かないようにしっかりと固定する。

しっかりと固定できていないと、ショートなどの原因となり火災につながるおそれがあります。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

ジャンプスタートのしかた

⚠ 注意

- ブースターケーブルのワニグチクリップは、車体に触れたり、他のワニグチクリップと接触したりしないように注意する。

- ブースターケーブルは、確実に接続する。

救援車のエンジン始動時の振動で外れたりしないように確実につないでください。

- 冷却ファンやベルトに注意する。

ブースターケーブルをつなぐときや外すときは、冷却ファンやベルトに巻き込まないように注意してください。

🚗 アドバイス

- 押しがけによる始動はできません。
- バッテリーはお客さまの車に適合した日産純正部品をおすすめします。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

- バッテリーがあがるとハンドルロック（ステアリングロック）の解除が行えず、電源ポジションが切り替わらなくなります。すみやかにバッテリーを充電してください。

- ドアの開閉に合わせて自動的に窓ガラスが下降、上昇する機構が付いているため、バッテリーがあがるとドアを閉めるときに窓ガラスと車体が干渉するおそれがあります。その場合には、窓ガラスを内側に倒すように力を加えながらゆっくりと閉め、窓ガラスと車体が当たらないように注意してください。

- エンジンをかけるときは、ヘッドランプやエアコンなどはOFFにしてください。

- エンジンが始動しても、しばらくエアコンやオーディオを使わないでください。

- オートマチック車は、バッテリーの電圧低下を検知すると、故障警告灯（MIL） が点灯する場合がありますが、通常走行に支障はありません。

バッテリーの電圧が正常に戻る、またはエンジンを3回以上始動すると、故障警告灯（MIL）が消灯します。

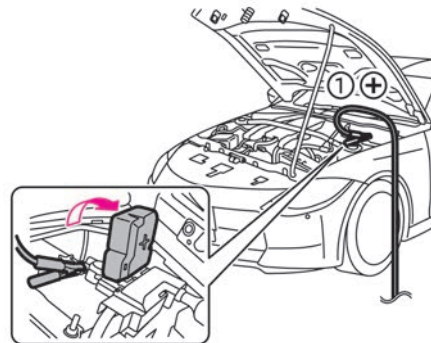
詳しくは故障警告灯（MIL）

 P.222）をお読みください。

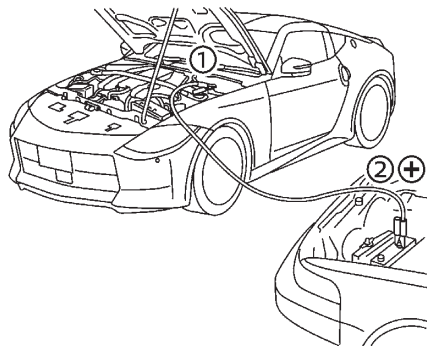
1. 自転車と救援車の電源ポジションをOFFまたはLOCKにします。
バッテリーカバーは、ノブをつまんで外します。（ P.256）

エンジンスイッチ（P.112）

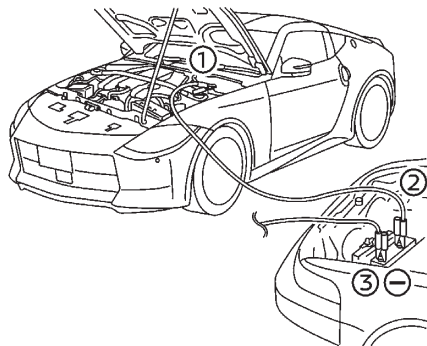
2. ブースターケーブル①を自転車のバッテリーの⊕端子に接続します。



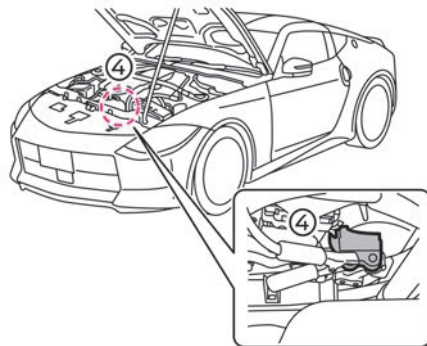
3. 手順2のケーブルの反対側②を救援車のバッテリーの⊕端子に接続します。



4. もう1本のブースターケーブル③を救援車のバッテリーの⊖端子に接続します。



5. 手順4のケーブルの反対側④を自車の車体（2の手順で接続した⊕端子から離れたステーなど）に接続します。



6. 救援車のエンジンを始動し、回転数を少し高めにします。
7. オートマチック車は、自車のブレーキペダルをしっかりと踏みながら、＜エンジンスイッチ＞を1回押します。
マニュアル車は、自車のブレーキペダルをしっかりと踏みながら、アクセルペダルを踏まずにクラッチペダルをいっぱい踏み込んで、＜エンジンスイッチ＞を1回押します。
エンジンが始動できない場合には、一旦電源ポジションをOFFにして、10秒以上待ってから再始動してください。
8. エンジンが始動したら、ブースターケーブルをつないだときと逆の手順で外します。
バッテリーカバーを取り付けます。

警告灯がついたときは

警告灯は、車両故障などを運転者に知らせるためのものです。警告灯が点灯・点滅したときは、次の「説明・対処方法」に従ってください。メーター内の警告や表示は、グレード、オプションなどにより異なります。

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	油圧警告灯	● 正常なときは、電源ポジションをONにすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。 ● エンジン回転中、エンジン内部を潤滑しているオイルの圧力が低下すると点灯します。	● 点灯したときは、すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社に連絡してください。 ⚠ 注意 ● 油圧警告灯が点灯したまま走行しない。 エンジンを破損するおそれがあります。
	故障警告灯（MIL）	● 正常なときは、電源ポジションをONにすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。 ● エンジン回転中、エンジン電子制御システムに異常があると点灯または点滅します。	● 点灯または点滅したときは、すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社に連絡してください。 🚗 アドバイス ● オートマチック車は、バッテリーの電圧低下を検知すると、故障警告灯（MIL）が点灯する場合がありますが、通常走行に支障はありません。 詳しくは、ジャンプスタートのしかた（🔗 P.220）をお読みください。
	充電警告灯	● 電源ポジションをONにすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。 ● エンジン回転中、バッテリーの充電システムに異常があると点灯します。	● 点灯したときは、すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社に連絡してください。 ⚠ 注意 ● 充電警告灯が点灯したまま走行しない。 バッテリーが破損したり、エンジンが突然停止したりし、思わぬ事故につながるおそれがあります。
	燃料残量警告灯	● 電源ポジションがONのとき、燃料の残量が少ないと黄色に点灯します。	● すみやかに指定の燃料を補給してください。

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	ABS警告灯	● 電源ポジションをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。 ● 電源ポジションがONのとき、ABSのシステムに異常があると点灯します。	● 電源ポジションをONにしても点灯しないとき、または点灯し続けるときは、高速走行や急ブレーキを避け、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 🚗 アドバイス ● ABS警告灯が点灯したときは、ABSは作動しませんが、通常のブレーキ性能は確保されています。この場合、滑りやすい路面でのブレーキ時や急ブレーキ時にタイヤがロックすることがあります。
	ブレーキ警告灯	● 正常なときは、電源ポジションをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。 (パーキングブレーキをかけているときは消灯しません) ● 電源ポジションがONのとき、次の場合は点灯し続けます。 - ー パーキングブレーキをかけているとき - ー ブレーキ液が不足しているとき - ー ブレーキシステムに異常があるとき	● パーキングブレーキがかかっているときは、パーキングブレーキを解除します。 ● パーキングブレーキを解除しても点灯するときは、ただちに安全な場所に停車して、日産販売会社にご連絡ください。ブレーキの効きが悪いときは、ブレーキペダルを強く踏んで停車してください。 ● ブレーキ液量が正常でABS警告灯 〔ⓘ〕と同時に点灯したときは、高速走行や急ブレーキを避け、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 ⚠ 警告 ● パーキングブレーキを解除してもブレーキ警告灯が点灯し続けるときは、点灯したまま走行しない。 ブレーキの効きが極度に悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。 🚗 アドバイス ● パーキングブレーキを戻し忘れたまま走行（約7km/h以上）すると、ブザーが鳴ります。

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	シートベルト警告灯	● 電源ポジションがONのとき、シートベルトを着用していないと点灯します。 ● シートベルトを着用していない状態で走行すると（約15km/h以上）、警告灯が点滅します。 シートベルト非着用時警報（シートベルトリマインダー） ● シートベルトを着用していない状態で車速が一定以上になると、ブザーが一定時間鳴ります。	● シートベルトを着用してください。 ⚠ 警告 ● 走行中は全員がシートベルトを着用する。着用しないと、万一の事故時や急ブレーキ時に、死亡や重大な傷害につながるおそれがあります。 📖 知識 ● 助手席シートに荷物などを置くと、センサーが重量を検知して、警告灯が点灯するおそれがあります。
	SRSエアバッグ警告灯	● 電源ポジションをONにすると点灯し、約7秒後に消灯します。 ● 電源ポジションがONのとき、SRSエアバッグのシステム、プリテンショナー機能に異常があると、点灯または点滅を続けます。	⚠ 警告 ● 電源ポジションをONにしても点灯しないとき、または点灯、点滅を続けるときは、放置したまま走行しない。万一のときSRSエアバッグ、プリテンショナーシートベルトが作動せず、重大な傷害につながるおそれがあります。
	VDC警告灯	● 電源ポジションをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。 ● 電源ポジションがONのとき、VDCが作動すると点滅します。 ● 電源ポジションがONのとき、VDCシステムに異常があると点灯します。	● 点灯したときはVDCの作動は停止しますが、VDCシステムのない普通の車として走行できます。滑りやすい路面では注意して走行し、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 ➡ VDC（ビークルダイナミクスコントロール）（P135）

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	EPS（電動パワーステアリング）警告灯	● 電源ポジションをONにすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。 ● エンジン回転中、電動パワーステアリングのシステムに異常があると点灯します。	● すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 ● 点灯しているときは、電動パワーステアリングが作動しないことがあり、その場合はハンドル操作が重くなります。ハンドルをしっかりと握り、通常より強く操作してください。  アドバイス ● ハンドルに長時間力をかけた状態が続いたり停車中に操作を繰り返すと、システムの過熱を防ぐためハンドル操作力が重くなりますが、異常ではありません。しばらくハンドル操作を控え、システムの温度が下がると、通常のハンドル操作力に戻ります。  知識 ● すばやいハンドル操作を行うと、ハンドル付近から擦れるような音が聞こえてくる場合がありますが、異常ではありません。
	電制シフト警告灯★	● 電源ポジションがONのとき、電制シフトに異常があると点灯します。	● すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 ● アドバンスドドライブアシストディスプレイにメッセージが表示されたときは、表示されたメッセージに従ってください。

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	インテリジェント エマージェンシー ブレーキ警告灯	● 正常なときは、電源ポジションをONにすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。 ● 次の場合は点灯します。 - ー インテリジェントエマージェンシーブレーキをOFFにしているとき - ー VDCをOFFにしているとき - ー トラクションモードをONにしているとき（NISMO仕様車） - ー インテリジェントエマージェンシーブレーキ、踏み間違い衝突防止アシスト★、またはインテリジェントFCW（前方衝突予測警報）のシステムに異常が発生しているとき - ー フロントガラスの汚れなどにより、マルチセンシングフロントカメラが前方を認識できなくなったとき - ー 前方からの強い光により、マルチセンシングフロントカメラが前方を認識できなくなったとき - ー 炎天下に駐車したときなど、マルチセンシングフロントカメラが高温になったとき - ー フロントガラスの結露やくもりなどにより、マルチセンシングフロントカメラが前方を認識できなくなったとき - ー 周辺の電波源の影響を受けているとき - ー センサーの汚れなどで、インテリジェントエマージェンシーブレーキが一時的に作動できない状態になっているとき	● インテリジェントエマージェンシーブレーキをOFFにしているときは、ONにすると消灯します。 ● VDCをOFFにしているときは、ONにすると消灯します。 ➡VDCの切り替えかた (P.136) ● トラクションモードをONにしているときは、VDCをONに切り替えると消灯します。（NISMO仕様車） ➡VDCの切り替えかた (P.136) ● フロントガラスが汚れているときは、フロントガラスを清掃し、警告灯が消灯したことを確認してください。 ➡マルチセンシングフロントカメラの取り扱い (P.273) ● フロントガラスに結露やくもりなどがある場合は結露やくもりを除去し、警告灯が消灯したことを確認してください。 ➡フロント・サイドウインドーガラスのくもりの取りかた (P.244) ● 室内の温度が高いときなどは、温度が下がると作動を復帰します

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
		● 次の場合にも点灯します。 - ー 道路形状や周辺の建造物により、レーダーセンサーが先行車を正確に検知できないとき（例：長い橋、雪原、長い壁の横など） - ー 夜間やトンネル内などでヘッドランプを点灯せず、真っ暗な状態が継続したとき - ー インテリジェント エマージェンシーブレーキのシステムチェックが正常に終了しなかったとき ● 次の場合は点滅します。 - ー 踏み間違い衝突防止アシスト★が作動したとき	各システムについては、インテリジェント エマージェンシーブレーキ（👉P.156）、踏み間違い衝突防止アシスト★（👉P.161）、およびインテリジェント FCW（前方衝突予測警報）（👉P.175）をお読みください。 ● エンジン再始動後も警告灯が点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。
	マスターウォーニング	● メーターに警告メッセージが表示されると同時に点灯します。	● 同時に表示した警告メッセージを確認し、それぞれの対処方法に従ってください。 👉警告メッセージ（P.230）
	ポップアップエンジンフード警告灯	● 正常なときは、電源ポジションをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。 ● 電源ポジションがONのとき、ポップアップエンジンフードの電子制御システムに異常があると点灯します。	● 電源ポジションをONにしても点灯しないとき、または点灯し続けるときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 ⚠ 警告 ● 電源ポジションをONにしても点灯しないときや、点灯を続けるときは、放置したままでは走行しない。 万一のときポップアップエンジンフードが正常に作動せず、歩行者の頭部への衝撃を緩和できないおそれがあります。

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	タイヤ空気圧警告灯	● 正常なときは、電源ポジションをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。 ● タイヤ空気圧警報システムに異常があると、約1分間点滅したあと点灯します。 ● タイヤ空気圧が低下すると点灯し、アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示されます。 ● パースト（破裂）や急激な空気圧低下をした場合は、メーター内の警告表示がすぐに作動しない場合があります。	● 走行中に警告灯が点灯した場合は、急ハンドル・急ブレーキを避け、車速を下げ、安全な場所に退避し、できるだけすみやかに停車してタイヤを確認してください。 ● タイヤ空気圧警報システムに異常があったときは、日産販売会社で点検を受けてください。 ●パンクではなく、タイヤ空気圧が低下しているときは、指定の空気圧に調整してください。 ➡ <u>タイヤの点検項目 (P260)</u> ● タイヤがパンクしたときは、すみやかに日産販売店で点検を受けてください。 ● タイヤ空気圧の調整後は、必ずシステムのリセット操作をしてください。リセット操作後、タイヤ空気圧警告灯とアドバンスドドライブアシストディスプレイの警告表示が消灯します。 ➡ <u>タイヤ空気圧警報システム (P262)</u> ● 電源ポジションをONにしても警告灯が点灯しない場合は、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。  警告 ● タイヤの空気圧が不足したまま走行しない。 パースト（破裂）するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
			 知識 ● 温度による空気圧の変化や自然に空気圧が減少したときにも点灯しますが、適切な空気圧に調整して消灯すれば故障ではありません。 ● 高速走行時はタイヤ空気圧警告灯が約1分間点滅したあと点灯することがありますが、減速して消灯すれば故障ではありません。

警告メッセージが表示されたときは

警告メッセージが表示されたときは、次の「説明・対処方法」に従ってください。表示は、グレード、オプションなどにより異なります。

警告メッセージ

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
	エンジン始動操作表示	- ブレーキペダルを踏みながら<エンジンスイッチ>を押し、エンジンを始動することを表示します。（オートマチック車） - クラッチペダルを踏みながら<エンジンスイッチ>を押し、エンジンを始動することを表示します。（マニュアル車）	オートマチック車はブレーキペダル、マニュアル車はクラッチペダルを踏みながら、<エンジンスイッチ>を押してください。
			
 インテリジェントキーをエンジンスイッチに接触させてください	インテリジェントキー非作動時エンジン始動表示	インテリジェントキーの電池が切れたときや、使用環境により、キーと車両の通信が正常に行われないときに表示します。	ブレーキペダルを踏みながら、キーの裏面を<エンジンスイッチ>に接触させてください。
 キー電池残量が低下しています	インテリジェントキー電池切れ表示	インテリジェントキーの電池切れが近くなると電池の交換を知らせます。	- 新しい電池に交換してください。 - インテリジェントキーの電池交換 (P.266) - 次の場合、インテリジェントキー電池切れ表示が消えます。 - 表示から約30秒経過したとき - 電源ポジションをON以外にしたとき

知識

- 次の場合、表示が消えます。
 - エンジンを開始したとき
 - 表示されてから約15秒経過したとき
 - リモコン機能、またはドアハンドルのスイッチでドアを施錠したとき
 - セレクトレバーをP以外に入れたとき（オートマチック車）

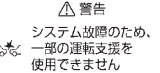
- ブレーキペダルを踏みながら、キーの裏面を<エンジンスイッチ>に接触させてください。
- インテリジェントキーで始動できないときは (P.218)

- 新しい電池に交換してください。
- インテリジェントキーの電池交換 (P.266)
- 次の場合、インテリジェントキー電池切れ表示が消えます。
 - 表示から約30秒経過したとき
 - 電源ポジションをON以外にしたとき

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
  キーが見つかりません	インテリジェントキー持ち出し警告	● 電源ポジションがONのとき、インテリジェントキーが車外に持ち出されると表示します。 ● インテリジェントキーを携帯していないときに、電源ポジションを切り替えようとすると表示します。 ● 携帯しているインテリジェントキーの電池が切れているときに、電源ポジションを切り替えようとすると表示します。	● 次のように対処してください。 - ー キーが車外に持ち出されていないか確認してください。 - ー キーを携帯してください。 - ー 新しい電池に交換してください。➡ <u>インテリジェントキーの電池交換 (P.266)</u> - ー 自車のキーであることを確認してください。
	ドア開き警告	● ドアが確実に閉まっていないとき、開いている位置を表示します。	● ドアを確実に閉めてください。 ⚠ 注意 ● 走行前に表示が消えていることを確認する。 ドアが完全に閉まっていない（半ドア）と走行中に突然開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。
  キーシステム故障 取扱説明書を見てください	キーシステム警告	● ハンドルロック（ステアリングロック）やキーシステムに異常があると表示します。	● 日産販売会社にご連絡ください。エンジンが始動できないことや<エンジンスイッチ>が切り替わらないことがあります。
  キーIDが正しくありません	キーID警告	● 次のときに電源ポジションを切り替えようとすると表示します。 - ー 登録されていないインテリジェントキーを携帯しているとき	● 自車のインテリジェントキーであることを確認してください。
 パーキングブレーキを解除してください	パーキングブレーキ戻し忘れ警告	● パーキングブレーキを解除し忘れたまま走行すると（約7km/h以上）表示し、ブザーが鳴ります。	● すみやかにパーキングブレーキを解除してください。 ➡ <u>パーキングブレーキのかけかた (P.124)</u>  アドバイス ● 走行するときは、必ずパーキングブレーキを解除してください。

緊急時の対処法

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
 警告  Pレンジに入れてください	 P戻し忘れ警告★	シフトポジションがP以外で運転席ドアが開いていると表示します。	シフトポジションをPに入れてください。
 ステアリングロックを回しながら スタートスイッチを押してください	ステアリングロック未解除表示	ハンドルロック（ステアリングロック）を解除できないときに表示します。	ハンドルを軽く左右に回しながら<エンジンスイッチ>を押してください。ハンドルロック（ステアリングロック）を解除すると表示が消えます。
 給油してください 	燃料残量警告	燃料が少なくなると表示します。	- すみやかに指定の燃料を補給してください。  知識 - 燃料の残量が約11ℓ以下で表示します。 - 車両姿勢、走行状況によっては、燃料がタンク内で移動するため、警告が表示されるタイミングが変わる場合があります。
 警告  踏み間違い衝突防止アシストが作動しました	踏み間違い衝突防止アシスト作動時表示★	踏み間違い衝突防止アシストが作動すると表示します。	進行方向に壁などの障害物、車両や歩行者などを検知している場合に、アクセルペダルがすばやく深く踏み込まれたとシステムが判断したときに作動します。  踏み間違い衝突防止アシスト★ (P.161)
 警告 ヘッドランプシステム異常 取扱説明書を見てください	ヘッドランプ警告	LEDヘッドランプに異常があると表示します。	- 安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してからマルチセンシングフロントカメラの前の障害物を取り除き、汚れを清掃してエンジンを再始動してください。 - 再始動後もメッセージが表示されるときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
	ライト消し忘れ警告	● 電源ポジションがON以外の位置で運転席ドアを開けたとき、次の場合に表示し、ブザーが鳴ります。 - ー ライトスイッチが<  >の位置にあるとき - ー ライトスイッチを<  /OFF >の位置に回して、メーター内のテールランプ表示灯  が点灯しているとき	● ライトスイッチを<AUTO>の位置にする、または<  /OFF >の位置に回してメーター内のテールランプ表示灯を消灯してください。
	システム故障警告A	● インテリジェント エマージェンシーブレーキ、踏み間違い衝突防止アシスト★、インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）が故障すると表示します。	● 安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。 ● 再始動後もメッセージを表示するときは、システムの異常が考えられます。通常走行に支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。 ➡ <u>インテリジェント エマージェンシーブレーキ (P.156)</u> ➡ <u>踏み間違い衝突防止アシスト★ (P.161)</u> ➡ <u>インテリジェント FCW（前方衝突予測警報） (P.175)</u>

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
 警告 システム故障 取扱説明書を見てください	システム故障 警告B	インテリジェント クルーズコントロール、BSW（後側方車両検知警報）、LDW（車線逸脱警報）、インテリジェント DA（ふらつき警報）、RCTA（後退時車両検知警報）が故障すると表示します。	- 安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。 - 再始動後もメッセージを表示するときは、システムの異常が考えられます。通常走行に支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。 ➡ <u>インテリジェント クルーズコントロール (P.144)</u> ➡ <u>BSW（後側方車両検知警報） (P.168)</u> ➡ <u>LDW（車線逸脱警報） (P.173)</u> ➡ <u>インテリジェント DA（ふらつき警報） (P.177)</u> ➡ <u>RCTA（後退時車両検知警報） (P.178)</u>
 警告 ソナー故障 取扱説明書を見てください	ソナーシステム 異常警告	ソナーが故障したときに表示します。	- 安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。 - 再始動後もメッセージを表示するときは、システムの異常が考えられます。通常走行に支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。 ➡ <u>ソナー表示 (P.79)</u>
省電源のため自動的に 電源OFFします	自動電源OFF 表示A	エンジンが停止している状態で、電源ポジションをONにしたまましばらくすると表示します。	そのまま電源ポジションを切り替えないと、省エネのため電源ポジションがOFFになります。
省電源のため自動的に 電源OFFしました	自動電源OFF 表示B	エンジンが停止している状態で、電源ポジションをONにしたまま時間が経過し、電源ポジションが自動でOFFになったときに表示します。	
メンテナンス  オイル/オイルフィルター 交換表示	オイル/オイル フィルター 交換表示	設定したオイル/オイルフィルター交換距離に達すると表示します。	オイル/オイルフィルター交換距離は、設定したりリセットしたりできます。 設定 (➡ P.71)

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
メンテナンス  タイヤ	タイヤ交換表示	● 設定したタイヤ交換距離に達すると表示します。	● タイヤ交換距離は、設定したりリセットしたりできます。 設定 (🔧 P.71)
メンテナンス  ユーザー	メンテナンス距離表示	● オイル/オイルフィルター、タイヤ以外の整備項目の点検距離または交換距離に達すると表示します。	● その他の整備項目には、たとえばタイヤのローテーションを行う距離の設定ができません。項目の点検/交換距離は設定したり、リセットしたりできます。 設定 (🔧 P.71)
エンジンオイル  オイル交換まで 100km	エンジンオイル交換警告A	● 車両システムが自動で設定したエンジンオイル交換までの距離が1,500km未満になると、電源ポジションをONにしたときに表示します。	● エンジンオイル交換までの距離は、走行状況に応じてシステムにより自動で設定されません。手動で設定することはできません。 ● エンジンオイル交換後は、必ず表示をリセットしてください。リセットするときは、この画面を表示中にステアリングスイッチの<OK>スイッチを長押しします。  アドバイス ● エンジンオイル交換時以外にリセットはしないでください。
エンジンオイル  交換してください	エンジンオイル交換警告B	● 車両システムが自動で設定したエンジンオイル交換距離に達すると表示します。	● エンジンオイル交換後は、必ず表示をリセットしてください。リセットするときは、この画面を表示中にステアリングスイッチの<OK>スイッチを長押しします。  アドバイス ● 表示されたときは、できるだけ早くエンジンオイルを交換してください。劣化したエンジンオイルのまま走行し続けると、エンジンが破損するおそれがあります。 ● エンジンオイル交換時以外にリセットはしないでください。

緊急時の対処法

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
 0℃	凍結注意アラーム表示	● 外気温表示が3℃以下になったことを知らせます。	-
走行時間  休息してください	走行時間アラーム表示	● 設定した時間まで連続走行したことを知らせます。	● 表示・非表示の設定ができます。 設定 (➡ P.71)
ふらつき警報  休憩しませんか？	インテリジェント DA (ふらつき警報) 表示	● 運転者のハンドル操作から注意力が低下していると判断したときに表示します。	● 表示・非表示の設定ができます。 ➡ <u>インテリジェント DA (ふらつき警報)</u> (P.177)
⚠ 警告  駐車時は確実にパーキングブレーキをかけてください	電制シフト警告A★	● 電制シフトに異常が発生したときに表示します。	● すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 ● 駐車するときは、パーキングブレーキを確実にかけてください。パーキングブレーキをかけていないと、電源ポジションをOFFにできないことがあります。 ● 電源ポジションをOFFにできないときは、次の操作を行ってください。 ー ①停車してパーキングブレーキをかけます ー ②ブレーキペダルを踏み込みながら<エンジンスイッチ>を押して、電源ポジションをONに切り替えます ー ③セレクトレバーにある<P>スイッチを押してPに切り替えます ー ④<エンジンスイッチ>を押して、OFFに切り替えます

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
△警告 トランスミッション システム異常 販売店で点検してください	電制シフト警告B★	● 電制シフトに異常が発生したときに表示します。	● すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 ● シフトポジションがすぐに切り替わらないことがあるため、目的のシフトポジションの位置でセレクトレバーを保持し、シフトポジションが切り替わったことを確認してから手を離してください。 ● オートP機能（ P.116）が作動しないことがあるため、駐車するときはセレクトレバーにある<P>スイッチを押し、 に切り替わったことを確認してください。
△警告 シフトレバーの位置を 確認してください	シフトポジション警告★	● セレクトレバーが中央の位置以外で保持され続けたときに表示します。	● セレクトレバーが中央の位置にあるか確認してください。 ● セレクトレバーが中央の位置にあるときに表示された場合は、日産販売会社で点検を受けてください。
降車後もニュートラルを継続するには エンジン始動後ブレーキを踏んだまま Pレンジボタンを押した後、 2度Nレンジ操作をしてください	ニュートラル ホールド表示 A★	● シフトポジションが で電源ポジションをOFFにすると表示されます。	● エンジン停止時にシフトポジションを で維持したい場合、表示されたメッセージに従って操作してください。
ニュートラルになっています 解除するには 他のギヤに入れてください	ニュートラル ホールド表示 B★	● ニュートラルホールドが作動すると、約6秒間表示します。	● シフトポジションが で維持されている場合、メッセージが表示されます。 ● シフトポジションを 以外にすると解除されます。
NHMが起動できません	ニュートラル ホールド警告★	● 電制シフト警告灯 [] が表示しているとき、ニュートラルホールドの作動条件がそろうと表示されます。	● すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 ● アドバンスドドライブアシストディスプレイにメッセージが表示されたときは、表示されたメッセージに従ってください。

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
警告 フロントレーダー及びその周辺が汚れています 拭いてください △警告 現在一部の運転支援が 使用できません フロントレーダー周辺を 拭いてください	フロントレーダーシステム 停止警告	● 車両前部に取り付けられたレーダーセンサー周辺に雪や氷、泥などが付着し、次のシステムが停止すると表示します。 → <u>インテリジェントクルーズコントロール (P.144)</u> → <u>インテリジェントエマージェンシーブレーキ (P.156)</u> → <u>インテリジェントFCW（前方衝突予測警報） (P.175)</u> ● 次のような道路形状、または建造物がある場合は、レーダーが先行車を正確に検知できず、作動が停止します。 → 長い橋を走行しているとき → 砂地や雪原を走行しているとき → 長い壁の近くを走行しているとき	● 安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してからレーダーセンサーおよびその周辺の汚れなどを取り除き、エンジンを再始動してください。 ● 停止したときの状態が改善、または変更されると、システムは作動を再開します。
警告 サイドレーダー及びその周辺が汚れています 拭いてください	サイドレーダーシステム 停止警告	● 車両後部に取り付けられたレーダーセンサー周辺に雪や氷、泥などが付着し、次のシステムが停止すると表示します。 → <u>BSW（後側方車両検知警報） (P.168)</u> → <u>RCTA（後退時車両検知警報） (P.178)</u>	● レーダーセンサーおよびその周辺の汚れなどを取り除いてから、システムを一旦OFFにしたあと、再びONにしてください。
作動範囲外のため 現在使用できません	作動範囲外警告	● 次のシステムが停止すると表示します。停止する条件については、各システムをお読みください。 → <u>インテリジェントクルーズコントロール (P.144)</u> ● VDCをOFFにしたとき ● トラクションモードをONにしたとき（NISMO仕様車）	● 停止したシステムを再び作動させる場合は、停止したときの状態が改善されてから、スイッチで再びONにしてください。

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
カメラが高温のため 現在使用できません		● 炎天下に駐車したときなど、マルチセンシングフロントカメラが高温になり、次のシステムが停止すると表示します。 — ➡ <u>LDW（車線逸脱警報）</u>（P.173）	● 停止したシステムを再び作動させる場合は、マルチセンシングフロントカメラ周辺の温度が下がってから、再びONにしてください。
△ 警告 カメラが高温のため 一部の運転支援を 制限しています	カメラ高温警告	● カメラおよびカメラ周辺の温度が高いときに表示します。 — ➡ <u>インテリジェント エマージェンシーブレーキ</u>（P.156） — ➡ <u>インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）</u>（P.175）	● 車室内の温度が下がるとシステムは自動的に作動を再開します。
滑りやすい路面のため 現在使用できません	スリップ警告	● 次のシステムが停止すると表示します。停止する条件については、各システムをお読みください。 — ➡ <u>インテリジェント クルーズコントロール</u>（P.144） ● ABSまたはVDC（トラクションコントロール機能（TCS）は含まない）が作動したとき	● 停止したシステムを再び作動させる場合は、停止したときの状態が改善されてから、スイッチで再びONにしてください。
△ 警告 エンジン停止 安全な場所に停車してください	エンジン異常警告A	● 走行中、エンジンに異常が発生し、エンジンが停止しているときに表示します。	● すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社にご連絡ください。
△ 警告 エンジン出力低下 販売店で点検してください	エンジン異常警告B	● 走行中、エンジンに異常が発生し、出力が制限されていると表示します。	● すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社にご連絡ください。
△ 警告 エンジン高温 取扱書を確認してください	エンジン異常警告C	● 走行中、エンジンの温度が異常に高くなると表示します。	● すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社にご連絡ください。

緊急時の対処法

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
 警告  Pレンジに入れてください	 レンジ警告★	シフトポジションがP以外のときに、エンジンが停止したときに表示するとともに、警告音が鳴ります。	すみやかに安全な場所に停車し、セレクトレバーにある<P>スイッチを押してPに切り替えてください。
 警告 0 0 0 0 0 0 kPa タイヤ空気圧不足 点検してください	タイヤ空気圧 不足表示A	タイヤ空気圧が低下すると、表示します。	- 安全な場所に停車し、タイヤを確認してください。 - パンクではなく、タイヤ空気圧が低下しているときには、タイヤが冷えた状態で指定の空気圧に調整してください。 - タイヤがパンクしたときは、すみやかに日産販売店で点検を受けてください。 - 空気圧を正しく調整したあと、必ずタイヤ空気圧警報システムのリセット操作をしてください。リセット操作後、タイヤ空気圧警告灯〔(!)〕とメーター内ディスプレイの警告表示が消灯します。
タイヤ空気圧不足 点検してください 冷間時に空気圧を 確認してください	タイヤ空気圧 不足表示B	走行中のタイヤ空気圧変化により、タイヤが冷えたときの空気圧が、指定空気圧より低くなる可能性がある場合に表示します。	➡ <u>タイヤ空気圧警報システム (P.262)</u> - 同時にタイヤ空気圧警告灯〔(!)〕(➡ P.228) が点灯します。 - タイヤの空気圧は、走行するとタイヤ内部の温度上昇に伴い増加します。 - 温度による空気圧の変化や、自然に空気圧が減少したときにも点灯しますが、適切な空気圧に調整して消灯すれば故障ではありません。

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
			● 高速走行時はタイヤ空気圧警告灯〔(!)〕が約1分間点滅したあと点灯することがありますが、減速して消灯すれば故障ではありません。 <u>👉タイヤ空気圧警報システムについて (P.262)</u> ● アドバンスドドライブアシストディスプレイに表示されるタイヤ空気圧が、設定した目標空気圧より高くても、黄色で表示されているときは空気圧が不足しているおそれがあります。 車両情報 (👉P.58)
 システムOFF	システムOFF表示	● RCTA（後退時車両検知警報）がOFFのとき、オートマチック車はシフトポジションを R、マニュアル車はRにすると表示します。 <u>👉RCTA（後退時車両検知警報） (P.178)</u>	● RCTA（後退時車両検知警報）をONにすると、オートマチック車はシフトポジションを R、マニュアル車はRにしても表示されません。
 警告 視界不良のため 一部の運転支援を 制限しています	インテリジェントエマージェンシーブレーキシステム視界不良警告	● 悪天候（雨、雪、霧、風塵、砂塵、吹雪など）で視界が悪いときに表示します。 ● 前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けているときに表示します。	● 悪天候時にはインテリジェントエマージェンシーブレーキシステムは作動しません。 ● 状況が改善されると、システムは自動的に作動を再開します。
 警告 VDC OFFのため 一部の運転支援が 制限されています	VDC OFF警告	● VDCをOFFにしたときに表示します。	● VDCをOFFにしたときに停止する機能については、（👉P.136）をお読みください。
 警告 電波障害のため 一部の運転支援を 制限しています	インテリジェントエマージェンシーブレーキシステム電波障害警告	● 放送局など周辺の電波源により影響を受けているときに表示します。	● 周辺の電波源による影響を受けているときはインテリジェントエマージェンシーブレーキは作動しません。 ● 状態が改善されると、システムは作動を再開します。

緊急時の対処法

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
 警告  現在一部の運転支援を制限しています	インテリジェント エマージェンシーブレーキシステム作動制限警告	● インテリジェント エマージェンシーブレーキのシステムチェックが正常に終了しなかったとき表示します。 ➡ <u>インテリジェント エマージェンシーブレーキの作動が停止するとき (P.160)</u>	● 安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。 ● けん引されているときはインテリジェント エマージェンシーブレーキシステムは作動しません。 ● 状況が改善されると、システムは自動的に作動を再開します。

ブザー（警報音）が鳴ったときは

車両盗難などを防ぐため、車内外でブザー（警報音）が鳴ることがあります。

どこで音が鳴りましたか？	どんな音が鳴りましたか？	何をしたときに鳴りましたか？	確認すること
車外	ピピピピ... (数秒間)	ドアハンドルのスイッチを押したとき	電源ポジションがOFFになっているか インテリジェントキーを車室内またはラゲッジルーム内に置き忘れているか いずれかのドアが半ドアになっていないか ドアを閉める前にドアハンドルのスイッチを押していないか
		キーの<ドア解錠スイッチ>を押したとき	いずれかのドアが半ドアになっていないか ドアを閉める前に<解錠スイッチ>を押してはいないか
		ドアを閉めたとき	無意識にドアハンドルのスイッチを触れていないか
	ピッピッピッ (3回)	ドアを閉めたとき	電源ポジションがAccまたはONのまま、キーが車外へ持ち出されていないか
	ピー（継続）	ドアを閉めたとき	シフトポジションがP以外のまま、キーが車外に持ち出されていないか（オートマチック車）
	キー（金属音）	走行中にブレーキペダルを踏んだとき	ディスクブレーキのパッド（摩擦材）が摩耗していないか 金属音が発生したときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。そのまま走行を続けると、ブレーキが効かなくなり、事故につながるおそれがあります。

緊急時の対処法

どこで音が鳴りましたか？	どんな音が鳴りましたか？	何をしたときに鳴りましたか？	確認すること
車内	ポロポロポロ (3回)	ドアを閉めたとき	電源ポジションがAccまたはONのまま、キーが車外に持ち出されていないか
		<エンジンスイッチ>を押したとき	キーを携帯しているか キーを携帯してもブザーが鳴るときは、キーの電池を交換してください

窓ガラスがくもったときは

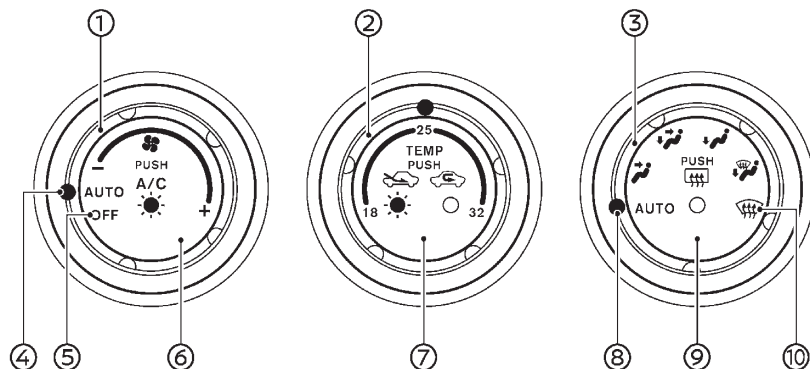
フロント・サイドウィンドーガラス のくもりの取りかた

⚠ 注意

- 吹き出し口切り替えダイヤル③をデフロスター位置⑩にしているときは、エアコンの設定温度を低くしない。
フロントガラスの外側に露が付き、視界を妨げるおそれがあります。

🚗 アドバイス

- 吹き出し口切り替えダイヤル③をデフロスター位置<☞>⑩にしているときは、内気循環にしないでください。くもりが取れにくくなります。
- 早くくもりを取りたいときは、設定温度を高くし、吹き出し風量を多くします。



1. 吹き出し口切り替えダイヤル③をデフロスター位置<☞>⑩にします。
2. 風量調節ダイヤル①をAUTO位置（風量）④にします。
デフロスターから風が吹き出し、吸い込み口が外気導入になります。
3. <エアコンスイッチ>⑥の表示灯が消灯している場合は、<エアコンスイッチ>⑥を押してエアコンを動作させます。
（スイッチの表示灯が点灯）

※元に戻すときは、吹き出し口切り替えダイヤル③をAUTO位置（吹き出し口）⑧にします。
オートエアコン（🔌P.105）

📖 知識

- <エアコンスイッチ>⑥の表示灯が消灯しているとき、吹き出し口切り替えダイヤル③をデフロスター位置<☞>⑩にすると、エアコンも自動的に作動します。

知識

- 窓ガラスのくもりを取りながら足元への送風をしたいときは、吹き出し口を<❶>位置にします。
- 吹き出し口切り替えダイヤル③を<❶>と<❷>の中間の位置にすると、<❶>の状態です窓ガラスへの吹き出し風量を少なくできます。
- 吹き出し口切り替えダイヤル③を<❶>と<❸>の中間の位置にすると、<❶>の状態です窓ガラスへの吹き出し風量を多くできます。

バックドアガラスのくもりの取りかた

電源ポジションがONのとき使えます。

- <リヤウインドーデフォッガースイッチ>を押すと約15分間作動し、バックドアガラスの熱線が暖まります。(＜リヤウインドーデフォッガースイッチ＞の表示灯が点灯)
- 止めるときは、もう一度スイッチを押します。(＜リヤウインドーデフォッガースイッチ＞の表示灯が消灯)

リヤウインドーデフォッガースイッチ
(➡P.105)

アドバイス

- 連続して長時間使用しないください。消費電力が多いためバッテリーあがりの原因になります。

- <リヤウインドーデフォッガースイッチ>を押すと、ドアミラーヒーターも同時に作動します。

オーバーヒートしたときは

水温計がオーバーヒート範囲を示したときや、エンジンルームのすき間から蒸気が出ているときはオーバーヒートしています。次の方法で処置してください。

処置のしかた

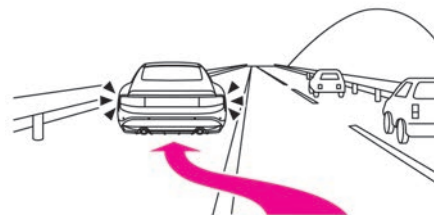
警告

- **ボンネットを開けるときは十分に注意する。**
エンジンルーム内は高温になっているため、やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。
- **蒸気が出ているときは、ボンネットを開けない。**
やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。
エンジンを停止し、蒸気が出なくなるまで待ち、ボンネットを開けてください。
- **エンジンが十分に冷えていないときは、ラジエーターやリザーバタンクのキャップを外さない。**
蒸気や熱湯が噴き出し、やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。

- **オーバーヒートしたときは、ただちに安全な場所に車を止めて処置をする。**

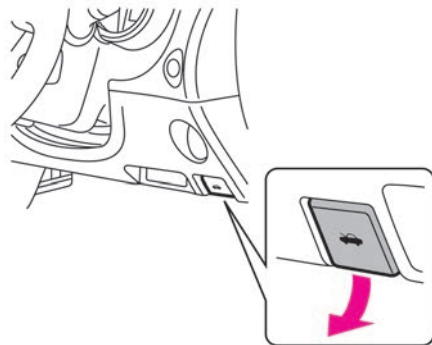
そのまま走行を続けると、エンジン故障の原因となり、火災につながるおそれがあります。

1. ただちに安全な場所に停車します。
➡故障したときの対処のしかた (P.208)



2. エンジンを作動させたままボンネットを開け、風通しをよくしてエンジンを冷やします。
万一、冷却ファンが回っていないときは、ただちにエンジンを停止し、自然冷却してください。

緊急時の対処法



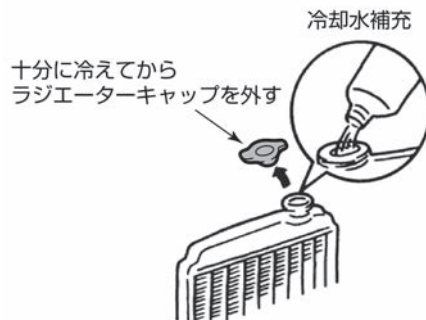
3. 水温計がオーバーヒートの範囲より下がったら、エンジンを止めしばらく待ちます。
エンジンが十分冷えてから冷却水の量、ホースなどからの水漏れを点検してください。



4. 冷却水が不足しているときは、ラジエーターとリザーバータンクに冷却水を補充してください。

➡ エンジンルーム内の配置図 (P.256)

補充後は、しっかりキャップを閉めてください。



5. 走行中、再度水温計がオーバーヒートの範囲を示したときは、手順1～手順4の作業を繰り返して行ってください。
6. 早めに日産販売会社で点検を受けてください。

アドバイス

- 応急的に水だけを補充したときは、早めに日産販売会社で点検を受けてください。

雪道やぬかるみにはまったときは

雪道、砂地、ぬかるみなどでタイヤが空転したり、埋まり込んで動けなくなったりしたときは、次の方法で脱出してください。

脱出のしかた

⚠ 警告

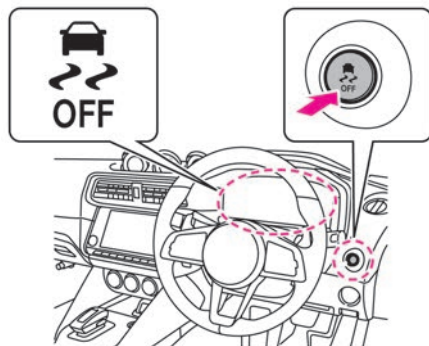
- 周囲の安全を必ず確認する。
周囲の人や物との衝突を避けるため、前進と後退を繰り返すときは、周囲に何もいないことを確認してください。特に脱出の瞬間は、車両が前方または後方に飛び出すおそれがあります。
- 必要以上にアクセルペダルを踏み込まない。
急発進して思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- 脱出するときは、過度にタイヤを空転させない。
タイヤがバースト（破裂）したり、駆動部品が異常過熱したりすることにより思わぬ事故につながるおそれがあります。

1. <VDC OFFスイッチ>を操作して、VDCをOFFにします。
➡ VDCの切り替えかた (P.136)

緊急時の対処法



2. 車両の前後に障害物がないことを確認し、ハンドルを左右に回して前輪の周囲をならします。
必要に応じ、タイヤの下に木材などをそえてください。
3. ゆっくりとアクセルペダルを踏み、前進または後退します。
周囲の安全を確認したうえで、前進と後退を繰り返してください。

アドバイス

- 数回試しても脱出できないときは、日産販売会社またはJAFなどのロードサービスに連絡してください。

水没したときは

水没したときの対処のしかた

警告

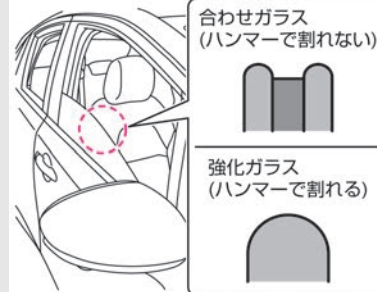
- 水位が窓ガラスよりも高いとき、緊急脱出用ハンマーを使用した場合、割れたガラスが車室内に入り、ケガをするおそれがあります。

緊急脱出用ハンマー（ディーラーオプション）について

- フロントウィンドーガラスは合わせガラスのため、緊急脱出用ハンマーで割ることはできません。ドアガラス、バックドアガラスを割って脱出してください。
- ドアガラスについては、車両の仕様変更により合わせガラスの場合があります。合わせ、または強化ガラスの見分け方法については、ガラスの断面、もしくは刻印（マーク）を確認することで見分けることができます。

ガラスの断面で合わせガラスを見分ける方法

- ドアガラスを半分ほど開け、断面を上から確認し、2枚のガラスが貼り合わせられている場合は合わせガラスとなります。



ガラスにある刻印（マーク）で合わせガラスを見分ける方法

- ドアガラスには次のような刻印（マーク）が表示されています。この表示によって、合わせガラスかどうかを見分けることができます。

Eマーク



- 合わせガラス：XI、V-XI
- 強化ガラス：無印、V

JISマーク



- 合わせガラス：L
- 強化ガラス：T

※車両によっては、刻印（マーク）が表示されていない、またはガラスの種類を示す表示の位置が異なる場合があります。

緊急時の対処法

水没したときは、次のような対処方法で車外に脱出してください。

- シートベルトを外して車外に脱出してください。
- ドアが開く水位が低いうちにドアを開けて、車外に脱出してください。
- ドアが開かなかった場合、窓ガラスを開け、窓から車外に脱出してください。
- <パワーウインドースイッチ>を押しても窓ガラスが開かない場合、以下の方法で脱出してください。
 - ー 緊急脱出用ハンマー（ディーラーオプション）がある場合、窓ガラスを割り窓から車外に脱出してください。
 - ー 緊急脱出用ハンマー（ディーラーオプション）がない場合、または緊急脱出用ハンマーで窓ガラスが割れない場合には、車内外の水位が同じ高さくらいまで浸水するのを待ち、ドアを強く押し開けて車外に脱出してください。（車内外の水圧差がなくなると、ドアを開けることができます。）

- 浸水・冠水被害に遭われた場合は、車両故障につながるおそれがあるため、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

外装ランプが点灯しないときは

外装ランプはすべてLEDです。LEDが一部でも点灯しない場合は日産販売会社で点検を受けてください。

ヘッドランプ、制動灯などは、雨天走行や洗車などにより、レンズ内面が一時的にくもることがあります。またヘッドランプ内と外気との温度差により、レンズ内面が結露することもあります。これは雨天時など

に窓ガラスがくもると同様の現象で、機能上の問題ではありません。

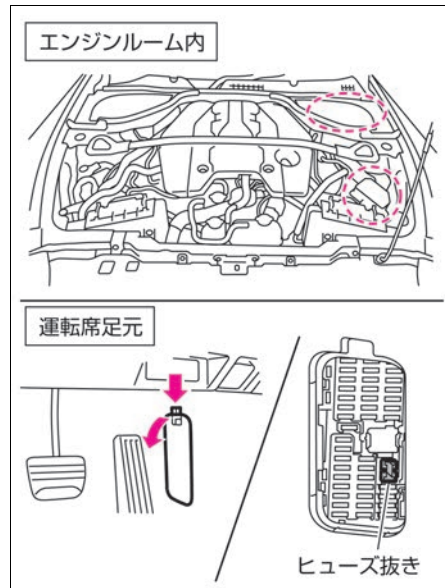
またレンズの構造上、レンズのふちに水滴が付着することがありますが、機能上の問題ではありません。ただし、ランプ内に水がたまっている場合やレンズ内面に大粒の水滴が付着している場合は、日産販売会社にご相談ください。

ヒューズが切れたときは

ランプがつかないときや電気系統の装置が作動しないときは、ヒューズ切れが考えられます。

故障の状況から、関係するヒューズを確認してください。

ヒューズボックスの位置



- ヒューズボックスは、次の位置にあります。
 - ー エンジンルーム内
 - ー 運転席足元
- 各ヒューズの位置は、ヒューズボックスのふたの裏側またはヒューズボックス付近に表示してあります。

ヒューズ抜きについて

- 運転席足元のヒューズボックス内にヒューズ抜きがあります。

ヒューズの点検・交換のしかた（エンジンルーム内）

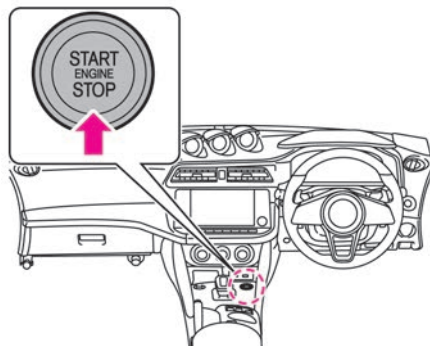
⚠ 警告

- 規定の容量以外のヒューズや、ヒューズの代わりに針金、銀紙などは絶対に使用しない。
電装システムの破損や火災につながるおそれがあります。

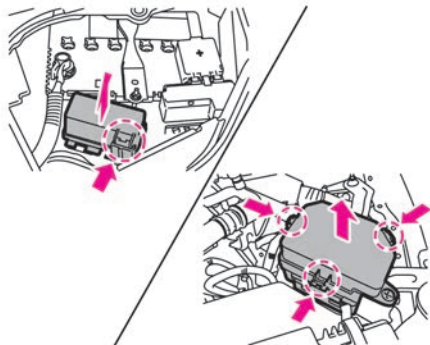
🚗 アドバイス

- エンジンルーム内のヒューズボックスは、バッテリーカバーの下にあります。
- ➡ エンジンルーム内の配置図 (P.256)
- バッテリー右側のヒューズボックスは、カウルトップカバーを外さなければなりません。ヒューズを交換したいときは、日産販売会社にご相談ください。
- ヒューズを交換したときは、確実に差し込まれていることを確認してください。
- 交換してもヒューズが切れるときは、日産販売会社で点検を受けてください。

1. 電源ポジションをOFFまたはLOCKにし、ボンネットを開けます。
➡ ボンネットの開けかた、閉めかた (P.256)



2. ヒューズボックスのふたを外します。

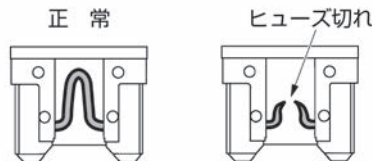


3. ヒューズ抜きを使用してヒューズを取り外します。
ヒューズ抜き（➡ P.248）



4. ヒューズが切れていないか点検します。
切れているときは新しいヒューズと交換します。

ヒューズの参考画像



緊急時の対処法

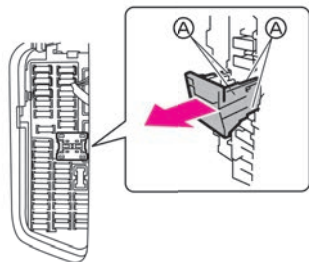
ヒューズの点検・交換のしかた（運転席側面）

警告

- 規定の容量以外のヒューズや、ヒューズの代わりに針金、銀紙などは絶対に使用しない。
電装システムの破損や火災につながるおそれがあります。

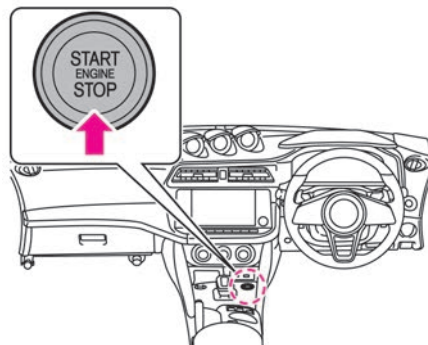
アドバイス

- ヒューズを交換したときは、確実に差し込まれていることを確認してください。
- 交換してもヒューズが切れるときは、日産販売会社で点検を受けてください。

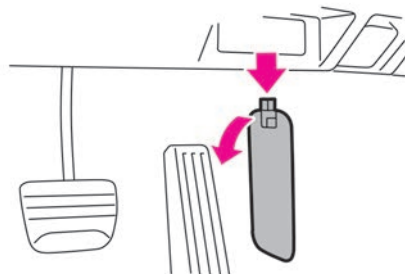


- イラストのような部品が付いている場合は、その部品の中にもヒューズがあります。中のヒューズを点検・交換するときは、Ⓐを上下につまみながら矢印の方向に引き抜いてください。

1. 電源ポジションをOFFまたはLOCKにします。



2. 運転席足元にあるふたのツメを押しながら手前に引いて外します。



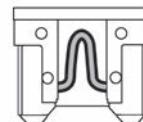
3. ヒューズ抜きを使用してヒューズを取り外します。
ヒューズ抜き（➡P.248）



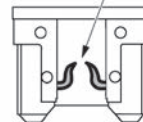
4. ヒューズが切れていないか点検します。
切れているときは新しいヒューズと交換します。

ヒューズの参考画像

正常



ヒューズ切れ



メンテナンスの前に

点検整備について	P.252
----------	-------

工具・ジャッキ

工具・ジャッキ★について	P.253
--------------	-------

点検と整備

エンジンルーム	P.256
ウォッシュ液の補給	P.258
寒冷時の取り扱い	P.258
タイヤ	P.259
タイヤ空気圧警報システム	P.262
冬用タイヤ・タイヤチェーン	P.264
ワイパー	P.265
インテリジェントキーの電池交換	P.266
バッテリー	P.267
エンジンオイル	P.268
ディスクローター	P.268

清掃・お手入れ

外装のお手入れ	P.269
内装のお手入れ	P.274

サービスデータ

点検値	P.277
交換油脂類	P.277
車両仕様	P.280

イベントデータレコーダ (EDR)	P.281
車両状態記録機能	P.282

点検整備について

道路運送車両法により、定期点検と日常点検が義務付けられています。正しい点検整備を行いお車を安全にお使いください。

点検整備の詳細については、別冊のメンテナンスノートをお読みください。

点検整備の種類

- 点検・整備および保証の内容は、別冊のメンテナンスノートに詳しく記載されていますので、必ずお読みください。
- 日常点検**
走行距離や使用時の状態から判断し、適切な時期にお客さまご自身で行う点検です。
いつもと違うことに気がいたら日産販売会社で点検を受けてください。（音、振動、におい、水漏れ、油もれなど）
- 定期点検**
1年ごとに実施する点検です。12か月点検および24か月点検があります。
- その他の点検**
新車時の無料点検や、厳しい使われかたをしたときに必要な点検があります。

車検、点検整備のとき

- 車検、点検整備については、日産販売会社にご相談ください。

工具・ジャッキ

工具・ジャッキ★について

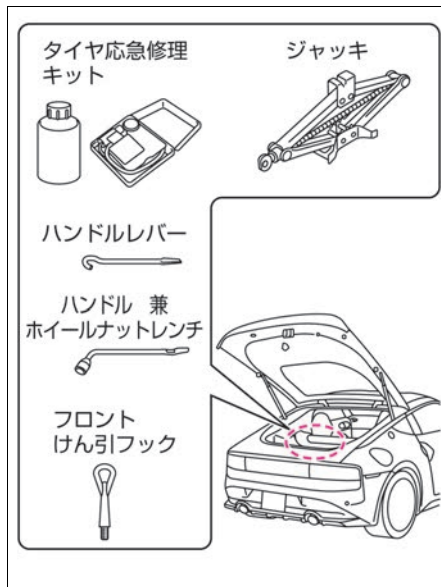
この車両には、スベアタイヤ、ジャッキ、ハンドルレバー、ハンドル兼ホイールナットレンチが標準で搭載されていません。ジャッキアップをする場合は、この車両専用のジャッキを準備してください。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

工具、タイヤ応急修理キットの格納場所

⚠ 注意

- 工具、ジャッキ、タイヤ応急修理キットを使ったあとは、元の場所に収納する。

車室内に放置すると思わぬ事故につながるおそれがあります。



- 停止表示板（停止表示灯）、輪止めは標準で搭載されておりませんので必要に応じて準備してください。
- 工具の種類や発炎筒（➡P.209）などは、万一のときに困らないようにあらかじめ位置を確認しておいてください。
- 工具・タイヤ応急修理キットは、ラゲッジルーム内に格納されています。
 - ➡ 応急修理する前に（P.213）
 - ➡ タイヤ応急修理キットについて（P.213）

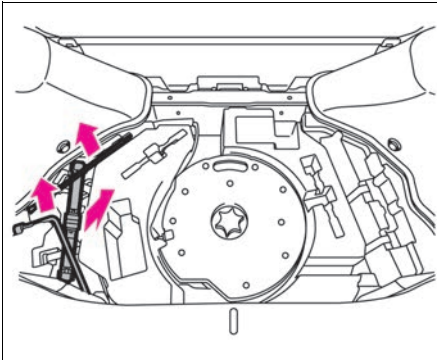
ジャッキ、ハンドル兼ホイールナットレンチ、ハンドルレバーの取り出し（ディーラーオプション）

⚠ 注意

- ジャッキを取り出すときは、手をぶつけないように注意する。
金属部などに手をぶつけると、ケガをするおそれがあります。
- ジャッキはタイヤ交換またはタイヤチェーンの脱着以外には使用しない。

🚗 アドバイス

- ジャッキはタイヤ交換またはタイヤチェーンの脱着以外には使用しないでください。
- ジャッキとフロアカバーが内装部品にぶつからないようにしてください。傷がつくおそれがあります。



工具・ジャッキ

- ラゲッジルームのフロアカバーを持ち上げて取り出します。

ジャッキの使いかた

警告

- ジャッキアップしたときは絶対に車両の下に入らない。

ジャッキが外れると、重大な傷害につながるおそれがあり非常に危険です。

注意

- 工具、ジャッキを使ったあとは、元の場所に収納する。

車室内に放置すると思わぬ事故につながるおそれがあります。

- ハンドル兼ホイールナットレンチを回すときは、ハンドルレバーをしっかり握って回す。

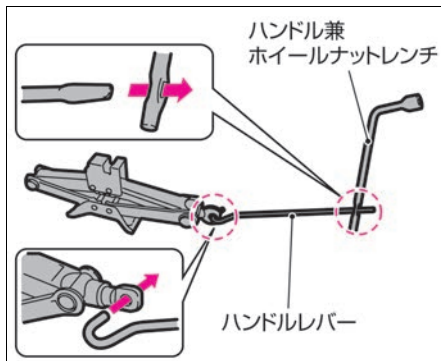
ハンドルレバーが回転中に外れると、思わぬケガをするおそれがあります。

- ハンドルレバーは、確実にハンドル兼ホイールナットレンチの穴に差し込む。

ハンドルレバーが確実に差し込まれていないと、外れて思わぬケガをするおそれがあります。

- ジャッキアップ中はエンジンを始動しない。

車が発進し、重大な傷害につながるおそれがあります。



- ジャッキにハンドルレバーとハンドル兼ホイールナットレンチをセットします。
- ジャッキを使って車両を持ち上げるときは、正しい位置にジャッキを設置してください。

ジャッキアップポイント

注意

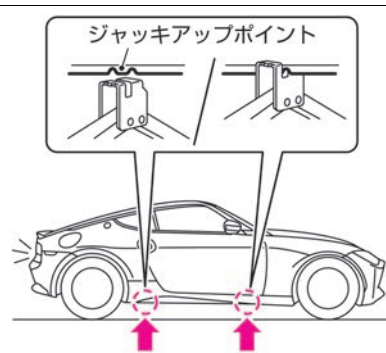
- ジャッキを使うときは、次のことを必ず守る。

- ジャッキは必ずこの車両専用のものを使い、他車のジャッキは使用しないでください。また、この車両専用のジャッキは他車に使用しないでください。
- ジャッキはタイヤ交換またはタイヤチェーンの脱着以外には使用しない。
- 平坦で硬いところに駐車して作業してください。

- 使用前にパーキングブレーキをかけ、オートマチック車はシフトポジションをP、マニュアル車はシフトポジションをRにしてください。
- 輪止めなどで車を固定してください。
- ジャッキの上下に台やブロックなどを入れないでください。
- 人や荷物は必ず車から降ろしてください。

アドバイス

- ジャッキはタイヤ交換またはタイヤチェーンの脱着以外には使わないでください。
- ジャッキアップポイント以外の上にはジャッキをかけないでください。車体の変形するおそれがあります。



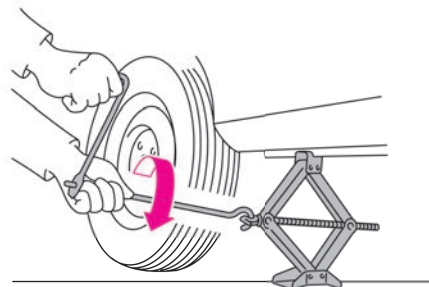
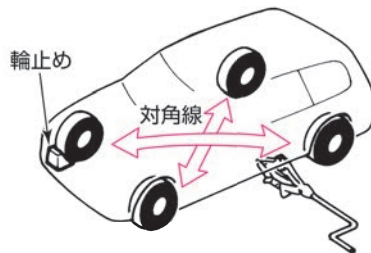
工具・ジャッキ

- 矢印の位置がジャッキアップポイントです。

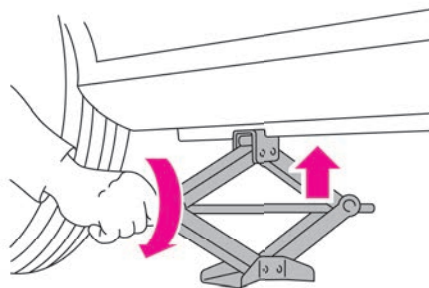
ジャッキアップのしかた

⚠ 注意

- 柔らかい地面の上ではジャッキアップしない。
ジャッキが倒れ、事故につながるおそれがあります。
 - やむをえず傾斜地で作業するときは、ジャッキをかける位置と対角線の位置にあるタイヤの下り側に輪止めをし、車が動き出さないようにする。
1. パーキングブレーキをかけ、オートマチック車はシフトポジションをPにし、エンジンを止めます。マニュアル車はエンジンを止めてからシフトポジションをRにします。
 2. ジャッキをかける位置と対角線の位置にあるタイヤに輪止めをします。
前輪をジャッキアップするとき：後輪の後側
後輪をジャッキアップするとき：前輪の前側



3. ジャッキの上部がジャッキアップポイントに接触するまで、ジャッキを矢印の方向に手で回します。

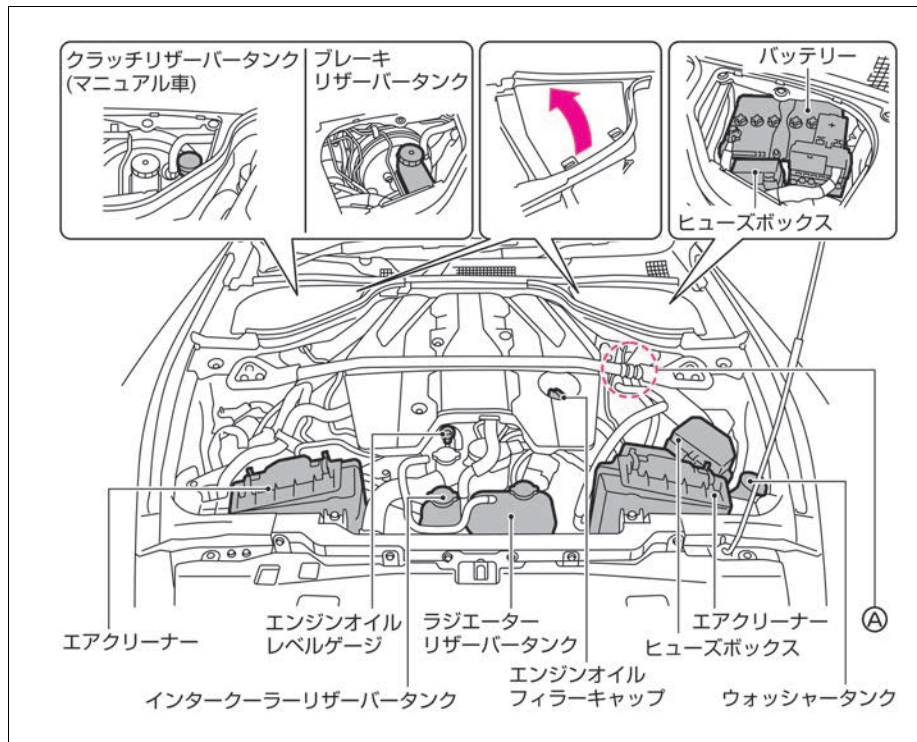


4. ハンドル兼ホイールナットレンチを回して、タイヤと地面が少し離れるまで、ジャッキアップします。

エンジンルーム

エンジンルーム内を点検するときは安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけた状態でボンネットを開けます。

エンジンルーム内の配置図



警告

- 点検や整備に使用した工具や布などをエンジンルーム内に置き忘れない。故障や車両火災につながるおそれがあります。

注意

- エンジンルーム内の作業をするときは、電源ポジションをOFFにする。エンジン回転中に手、衣服、工具などを入れると思わぬケガをするおそれがあります。

アドバイス

- フロントストラットタワーバーのボルト部①を調整しないでください。フロントストラットタワーバーのボルトは最適な状態で工場出荷しているため、ボルトの締め付け具合を調整してしまうと、ボンネットやエンジン上部にある部品の破損や、走行時の異音が発生する原因となるおそれがあります。
- 点検整備の詳細については、別冊のメンテナンスノートをお読みください。

ボンネットの開けかた、閉めかた

警告

- 走行前、ボンネットが確実に閉まっていることを、必ず確認する。

⚠ 警告

両側ともロックされていないと、走行中にボンネットが開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- 風が強いときは、ボンネットをしっかり持ってゆっくりと開ける。

- ステアを持つときは、必ず操作部を持つ。

エンジン停止直後はステアが高温になることがあるため、やけどをするおそれがあります。

- ボンネットを開けたときは、ボンネットに頭などをぶつけないよう注意する。

- ラジエーターなどの高温部には触れない。

やけどをするおそれがあります。

- ボンネットを閉めるときは、手などを挟まないように注意して降ろす。

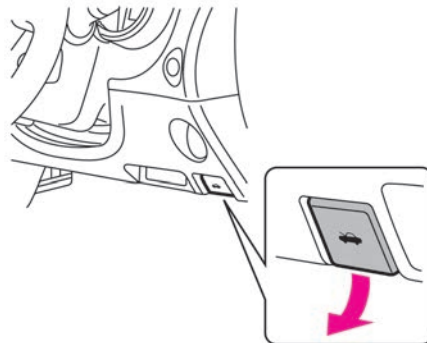
- ポップアップエンジンフードが作動したときは、フードオープナーを引かない。

フードオープナーを引くと、さらにフードが上がり視界の妨げとなるため危険です。また、フードを無理に押し戻さないでください。手動では下げることができないため、フードが変形したり、思わぬケガをするおそれがあります。ポップアップエンジンフードが作動したときは、必ず日産販売会社にご相談ください。

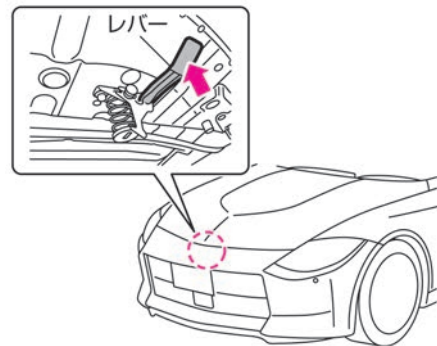
🚗 アドバイス

- ワイパーアームを起こしたままボンネットを開けないでください。ボンネットやワイパーを損傷します。
- ボンネットを閉めるときに、ボンネットに体重をかけて強い力で押すと、ボンネットがへこむおそれがあります。

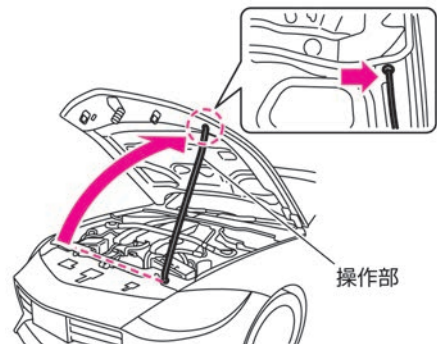
1. 運転席の右下にあるオープナーを引くと、ボンネットが少し浮き上がります。



2. ボンネット先端のすき間に手を入れ、レバーを押し上げながらボンネットを持ち上げます。



3. ステアの操作部を持ってフックから外し、ボンネット裏側の穴（ステア差し込み位置）に確実に差し込みます。



4. 閉めるときはステアをフックに戻し、ボンネットを20cm～30cmの高さまでゆっくり降ろしてから、手を離して落としてロックします。ロックできなかったときは、レバーを操作

点検と整備

してボンネットをもう一度持ち上げてから再度落としてください。ボンネットを上から押して閉めようとししないでください。

ウォッシャー液の補給

ウォッシャー液が不足しているときは、ウォッシャー液を補給してください。

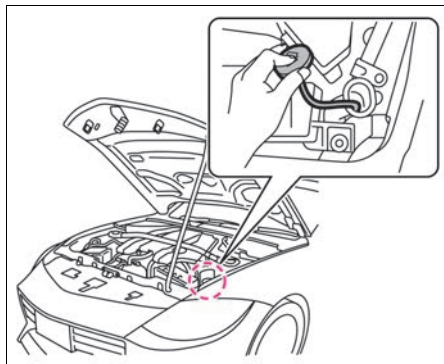
補給のしかた

⚠ 注意

- ウォッシャー液を補給するときは、液を高温部にかけない。
出火するおそれがあります。

🚗 アドバイス

- ウォッシャー液の代わりに石けん水などを入れないでください。塗装面がしみになるおそれがあります。



- ウォッシャータンクのふたの穴を押さえて引き抜くと、スポイト式にウォッシャー液の残量が確認できます。
- ウォッシャー液の残量を確認したとき、ウォッシャー液がチューブ下端にしか入らないと、ウォッシャータンクはほぼ空の状態です。
- 日産純正ウインドウォッシャー液をおすすめします。
👉 ウォッシャー液 (P.280)
- 減っているときは、ウォッシャータンクのふたを外し、ウォッシャー液を補給してください。
- ウォッシャー液は、必要に応じ水で薄めてください。希釈割合はウォッシャー液の容器に表示してある凍結温度を参考にします。

寒冷時の取り扱い

寒冷時に備えて、準備や点検などを正しく行ってください。

冬の前の準備

■ 冷却水の濃度点検

- 冷却水の凍結を防ぐため、冷却水の濃度を点検してください。

冷却水の濃度	凍結温度
30%	約-15℃
50%	約-35℃

- 冷却水を補充・交換するときは、日産純正スーパーロングライフクーラント（50%希釈品）をお使いください。

👉 エンジン冷却水 (P.279)

👉 インタークーラー冷却水 (P.280)

🚗 アドバイス

- 冷却水の点検・補充・交換は日産販売会社にご相談ください。

■ バッテリーの液量、比重の点検

- 別冊のメンテナンスノートをお読みください。
バッテリーの搭載位置 (👉 P.256)

■ 冬用タイヤ、タイヤチェーンの準備

- 冬用タイヤに交換するときは、4輪とも指定サイズで同一の銘柄、パターン（溝模様）のものに交換してください。
- タイヤチェーンは、タイヤサイズにあった日産純正品をおすすめします。

■ ウォッシャー液の濃度点検

- ウォッシャー液の凍結を防ぐため、ウォッシャー液の容器に記載してある凍結温度を参考に外気温に応じた希釈割合（濃度）にしてください。

運転する前に

⚠ 警告

- ルーフに積もった雪は落とす。

⚠ 警告

窓ガラスに雪が滑り落ちると視界の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

🚗 アドバイス

- ドアなどの開閉部分を無理に開けないでください。ゴムがはがれたり損傷したりするおそれがあります。
- ワイパー、ドアミラー、パワーウィンドーなどを無理に動かさないでください。装置が損傷するおそれがあります。
- ドアのキー穴部には、お湯をかけないでください。凍結するおそれがあります。

📖 知識

- 外気温が低く、エンジン冷却水温が低いときは、暖房性能を確保するためエンジン回転数が上昇することがあります。

状況に応じて次のことを行ってください。

- ドアやワイパーなどが凍結したときは、無理に開けたり動かしたりせず、凍った部分にお湯をかけて氷を溶かしてください。溶けたらすぐに水分をふき取ってください。
- 寒冷時にドアミラーが正常に作動しない場合は、ドアミラー内部が凍結している可能性があります。無理に動かしたりせず、ドアミラー本体にぬるま湯をかけて

凍結を溶かしてください。溶けたらすぐに水分をふき取ってください。

- ガラスに雪や霜が積もっているときは、プラスチックの板などを使って、ガラスを傷つけないように雪を取り除いてください。
- 足まわり（ブレーキ周辺、フェンダーの裏側など）が凍りついているときは、部品を破損しないように注意しながら、付着した氷塊を取り除いてください。
- 車室内に乗り込むときは、靴についた雪を取り除いてください。

雪道の走行のしかた

■ 滑りやすい路面に注意

- 滑りやすい路面での急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドルなど無理な運転は危険ですのでしないでください。雪道や凍結路では速度を落とし、車間距離を取り、ゆとりある運転をしてください。
- 雪道、凍結路では早めに冬用タイヤ、タイヤチェーンなどを装着して走行してください。

➡ タイヤチェーンについて (P.264)

➡ タイヤ空気圧警報システムについて (P.262)

■ 走行中の雪の付着に注意

- ブレーキに付着した雪が凍結し、ブレーキの効きが悪くなることがあります。ときどきブレーキの効き具合を確認してください。効きが悪いときは、前後の車との距離を十分とり、低速走行で効きが回

復するまでブレーキペダルを軽く踏んでください。

- フェンダーの裏側に付いた雪が積もり、ハンドルの切れが悪くなる場合があります。ときどき確認して雪を取り除いてください。

■ 駐車するときの注意

- オートマチック車はシフトポジションを **P**、マニュアル車は上り坂では1速、下り坂ではRにして、パーキングブレーキをかけずに輪止めをしてください。パーキングブレーキをかけると、ブレーキが凍結して解除できなくなるおそれがあります。
- フロントグリルを風が吹いてくる方向に向けて駐車しないでください。エンジンルームに雪が入ったりエンジンが冷えて始動しにくくなります。
- 軒下や樹木の下には駐車しないでください。落雪で車が損傷するおそれがあります。
- 雪が降りそうなときや降雪時にはワイパーアームを起こしておいてください。ブレードと窓ガラスが凍結し、破損するおそれがあります。

タイヤ

タイヤが摩耗・損傷していたり、適正な空気圧でないと、安全な走行ができず乗り心地も損なわれます。

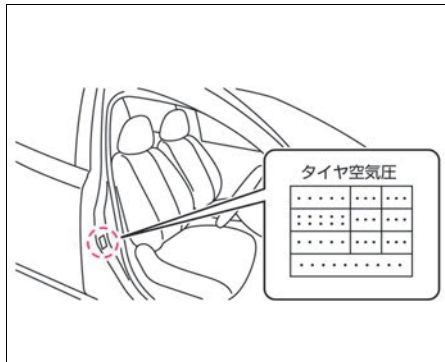
日常的に点検を行ってください。

タイヤの点検項目

安全な走行のため、タイヤの点検は次の項目を点検してください。

詳細は別冊のメンテナンスノートをお読みください。

タイヤ空気圧



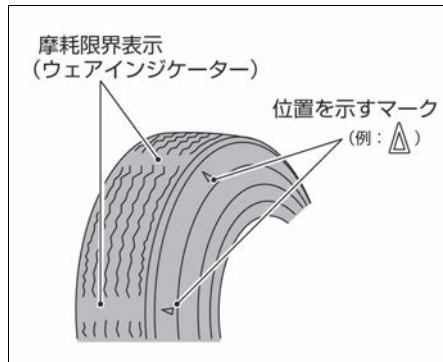
- すべてのタイヤの空気圧を点検してください。
- タイヤの指定空気圧は運転席ドアの開閉部に表示してあります。
- タイヤ空気圧の調整後は、必ずタイヤ空気圧警報システムのリセット操作をしてください。リセット操作後、メーター内のタイヤ空気圧警告灯〔(!)〕と警告表示が消灯します。
- ➡ タイヤ空気圧警報システムについて (P.262)
- タイヤの空気は自然に少しずつ低下します。月に一度はタイヤエアゲージを使用して点検してください。

- タイヤ空気圧の点検は、走行前のタイヤが冷えているときに点検・調整してください。
- タイヤ側面の厚みが薄いタイヤは、空気圧が減っていることを目視で確認することが困難なため、必ずタイヤエアゲージを使用して点検してください。
- 走行直後はタイヤ空気圧が約1割上がることがあります。

タイヤの亀裂・損傷の有無

- タイヤの接地面や側面に著しい亀裂や損傷および針などの異物が刺さっていないか点検してください。

タイヤの溝の深さ、異常な摩耗



- タイヤの溝の深さが十分であるか、ウェアインジケーター（摩耗限界表示）が表れていないか点検してください。
- タイヤが摩耗して接地面とウェアインジケーター（摩耗限界表示）が同じ高さになったらタイヤを交換してください。

タイヤ・ロードホイールを交換するときは

- タイヤ交換をするときは、日産販売会社にご相談ください。
- タイヤサイズは運転席ドア開口部のタイヤ空気圧表示を参照してください。
- タイヤやロードホイールを交換するときは、この車両専用のタイヤおよびロードホイールに必ず交換してください。タイヤ空気圧警報システムが正常に作動しなくなるおそれがあります。ロードホイールのサイズは巻末のサービスデータに記載してあります。
- タイヤまたはロードホイールを交換したときは、必ずタイヤ空気圧警報システムのリセット操作をしてください。
- ➡ タイヤ空気圧警報システムについて (P.262)

🚗 アドバイス

- ロードホイールは、リムサイズやインセットが同じでも、他の車のものは使えない場合があります。お手持ちのものをご使用になるときは、日産販売会社にご相談ください。
- アルミホイールには荷重制限がありますので、交換するときは日産販売会社にご相談ください。
- タイヤやロードホイールを交換したときは、ホイールバランスを確実に取ってください。

アドバイス

- バルブキャップは日産純正品を使用してください。日産純正品以外のバルブキャップを使用すると腐食して固着し、外れなくなる場合があります。
- バルブキャップは工具などを使用して締め付けると、破損するおそれがあります。
- ホイールナットの締め付けトルクは、108N・m (11kg・m) です。

タイヤ空気圧警報システムについて

- タイヤ空気圧センサーが付いていないロードホイールを装着すると、タイヤ空気圧警告灯 [(!)] が約1分間点滅後、点灯します。元のタイヤ空気圧センサーが付いているロードホイールを取り付けたあとは、必ずタイヤ空気圧警報システムのリセット操作をしてください。リセット操作後、タイヤ空気圧警告灯は消灯します。
 - 新しいタイヤ空気圧センサーを取り付けた場合は、専用のIDコードを登録する必要があります。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。
- ➡ タイヤ空気圧警報システム (P.262)**
- タイヤ空気圧センサーのシールゴム、コア、キャップはセンサーの付け替えと一緒に交換してください。シールゴムが摩擦などで劣化すると、タイヤのエア漏れの原因となります。

- タイヤ空気圧の確認や調整をするときは、バルブを曲げないでください。バルブや空気圧センサーを破損するおそれがあります。
- バルブキャップを正しく取り付けてください。バルブキャップがないと、バルブや空気圧センサーを破損するおそれがあります。
- ホイールを保管するときや、ホイールに別のタイヤを取り付けるときは、バルブや空気圧センサーを傷つけないように注意してください。

タイヤローテーションのしかた

- この車は前輪と後輪でタイヤサイズ、またはホイールのリムサイズやインセットが異なるため、タイヤの位置交換はできません。

タイヤに関する注意事項

警告

- **タイヤの空気圧が不足したまま走行しない。**
気温や高度の変化により、タイヤの空気圧は変化します。タイヤの空気圧が不足したまま走行すると、バースト（破裂）するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- **タイヤ空気圧警報システムのリセット操作後も警告灯が点灯する場合は、日産販売会社で点検を受けてください。**

注意

- **5～7年を目安に必ず点検する。**
タイヤはゴム製品のため、徐々に劣化します。引き続き使用する場合は安全走行を確保するため、必ず点検を受けてください。点検については日産販売会社へご相談ください。
- **指定サイズ以外のタイヤ・ロードホイールは絶対に取り付けない。**
不適合なタイヤ・ロードホイールを取り付けると、安全性が損なわれ、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- **タイヤを交換するときは4輪とも同時期に行い、必ずこの車両専用のタイヤを取り付ける。**
径が異なるタイヤを装着すると車の機構に無理がかかり、重大な故障につながります。また、VDCシステムが正常に作動しないことがあります。次のようなタイヤの装着はしないでください。
 - 摩耗差の大きいタイヤの装着
 - 前輪または後輪だけに冬用タイヤを装着
 - サイズや種類の異なるタイヤを個々に装着
- **著しく摩耗差のあるタイヤや空気圧が規定値と著しく異なるタイヤを装着しない。**

⚠ 注意

車の性能が十分に発揮できなくなり、安全性を損なったり故障の原因になります。

タイヤ空気圧警報システム

タイヤ空気圧警報システムは、タイヤ空気圧が不足していることを知らせるシステムです。

タイヤ空気圧警報システムについて

⚠ 警告

- **タイヤ空気圧警告灯〔(!)〕が点灯し、警告が表示されたときは、安全な場所に停車し、タイヤを確認する。**

放置して走行し続けると、タイヤがバースト（破裂）したり思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- **タイヤ空気圧警告灯〔(!)〕が約1分間点滅したあとに点灯を続けたときは、日産販売会社で点検を受けてください。**
- **パンク修理剤を使用する場合は、日産純正品を使用する。**

- 25km/h以上で走行したときに、作動します。
- タイヤ空気圧が低下すると、メーター内のタイヤ空気圧警告灯〔(!)〕が点灯し、警告を表示します。

- 4輪すべてのタイヤ空気圧を正しく調整したあと、必ずタイヤ空気圧警報システムのリセット操作をしてください。リセット操作後、タイヤ空気圧警告灯〔(!)〕（➡P.228）と警告表示（➡P.240）が消灯します。

- 気温や高度の変化により、タイヤの空気圧が減少し、タイヤ空気圧警報システムが作動する場合があります。

- バースト（破裂）や急激な空気圧低下をした場合は、メーター内の警告表示がすぐに作動しないことがあります。

- システムに異常があるときは、タイヤ空気圧警告灯〔(!)〕（➡P.228）が約1分間点滅したあとに点灯を続けます。なお適正な空気圧に設定しない限り、その後エンジンを始動するたびにこの動作が繰り返されます。

- 走行中にタイヤ空気圧警告灯〔(!)〕が点灯した場合は、急ハンドル・急ブレーキを避け、車速を下げて安全な場所に回避し、できるだけすみやかに停車してタイヤを確認してください。

アドバイス

- タイヤ空気圧警報システムは、日常点検を補助するものです。必ず日常点検でタイヤの空気圧を点検してください。
- タイヤ空気圧が不足すると、燃費悪化やタイヤ寿命の低下、ハンドル・ブレーキ性能に悪影響を与えることがあります。

- タイヤ空気圧センサーは、日本の電波法の認証に適合しています。次のことを必ずお守りください。

- ー 日本国内のみで使用する。
- ー 正しい使用方法以外では使用しない。

- ー 分解や改造はしない。（分解や改造したものを使用することは法律で禁止されています。）

- タイヤ空気圧センサーにはお客さまの車に適合する固有のIDコードが登録されています。他の車のタイヤ空気圧センサーを使用すると、システムが作動しません。

- タイヤを修理・交換するときはタイヤ空気圧センサーの取り付けやIDコードの登録をする必要があるため、日産販売会社へご相談ください。

- 以下の場合は、タイヤ空気圧警報システムが正常に作動しない場合があります。

- ー タイヤ交換後や空気圧調整後に、タイヤ空気圧警報システムのリセットを行っていないとき
- ー タイヤチェーンを装着しているとき
- ー 日産純正品以外のロードホイールを使用したとき
- ー 日産純正品もしくは日産販売会社で購入したタイヤ以外を使用したとき
- ー 近くに同じような無線周波数を使っている施設や器具があるとき

アドバイス

- 車両、特にロードホイールハウスの周りに多くの雪や氷などが付いたとき
- 日産純正品以外の修理剤、または液剤を使用したとき
- タイヤ空気圧センサーのIDコードがシステムに登録されていないとき
- この車両の指定の空気圧センサーが取り付けられていないとき
- タイヤ空気圧センサーが装着されていないホイールを装着したとき
- タイヤ空気圧センサーの電池が消耗したとき
- 窓ガラスに金属性の部品を装着しているとき
- タイヤ空気圧センサーには、車両と通信するための電池が内蔵されています。走行中は、常時車両と通信しているため電池を消耗しており、電池が切れると、タイヤ空気圧警告灯〔(!)〕が約1分間点滅後、点灯します。電池が消耗したときは、日産販売会社にご相談ください。電池単品での交換はできません。
- 凹凸のある道路を走行するときは注意して走行してください。タイヤ空気圧センサーを破損させるおそれがあります。
- 以下の場合は、電波の障害を受けるため正しく作動しない場合があります。

- 近くにテレビ塔や発電所、放送局など強い電波を発生する設備があるとき
- 無線機や携帯電話などの無線通信機器と一緒に携帯しているとき
- 近くで電波式リモートコントロールエントリーを使用しているとき
- 電子機器（パソコンやドライブレコーダーなど）、DC/ACコンバーター、スマートフォン、タブレット、その他の電子機器の充電器が車室内、または車両の近くで使用しているとき
- 近くに本システムと同じような周波数を使っている施設、器具がある場合、または地域にいるとき
- 同じような周波数を使った無線機や器具を使用しているとき
- 電子情報機器を車室内で使用しているとき

- 温度による空気圧の変化や自然に空気圧が減少したときにもタイヤ空気圧警告灯〔(!)〕が点灯しますが、適切な空気圧に調整して消灯すれば故障ではありません。
➡ タイヤの点検項目 (P.260)
- 高速走行時はタイヤ空気圧警告灯〔(!)〕が約1分間点滅したあと点灯することがありますが、減速して消灯すれば故障ではありません。
- 走行するとタイヤ空気圧は指定空気圧よりも上昇しますが、運転後にタイヤ空気圧を下げないでください。

- 外気温が低いとタイヤ内部の空気温度が低下することで、タイヤの空気圧が指定空気圧よりも低下する可能性があります。

タイヤ空気圧警報システムのリセットのしかた

アドバイス

- 以下の場合はタイヤ空気圧警報システムのリセット操作が必要となります。
 - タイヤ空気圧を調整したとき
 - タイヤまたはホイールを交換したとき
 - リセット操作後も警告灯が点灯する場合は、日産販売会社で点検を受けてください。
- タイヤ空気圧警告灯 (➡ P.228)

1. 安全な場所に停車します。
2. パーキングブレーキをかけ、オートマチック車はシフトポジションをP、マニュアル車はシフトポジションをNにします。
3. 4輪すべてのタイヤを指定の空気圧に調整し、タイヤエアゲージを使用して確認します。
4. ブレーキペダルを踏まずに<エンジンスイッチ>を押して、電源ポジションをONにします。エンジンは始動させないでください。
5. アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定〔⚙〕⇒[TPMS設定]⇒[TPMSリセット]を選択

し、ステアリングスイッチの<OK>スイッチを押すとリセット画面が表示されます。[はい]を選択し、再度ステアリングスイッチの<OK>スイッチを押すとタイヤ空気圧警報システムのリセットを開始します。

6. リセット操作後、タイヤ空気圧警告灯〔!〕と警告表示が消灯します。その後、25km/h以上で走行することでデータが更新されます。

冬用タイヤ・タイヤチェーン

雪道や凍結した道路を走行するときは、冬用タイヤやタイヤチェーンを装着してください。

冬用タイヤについて

⚠ 注意

- **タイヤチェーンを不適正に装着したり、タイヤサイズに合わないものを使用しない。**
ブレーキ配管やフェンダーなどを破損するおそれがあります。
- 冬用タイヤを装着するときは、4輪とも指定サイズで同一の銘柄、パターン（溝模様）のものに交換してください。

タイヤチェーンについて

アドバイス

- タイヤチェーンを装着すると、アルミホイールに傷をつけるおそれがあります。
- 雪のない舗装路ではチェーンを装着したまま走行しないでください。路面を損傷したり、チェーンの摩耗を早め、寿命が短くなります。
- タイヤチェーンを装着しているときは、突起しているところや穴の上を走行しないでください。また、急ハンドルやタイヤがロックするようなブレーキ操作をしないでください。

タイヤチェーンを装着するときは、次のことを守ってください。

- タイヤチェーンを装着するときは、安全に作業できる平坦な場所に停車し、電源ポジションをOFFにして作業してください。
- パーキングブレーキをかけエンジンを止めます。さらに、非常点滅表示灯を点滅させ、必要に応じて停止表示板（または停止表示灯）を置きます。

18インチタイヤ装着車

- タイヤチェーンは必ず後2輪に装着してください。
- お客さまのタイヤサイズに合ったタイヤチェーンでも使用できない場合があります。タイヤチェーンはお客さまの車に適合した日産純正品をおすすめします。適合するタイヤチェーンについては日産販売会社にご相談ください。

- タイヤチェーンに付属の取扱説明書に従って装着してください。
- タイヤチェーンに付属の取扱説明書で指定された速度で走行してください。

19インチタイヤ装着車

- 19インチタイヤにはタイヤチェーンを装着することはできません。冬用タイヤやその他タイヤ滑り止めについては、日産販売会社にご相談ください。

ワイパー

ワイパーゴムが傷んでいると、きれいにふき取れなかったり、窓ガラスを傷つけたりします。

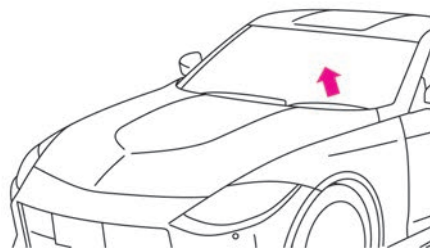
定期的に点検し、傷んでいるときは次の手順に従って交換してください。

ワイパーブレードの交換のしかた

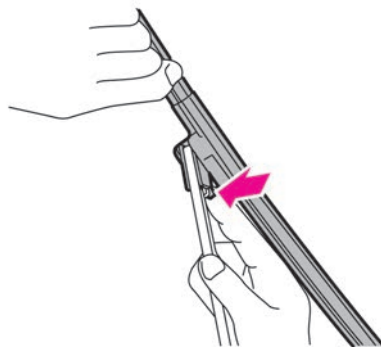
アドバイス

- 交換するときは、ワイパーアームおよびワイパーブレードがガラスに当たらないよう気をつけてください。ガラスに当たるとガラスが破損するおそれがあります。
- ワイパーブレードに大きな力を加えて変形させないでください。ふき取りにくくなったり、破損するおそれがあります。

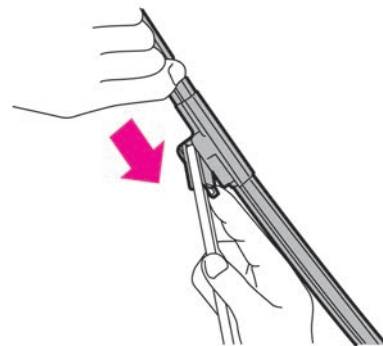
1. ワイパーアームを起こし、ワイパーブレードを少し傾けます。



2. ワイパーブレードのツメを押したままにします。



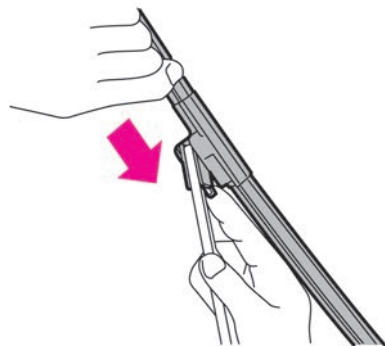
3. ワイパーブレードを矢印の方向に動かして取り外します。



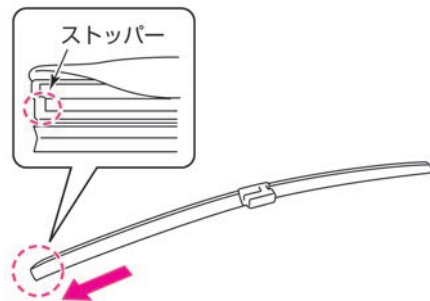
4. 新しいワイパーブレードを取り付けます。取り付けは取り外したときと逆の手順で行い、ワイパーブレードが確実に固定されていることを確認します。

ワイパーゴムの交換のしかた

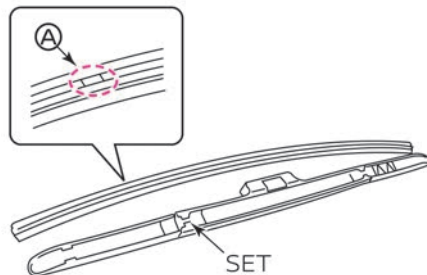
- ワイパーゴムに石けん水を塗ると脱着しやすくなります。
1. ワイパーアームからワイパーブレードを取り外します。



2. ワイパーゴムを矢印方向にスライドし、取り外します。



3. 取り付けるときは、取り外したときと逆の手順で行います。ワイパーゴムのストッパーがない方からブレードに沿って差し込みます。ワイパーゴムのA部をワイパーブレードの「SET」の位置で確実に押し込み、固定します。



インテリジェントキーの電池交換

インテリジェントキーのスイッチを押しても作動しないときは、電池の消耗が考えられます。

次の手順に沿って、電池を交換してください。

電池交換のしかた

⚠ 警告

- 電池および取り外した部品は、お子さまが飲み込まないように注意する。

インテリジェントキーには、ボタン電池が使用されています。誤って電池を飲み込むと、わずか2時間で重度の化学熱傷を引き起こし、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。

新しい電池および取り外した電池は、お子さまの手の届かない場所に保管してください。

- 電池を飲み込んだり、体内に入れたしまった場合は、ただちに医師の診察を受ける。

⚠ 注意

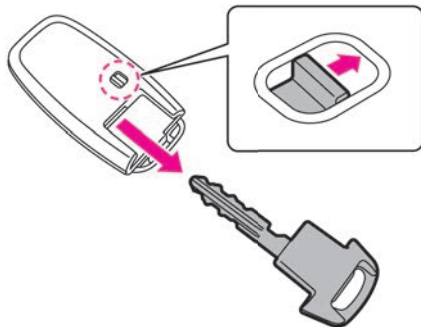
- カバーがしっかりと閉まらない場合は、インテリジェントキーの使用を中止する。

インテリジェントキーをお子さまの手の届かない場所に保管し、すみやかに日産販売会社にご連絡ください。

🚗 アドバイス

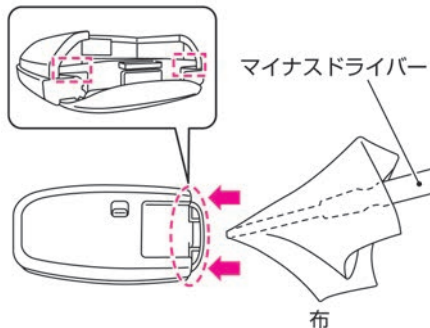
- 電池交換の際、キーを破損するおそれがあります。日産販売会社での交換をおすすめします。
- 内部回路、電子端子などに触れないでください。故障の原因となります。
- 電池交換の際は、必ず同じタイプの電池と交換してください。
- 電池交換後は、キーシステムの各機能が正常に作動するか必ず確認してください。正常に作動しないときは故障が考えられますので、日産販売会社にご相談ください。

1. キー裏側のロックを外しながら、内蔵キー（メカニカルキー）を引き抜きます。

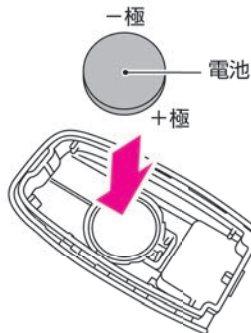


2. 左右のすき間にマイナスドライバーを差し込み、ひねってカバーを取り外します。（カバーが傷つかないように、

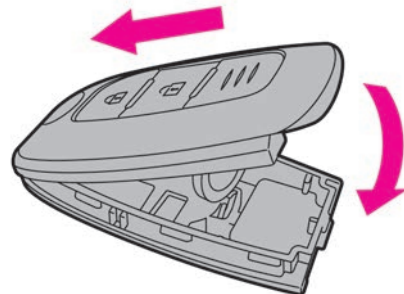
に、マイナスドライバーに布を巻いてください。）



3. 消耗した電池を取り外し、新しい電池をはめ込みます。（新しい電池は、+ 極を下にして取り付けてください。）
使用電池：CR2032



4. カバーの先端を合わせて上下のカバーを組み付けます。確実に取り付けられたことを確認してください。



バッテリー

バッテリーのメンテナンスについては、メンテナンスノートをお読みください。詳しくは日産販売会社にご相談ください。

バッテリーに関する注意事項

⚠ 警告

- バッテリーを充電するときは換気を十分に行い、火気は近づけない。
バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあります。
- バッテリー液が付着したときは、すぐに多量の水で洗浄し、飲み込んだときは多量の水を飲んで応急処置をしたあと、医師の診断を受ける。

⚠ 警告

バッテリー液は希硫酸です。目や皮膚に付着すると、失明や炎症など重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- バッテリーの⊕側ターミナルが周辺の金属と接触しないようにする。
接触するとショートして火災の原因となるおそれがあります。また、バッテリーの端子の締め付けが緩いと、配線などが過熱、焼損し、火災につながるおそれがあります。
- バッテリーを交換するときは、必ず同じサイズ（型式）に交換し、動かないようにしっかりと固定する。
しっかり固定できていないと、ショートなどの原因となり火災につながるおそれがあります。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

エンジンオイル

エンジンオイルの交換時期は別冊のメンテナンスノートをお読みください。
また、指定のエンジンオイルについては、巻末のサービスデータ（➡P.277）をお読みください。

エンジンオイルに関する注意事項

⚠ 注意

- オイルの点検後は、オイルレベルゲージを確実に差し込む。
オイルレベルゲージが根元まで差し込まれていないと、オイルが噴き出し火災の原因になるおそれがあります。
- エンジンオイルフィラーキャップは確実に閉める。
走行時にキャップが外れてエンジンオイルが噴き出すと、火災の原因になるおそれがあります。

アドバイス

- 適切にオイル交換が行われないと、エンジンの破損や火災など、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ディスクローター

ディスクローター交換について (NISMO仕様車)

次のような場合、ディスクローターの交換が必要です。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

- ディスクローター表面に亀裂（特に冷却孔部4mm以上など）があり交換基準に達していた場合
- ディスクローター表面の反りや荒れ、深さ0.2mm以上のレコード溝などが発生し、交換基準に達していた場合

- 制動時にブレーキジャダーが発生している場合など

外装のお手入れ

塗装面の変色やサビなどを防止するために、適切なお手入れが大切です。

洗車のしかた

- 塗装面に付着した汚れをそのままにすると、変色やサビの原因となります。次のような場合は、すぐに洗車してください。
 - ばい煙、虫の死がいや鳥のふん、樹液、鉄粉、コールトールなどが付着したとき
 - 海岸地区、凍結防止剤を散布した道路を走行したあと
 - ほこり、汚れがひどいとき

■ 水洗いするときは

- 水をかけながら下回りの汚れを洗い流します。
- 水をかけながら塗装面の高い位置から低い位置の順にセーム皮や柔らかいスポンジなどで汚れを落とします。汚れがひどいときは、ボディシャンプーなどを使い、その後十分に水で洗い流します。
- はん点が残らないように水をふき取ります。

洗車時の注意



注意

- 下回りを洗うときは、ケガをしないように注意する。
- エンジンルームを水で洗ったり、洗剤やワックスなどを直接スプレーしたりしない。

エンジンの始動不良や不調などの原因になるおそれがあります。また、電装品などに水がかかると、故障したり電気部品のショートにより車両火災につながるおそれがあり危険です。

水や洗剤、ワックスなどの製品、もしくはその他シリコンを含む製品を使用する場合は、布に塗布してからエンジンルームをふいてください。



アドバイス

- ケミカル用品などは用途により使い分けが必要です。用途にあった物をお使いください。
- ベンジン、シンナーなどの有機溶剤や酸、アルカリ性の溶液を使用しないでください。変色やしみの原因となります。
- 硬いブラシや、たわしなどは使用しないでください。塗装面を傷つけるおそれがあります。
- 寒冷時に洗車をするときは、ブレーキに直接水がかからないように注意してください。ブレーキ装置に水が入ると凍結し、走行できなくなるおそれがあります。
- 洗車をするときに、車体に体重をかけるなどして、強い力で押したときに、場所によっては車体がへこむおそれがあります。

洗車機を使うときは

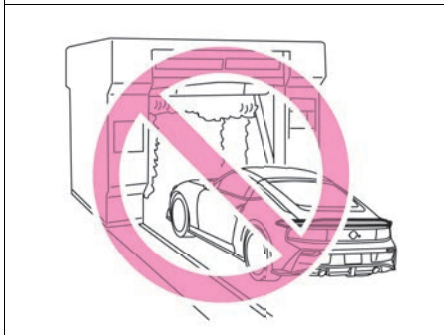
- ドアミラーを格納してください。
➡ [ドアミラーの格納のしかた \(P.100\)](#)
- 燃料補給口を完全に閉めてください。
燃料補給口の開閉 (➡ P.103)
- 高圧洗浄機を使用するときは、高圧ノズルと車体の距離を十分離して洗車してください。高圧ノズルを近づけすぎると、モールなど樹脂部分やシール材などが変形、損傷したり、塗装の劣化を早めたりすることがあります。



アドバイス

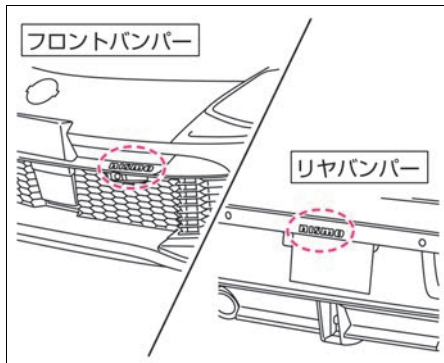
- 自動洗車機で洗車すると、ブラシの傷がつき、塗装の光沢が失われたり劣化を早めたりすることがあります。
- ドアガラスのまわりに高圧ノズルを近づけないでください。車室内に水が漏れるおそれがあります。
- アンダーカバーを外した状態で高圧洗浄機を使用しないでください。電気部品の故障などの原因になるおそれがあります。
NISMO仕様車は、➡ [NISMOエンブレムのお手入れ \(NISMO仕様車\) \(P.270\)](#)を参照してください。
- NISMO仕様車は、自動洗車機を使用しないでください。洗車機を使用すると、リヤスポイラーが破損するおそれがあります。

🚗 アドバイス



NISMOエンブレムのお手入れ (NISMO仕様車)

- 高圧洗浄機を使用するときは、NISMOエンブレムのまわりに高圧ノズルを近づけないでください。NISMOエンブレムがはがれるおそれがあります。



ワックスをかけるときは

- ワックスがけは1か月に1回程度、または水はじきが悪くなったときに行ってください。かけかたは普通塗装車、メタリックおよびパール塗装車とも同じです。

ワックスのかけかた

- ① 塗装面の汚れを洗車などで取り除きます。
- ② 塗装面が冷えているとき（体温以下が目安）にワックスをかけます。かけかたはワックス容器に記載してある説明に従ってください。

ワックスの選びかた

- コンパウンド（研磨剤）の入っていない、塗装に適したワックスをご使用ください。日産純正カーワックスをおすすめします。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

🚗 アドバイス

- 塗装されていないバンパー、スポイラー★などの樹脂部品には、ワックスを使用しないでください。ムラになることがあります。
- コンパウンド（研磨剤）の入ったワックスを使うと、塗装面の光沢や水をはじく特性が失われることがあります。
- カメラのレンズ部にワックスを付けないでください。ワックスが付いた場合は、中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませ、ふき取ってください。

- ドアミラーの鏡面に撥水剤を塗布しふき残した場合、白いくもりが残る可能性があります。

アルミホイールのお手入れ

- 中性洗剤を含ませたスポンジなどを使い、汚れを落としてください。日産純正クリーナーをおすすめします。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

🚗 アドバイス

- 変色やしみの原因になったり、傷をつけたりするおそれがあるため、次のことをお守りください。
 - 強酸性、強アルカリ性の洗剤は使用しない
 - 洗剤はホイールの表面が冷えているときに使用する（体温以下が目安）
 - 洗剤を使用したあとは、早めに十分洗い流す
 - 硬いブラシやコンパウンド（研磨剤）の入った洗剤などは使用しない

軽い補修のしかた

- フロントバンパー、リヤバンパーのレーダーセンサー周辺以外は、塗装面の小さい傷はタッチアップペイントを使い、早めに傷部を補修してください。サビの発生を防ぎ、塗装面を長持ちさせます。
- フロントバンパー、リヤバンパーのレーダーセンサー周辺はタッチアップペイン

清掃・お手入れ

ト含め塗装修理はできません。塗装する場合は日産販売会社にご相談ください。

➡ レーダーセンサーの取り扱い
(P.272)

レーダーセンサー/カメラ類の取扱 注意

⚠ 警告

- センサー、カメラ部に強い衝撃を与えない。

精密機器のため高圧洗車など、強い衝撃を与えないでください。故障、火災、または感電のおそれがあります。

- レーダーセンサーの技適認証について

以下の装置は日本の電波法（電波法）に基づいて認可されています。本製品の改造は禁止されています。（適合証明番号などが無効となります。）



フロントレーダー



サイドレーダー

⚠ 注意

- フロントバンパー、リヤバンパーのレーダーセンサー周辺に誤った塗装修理を行うと、本来の機能を発揮できなくなる可能性があります。

適切な修理を行うため、日産販売会社にご相談ください。

🚗 アドバイス

- カメラレンズ部に泥、雨滴、雪などが付着すると、モニター画像の映りが悪くなりますので、濡れた柔らかい布で汚れをふき取ったあと、乾いた柔らかい布でふき取ってください。
- カメラ部には傷をつけないでください。映像へ影響が出ることがあります。
- カメラレンズをアルコール、ベンジン、シンナーなどでふかないでください。変色などの原因になります。

バンパーの修理

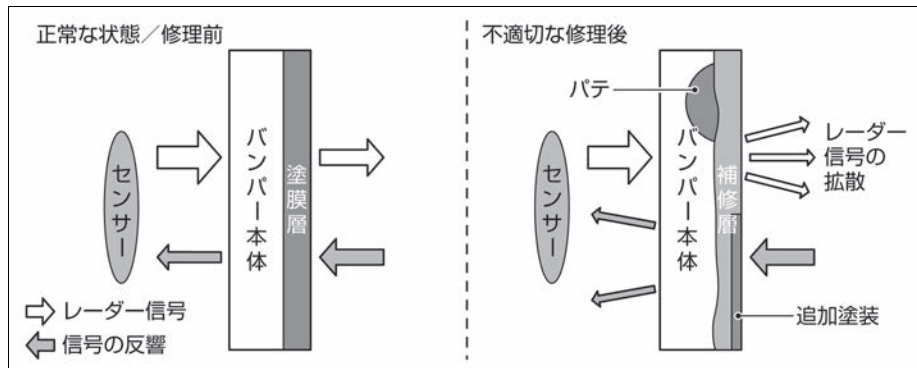
バンパーにはレーダーセンサーが内蔵されているため、修理には細心の注意が必要です。

■ レーダーセンサーの仕組み



レーダーセンサーからレーダー信号を発生させ、その信号の反響により障害物を検出します。

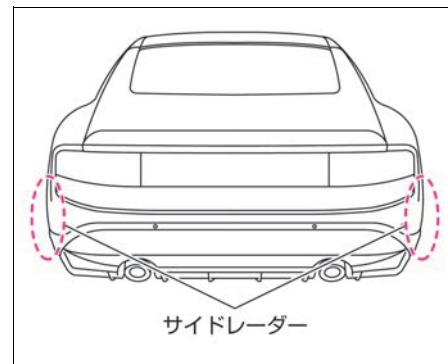
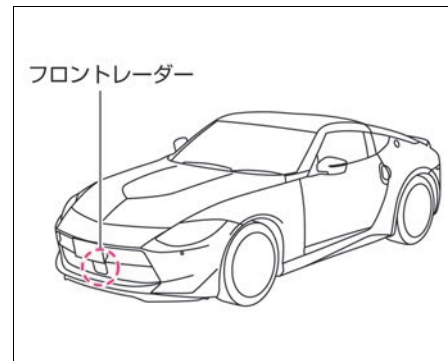
■ バンパーの修理



不適切なバンパー修理（異なる素材のパテ使用や追加塗装など）を行うと、レーダー信号が弱まったり、正しく発信できなかったりするため、障害物を正しく検出することができなくなります。

レーダーセンサーの取り扱い

システムを正しく作動させるために次のことをお守りください。

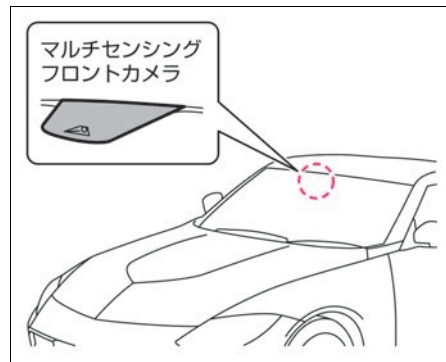


- 以下の状態の場合レーダーセンサーの性能が発揮できない可能性があります。取り付けた部品の除去、洗車、修理、もしくはバンパー交換を推奨します。

- レーダーセンサー周辺へのステッカー貼り付け、後付け部品の取り付け
- お客様の手による補修
- レーダーセンサー周辺の傷つき、鳥糞、虫、泥などの付着
- 衝突などでレーダーセンサー周辺を破損したとき
- フロントバンパー、リヤバンパーを改造、脱着したり、塗装したりしないでください。塗装する場合は日産販売会社にご相談ください。

マルチセンシングフロントカメラの取り扱い

システムを正しく作動させるため、次のことをお守りください。

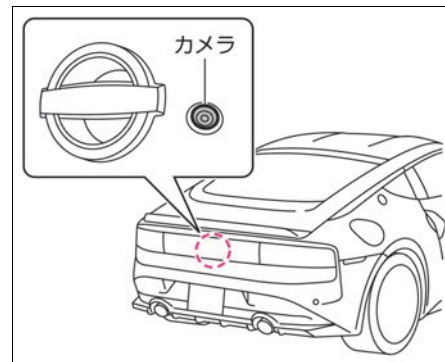


- カメラ前方のフロントガラスはいつもきれいにしておいてください。中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませてふき取ります。さらに乾いた柔らかい布でふき取ります。
- カメラ前方のフロントガラスにステッカー（透明なものを含む）を貼らないでください。
- インstrumentパネル上に鏡や白い紙などの光を反射しやすいものを置かないでください。太陽光が反射し、カメラの検知性能に影響が出るおそれがあります。
- カメラ周辺に強い衝撃を与えないでください。またカメラを取り外さないでください。故障、誤作動の原因になります。事故などでカメラ周辺部が変形した場合は、日産販売会社にご相談ください。

- フロントガラスが汚れていたり、マルチセンシングフロントカメラの前が障害物でふさがれていたり、カメラが前方を撮像できないとき、アドバンスドドライブアシストディスプレイに「ヘッドランプ警告」の警告メッセージ（P.232）が表示されることがあります。カメラの前の障害物を取り除き、汚れを清掃してください。

バックビューモニターカメラの取り扱い

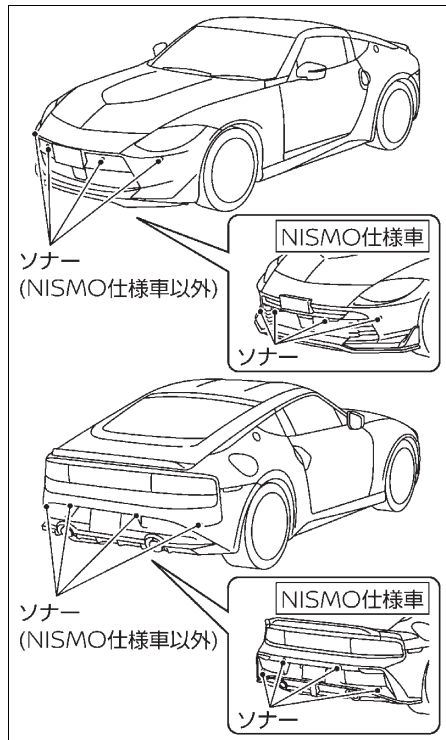
システムを正しく作動させるために、次のことをお守りください。



- カメラ周辺部はいつもきれいにしておいてください。中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませてふき取ります。さらに乾いた柔らかい布でふき取ります。
- 衝突などでカメラ周辺部を破損したときは、日産販売会社で点検を受けてください。

ソナーの取り扱い

システムを正しく作動させるために、以下のことをお守りください。



- ソナーはいつもきれいにしておいてください。汚れているときは、柔らかい布で傷つけないように注意してふき取ってください。

- ソナーまたはその周辺に強い衝撃を与えないでください。またソナーの取り外し、分解などをしてしないでください。故障、誤作動の原因になります。事故などでソナーの取り付け部が変形した場合は、日産販売会社にご相談ください。
- ソナーまたはその周辺にステッカー（透明なものを含む）を貼ったり、アクセサリなどを取り付けしないでください。故障、誤作動の原因になります。

内装のお手入れ

内装のお手入れについて

🚗 アドバイス

- 車室内に水をかけないでください。オーディオやスイッチ類、フロア下の配線や電気部品などに水がかかると故障するおそれがあります。
- ベンジン、シンナーなどの有機溶剤や酸、アルカリ性の溶剤を使用しないでください。変色やしみ、ひび割れ、塗装はがれなどの原因となるおそれがあります。また、各種クリーナー類には、これらの成分が含まれているおそれがあるため、確認してからご使用ください。
- オーディオやスイッチ類などの電装品、ブレーキペダル周りにシリコン（シリコン）を含むケミカル用品（スプレー、グリース、オイルなど）を使用しないでください。電装品の故障につながるおそれがあります。

- 消臭剤・芳香剤、化粧品・日焼け止めなどは、容器からこぼしたりしないでください。また、吊り下げタイプの消臭剤・芳香剤などは、内装部品に接触しないようにしてください。含まれる成分によっては、内装部品に付着すると変色やしみ、ひび割れ、塗装はがれなどの原因となるおそれがあるため、付着した場合は、すみやかに柔らかい布でふき取ってください。
- 塩素系（二酸化塩素や次亜塩素酸）の洗浄液を使用しないでください。塗装はがれやサビなどの原因となるおそれがあります。やむをえず洗浄（除菌）する場合は、エタノール75%以下をご使用ください。エタノールを乾いた布に含ませ、内装部品をふいてください。エタノールがなくなるまでふき取ってください。ふき残しがあると塗装はがれや色落ちなどの原因となるおそれがあります。エタノールは、引火性ですので、火気に注意してください。
- 内装部品を固いもので擦ったり引っかいたりしないでください。傷がつき、破損するおそれがあります。

カーペットの汚れ取り

- 電気掃除機でほこりを取り除き、日産純正ルームクリーナーなどで汚れを落としてください。フロアカーペットを取り外したときは、敷き直すときにフロアカーペットがずれないように固定クリップで正しく確実に固定してください。
- ➡ フロアカーペット (P.201)

布、合成皮革の汚れ取り

- 中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませ、軽くふき取ります。さらに水に浸した布を固くしぼってふき取ります。汚れがひどいときは、日産純正ルームクリーナーなどで汚れを落としてください。

スエード調ファブリックシート、ドアトリムのお手入れ★

- ① 柔らかいきれいな布をぬるま湯（約40℃）に浸して、固くしぼります。
- ② スエード部品の汚れた（白っぽくなった）部分を濡らしながら、軽くたたいて汚れを落とします。
- ③ 乾いた柔らかいブラシなどで軽くブラッシングし、毛並みをそろえてください。

🚗 アドバイス

- スエードはデリケートな素材のため、表面を強くこすると傷がついたり変色の原因になります。
- 布はきれいなものを用意し、付着した汚れはそのつど十分に取除いてからご使用ください。
- たたいても汚れが落ちない場合、そのまま作業を続けると、さらに中へゴミが入ってしまい落ちにくくなります。乾燥して固まっている場合は、ブラシで軽くブラッシングして汚れを落としてください。
- お手入れは1か月に1回程度、定期的に行うことをおすすめします。

本革シート★のお手入れ

- 本革シートのお手入れ用品（クリーナーなど）のご購入については、日産販売会社にご相談ください。

通常のお手入れ

- ガーゼなど柔らかい布でふきます。

水溶性の汚れを取るとき

- 柔らかい布をぬるま湯に浸し、固くしぼってからふき取ります。次に乾いた柔らかい布でふきます。

油性の汚れを取るとき

- ① ぬるま湯に中性洗剤を溶かし（濃度2～3%）、柔らかい布に含ませ汚れを取ります。
- ② 真水に浸した布を固くしぼってふき取ります。
- ③ 乾いた柔らかい布でふき、風通しのよい日陰で乾燥させます。

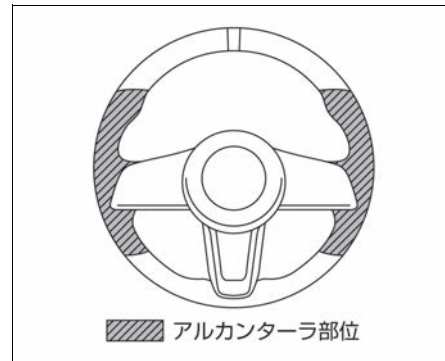
🚗 アドバイス

- 本革シートは、直射日光により変色、変質することがあるため、日よけに心がけてください。
- 本革シートが水などで濡れたときは早めにふき取ってください。皮革が硬化、収縮する原因となります。

アルカンターラ®ステアリングのお手入れ★

- ① 柔らかいきれいな布をぬるま湯（約40℃）に浸して、固くしぼります。

- ② ハンドルの汚れた（白っぽくなった）部分を濡らしながら、軽くたたいて汚れを落とします。
- ③ 乾いた柔らかいブラシなどで軽くブラッシングし、毛並みをそろえてください。



🚗 アドバイス

- アルカンターラ®はデリケートな素材のため、表面を強くこすると傷がついたり変色の原因になります。
- 布はきれいなものを用意し、付着した汚れはそのつど十分に取除いてからご使用ください。
- たたいても汚れが落ちない場合、そのまま作業を続けると、さらに中へゴミが入ってしまい落ちにくくなります。乾燥して固まっている場合は、ブラシで軽くブラッシングして汚れを落としてください。

アドバイス

- お手入れは1か月に1回程度、定期的に行うことをおすすめします。

メーター表面やその他光沢のあるプラスチック部品の汚れ取り

- 塵、ほこりを取り除き、柔らかい布を真水に浸して、固くしぼってから軽くふき取ります。
硬いブラシや布、ティッシュでこすると、傷がつくことがあります。

アドバイス

- 乾いた布やウェットティッシュなどを使用しないでください。傷がついたり、変色したりする原因になります。
- ワックスやコーティング剤、油などが付着した布ではふかないでください。変色の原因になります。

ガラスの汚れ取り

- バックドアガラスの内側を清掃するときは、熱線やアンテナ線を切らないように水を含ませた柔らかい布で熱線にそって軽くふいてください。
- ガラスクリーナー、洗剤などは使用しないでください。

点検値

項目		点検値
補機ベルト	オルタネーター・エアコンコンプレッサー	調整不要※1
ブレーキペダル※2	遊び	2～8mm
	床板とのすき間 エンジン回転中、踏力約490N（50kg）で踏んだとき	125mm以上（NISMO仕様車以外）
		120mm以上（NISMO仕様車）
クラッチペダル（マニュアル車）	遊び	4～12mm
	床板とのすき間 （クラッチが切れたときの高さ）	122mm以上
パーキングブレーキ	引きしろ 約196N（20kg）で引いたとき	6～7ノッチ

※1：補機ベルトは、ベルトオートテンショナー（自動張力調整機構）を採用しており、ベルト張力調整は不要です。

※2：ブレーキが正常に作動しないときは、必ず日産販売会社で点検を受けてください。また、ブレーキペダルの床板とのすき間の調節が必要なときも、日産販売会社にご相談ください。

交換油脂類

お車の性能を適正に保つため、弊社指定銘柄のご使用をおすすめします。指定銘柄以外をお使いになる場合、指定銘柄に相当する品質のものをお使いください。記載の規定量は目安です。実際の量とは異なることがあります。交換時期については別冊のメンテナンスノートをお読みください。

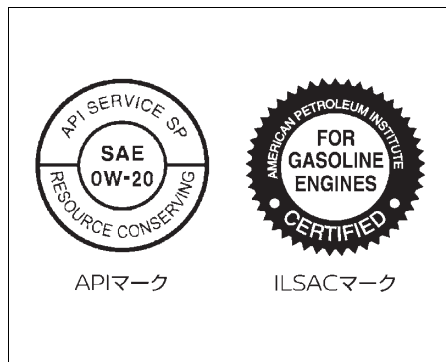
エンジンオイル

適用		規定量（ℓ）	指定銘柄
VR30DDTT	オイルのみ交換	5.1	日産純正SPストロングセーブ・X 0W-20 （API: SP、SAE: 0W-20）
	オイルとオイルフィルター交換	5.3	

■ 指定銘柄以外のエンジンオイルについて

指定銘柄以外をお使いになる場合は、下記に適合したエンジンオイルをお使いください。

グレード：API規格SPをお使いください。ILSACマークのついたものをおすすめします。



APIマーク

ILSACマーク

粘度：0W-20（SAE規格）のものをご使用ください。

オートマチックトランスミッションフルード

適用	規定量 (ℓ)	指定銘柄
オートマチック車	10.0	日産純正マチックフルードP※

※：オートマチックトランスミッションフルードは、指定のマチックフルードを必ずご使用ください。それ以外のフルードを使用すると、オートマチックトランスミッションが破損するおそれがあります。

マニュアルトランスミッションフルード

適用	規定量 (ℓ)	指定銘柄
マニュアル車	3.13	日産純正ミッションオイルGL-4 (API：GL-4、SAE：75W-85)

リヤデファレンシャルオイル

適用	規定量 (ℓ)	指定銘柄
メカニカルLSD無車	1.4	日産純正ハイポイドフルードS1 (API：GL-5、SAE：75W-80)

サービスデータ

適用	規定量 (ℓ)	指定銘柄
メカニカルLSD付車	1.55	日産純正デフロイルハイポイドLSD 80W-90 (API : GL-5、SAE : 80W-90)

ブレーキフルード

適用	規定量 (ℓ)	指定銘柄
全車	-	ブレーキフルード R35スペシャルⅡ※

※：種類が異なるフルードを混ぜて使用しないでください。

クラッチフルード

適用	規定量 (ℓ)	指定銘柄
マニュアル車	-	ブレーキフルード R35スペシャルⅡ※

※：種類が異なるフルードを混ぜて使用しないでください。

エンジン冷却水

適用	規定量 (ℓ)	指定銘柄
オートマチック車 (NISMO仕様車以外)	9.0※1	日産純正スーパーロングライフクーラント※2
オートマチック車 (NISMO仕様車)	10.4※1	
マニュアル車	8.9※1	

※1：リザーバータンクの容量を含みます。

※2：市販されている水漏れ防止剤などの添加剤は冷却水に添加しないでください。冷却水は、日産純正スーパーロングライフクーラントを必ずご使用ください。

サービスデータ

インタークーラー冷却水

適用	規定量 (ℓ)	指定銘柄
NISMO仕様車以外	2.9※1	日産純正スーパーロングライフクーラント※2
NISMO仕様車	3.4※1	

※1：リザーバタンクの容量を含みます。

※2：市販されている水漏れ防止剤などの添加剤は冷却水に添加しないでください。冷却水は、日産純正スーパーロングライフクーラントを必ずご使用ください。

ウォッシャー液

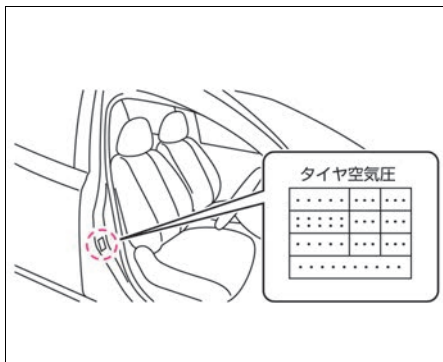
適用	規定量 (ℓ)	指定銘柄
NISMO仕様車以外	4.2	日産純正ウインドウォッシャー液※
NISMO仕様車	2.0	

※：外気温に応じて濃度を調節してください。

車両仕様

タイヤ・ロードホイールサイズ

タイヤサイズ		ロードホイールサイズ		
		リムサイズ	P.C.D.	インセット
245/45R18 100W XL	前輪	18 × 9.0J	114.3mm (5穴)	34mm
245/45R18 100W XL	後輪	18 × 9.0J		15mm
255/40R19 96Y	前輪	19 × 9.5J		40mm
275/35R19 96Y	後輪	19 × 10.0J		30mm
255/40R19 100Y XL	前輪	19 × 10.0J		33mm
285/35R19 103Y XL	後輪	19 × 10.5J		23mm



タイヤの指定空気圧は運転席ドアの開口部に表示してありますので、確認してください。

外装ランプ

- 次の外装ランプはすべてLEDです。
 - 前照灯（ヘッドランプ）
 - 後部霧灯（リヤフォグランプ）
 - デイタイムランニングランプ
 - 車幅灯
 - 番号灯
 - 尾灯
 - 制動灯
 - ハイマウントストップランプ
 - 後退灯
 - 方向指示器 兼 非常点滅表示灯

イベントデータレコーダ（EDR）

車両データの記録・蓄積について

- イベントデータレコーダは一般的なデータレコーダとは異なり、会話などの音声は記録しません。
- 氏名、性別、年齢などの個人情報も記録しません。

この車両に装備されている以下システムの各コンピューターはイベントデータレコーダ機能を備えています。

以下システムの各コンピューターは正常に作動しているかどうかを常に診断し、イベントデータレコーダで車両が衝突したときなどの車両データを記録・蓄積しています。

■ SRSエアバッグシステム

SRSエアバッグシステムが作動したとき、もしくは一定以上の衝突が発生した場合に下記車両データを記録・蓄積します。

- エアバッグシステムの作動に関する情報
- エアバッグシステムの故障診断情報
- アクセルペダル、ブレーキペダル、ハンドルなどの操作状況
- 車速、エンジン回転数などの車両情報

■ ポップアップエンジンフード

ポップアップエンジンフードが作動したときに下記車両データを記録・蓄積します。

- ポップアップエンジンフードの作動に関する情報
- ポップアップエンジンフードの故障診断情報

- アクセルペダル、ブレーキペダル、ハンドルなどの操作状況
- 車速、エンジン回転数などの車両情報

データの扱いについて

日産自動車および日産自動車が委託した第三者は、イベントデータレコーダに記録されたデータを日産自動車の車両衝突安全性の向上を目的として、取得・利用することがあります。

なお、日産自動車および日産自動車が委託した第三者は、取得したデータを次の場合を除き、第三者へ開示・提供することはありません。

- 車両の使用者の同意がある場合
- 裁判所命令など、法的強制力のある要請に基づく場合
- 統計的な処理を行うなど、使用者や車両が特定できないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

車両状態記録機能

車両状態の記録・蓄積について

車両状態記録機能は、下記車両データを記録・蓄積します。

- 車輪速などの車両走行情報

車両状態記録機能

- 車両状態記録機能は一般的なデータレコードとは異なり、会話などの音声や映像は記録しません。

車両状態記録機能は品質維持を目的として、車両の運行状態を記録・蓄積します。

車両状態記録機能から得られたデータを元の的確なサービスを提供することができます。

データの取り扱いについて

日産自動車および日産自動車が委託した第三者は、車両状態記録機能に記録されたデータを日産自動車の車両衝突安全性能の向上を目的として、取得・利用することがあります。

なお、日産自動車および日産自動車が委託した第三者は、取得したデータを次の場合を除き、第三者へ開示・提供することはありません。

- 車両の使用者の同意がある場合
- 裁判所命令など、法的強制力のある要請に基づく場合
- 統計的な処理を行うなど、使用者や車両が特定できないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

3	
3点式シートベルト	P.18
3連サブメーター	
ターボ回転計	P.45
電圧計	P.45
ブースト計	P.45

A	
A/C (エアコン)	
エアコンスイッチ	P.105
エアコンを使うときに注意すること	P.108
オートエアコン	P.105
吹き出し口	P.107
ABS	
ABS	P.135
ABS警告灯	P.46, P.47, P.48

B	
BSW (後側方車両検知警報)	P.168

E	
EDR (イベントデータレコーダ)	P.281
ELR (緊急固定) 付シートベルト	P.18
EPS (電動パワーステアリング)	
警告灯	P.46, P.47, P.48
ETC	N

F	
FCW (前方衝突予測警報)	P.175
L	
LDW (車線逸脱警報)	P.173
LSD (リミテッドスリップデファレンシャル)	P.138

N	
NISMOエンブレム	
お手入れ	P.270

R	
RCTA (後退時車両検知警報)	P.178

S	
SOSコール	P.194
SPORT+モード	P.119
SPORTモード	P.119
SRSエアバッグ	P.21
SRSエアバッグ警告灯	P.46, P.47, P.48
STANDARDモード	P.119
Sモードインジケーター	P.42

U	
USB電源ソケット	N
USB電源ポート	P.199

V	
VDC	
VDC	P.135
VDC OFF表示灯	P.49, P.50, P.51
VDC警告灯	P.46, P.47, P.48
VDCの切り替えかた	P.136
トラクションモード	P.136

ア	
アウターミラー (ドアミラー)	P.99
アクティブ・サウンド・コントロール	P.204
アクティブ・ノイズ・コントロール	P.204
アドバンスドドライブアシストディスプレイ	
アドバンスドドライブアシストディスプレイ	P.54
アドバンスドドライブアシストディスプレイ (ショートカットメニュー)	P.63
各種設定画面	P.71
警告メッセージ	P.62, P.230
車両情報画面	P.55
ステアリングスイッチ	P.63
その他の表示機能	P.79
ホーム	P.55
アラーム (インテリジェントキー)	P.242
アルカンターラステアリング	
お手入れ	P.275
アルミホイールのお手入れ	P.270
アンサーバック機能	P.85

イ	
イベントデータレコーダ (EDR)	P.281

イモビライザー（盗難防止装置）	P.36
イルミネーションコントロール	P.81
インジケーター（表示灯）	P.49, P.50, P.51
インタークーラー冷却水（規定量）	P.280
インテリジェント DA（ふらつき警報）	P.177
インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）	P.175
インテリジェント エマージェンシーブレーキ	
インテリジェント エマージェンシーブレーキ	P.156
インテリジェント エマージェンシーブレーキ警告灯	P.46, P.47, P.48
インテリジェント クルーズコントロール	
インテリジェント クルーズコントロール	P.144
ステアリングスイッチ	P.147
インテリジェントキー	
インテリジェントキーが正常に作動しないとき	P.217
機能・使いかた	P.84
電池が切れたとき	P.218
電池交換のしかた	P.266
ドアの施錠・解錠の作動範囲	P.84
インナーミラー（自動防眩式ルームミラー）	P.99

ウ

ウinker（方向指示器）	P.132
ウインドーガラス（パワーウインドー）	P.101
ウォーニング（警告灯）	P.46, P.47, P.48
ウォッシャー	
ウォッシャー液（規定量）	P.280
ウォッシャー液の補給	P.258
ウォッシャースイッチ	P.134
ウォッシャーの噴霧状態点検	P.208
動けなくなったときは	P.208

運転するときに注意すること	P.15
運転する前に	P.14
運転前の準備	P.14

エ

エアコン	
エアコンスイッチ	P.105
エアコンを使うときに注意すること	P.108
オートエアコン	P.105
吹き出し口	P.107
エアバッグ	
SRSエアバッグ	P.21, P.23
SRSエアバッグ警告灯	P.46, P.47, P.48
SRSカーテンエアバッグ	P.25
SRSサイドエアバッグ	P.25

エンジン

エンジンオイル	P.268, P.277
エンジンオイル量の点検・補給	M
エンジンスイッチ	P.112
エンジンの始動のしかた	P.112
エンジンの停止のしかた	P.113
エンジンの非常停止のしかた	P.114
エンジンルーム	P.256
エンジンルームから蒸気が出ているとき	P.245
エンジンを始動できないときは	P.218
エンジンオイル	P.277
エンジン回転計（タコメーター）	P.41
エンジン型式	S
エンジンスイッチ	P.112
エンジンスイッチでの電源ポジションの切り替えかた	P.113
エンジンのかかり具合、異音点検	M
エンジンの停止のしかた	P.113
エンジンの低速、加速の状態点検	M
エンジン冷却水（規定量）	P.279

オ

応急修理する前に	P.213
オートエアコン	P.105
オートマチックトランスミッションフルード（規定量）	P.278
オートライトシステム（薄暮れ感知「おもいやりライト」機能付）	P.129
オートレバライザー	P.128
オートロック機能	P.85, P.88
オーバーヒート	P.245
お子さまの安全のために	P.30
お子さまを乗せるときに注意すること	P.30
オドメーター（積算距離計）	P.41
音声操作表示	P.80

カ

外気温度表示	P.43
外装のお手入れ	P.269
外装ランプが点灯しないときは	P.248
カギ（インテリジェントキー）	P.84
各種設定画面	P.71
ガソリン	P.103
カップホルダー	P.192
カメラ	
バックビューモニターカメラ	P.273
マルチセンシングフロントカメラ	P.273
ガラスのお手入れ（バックドアガラス）	P.276
寒冷時の取り扱い	P.258

キ

キー	
インテリジェントキー	P.84
インテリジェントキーに関する注意事項	P.85
インテリジェントキーの電池交換	P.266

メカニカルキー	P.84
キー連動室内照明システム	P.85

ク

空気圧 (タイヤ)	P.260, P.280
くもり取り	
デフロスター位置	P.244
リヤウインドーデフォグガー	
スイッチ	P.245
クラクション (ホーン)	P.98
クラッチフルード (規定量)	P.279
クラッチペダルの床板とのすき間	P.277
クリアランスランプ (車幅灯)	
スイッチ	P.128
点灯しないとき	P.248, P.281
車のお手入れ	P.269
グローブボックス	P.191

ケ

警告灯	P.46, P.47, P.48
警告灯がついたときは	P.222
警告メッセージ	P.62, P.230
警告メッセージが表示されたときは	P.230
警報ブザー音別一覧表 (インテリジェント	
キー)	P.242
けん引について	P.209

コ

交換油脂類	P.277
工具	P.253
航続可能距離表示	P.41
後退灯	
点灯しないとき	P.248, P.281

後部霧灯 (リヤフォグランプ)	
スイッチ	P.133
点灯しないとき	P.248, P.281
リヤフォグランプ表示灯	P.49, P.50, P.51
故障したときは	P.208
コンソールボックス	P.191

サ

サービスデータ	P.277
サイドミラー (ドアミラー)	P.99
サイドレーダー	P.272
サンバイザー	P.202

シ

シート	
お手入れ	P.275
チャイルドシート	P.31
パワーシート	P.93
ヒーターシート	P.197
マニュアルシート	P.95
シートベルト	
シートベルト警告灯	P.46, P.47, P.48
シートベルトの着用のしかた	P.18
シートベルトの注意事項	P.19
室内灯	P.190
始動しない	P.218
始動のしかた	P.112
自動防眩式ルームミラー	P.99
シフトアップインジケーター	P.43, P.122
シフトレバー (マニュアル車)	P.120
ジャッキ	
ジャッキ	P.253
ジャッキアップのしかた	P.255

車幅灯	
スイッチ	P.128
点灯しないとき	P.248, P.281
車両型式	S
車両重量	S
車両仕様	P.280
車両状態記録機能	P.282
車両情報画面	P.55
車両寸法	S
ジャンプスタートのしかた	P.220
充電警告灯	P.46, P.47, P.48
収納装備	P.191
乗車定員	S
ショートカットメニュー	
エンハンス表示	P.63
スポーツ表示	P.63
ノーマル表示	P.63
シンクロレブコントロール	
Sモードスイッチ	P.121
シンクロレブコントロール	P.121
心臓ペースメーカーなどをご使用の方の	
注意事項	P.17

ス

水温計	P.41
スイッチの操作	
SOSコールスイッチ	P.194
イルミネーションコントロール	
スイッチ	P.81
ウォッシャースイッチ	P.134
エアコンスイッチ	P.105
エンジンスイッチ	P.112
車内バックドアオープナースイッチ	P.90

ステアリングスイッチ (アドバン スドドライブアシストディ スプレイ)	P.54, P.63
デフロスター位置	P.244
ドアスイッチ	P.88
ドアミラースイッチ	P.99
ドアロックスイッチ	P.89
トリップ切り替えスイッチ	P.41
バックドアオープナースイッチ	P.91
パワーウィンドースイッチ	P.101
パワーウィンドーロックスイッチ	P.101
非常点滅表示灯スイッチ	P.10
ヘッドランプスイッチ	P.128
方向指示器スイッチ	P.132
ライトスイッチ	P.128
リヤウインドーデフォグガースイッチ	P.245
リヤフォグランプスイッチ	P.133
ワイパースイッチ	P.133
水没したときは	P.247
ステアリング (ハンドル)	P.97
ステアリングスイッチ アドバンスドドライブアシスト ディスプレイ	P.54, P.63
インテリジェントクルーズコント ロール	P.147
オーディオ	N
音声操作	N
ショートカットメニュー	P.63
ハンズフリーフォン	N
ステアリングロック (ハンドルロック) ステアリングロック (ハンドル ロック)	P.113
ハンドルがロックしエンジンの始動が できないときは	P.218
スピードメーター (速度計)	P.41
スペアタイヤ	
スペアタイヤ	P.253
パンクしたときは	P.213

スポーツアシストディスプレイ	P.44
スモールランプ (車幅灯) スイッチ	P.128
点灯しないとき	P.248, P.281
セ 制動灯 点灯しないとき	P.248, P.281
設定 (メーター)	P.71
セレクトレバー マニュアルモード	P.116
セレクトレバー (オートマチック車)	P.115
洗車のしかた	P.269
前照灯 (ヘッドランプ) スイッチ	P.128
点灯しないとき	P.248, P.281
先進事故自動通報システム	P.194
センターコンソールボックス	P.191
前方衝突予測警報 (インテリジェント FCW)	P.175

ソ 走行	P.125
走行支援機能	P.139
走行支援グループ	P.61
走行時間アラーム	P.71
速度計 (スピードメーター)	P.41
ソナー ソナー	P.79, P.186
ソナー設定	P.71
ソナーの取り扱い	P.274

タ ターボ回転計	P.45
--------------------------	------

タイヤ TPMS設定	P.263
アルミホイールのお手入れ	P.270
応急修理のしかた	P.213
タイヤ・ホイールを交換するとき	P.260
タイヤ・ロードホイールサイズ	P.280
タイヤ応急修理キット	P.213
タイヤ空気圧警告灯	P.46, P.47, P.48
タイヤ空気圧警報システム	P.262
タイヤチェーンについて	P.264
タイヤの位置交換 (ローテーション)	P.261
タイヤの空気圧	P.260, P.280
タイヤの点検項目	P.260
パンク	P.213
冬用タイヤについて	P.264
タコメーター (エンジン回転計)	P.41
正しい運転姿勢について	P.14

チ チケットホルダー	P.203
チャイルドシート	P.31
チャイルドシート適合表	P.32
着信表示	P.79
駐車支援システム	P.182
駐車 のしかた	P.127
チルト・テレスコピックステアリング	P.97

ツ 通話表示	P.80
------------------------	------

テ 定期点検	M
停車のしかた	P.127
ディスクローター	P.268
低速加速抑制機能	P.162

低速衝突軽減ブレーキ機能.....	P.162
定速制御機能.....	P.153
デタイムランニングランプ	
デタイムランニングランプ.....	P.128
点灯しないとき.....	P.248, P.281
テールランプ（尾灯）	
スイッチ.....	P.128
点灯しないとき.....	P.248, P.281
テールランプ表示灯.....	P.49, P.50, P.51
デフロスター位置.....	P.244
電圧計.....	P.45
点検整備について.....	P.252
電源ソケット.....	P.198
点検値.....	P.277
電制シフト警告灯.....	P.46, P.47, P.48
電池交換のしかた（インテリジェント キー）.....	P.266
電動格納式ドアミラー.....	P.99
点灯しないとき.....	P.248, P.281

ト

ドア	
ドアが開かないときは.....	P.217
ドアスイッチ.....	P.88
バックドア.....	P.90
フロントドア.....	P.88
ドアミラー.....	P.99
ドアミラーヒーター.....	P.100
ドアロックスイッチ.....	P.89
灯火装置（ランプ）の点灯、点滅具合、 汚れ、損傷点検.....	M
盗難防止装置	
イモバイザー.....	P.36
時計.....	P.43
ドライブコンピュータ.....	P.56

ドライブモードインジケータ.....	P.43
ドライブモードセクター	
ドライブモードインジケータ.....	P.43
ドライブモードセクター.....	P.119
トラクションモードインジケータ.....	P.42
トラブルがおきたときは	
インテリジェントキーで始動できない ときは.....	P.218
オーバースピードしたときは.....	P.245
警告灯がついたときは.....	P.222
警告メッセージが表示されたときは.....	P.230
けん引について.....	P.209
故障したときは.....	P.208
水没したときは.....	P.247
点灯しないとき.....	P.248, P.281
ドアが開かないときは.....	P.217
発炎筒.....	P.209
バッテリーがあがったときは.....	P.219
パンクしたときは.....	P.213
ハンドルがロックしエンジンの始動が できないときは.....	P.218
ヒューズが切れたときは.....	P.248
ブザー（警報音）が鳴ったときは.....	P.242
窓ガラスがくもったときは.....	P.244
雪道やぬかるみにはまったときは.....	P.246
トリップメーター（区間距離計）.....	P.41

ナ

内装のお手入れ.....	P.274
ナビゲーションシステム.....	N
ナンバー灯（番号灯）	
スイッチ.....	P.128
点灯しないとき.....	P.248, P.281

ニ

日常点検.....	M
-----------	----------

ネ

燃費情報表示.....	P.56
燃料	
燃料計.....	P.41
燃料タンク容量.....	P.103
燃料補給口.....	P.103
燃料残量警告灯.....	P.46, P.47, P.48

ハ

パーキングブレーキ.....	P.124
パーキングブレーキ	
ブレーキ警告灯.....	P.46, P.47, P.48
パーキングブレーキの引きしろ点検.....	P.277
パーキングブレーキの踏みしろ点検.....	M
パーソナルディスプレイ.....	P.43
排気量.....	S
ハイビームアシスト.....	P.130
ハイマウントストップランプ	
点灯しないとき.....	P.248, P.281
ハザードスイッチ（非常点滅表示灯）.....	P.10
挟み込み防止機構	
パワーウィンドー.....	P.102
発炎筒.....	P.209
バックドア	
バックドア.....	P.90
バックドアオープナースイッチ.....	P.91
バックドアガラスのくもりの取りかた.....	P.245
バックビューモニター.....	P.182
バックビューモニターカメラ.....	P.273

M 「メンテナンスノート」をお読みください。

S 「自動車検査証」をご参照ください。

N 「ナビゲーションシステム取扱説明書」をお読みください。

バックミラー（自動防眩式ルームミラー）	P.99
発進	P.124
バッテリー	
バッテリー	P.267
バッテリー液量の点検・補給	M
バッテリーがあがったときは	P.219
バッテリーセーバー	
ヘッドランプ	P.128
マップランプ	P.190
パドルシフト	P.116
パニティミラー（照明付き）	P.203
パワーウィンドー	P.101
パワーウィンドーが正常に作動しないとき	P.102
パンクしたときは	P.213
番号灯	
スイッチ	P.128
点灯しないとき	P.248, P.281
ハンドル	P.97
ハンドル	
ハンドルがロックしエンジンの始動ができないときは	P.218
ハンドルロック（ステアリングロック）	P.218
ハンドルロック（ステアリングロック）	
ハンドルがロックしエンジンの始動ができないときは	P.218
ハンドルロック（ステアリングロック）	P.113
ヒーターシート	P.197
ヒーター付ドアミラー	P.100
非常停止のしかた	P.114
非常点滅表示灯	
スイッチ	P.10
点灯しないとき	P.248, P.281

尾灯	
スイッチ	P.128
点灯しないとき	P.248, P.281
ヒューズが切れたときは	P.248
表示灯	P.49, P.50, P.51
表示灯がついたときは	P.52
ヒルスタートアシスト	P.137

フ

ブースターケーブルのつながかた	P.219
ブースト計	P.45
フード（ボンネット）	P.256
吹き出し口	P.107
ブザー（警報音）が鳴ったときは	P.242
踏み間違い衝突防止アシスト	
低速加速抑制機能	P.162
低速衝突軽減ブレーキ機能	P.162
踏み間違い衝突防止アシスト	P.161
フューエルフィルターリッド（燃料補給口）	P.103
フューエルメーター（燃料計）	P.41
冬用タイヤ・タイヤチェーン	P.264
ブリテンショナー機構	P.18
ブレーキ液量の点検	M
ブレーキ警告灯	P.46, P.47, P.48
ブレーキの効き点検	M
ブレーキフルード（規定量）	P.279
ブレーキペダルの踏みしろ	P.277, M
フロアカーペット	P.201
フロントガラスのくもりの取りかた	P.244

ヘ

ヘッドランプ	
自動点灯ランプの消灯のしかた（車両停車時）	P.130
スイッチ	P.128

点灯しないとき	P.248, P.281
ヘッドランプ上向き表示灯	P.49, P.50, P.51
ヘッドランプ消し忘れ警告	P.128
ヘッドランプの点灯、点滅具合、汚れ、損傷点検	M
ヘッドレスト	P.97

ホ

ホイールサイズ	P.280
ホイールナットレンチ	P.253
方向指示器	
スイッチ	P.132
点灯しないとき	P.248, P.281
方向指示表示灯	P.49, P.50, P.51
方向指示器の点灯、点滅具合、汚れ、損傷点検	M
防犯装置	
イモビライザー	P.36
ホーム	P.55
ホーンの鳴らしかた	P.98
補機ベルト	P.277
ポジションインジケーター	P.42
ポジションランプ（車幅灯）	
スイッチ	P.128
点灯しないとき	P.248, P.281
ポップアップエンジンフード	P.27
ポップアップエンジンフード警告灯	P.46, P.47, P.48
ボトルホルダー	P.192
本革シート	P.275
ボンネット	P.256

マ

マスターウォーニング	P.46, P.47, P.48
マップランプ	P.190
窓ガラスがくもったときは	P.244

マニュアルトランスミッションフルード (規定量)	P.278
マニュアルモード	P.116
マルチセンシングフロントカメラ	P.273

ミ

ミラー	
自動防眩式ルームミラー	P.99
ドアミラー	P.99
パニティミラー (照明付き)	P.203

メ

メーター	
Sモードインジケータ	P.42
アドバンスドドライブアシストディス プレイ	P.54
アドバンスドドライブアシストディス プレイ (ショートカットメニュー)	P.63
オドメーター (積算距離計)	P.41
外気温度表示	P.43
各種設定画面	P.71
各部名称	P.38, P.39, P.40
警告灯	P.46, P.47, P.48
警告メッセージ	P.62, P.230
航続可能距離表示	P.41
シフトアップインジケータ	P.43
車両情報画面	P.55
スピードメーター (速度計)	P.41
スポーツアシストディスプレイ	P.44
時計	P.43
トラクションモードインジケータ	P.42
トリップメーター (区間距離計)	P.41
表示灯	P.49, P.50, P.51
メーターの明るさの調節のしかた	P.81

メーター画面モード変更	
エンハンス表示	P.64
スポーツ表示	P.64
ノーマル表示	P.64
メカニカルLSD	P.138
メンテナンス設定	P.71
メンテナンスデータ (サービスデータ)	P.277

ユ

雪道の走行のしかた	P.259
雪道やぬかるみにはまったときは	P.246

ラ

ライトスイッチ	P.128
ラゲッジフック	P.203
ラゲッジルーム	P.203
ラゲッジルームランプ	P.190
ランプ (室内灯)	
ラゲッジルームランプ	P.190
ルームランプ	P.190
ランプが点灯しないとき	P.248

リ

リミテッドスリップデファレンシャル	P.138
リヤアクセサリーケース	P.191
リヤウインドーデフォグガースイッチ	P.245
リヤデファレンシャルオイル (規定量)	P.278
リヤビューカメラ (バックビュー モニター)	P.182
リヤフォグランプ	
スイッチ	P.133
点灯しないとき	P.248, P.281
リヤフォグランプ表示灯	P.49, P.50, P.51

ル

ルームランプ	
キー連動室内照明システム	P.190
ラゲッジルームランプ	P.190

レ

冷却水	
寒冷時の取り扱い	P.258
規定量	P.279, P.280
冷却水量の点検・補給	M
レーダーセンサー	P.272
レバー	
シフトレバー (マニュアル車)	P.120
セレクトレバー (オートマチック 車)	P.115

ロ

ロードホイール	
交換	P.260
サイズ	P.280
ローンチコントロール	P.117
路上で故障したときは	P.208
ロックノブ	P.89

ワ

ワイパー	
ワイパー・ウォッシャースイッチ	P.133
ワイパーゴムの交換	P.265
ワイパーブレードの交換	P.265
ワイヤレス充電器	P.200
ワックスをかけるときは	P.270

MEMO

警告灯・表示灯・警告メッセージが表示されたときは

メーター内に警告灯や警告メッセージが表示されたときは、すみやかに適切に対処する必要があります。詳しくは、警告灯（➡P.222）、警告メッセージ（➡P.230）をお読みください。表示灯については、表示灯（➡P.52）をお読みください。



警告灯 例

警告灯は、車両故障などを運転者に知らせるためのものです。警告灯が点灯したときは警告灯（➡P.222）に記載されている「説明・対処方法」に従ってください。



警告メッセージ 例

警告メッセージが表示されたときは、警告メッセージ（➡P.230）に記載されている「説明・対処方法」に従ってください。



表示灯 例

表示灯は、何らかのシステムが作動していることなどをお知らせするものです。点灯している理由は、表示灯（➡P.52）をお読みください。

MEMO